平成 25 年度産業保健調査研究報告書

被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

平成 26 年 3 月

労働者健康福祉機構

岩手産業保健推進センター

独立行政法人労働者健康福祉機構
平成25年度産業保健調査研究

産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究

被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

（受付番号　2）

平成 25 年度　　総括・分担研究報告書

研究代表者　大 澤 正 樹

平成 26(2014)年 4 月

目　　次

Ⅰ．総括研究報告書
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索-----1～34
大澤　正樹

Ⅱ．分担研究報告書
1. 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査
研究企画設立までの経緯----------35～40
坂下　史絵、阿部　千恵子、大澤　正樹

2. 被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索
平成25年度産業保健調査研究企画立案経緯----------41～61
大澤　正樹

3. 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査
平成 21 年度調査報告----------62～81
坂下　史絵、大澤　正樹

4. 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査
平成 22 年度調査報告----------82～105
坂下　史絵、阿部　千恵子、大澤　正樹

5. 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査
平成 23 年度調査報告----------106～130
黒澤　美枝、大澤　正樹

6. 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査
平成 24 年度調査報告----------131～153
青木　慎一郎、大澤　正樹

7. 被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索
震災前後の労働者のメンタルヘルス変化、津波被災地域と内陸との対比研究------154～198
黒澤　美枝、大澤　正樹

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　総括研究報告書

研究代表者　大澤　正樹
（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

本研究事業では、労働者健康福祉機構研究事業を契機に平成 21 年度から平成 24 年度まで実施された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査の経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検討した。総解析対象件数は、51,284 件であった。下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、標準化得点法に基づいた集計を行い、5 段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合を求めて、平成 22 年度の調査データを震災前のデータとして、平成 23 年度と 24 年度の各群の割合とを比較した。

解析結果以下のことが判明した。1）平成 23 年度は男女ともに仕事による身体的負担に関するハイリスク者が増加していた。2）女性では、平成 24 年度に量的仕事負担と質的仕事負担に関するハイリスク者が増加していた。3）男女ともに、身体的負担に関するハイリスク者割合は沿岸地域で震災後に大きく増加していたが有意ではなかった。4）男女ともに震災後に疲労に関するハイリスク者が有意に増加し、平成 24 年度も高いままで推移していた。5）男女ともに震災前後を通じて抑うつに関するハイリスク者が高い水準にあり、一部の集団では震災後に更に高くなった。6）身体愁訴、周囲支援に関するハイリスク者割合は震災前後を通じて高いままで推移し、一部の集団では震災後に有意に増加していた。7）男女ともに若い世代でメンタルヘルスハイリスク者割合が高く、震災影響は、若い世代から中年世代で大きく悪影響を与えていた。8）製造業に従事する労働者で男女ともに得点が悪く、ハイリスク者が多かった。製造業従事労働者では震災影響が大きかった。9）ハイリスク者割合の絶対値は沿岸地区で震災後により大きく増加していたが、女性参加者が少なかったこともあり、沿岸地域女性労働者では一部の解析で有意差に届かなかった。10）沿岸地域女性労働者に於いては、支援に関してのハイリスク者割合が震災前に非常に高かったが、震災後には幾分低下した。東日本大震災発生後の岩手県では、労働者のメンタルヘルス状況が悪化しており、仕事負担、身体的負担、疲労に関するハイリスク労働者が増えたことが示唆された。ハイリスク者のメンタルヘルス改善のための対策を具体的に企画実施することが望まれる。

A. 研究目的

平成23年3月31日の東日本大震災と津波により、岩手県は甚大な被害を蒙ると共に、震災からの復興は思うように進まず、県内企業の従業者の中には、未だに劣悪な社会家庭環境（家族の死亡や別離、転居や仮設住宅居住）に置かれたままの者が多数存在していると考えられる。職場環境のみならず、社会環境や家庭環境の変化が労働者のメンタルヘルスに影響を及ぼしている可能性がある。また復興支援に伴って、インフラ設備の復旧に関する支援事業が増大しており、一部の業種では少ない人員に多大な労働負荷がかかり、過重労働やメンタルヘルス不調を生じている可能性がある。

本研究では、岩手県内労働者を対象に平成21年度から平成24年度まで継続して実施してきたメンタルヘルス状況調査について今まで個人や企業への健康相談支援活動に役立ててきた活動内容を、労働者健康福祉機構研究事業を契機に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に労働者属性の違いが存在するのかを検証する。

本研究では、研究目的のために集められた情報を取り扱ってはいない。地域自殺対策緊急強化基金設立を契機に始められた岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は、事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を行って、ハイリスクな労働者に対しては事後指導を行って、労働者のメンタルヘルス向上を企画したものであり、決して研究目的に集められたものではない。この事業を実施している最中に東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、労働者のメンタルヘルスが損なわれている可能性が危惧された。しかし、大震災が労働者にどのような影響を与えているのかについて、多数の労働者を対象として解析した資料は皆無であり、実態把握のためには貴重な資料をぜひとも活用したいとの機運が岩手産業保健推進センター（現在の岩手産業保健総合支援センター）坂下相談員を中心に盛り上がった。産業保健調査研究助成を受けて、個人情報保護ならびに利用に関して十分な配慮と対策をとった上で研究を推進する方向で研究チームは始動した。このような研究開始背景を鑑みて、本報告書作成に際しては研究結果を述べるだけには留まらず、本研究事業の企画、研究事業の申請、研究実施過程についても明らかすることを試みた。

報告書の構成は、研究代表者報告と分担研究者報告からなる。分担研究者報告では、本研究事業で取り扱った岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の企画実施経緯については、調査事業当事者であった、坂下分担研究者と阿部研究協力者に記述をお願いした。研究企画経緯と申請実施、そして研究調査の過程については、研究代表者大澤が担当した。特に、倫理的問題に対してどのような対応をとったのかについては詳細に記述した。平成21年度から平成24年度までの岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査のデータの集計解析結果は、分担研究者に単年度ごとにまとめてもらい、その解析結果を記述してもらった。平成21年度は坂下分担研究者に、平成22年度は坂下分担研究者と阿部研究協力者に、平成23年度は黒澤分担研究者に、平成24年度は青木分担研究者に担当していた

だいた。尚、データ集計解析に関しては、研究代表者大澤が手伝った。そして本研究の主要テーマである、震災前後における労働者のメンタルヘルスの変化に関する解析は、黒澤分担研究者が担当した。本総括研究報告書では、研究代表者として概要を述べるとともに、分担研究者報告書の概要を紹介する。

この研究報告書によって、労働者のメンタルヘルスの状況が一地域の5万人単位の集団で明らかにされることから、日本の労働者のメンタルヘルス状況に関しての基礎的な資料を提供することができると期待される。また、震災前後で経時的に調査を実施してきたことから、震災に伴って震災地域の社会家庭職場環境がどのように変化し、それによって労働者のメンタルヘルスがどのように変化していったのかを確認できる貴重な資料が提供される。これらの貴重な資料は、大震災が労働者のメンタルヘルスにどのような悪影響を与えているのかを知らせてくれ、労働衛生行政施策立案にとって貴重な資料として活用されることが期待される。

B. 研究方法

対象者

本研究では、平成21年度から岩手県内企業を対象に実施してきた健診時に同時に行ってきたメンタルヘルス調査事業において、今まで事業所や労働者個人への還元活動として行なってきたメンタルヘルス状況の周知活動を、労働者健康福祉機構研究事業を契機にして、岩手県労働者全体の4年間のメンタルヘルスに関する膨大なデータベースに再構築編集した。このデータベースを利用して岩手県内労働者のメンタルヘルス状況について集団全体ならびに属性によって層化して（性別、年代別、業種別、地域別（沿岸地域と内陸地域）、メンタルヘルス状況の比較検討を行った。また震災前（平成21年度と22年度）と震災後（平成23年度と24年度）で分けて同様の解析を行い、震災後の労働者のメンタルヘルス状況について特徴を明らかにすることをこころみた。

対象企業は平成21年度から24年度まで調査に参加してきた48事業所と平成23年度の緊急健康診断事業に参加した小規模事業所240社であり、重複受診者も含めた総件数は51,284件である（表1）。各年度ごとの内訳を見ると、平成21年度解析対象者は、男性637名（平均年齢41.1歳）、女性は274名（平均年齢39.4歳）、平成22年度解析対象者は、男性は4,306名（平均年齢425歳）、女性は2,336名（平均年齢425歳）、平成23年度解析対象者は、男性は10,975名（平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（平均年齢41.2歳）、平成24年度解析対象者は、男性は15,769名（平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（平均年齢43.7歳）であった。

調査手法

メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。メンタルヘルスチェックシートは、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。職業性ストレス簡易調査票とは、平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表　加藤正明）」において、ストレス測定グループ（グループリーダー　下光輝一）が開発した質問票であり、57の質問項目から構成される。下光らは、5年間の研究調査の最終年度に当たる平成11

年度調査報告書において、12,274名で「職業性ストレス簡易調査票」を用いて調査を行って、因子分析に基づいた質問項目の方向性と妥当性検討を行い、因子構造検討結果から、複数の質問項目の集計によって得られる標準化得点法を開発して、標準化得点法結果をもとにした、全国標準値も併せて報告している。

解析手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。

尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別、地域別（内陸地域と沿岸地域）のグループ分類を採用した。平成21年度は内陸地域の企業のみ参加していたことから地域別の対比はしていない。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。

上記グループごとの得点平均値（標準偏差）とハイリスク者割合（有所見率）を平成21年度から平成24年度までを前述したように単年度ごとに提示して、どのような集団にメンタルヘルスハイリスク者が多いのかを検証した。また、平成21年度から平成24年度までのデータの比較においては、平成21年度の参加者が非常に少なかったために、今回の検討では平成22年度の調査データを震災前のデータとして、平成23年度と24年度の有所見率とを比較した。比較に際して、平成23年度または平成24年度の各集団のメンタルヘルスハイリスク者割合が、1）基準値より明らかに高いこと、2）平成22年度データと比較して統計的に有意差を持って高いこと、の2点を同時に満たした場合に当該グループのメンタルヘルスハイリスク者割合が東日本大震災後に明らかに増加した、と結論した。有意差検定はχ2乗検定を用いて、p値0.05未満を持って有意差ありとした。

総括研究者報告書として、本稿では各分担研究者報告内容の概略を述べる。そして本研究のメインテーマである震災前後のストレス状況変化についての解析結果は、黒澤分担研究者報告内容に於いて、注目すべき結果に焦点を当てて記述する。詳細な内容については各分担研究者に報告書に記述していただくことにしたので、分担研究者報告書を参照されたい。

倫理面への配慮

本研究では、労働者個人情報の漏洩とプライバシー侵害に対して最大限の注意を払う必要がある。倫理面への配慮に関しては、大澤研究代表の担当した研究企画に関する報告書に詳細が記述されているため、そちらを参照されたい。本稿では詳細な記述を避け、その概略を記す。

研究目的としては集められていない個人情報を第三者が研究目的で利用することに関して、文部科学省厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針に則って、労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず、研究代表者の所属する岩手医科大学医学部倫理委員会で審議して正式に承認を受けた。収集された個人情報が調査実施機関である岩手県予防医学協会

に厳重に管理すること、匿名化されたデータセットのみが本研究事業に関連した研究活動のみに使用されることを徹底した。労働者の個人情報データセットを本研究目的のために匿名化して岩手産業保健推進センターに譲渡するにあたり、匿名化データセットの保有権限を岩手産業保健推進センターに限定して持たせるために、岩手産業保健推進センターは、匿名化データセットの使用は本研究事業の主任研究者、分担研究者、及び研究協力者に限定して、産業保健調査事業を根拠とした研究以外には使用しないことを謳った覚書を岩手県予防医学教会と取り交わしてデータセットを入手した。研究者はデータセット使用について本研究関連事業以外への研究データの利用を一切行わないことをデータセット保有者である岩手産業保健推進センターに誓約書に署名して提出した。さらに、本研究事業を実施する研究者は、全員利益相反に関する書類を岩手産業保健推進センターに提出した。データ編集と匿名化作業は、すべて岩手県予防医学協会内で予防医学協会職員の手で行った。尚、研究に協力いただいた労働者個人からは、調査内容が匿名化された集計結果として産業保健向上を目的とした学術研究等に使用されることがあることを通知しており、データを提供した全ての労働者から同意を取得している。

C.　結果：研究事業企画経緯と調査結果

本報告書では、前述したように分担研究者にそれぞれのテーマを与えて分担研究者報告書作成をお願いした。この総括研究報告書では、各分担研究者の報告書の概要について、分担研究者報告書の順番に沿って述べる。事業内容の詳細については各分担研究者報告書を参照されたい。

1)．岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査研究企画設立までの経緯

坂下史絵（岩手産業保健総合支援センター）
阿部千恵子（岩手県予防医学協会）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

平成 20 年 10 月 31 日に行われた自殺対策総合会議では「自殺対策加速化プラン」が決定され、内閣府はこれを受けて平成 21 年度補正予算において 100 億円の予算を計上して「地域における自殺対策力」を強化するために都道府県に「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。上記の流れを踏まえて岩手県予防医学協会は、平成 21 年 7 月 22 日に岩手県に対して地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、平成 21 年 10 月に岩手県から交付金助成通知を受け取った。交付申請内容は、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を実施するというものである。

平成 21 年から開始されたメンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。メンタルヘルスチェックシートは、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に「最近 1 か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計 60 項目で構成されている。

全衛連が行うメンタルヘルスサービスの内容は、1）ストレスチェックを実施；2）受診者に対する結果報告及び必要な事後指導の実施；3）長時間労働者に対する医師の面接指導も併せて実施；4）職場評価結果票の提供；5）教

育研修、職場改善指導等の実施、の5項目からなっている。

岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査は平成21年度から実施し、その後も「地域自殺対策緊急強化基金」の助成を一部受けて、平成22年から平成24年度まで継続して実施された。尚、平成23年には「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」に基づいて予算化された緊急健康診断事業が行われ、この緊急健診事業でも5,488名の参加者が得られて実施されている。

メンタルヘルス調査実施結果

表 1 はストレスチェックの事業場ごとの件数を示したものである。前述したように、一人当たり 600 円の地域自殺対策緊急強化基金からの交付は、事業に始めて参加した企業のみを対象としたことから、事業に参加した 48 企業をみると、多くが 1 回のみの参加であり、複数回参加した企業は、13 企業（27%）であった。平成 21 年から平成 24 年の年度別参加企業数をみると平成 21 年は 3、平成 22 年は 14、平成 23 年は 25（緊急健康診断事業に参加した従業員 300 未満の企業 240 事業所を除く）、平成 24 年は 36 企業であった。業種別に見ると、平成 21 年は製造業 1 社、情報通信業 1 社、複合サービス業 1 社であり、平成 22 年度には製造業 2 社、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 社、卸小売業 2 社、学術研究部門 1 企業、複合サービス 2 社、公務 3 事業所であった。平成 23 年度は製造業 3 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 事業所、卸小売業 1 事業所、金融保険業 2 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 1 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 5 事業所、その他 4 事業所が参加し、参加者総数は 17,747 名であった。平成 24 年度は製造業 11 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 2 事業所、卸小売業 3 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 3 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 8 事業所、その他 3 事業所が参加し、参加者総数は 25,984 名であった。

本研究データは平成 23 年の東日本大震災をはさんで 4 年間にわたって集められたものであり、奇しくも、大震災が労働者のメンタルヘルスに与える影響を知ることのできる貴重な資料となっている。今回の平成 25 年度産業保健調査研究を契機にデータセットの一元化を図り、震災によって労働者のメンタルヘルスがどのように変化したのかを調査研究することが可能であり、たいへん意義深いものと思われる。東日本大震災が岩手県内労働者のメンタルヘルスにどのような影響を与えたのかが本研究によって明らかにされることが期待される。

2). 平成 25 年度産業保健調査研究企画立案経緯

大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

平成 24 年 12 月 21 日岩手産業保健推進センター平成 24 年度第 2 回相談員会議の席上で、岩手産業保健推進センター事務局から、独立行政法人労働者健康福祉機構平成 25 年度産業保健調査研究助成についての通知があった。この会議で岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査を活用した、東日本大震災が労働者のメンタルヘルスに与えた影響について調査するという、研究企画が持ち上がり、関係機関との調整を行って、平成 25 年 1 月下旬に研究申請が行われた。

平成 25 年 3 月 29 日付け労健福発第 423 号通知により条件付採用課題として研究計画書の一部修正提出が求められた。4 月 10 日には修正研究計画書を送付し、正式に採択された。研究代表者は労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず岩手医科大学倫理委員会での審議が必要と判断し、倫理審査書類を準備して 4 月 24 日に岩手医科大学医学部倫理審査委員会に提出し、平成 25 年 5 月 1 日に開催された岩手医科大学倫理委員会で正式に承認された。平成 25 年 8 月 1 日には、第一回の平成 25 年度産業保健調査会議を実施した。会議の中では、岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査のデータを、第三者である研究者が解析目的で利用することに関しての倫理的問題点について討議し、その解決策として以下の対応をとることを研究代表者大澤が提案し、研究者全員の賛同が得られた。具体的な対応策は以下のとおりである。

1）労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず、研究代表者の所属する岩手医科大学医学部倫理委員会に倫理申請を行い、研究目的ならびに研究内容に倫理的問題がないことを審議した上で正式に承認を受けること。

2）匿名化データセットの保有権限を岩手産業保健推進センターに限定して持たせるために、岩手産業保健推進センターは、匿名化データセットを本研究事業で活用すること、データ使用は本研究事業の主任研究者、分担研究者、研究協力者に限定すること、の 2 点を謳った覚書を岩手県予防医学協会と取り交わしてデータセットを入手すること。

3）研究者はデータセット使用について本研究事業以外への研究データの利用を一切行わないことをデータセット保有者である岩手産業保健推進センターに誓約書に署名して提出した上でデータセットを受け取ること。

4）本研究事業を実施する研究者は、利益相反に関する書類を岩手産業保健推進センターに提出すること。

上記対策をとることで、疫学研究の倫理指針に則った個人情報管理を行うとともに、本研究に参加した研究者は、産業保健調査を根拠に集められた貴重なメンタルヘルスに関する情報を、研究者の専門性を遺憾なく発揮して労働衛生行政に資する調査内容を成果公表することを目指した。成果公表の一環として、研究代表者大澤は上記データセットの集計解析を行い、第 84 回日本衛生学会総会に演題を応募して採択された。また黒澤分担研究者は第 13 回日本トラウマティック・ストレス学会演題を応募して採択された。更に黒澤は THE PACIFIC RIM COLLEGE OF SYCHIATRISTS SCIENTIFIC MEETING (PRCP) 2014 に演題を応募し、採択可否について現時点で待機中である。今後、上記学会公表内容をまとめて、いくつかの論文にまとめて公表する予定である。

3). 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査平成 21 年度調査報告

坂下史絵（岩手産業保健総合支援センター）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

平成20年10月31日に行われた自殺対策総合会議では「自殺対策加速化プラン」が決定された。これを受けて平成21年度補正予算において100億円の予算を計上して「地域における自殺対策力」を強化するために都道府県に「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。上記の流れを踏まえて岩手県予防医学協会は、岩手県に対して地域自殺対策緊急強化基金

への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を実施した。

対象者

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は岩手県内陸地域に位置する5つの事業所が参加し、参加者数は2,503名であった。2,503名の中で、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、3事業所911名のデータである。解析対象者は、男性637名（19～66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19～65歳、平均年齢39.4歳）で、3業種の内訳は、情報通信業(114名)、製造業(541名)、複合サービス事業（256名)であった。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。メンタルヘルスチェックシートは、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

職業性ストレス簡易調査票は57の質問項目から構成され、因子構造検討結果から複数の質問項目の集計によって得られる標準化得点法が開発・提供されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上）、所属企業による業種別のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

解析結果

解析結果の詳細については分担研究者報告書を参照されたい。ここでは概要を述べる。

岩手県男性労働者の職業性ストレスに関する標準化得点は下光らの提示した基準値とほぼ同様の値を示していた。仕事をコントロールできていないと感じている男性労働者が岩手県では多かった。全体として若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別では、仕事のコントロールができていないと感じる労働者は製造業に多く、仕事の負担が大きい、仕事の身体的負担が大きいと感じている労働者は複合サービス業で多かった。

心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点に関しては、基準値と比較して活気がないと感じている男性労働者が多く、また身体愁訴・家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。若い世代ほど活気・イライラ・疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・支援状況・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労・抑うつ・身体愁

訴に関する項目でハイリスク者が多く見られた。業種別にみられた特徴としては、情報通信業では肩こりや腰痛に悩まされる労働者が多く、製造業では活気がないと感じる労働者が多く、複合サービス業では抑うつに関するハイリスク者が多かった。

岩手県女性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べると、仕事負担に関しては得点が悪かった。男性と同様に若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別で見られる特徴としては、情報通信業と複合サービス業では仕事負担に関してのハイリスク者が多く、製造業では身体的負担が大きいと感じるハイリスク者が多かった。

心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点は、基準値と比較して男性と同様に活気がない、家族からの支援がないと感じるハイリスク者が多かった。業種別の特徴として、情報通信業では疲労と家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。製造業では抑うつと肩こりや腰痛に悩まされるハイリスク者が多かった。製造業では家族からの支援がないと考えるハイリスク者が多く存在していた。複合サービス業では、活気がない、イライラ感、抑うつに関するハイリスク者が多く、上司支援や家族支援がないと考えている者が多かった。

基準値との比較を通して、平成21年度の調査結果から浮かび上がった岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男女ともに活気がないと感じている労働者が多いこと、年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、仕事負担や肩こりなどの身体愁訴に関するハイリスク者の割合が高いこと、男女ともに家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多いことなどが上げられた。

今回の検討結果では、岩手県内労働者では家族のサポートが十分でないことが示唆され、労働者のメンタルヘルス向上に関しては、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

4). 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査平成 22 年度調査報告

坂下史絵（岩手産業保健総合支援センター）
阿部千恵子（岩手県予防医学協会）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

岩手県予防医学協会は地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施し、平成22年度も継続して事業を実施した。

対象者

平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内陸地域に位置する13事業所が参加し、参加者数は6,645名であった。6,645名の中で、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、13事業所6,642名のデータである。男性は4,306名（17-77歳、平均年齢42.5歳）、女性は2,336名（17-75歳、平均年齢42.5歳）であった。業種の内訳は、卸小売業（n=1,021）、学術研究・専門・技術サービス(n=244)、公務（n=2,179）、情報通信業(n=664)、製造業(n=730)、電気ガス水道熱供給業（n=127）、複合サービス事業(n=1,677)であった。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別、地域別（内陸地域と沿岸地域、図1参照）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

解析結果

解析結果の詳細については分担研究者報告書を参照されたい。ここでは概要を述べる。

岩手県男性労働者の標準化得点は職業性ストレス関連9項目に関しては基準値と比べ高い項目はほとんどなかったが、仕事がコントロールできていないと感じている者が多かった。30歳未満の労働者では、身体的負担に関するハイリスク者が19%も存在しており、突出して高い割合であった。業種別で見られる特徴としては、身体的負担に関するハイリスク者割合が高かったのは卸小売業、対人関係のハイリスク者割合が高かったのは電気ガス水道業、仕事のコントロールに関するハイリスク者は電気ガス水道業で非常に高かった。沿岸地域と内陸地域の男性労働者を比べると、沿岸地域の労働者の得点は概ね良好であった。

岩手県男性労働者の心理的反応等の得点は、基準値とほぼ同様であり、極端に悪い得点はみられなかった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポート・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労（10.2%）、抑うつ(11.8%)、身体愁訴（9.9%）に関する項目でハイリスク者が多く見られた。活気や元気さがないと感じる労働者は岩手県全体では多かったが、業種別に見ると情報通信業、製造業、電気ガス水道業でハイリスク者割合が高くなっていた。周囲からの支援状況に関する項目では、電気ガス水道業でハイリスク者割合が高く、特に上司からのサポートがないと感じているハイリスク者割合は21%と突出して高かった。

岩手県女性労働者の職業性ストレス関連9項目標準化得点は基準値と比べると、仕事負担に関しては得点が悪く、対人関係・職場環境・自己裁量権・働きがいに関してはほぼ同様であった。年齢階級別に見ると、中年世代で得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。仕事コントロールが出来ないと感じるハイリスク者割合がもっとも高かったのは60歳以上の労働者だった。業種別で見られる特徴としては、量的仕事負担が大きいと感じるハイリスク者割合が卸小売業、学術研究業、公務、複合サービス業で高かった。仕事の質的負担に関するハイリスク者は複合サービス業で高かった。仕事による身体的負担に関するハイリスク者割合は卸小売業で高かった。

心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点は、全体でみると岩手県

女性労働者の特徴としては、活気がない、抑うつ、上司サポートがない、家族サポートがないことに関する項目で得点が悪かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気・イライラ・疲労・抑うつ・支援状況の項目で基準値より悪い結果が認められ、疲労（15.8%）と抑うつに関するハイリスク者割合が高かった。全ての世代で周囲からの支援状況に関する得点が悪い傾向にあり、特に家族からのサポートがないと感じるハイリスク者は全ての世代で高くなっていた。

業種別の特徴として、情報通信業では疲労と家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。製造業では家族からの支援がないと考えるハイリスク者が多く存在していた。複合サービス業では、活気がない、イライラ感、抑うつに関するハイリスク者が多く、上司支援や家族支援がないと考えている者が多かった。

周囲からの支援状況に関する項目では、上司からのサポートがないと感じるハイリスク者割合は卸小売業と製造業で高かった。家族からのサポートがないと考えるハイリスク者は全ての業種で基準値を上回っており、特に、電気ガス水道業、製造業、学術研究業でハイリスク者割合が高かった。活気・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目では、全ての項目で沿岸地域の女性労働者の得点が悪かった。

基準値との比較を通して平成22年度の調査結果から判明した岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男性では年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、女性では30～50代で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合が高いことが上げられた。職業性ストレス関連項目と心理的反応項目の得点は業種間にも大きな違いがあり、男性では電気ガス水道業で多数の項目でハイリスク者割合が高かった。女性では男性ほど業種間の違いは見られなかったが、職業性ストレス関連項目では、卸小売業・学術研究業・公務で得点が悪く、心理的反応項目では学術研究業・公務・製造業で得点が悪かった。周囲からの支援に関する項目では、男女ともに基準値より悪い傾向にあり、特に家族からのサポートが男女ともに基準値より悪く、ハイリスク者の割合も高かった。

沿岸地区と内陸地区の比較では、男性労働者は概ね沿岸地域で得点がよく、職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合は全般的に基準値と比較しても低かった。女性労働者では、沿岸地区の労働者で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目の両者で得点が悪いものが多く、またハイリスク者割合が高かった。沿岸地域の女性労働者では、周囲からの支援に関して得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。特に家族サポートが悪いと考えている女性労働者が18%も存在しており、この地域の大きな特徴と考えられた。

今回の検討結果を見た限りでは、岩手県では男女に共通して仕事負担が多いと考えている労働者が多く、周囲からの支援が不十分と考えている労働者が多いことが判明した。沿岸地域の女性労働者では、職場の支援状況も不十分である上に、家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在していることから、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

5). 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス

調査平成 23 年度調査報告

黒澤美枝（岩手県精神保健福祉センター）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

岩手県予防医学協会は岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施してきており、平成23年度も継続して上記事業を実施した。また平成23年3月11日に東日本大震災発災があり、「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」として第一次補正予算案が計上され、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が被災3県（岩手、宮城、福島）の健診機関に協力を仰いで緊急健康診断事業を実施した。緊急健康診断事業では、通常の特定健診事業に加えてストレスによる健康影響の調査が加えられ、全衛連のメンタルヘルスチェックシート調査も併せて実施された。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

対象者

平成23年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内陸地域に位置する25事業所の従業員12,259人と、従業員300人未満の中小事業所を対象に実施された被災地緊急健康診断事業参加者でメンタルヘルス調査に参加した5,488人、計17,747人が参加した。男性は10,975名（17～85歳、平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（15～81歳、平均年齢41.2歳）であった。業種の内訳は、医療、福祉（61名）、卸業、小売業（344名）、学術研究、専門・技術サービス業（286名）、教育、学習支援業（2,557名）、金融業、保険業（279名）、公務（5,023名）、情報通信業（174名）、製造業（833名）、電気・ガス・熱供給・水道業（232名）、複合サービス事業（1,821名）、その他（6,137名）であった。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上）、所属企業による業種別、地域別（内陸地域と沿岸地域）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

解析結果

解析結果の詳細については分担研究者報告書を参照されたい。ここでは概要を述べる。

平成23年岩手県男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べて悪い項目はほとんどなかったが、身体的負担と仕事をコントロールの項目の得点が悪かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。身体的負担に関するハイリスク者は、30歳未満で22.6%、30代で12.6%と高かった。仕事がコントロールできていないと感じているハイリスク者は基準値と比べて岩手県男性労働者は全ての世代で高かった。業種別では、身体的負担に関するハイリスク者が医療福祉業で35.7%、卸小売業で35.1%と非常に高い割合で存在していた。仕事コントロールに関するハイリスク者は、医療福祉業では20%を超えていた。仕事適正に関するハイリスク者は医療福祉業で14.3%と高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担、仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

岩手県男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除くと全て悪かった。周囲からの支援に関しても得点は悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別にみると、若い世代ではほとんどの項目で得点が悪く、ハイリスク者割合も高かった。特に30代では、活気・イライラ・同僚サポート・満足感の3項目を除いた項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気や元気さに関するハイリスク者割合は、情報通信業・製造業・電気ガス水道業で高く、イライラに関する項目では、卸小売業で高く、疲労に関する項目では医療福祉業・卸小売業・情報通信業・製造業で高く、不安に関する項目では、医療福祉業・情報通信業で高く、抑うつに関する項目では、医療福祉業・教育学習支援業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。身体愁訴のハイリスク者割合は、卸小売業・情報通信業・製造業で高かった。周囲からの支援に関する項目では、学術研究業・製造業で職場からの支援項目でハイリスク者割合が高かった。家族からのサポートがないと感じるハイリスク者割合は、製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。

地域別の比較では、沿岸地域の労働者では、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。

平成23年岩手県女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べると、仕事負担と仕事コントロールに関しては得点が悪く、対人関係・職場環境・自己裁量権・働きがいに関してはほぼ同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担に関するハイリスク者割合は60歳以上を除いた全ての世代で高くなっており、特に中年世代で高かった。仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関する項目では、60歳以上も含めて全ての世代でハイリスク者割合が基準値よりも高かった。身体的負担に関する項目では、若年と高齢でハイリスク者が特に多かった。

業種別で見られる特徴としては、仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業・卸小売業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業・複合サービス業などほぼ全ての業種で高かった。仕事コントロールに関す

る項目では、医療福祉業・情報通信業・製造業で高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担・仕事の質的負担・身体的負担・仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

岩手県女性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気・疲労・抑うつ・身体愁訴・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

年齢階級別に見ると、活気に関するハイリスク者割合は中年世代で高く、イライラと抑うつに関する項目では若い世代でハイリスク者割合が高かった。疲労と不安に関するハイリスク者割合は、若い世代でのみ高かった。身体愁訴に関するハイリスク者割合は30歳未満から50代まで10～12%で観察された。上司からのサポートに関するハイリスク者は、中年世代で高く、同僚サポートに関するハイリスク者割合は50歳以上で高かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも高く、50代で特に高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。イライラに関するハイリスク者割合は、医療福祉業で高かった。疲労に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業で高かった。不安に関するハイリスク者割合は医療福祉業・製造業で高かった。抑うつに関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。身体愁訴に関する項目では、製造業でハイリスク者割合が高かった。

上司からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉・卸小売業・製造業・複合サービス業で高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉業・情報通信業で高かった。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より高かったが、特に高かったのは、医療福祉業・製造業・複合サービス業であった。

地域別の比較では、沿岸地域女性労働者では、イライラ、疲労、不安、抑うつ、上司からのサポートの項目でハイリスク者割合が基準値より高く、なおかつ内陸地域より高かった。一方内陸地域では、活気と家族サポートの項目で基準値ならびに沿岸地域に比べてハイリスク者割合が高かった。

今回の検討結果をみると、平成23年度の岩手県では、男女に共通して仕事負担に関するハイリスク者が多く、周囲からの支援が不十分と考えている労働者が多いことが判明した。沿岸地域の女性労働者では、職場の支援状況も不十分である上に、家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在していることから、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。職業性ストレス関連項目、心理的反応項目、周囲からの支援関連項目の全般にわたって、標準化得点が基準値と比べて悪く、ハイリスク者が非常に多かった。この特異的な現象は、東日本大震災後の混乱した状況を反映している可能性がある。震災前のデータとも比較して、統計的手法を用いた解析検討が望まれる。

6). 岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査平成 24 年度調査報告

青木慎一郎（岩手県立大学社会福祉学部）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

岩手県予防医学協会は地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施し、平成24年度も継続して上記事業を実施した。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

対象者

平成24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内34事業所の従業員25,984人が参加した。男性は15,769名（18～80歳、平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（18～72歳、平均年齢43.7歳）であった。業種の内訳は、医療、福祉（300名）、卸業、小売業（2,751名）、学術研究、専門・技術サービス業（285名）、教育、学習支援業（11,767名）、公務（6,172名）、情報通信業（297名）、製造業（1,158名）、電気・ガス・熱供給・水道業（228名）、複合サービス事業（2,521名）、その他（505名）であった。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別、地域別（内陸地域と沿岸地域）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

解析結果

解析結果の詳細については分担研究者報告書を参照されたい。ここでは概要を述べる。

平成24年岩手県男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事コントロールの項目の得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別で見られる特徴としては、仕事負担の項目では学術研究・教育学習支援業・医療福祉業・卸小売業・製造業でハイリスク者割合

が高かった。対人関係に関する項目では、学術研究業、情報通信業、製造業で高く、仕事コントロールに関する項目では、全ての業種でハイリスク者割合が基準値より高かった。

岩手県男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気とイライラに関する項目を除くと全て悪かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者では、活気とイライラに関する二つ以外の全ての項目で基準値より悪い得点であり、ハイリスク者割合が高かった。周囲からの支援に関しては、60歳未満の全ての世代で家族からの支援に関してハイリスク者割合が高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気や元気さに関するハイリスク者割合は、卸小売業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業で、イライラに関する項目では、卸小売業・情報通信業・製造業で、疲労に関する項目では、卸小売業・教育学習支援業・製造業で、不安に関する項目では卸小売業で、抑うつに関する項目では、卸小売業・製造業・複合サービス業で、身体愁訴の項目では卸小売業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。地域別の比較では、疲労と抑うつの項目では沿岸地域の労働者の得点が悪く、不安に関しては沿岸地域と内陸地域でほぼ同等であった。家族からのサポートの項目では、沿岸地区でハイリスク者割合がより高かった。

平成24年岩手県女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、仕事負担に関する項目で得点が悪く、またハイリスク者割合が高かった。対人関係・職場環境・自己裁量権・働き甲斐に関してはほぼ基準値と同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担と質的負担に関するハイリスク者割合は全ての世代で高くなっており、特に中年世代で高くなっていた。身体的負担に関する項目では、若年と高齢でハイリスク者が多かった。業種別で見られる特徴としては、仕事負担に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・公務で、対人関係に関する項目では、学術研究業・製造業で、仕事コントロール、仕事適正、働きがいに関する項目では、情報通信業で高かった。地域別の比較では、内陸地域では、仕事の量的・質的負担に関する項目、身体的負担に関する項目で、いずれも基準値と沿岸地域のハイリスク者割合を上回っていた。

岩手県女性労働者の心理的反応項目、身体愁訴、周囲からの支援、満足度に関する回答結果は、疲労・抑うつ・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、疲労に関する項目は、60歳未満の全ての世代でハイリスク者割合が高かった。抑うつに関する項目では、年齢が若いほどハイリスク者が多かった。身体愁訴に関する項目では、50代でハイリスク者が最も多かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも基準値より高かったが、40代で13.6%と最も高かった。

上記項目に関して業種別でみると、活気に関する項目では、医療福祉業・卸小売業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業で、イライラに関する項目では製造業で、疲労に関する項目では、医療福祉業・教育学習支援業・公務・情報通信業・製造業で、抑うつに関する項目では、医療福祉業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で、身体愁訴に関する項目では、医療福祉業と製造業でハイリスク

者割合が高かった。上司からのサポートに関する項目では、卸小売業・学術研究業・製造業で、同僚からのサポートに関する項目では、情報通信業・製造業・電気ガス水道業で、家族からのサポートに関する項目では、全ての業種で基準値より高いハイリスク者割合が観察された。地域別の比較では、沿岸地域と内陸地域で心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する項目において回答内容に差はみられなかった。

今回の検討結果をみると、平成24年度の岩手県では、基準値と比較して職業性ストレス関連項目では女性で仕事負担が多いと考えている労働者が多く、男女共通して心理的反応項目の多くの項目でハイリスク者割合が高かった。また男女ともに家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在しており、特に女性労働者でその経過は顕著であった。沿岸地域と内陸地域の地域差に関しては目立った差は観察されなかった。

心理的反応項目に関する成績が男女ともに悪かったこと、家族からの支援が不十分と感じていることが岩手県全域の事業所で観察されたことから、東日本大震災の影響が1年以上経過した時点でも残っている可能性がある。職場環境の改善のみならず、労働者の心の支援や家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

7). 震災前後の労働者のメンタルヘルス変化、津波被災地域と内陸との対比研究

黒澤美枝（岩手県精神保健福祉センター）
大澤正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

平成25年度産業保健調査研究「産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究：被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索」では、自殺対策加速化プランに基づいて予算化された地域自殺対策緊急強化基金の設立を契機として平成21年から開始された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査のデータを、産業保健調査事業を根拠に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者のメンタルヘルス悪影響に職種や労働者属性の違いが存在するのかを検証することを目的とする。

対象者

本研究の対象者は、平成21年度から平成24年度まで岩手県内事業所を対象に実施された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に参加した労働者である。平成21年度解析対象者は、男性637名（平均年齢41.1歳）、女性は274名（平均年齢39.4歳）、平成22年度解析対象者は、男性は4,306名（平均年齢425歳）、女性は2,336名（平均年齢42.5歳）、平成23年度解析対象者は、男性は10,975名（平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（平均年齢41.2歳）、平成24年度解析対象者は、男性は15,769名（平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（平均年齢43.7歳）である。尚、同一参加者が複数年にわたって調査に参加している事例が存在しているため、本稿では、各年度ごとにハイリスク者の有所見率を算出して比較する手法をとり、敢えて重複症例の取り除きはしなかった。重複例をカウントした総解析対象件数は、51,284件であった。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメ

ンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答内容について標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上）、地域別（内陸地域と沿岸地域）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。

上記グループごとの得点平均値（標準偏差）とハイリスク者割合（有所見率）を平成21年度から平成24年度まで提示し、平成22年度の調査データを震災前のデータとして、平成23年度と24年度の有所見率とを比較した。比較に際して、平成23年度または平成24年度の各集団のメンタルヘルスハイリスク者割合が、1）基準値より明らかに高いこと、2）平成22年度データと比較して統計的に有意差を持って高いこと、の2点を同時に満たした場合に当該グループのメンタルヘルスハイリスク者割合が東日本大震災後に明らかに増加した、と結論した。有意差検定は$\chi 2$乗検定を用いて、p値0.05未満を持って有意差ありとした。

研究結果

解析結果の詳細については分担研究者報告書を参照されたい。ここでは、黒澤らが提示した56の表の中から、本研究の収容テーマである津波被害の甚大であった沿岸地域と、被害の比較的経度であった内陸地域との対比に焦点を当てて8つの表を選び出し、震災影響が大きく影響したと考えられた結果の概要のみを抽出して概要を述べる。

男性労働者解析結果

表2は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年度ごとに示したものである。メンタルヘルスハイリスク者割合が、前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担に関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は11.4％で平成22年度の9.4％と比較して有意に高かった（$\chi 2 = 12.6$, $p < 0.001$）。平成24年度は身体的負担に関するハイリスク者割合はほぼ平成22年度同様のレベルまで戻っていた。仕事コントロールに関する項目は、岩手県男性労働者では震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表3は男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに地域別に示したものである。前述

した2点を同時に満たした項目は、沿岸地域では身体的負担と仕事コントロールの項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は13.4%で平成22年度の6.7%と比較して有意に高かった（χ^2 =15.0, p < 0.001）。平成24年度は改善していた。平成23年度の仕事コントロールに関するハイリスク者割合は12.7%で平成22年度の8.5%と比較して有意に高かった（χ^2 =5.77, p = 0.016）。

表4は、心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は9.2%、平成24年度は9.8%でいずれも平成22年度の7.6%と比較して有意に高かった（平成23年度： $\chi 2$ = 9.53, p = 0.002；平成24年度：$\chi 2$= 18.1, p <0.001）。不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表5は男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は、疲労・身体愁訴・上司サポートに関する項目である。疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度10.7%、平成24年度10.3%で平成22年度の5.3%と比較して有意に高かった（平成23年度： $\chi 2$ = 11.4, p <0.001；平成24年度：$\chi 2$= 10.1, p = 0.002）。身体愁訴に関するハイリスク者割合は平成23年度8.8%、平成24年度8.5%で平成22年度の5.3%と比較して有意に高かった（平成23年度： $\chi 2$ = 5.67, p = 0.017； 平成24年度：$\chi 2$= 4.71, p = 0.030）。平成23年度の上司サポートに関するハイリスク者割合は6.6%で、平成22年度の3.1%と比較して有意に高かった（$\chi 2$ = 7.13, p = 0.008）。内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、疲労に関する項目である。平成24年の疲労に関するハイリスク者割合は9.6%で平成22年度の7.8%と比較して有意に高かった（$\chi 2$ = 10.6, p = 0.001）。

表6は、女性労働者の職業性ストレス関連項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、下光らが提示した基準値を示した。前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担・身体的負担・仕事コントロールに関する項目であった。平成23年度の身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者割合は14.8%と8.4%で平成22年度の11.6%と6.5%と比較して有意に高かった（身体的負担： χ^2 = 14.5, p <0.001；仕事コントロール：χ^2= 8.06, p = 0.005）。これらの項目は平成24年度には改善していた。量的仕事負担に関すハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度で19.4%と高くなっており、平成22年度の11.9%と比較して有意に高かった（χ^2 = 70.5, p <0.001）。

表7は、女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担に関する項目である。量的仕事負担に関するハイリスク者割合は、平成23年度が15.9%、平成24年度が17.8%と平成22年度の8.8%と比較して比較して有意に高かった（平成23年度： χ^2 = 4.67, p = 0.030；平成24年度：χ^2= 7.15, p = 0.008）。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした

項目は、量的仕事負担、質的仕事負担、身体的負担に関する項目である。量的仕事負担と質的仕事負担に関すハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度でそれぞれ19.7%と14.0%と高くなっており、平成22年度の12.0%と10.4%と比較して有意に高かった（量的仕事負担：$\chi^2 = 68.0$, $p < 0.001$；質的仕事負担：$\chi^2 = 19.1$, $p < 0.001$）。平成23年度の身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者割合は13.4%と7.9%で平成22年度の10.5%、6.5%と比較して有意に高かったが（身体的負担：$\chi^2 = 11.1$, $p < 0.001$；仕事コントロール：$\chi^2 = 3.90$, $p = 0.048$）、平成24年度には改善していた。

表8は女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、下光らが提示した基準値を示した。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目である。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は14.9%、平成24年度は15.0%でいずれも平成22年度の10.5%と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 27.1$, $p < 0.001$；平成24年度：$\chi^2 = 30.9$, $p < 0.001$）。平成23年度の抑うつと身体愁訴に関するハイリスク者割合は12.3%と10.6%で平成22年度の9.5%と8.3%と比較して高かった。（抑うつ：$\chi^2 = 12.8$, $p < 0.001$；身体愁訴：$\chi^2 = 9.46$, $p = 0.002$）。これらの項目は平成24年度には改善していた。

表9女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。しかし、疲労の項目に関しては、ハイリスク者の割合が平成23年度16.4%であり、平成22年度の10.3%と比較して統計的有意差は得られなかったものの高い値を示していた（$\chi^2 = 3.37$, $p = 0.066$）。沿岸地域の平成23年度のハイリスク者割合は内陸のハイリスク者割合と比べても高いことを考慮すると、このハイリスク者割合は高くはなかったということを意味するのではなく、平成22年度の比較対象とした集団のサンプルサイズの小さいために、統計的パワーが足りなかったと解釈すべきであろう。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目である。平成23年の抑うつ、身体愁訴に関するハイリスク者割合は11.9%、10.7%で平成22年度の9.5%、7.9%と比較して有意に高かった（抑うつ：$\chi^2 = 7.95$, $p = 0.005$；身体愁訴：$\chi^2 = 11.9$, $p < 0.001$）。疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度14.1%、平成24年度15.2%で平成22年度の10.5%と比較して2年連続して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 16.5$, $p < 0.001$；平成24年度：$\chi^2 = 30.4$, $p < 0.001$）。

平成22年度以降の解析対象者を比較検討すると、職業性ストレス関連項目では震災後に男女ともに身体的負担と仕事負担に関するハイリスク者が増加し、男性では比較的若い世代で、女性では中年世代での増加が顕著であった。心理的反応・身体愁訴・周囲支援・満足度については、男女ともに震災後に疲労に関する項目でハイリスク者が有意に増加しており、男性では50歳未満の労働者で、女性では60歳未満の労働者で明確であった。女性の中年世代では、疲労のみならず、多項目に渡ってハイリスク者が震災後に増加していた。

地域別の検討では、職業性ストレスに関連

した仕事負担に関するハイリスク者は男女ともに沿岸地域でのみ震災後に増加していた。心理的反応項目に関しては、男性では沿岸地域で疲労・身体愁訴・上司サポートの3項目でハイリスク者が増加したのに対して内陸では疲労に関するハイリスク者が震災後に増加したのみにとどまった。女性では内陸地域で疲労・抑うつ・身体愁訴に関するハイリスク者が有意に増加したのに対して、沿岸地域では統計的有意差を持ってハイリスク者増加が観察されなかった。震災前の調査に女性労働者の参加が少なかったことが、見た目の割合の増加が大きいのにもかかわらず有意差が検出されなかった理由と考えられた。

平成22年から平成24年の調査結果を経年的に比較検討した結果、大震災が労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えていることが判明した。若い男性労働者では、もともと仕事負担に関してのハイリスク者が基準値より高い状態であったにも関わらず、震災により更にハイリスク者が増加していた。また震災によって中年女性労働者の職業性ストレスと心理的反応に関して多数の項目で更にハイリスク者が増加していた。岩手県では特に女性労働者で家族からの支援に関して不十分と考えているハイリスク者が多数存在しており、県全体では震災前後を通して高い割合のままで推移していた。沿岸地域の女性労働者では震災後に周囲からの支援に関してのハイリスク者割合が減少したが、基準値からみるとまだまだ高いレベルであった。

D. 考察

岩手県内労働者を対象に平成21年度から平成24年度まで継続して実施してきたメンタルヘルス状況調査によって収集された労働者のメンタルヘルスに関する情報を、労働者健康福祉機構平成25年度産業衛生調査研究事業を契機に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のストレス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に労働者属性の違いが存在するのかを検証することを目的にこの研究は企画され、そして実行された。

研究目的としては集められていない個人情報を第三者が研究目的で利用することに関しては、個人情報保護法ならびに文部科学省と厚生労働省の提示した疫学研究に関する倫理指針を忠実に守って研究を推進することが研究者に求められている。本研究で用いた労働者のメンタルヘルス調査データに関しては、調査内容が匿名化された集計結果として産業保健向上を目的とした学術研究等に使用されることがあることを通知しており、データを提供した全ての労働者から予め調査の前に同意を取得している。しかし、疫学研究に関する倫理指針に則って研究を進め、成果を公表するためには、研究目的、研究資金（公的あるいは民間）、研究手法、研究成果公表手段を文書によって明示し、これらの全てを、しかるべき倫理委員会で審議して承認を得ることが求められている。

倫理審査での承認を得るために、研究代表からは分担研究者と研究協力者に決して低くはないハードルを課して遵守することを求め、幸いにして分担研究者と研究協力者からの異議は出されずに研究はスムーズに進捗した。その結果、東日本大震災被災地域において、震災をはさんだ前後 4 年間分、計 51,284 件の労働者のメンタルヘルスデータセットが完成した。サンプル数が大きいのみならず、東日本

大震災の前後で多数の被災地労働者のデータを集めたことに本研究の大きな特色がある。

平成 21 年から平成 24 年までのデータを集計して、各年度ごとに調査概要を各分担研究者に報告してもらったが、単年度ごとの集計結果では、下光らの提示した基準値と違った、岩手県内労働者の特徴が明らかにされた。

まず、平成 21 年度調査に参加した労働者は、参加人数が 911 名と少なかったこともあるが、年度途中からの緊急的募集に応じた事業所のみが含まれたことから、メンタルヘルスに問題を抱えた労働者が多く含まれてしまった可能性がある。平成 22 年度以降の岩手県労働者と比べても得点は悪く、ハイリスク者割合が高かった。一方で、平成 22 年度以降は参加労働者数も多くなり、逸脱した値の割合が小さくなり、集団全体の標準化得点分布も概ね基準値に近い値をとっていた。

平成 22 年度以降のデータセットで単年度集計結果をみて気づくことは、震災前後を通じて職業性ストレス関連項目では、男性に於いて仕事コントロールに関してハイリスク者が一定して高い割合で存在していること、女性に於いては仕事負担に関してハイリスク者が一定して高い割合で存在していること、周囲支援の項目では、男女ともに家族からの支援に関してハイリスク者が一定して高い割合で存在していることである。職場環境に関しては、基準値と比較して概ね良好であった。以上のことから、岩手県内労働者の特徴として、特に家族からの支援が十分でないと感じる労働者が多くいること、そして、この傾向は女性中年労働者で強いことが判明した。職場の中で責任を持って働きながら、家庭での育児家事に追われ、十分な精神的余裕を持つことが出来ない女性労働者が岩手県で多いことが示唆される。

震災前の平成 22 年度のデータと比較して、震災のあった平成 23 年度と震災から 1 年以上経過した平成 24 年度のデータには注目すべき結果が得られた。男女ともに震災のあった平成 23 年度では、仕事による身体的負担に関するハイリスク者が有意に増加し、平成 24 年度には改善していた。女性では、震災後 1 年以上経過した平成 24 年度に、量的仕事負担と質的仕事負担に関するハイリスク者が有意に増加していた。男女ともに、ハイリスク者割合は沿岸地域で震災後に大きく増加していたが、統計的有意差検定では、沿岸女性労働者の参加者が少ないこともあって有意差には届かなかった。しかし、職業性ストレス関連項目全体を見た結果として、東日本大震災によって、岩手県内労働者の職業性ストレス関連項目は悪化したと結論付けられるであろう。

心理的反応項目に関しては、男女ともに震災後に疲労に関するハイリスク者が有意に増加していた。そして、疲労に関するハイリスク者割合は平成 24 年度も高いままで推移していた。そのほかの項目では、男女ともに震災前後を通じて抑うつに関するハイリスク者がもともと高い水準にあったのが、有意差は観察されなかったものの、更に高くなったことが観察された。身体愁訴、周囲支援に関するハイリスク者割合も震災前後を通じて高いままで推移し、一部の集団では震災後に有意に増加していた。心理的反応項目、身体愁訴、周囲支援に関してまとめると、男女ともに震災によって疲労のハイリスク者が有意に増加し、抑うつ、身体愁訴、周囲支援に関しては震災前後を通じてハイリスク者多い状況が観察された、と結論づけられる。

サブ解析では、男女ともに若い世代でハイリスク者割合が高く、女性では中年世代もハイリ

スク者割合が高い傾向にあった。業種では製造業に従事する労働者で男女ともに得点が悪く、ハイリスク者が多かった。震災影響は、若い世代から中年世代で大きく悪影響を与え、製造業従事労働者で影響が大きかった。内陸地域と沿岸地域の比較では、ハイリスク者割合の絶対値は沿岸地域で震災後により大きく増加していたが、統計的有意差検定では、沿岸地域女性労働者の参加者が少ないこともあり、有意差に届かなかった項目が複数認められた。尚、沿岸地域女性労働者に於いては、震災前に認められた周囲からの支援に関してのハイリスク者の高い割合が、震災後には基準値比較すると高いレベルにはあるものの幾分低下した。

今回の研究では、岩手県全域の事業所を対象にメンタルヘルス調査を多数の参加者を得て実施し、しかも震災前後で比較することで、大震災が労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えていることが判明した。若い男性労働者では、もともと仕事負担に関してのハイリスク者が基準値より高い状態であったにも関わらず、震災により更にハイリスク者が増加していた。また震災によって中年女性労働者の職業性ストレスと心理的反応に関して多数の項目で更にハイリスク者が増加していた。岩手県では特に女性労働者で家族からの支援に関して不十分と考えているハイリスク者が多数存在しており、県全体では震災前後を通して高い割合のままで推移していた。

E. 結論

本研究事業では、労働者健康福祉機構研究事業を契機に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のストレス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に労働者属性の違いが存在するのかを検証した。

本研究の対象者は、平成21年度から平成24年度まで岩手県内事業所を対象に実施された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に参加した労働者であり、平成21年度解析対象者は、男性637名（平均年齢41.1歳）、女性は274名（平均年齢39.4歳）、平成22年度解析対象者は、男性は4,306名（平均年齢42.5歳）、女性は2,336名（平均年齢42.5歳）、平成23年度解析対象者は、男性は10,975名（平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（平均年齢41.2歳）、平成24年度解析対象者は、男性は15,769名（平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（平均年齢43.7歳）で、重複例をカウントした総解析対象件数は、51,284件であった。

解析結果以下のことが判明した。

1. 男女ともに震災のあった平成 23 年度では、仕事による身体的負担が多いと感じるハイリスク者が有意に増加し、平成 24 年度には改善していた。
2. 女性では、平成 24 年度に、量的仕事負担と質的仕事負担に関するハイリスク者が有意に増加していた。
3. 男女ともに、身体的負担に関するハイリスク者割合は沿岸地域で震災後に大きく増加していたが、沿岸女性労働者の参加者が少ないこともあって有意差には届かなかった。
4. 心理的反応項目に関しては、男女ともに震災後に疲労に関するハイリスク者が有意に増加し、平成 24 年度も高いままで推移していた。
5. 男女ともに震災前後を通じて抑うつに関するハイリスク者が高い水準にあり、一部の集団では震災後に更に高くなった
6. 身体愁訴、周囲支援に関するハイリスク者

割合も震災前後を通じて高いままで推移し、一部の集団では震災後に有意に増加していた。

7. 男女ともに若い世代でメンタルヘルスハイリスク者割合が高く、女性では中年世代もハイリスク者割合が高い傾向にあった。震災影響は、若い世代から中年世代で大きく悪影響を与えていた。

8. 製造業に従事する労働者で男女ともに得点が悪く、ハイリスク者が多かった。製造業従事労働者では震災影響が大きかった。

9. 内陸と沿岸の比較では、ハイリスク者割合の絶対値は沿岸地区で震災後により大きく増加していたが、統計的有意差検定では、沿岸地域女性労働者の参加者が少ないこともあり、有意差に届かなかった

10. 沿岸地域女性労働者に於いては、支援に関してのハイリスク者割合が震災前に非常に高かったが、震災後には幾分低下した。

東日本大震災発生後の岩手県では、労働者のメンタルヘルス状況が悪化しており、職業性ストレス関連項目では、仕事の負担と身体的負担に関するハイリスク労働者が増加したことが示唆された。心理的反応項目では、疲労に関するハイリスク労働者が増えたことが示唆された。津波被害の大きかった沿岸地域でより影響が大きいことが判明した。今回の解析結果をわかりやすく周知活動に用いて、大震災に見舞われてメンタルヘルスに関して不良な状態に陥っている労働者がいることを広く知ってもらうことが重要である。そして、今回の解析結果から、特にハイリスク者割合が高かった集団に対して、メンタルヘルス改善のための対策を具体的に企画実施することが望まれる。

最後に、本報告書に当初の目的に適った成果と具体的な進捗状況の報告をすることができ、研究代表者としてたいへん嬉しい限りである。関係した諸機関、先生方、担当者の皆様に改めて御礼申し上げる。また、平成 23 年 3 月 11 日におきた大震災の甚大な被害をこうむられた方々には深い哀悼の意を差し向けたい。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

平成26年4月時点で投稿準備中

2.学会発表

1. 黒澤美枝、大澤正樹 “東日本大震災後の労働者のメンタルヘルス” 第 13 回日本トラウマティック・ストレス学会 平成 26 年 5 月 17 日 コラッセ福島

2. 大澤正樹、黒澤美枝、坂下史絵、小野田敏行、関向和明、阿部千恵子、青木慎一郎 “東日本大震災被災地域における男性労働者の震災前後でのメンタルヘルス状況変化” 第 84 回日本衛生学会 平成 26 年 5 月 27 日

3. (演題応募中)M. Kurosawa; M. Ohsawa; S. Sakashita; S. Aoki ″Changes in job stressors and psychological distress among workers in Iwate Prefecture after the Great East Japan Earthquake and Tsunami″ THE PACIFIC RIM COLLEGE OF PSYCHIATRISTS SCIENTIFIC MEETING (PRCP) 2014 Oct 5-7 2014 Vancouver, BC Canada

知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1. 平成21～24年度までにメンタルヘルス調査に参加した事業所内訳

	業種	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	19公務		1162	3818	3913
2	19公務		1	28	107
3	9卸業、小売業				1581
4	7情報通信業		289	40	283
5	7情報通信業		15	12	14
6	12学術研究、専門		244	286	285
7	5製造業		163		
8	20その他				
9	5製造業	541	567		
10	6電気・ガス・熱供給・水道業		127	232	228
11	17複合サービス事業	256	437	434	410
12	17複合サービス事業		1240	1195	1263
13	19公務		1016	1000	967
14	9卸業、小売業		748		880
15	7情報通信業		360		
16	12教育、学習支援業			2557	11767
17	5製造業			121	
18	7情報通信業	114		122	
19	19公務			37	120
20	5製造業			633	
21	19公務				
22	9卸業、小売業		273	344	
23	20その他			20	
24	16医療、福祉			61	68
25	5製造業			79	
26	20その他			35	
27	10金融業、保険業			127	
28	19公務			140	138
29	10金融業、保険業			152	
30	5製造業				53
31	5製造業				45
32	5製造業				93
33	5製造業				246
34	5製造業				91
35	5製造業				14
36	5製造業				258
37	5製造業				97
38	5製造業				66
39	19公務				679
40	19公務				150
41	19公務				98
42	20その他				83
43	16医療、福祉				125
44	17複合サービス事業			192	848
45	5製造業				149
46	5製造業				46
47	16医療、福祉				107
48	9卸業、小売業				290
49	緊急健康診断事業(その他)			5488	
50	20その他			594	323
51	20その他				99
		911	6642	17747	25984

図1　研究対象地域：
岩手県内陸地域と沿岸地域の分類

表2. 平成22-24年度岩手県メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		仕事コントロール	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	7.10	(1.80)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		4.7%	
H22 (n=4,306)	平均値（標準偏差）	6.61	(1.80)	6.50	(1.81)	2.40	(0.98)	7.41	(1.91)
	ハイリスク者（%）	270	(6.3%)	199	(4.6%)	404	(9.4%)	480	(11.2%)
H23 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.07)	6.60	(1.83)	2.81	(0.98)	7.19	(1.86)
	ハイリスク者（%）	785	(7.2%)	514	(4.7%)	1249	(11.4%)	1173	(11.0%)
H24 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.43	(2.05)	6.46	(1.79)	2.82	(0.92)	7.15	(1.77)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	862	(5.5%)	1443	(9.2%)	1463	(9.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表3. 平成22-24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		仕事コントロール	
沿岸地区									
H22 (n=433)	平均値（標準偏差）	6.75	(1.96)	6.61	(1.80)	2.94	(0.87)	7.01	(1.80)
	ハイリスク者（%）	24	(5.5%)	22	(5.1%)	29	(6.7%)	37	(8.5%)
H23 (n=2,991)	平均値（標準偏差）	6.51	(2.07)	6.53	(1.88)	2.63	(0.95)	7.25	(1.91)
	ハイリスク者（%）	245	(8.2%)	154	(5.1%)	402	(13.4%)	371	(12.7%)
H24 (n=3616)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.02)	6.45	(1.77)	2.83	(0.88)	7.12	(1.74)
	ハイリスク者（%）	344	(9.5%)	193	(5.3%)	281	(7.8%)	317	(8.8%)
内陸地区									
H22 (n=3,824)	平均値（標準偏差）	6.82	(2.01)	6.68	(1.81)	2.90	(0.95)	7.22	(1.87)
	ハイリスク者（%）	243	(6.3%)	175	(4.6%)	362	(9.4%)	439	(11.5%)
H23 (n=7,967)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.06)	6.62	(1.82)	2.88	(0.98)	7.17	(1.84)
	ハイリスク者（%）	540	(6.8%)	360	(4.5%)	846	(10.6%)	800	(10.4%)
H24 (n=12,124)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.06)	6.46	(1.80)	2.82	(0.93)	7.16	(1.77)
	ハイリスク者（%）	1143	(9.4%)	669	(5.5%)	1160	(9.6%)	1146	(9.5%)

表4. 平成22-24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況）

		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		家族サポート	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	5.00	(1.90)
	ハイリスク者（%）	8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		6.4%	
H22 (n=4,306)	平均値（標準偏差）	6.62	(2.26)	6.17	(2.30)	10.3	(3.85)	17.7	(5.49)	5.20	(2.13)
	ハイリスク者（%）	325	(7.6%)	282	(6.6%)	364	(8.5%)	349	(8.2%)	365	(8.6%)
H23 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.20	(2.35)	5.93	(2.17)	10.04	(3.72)	17.81	(5.11)	5.33	(2.04)
	ハイリスク者（%）	1006	(9.2%)	696	(6.4%)	983	(9.0%)	925	(8.5%)	963	(9.2%)
H24 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.24	(2.37)	5.96	(2.18)	9.82	(3.68)	17.85	(5.09)	5.26	(2.03)
	ハイリスク者（%）	1535	(9.8%)	1059	(6.7%)	1345	(8.6%)	1296	(8.3%)	1363	(8.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成22-24年度岩手県メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況）ー男性労働者

地域別		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		家族サポート	
沿岸地区													
H22 (n=433)	平均値（標準偏差）	5.98	(2.17)	6.05	(2.04)	9.99	(3.59)	17.17	(4.72)	7.06	(1.96)	5.36	(2.01)
	ハイリスク者（%）	23	(5.3%)	24	(5.5%)	33	(7.6%)	23	(5.3%)	13	(3.1%)	36	(8.5%)
H23 (n=2,991)	平均値（標準偏差）	6.40	(2.37)	6.04	(2.20)	10.32	(3.82)	17.95	(5.17)	7.38	(2.09)	5.20	(2.01)
	ハイリスク者（%）	319	(10.7%)	212	(7.1%)	306	(10.3%)	261	(8.8%)	188	(6.6%)	231	(8.1%)
H24 (n=3,616)	平均値（標準偏差）	6.29	(2.36)	5.96	(2.17)	9.94	(3.72)	17.83	(5.13)	7.21	(2.07)	5.23	(2.05)
	ハイリスク者（%）	372	(10.3%)	238	(6.6%)	330	(9.2%)	304	(8.5%)	169	(4.7%)	327	(9.1%)
内陸地区													
H22 (n=3,824)	平均値（標準偏差）	6.03	(2.30)	5.89	(2.16)	9.79	(3.75)	17.74	(5.09)	7.44	(2.06)	5.31	(2.04)
	ハイリスク者（%）	298	(7.8%)	254	(6.7%)	327	(8.6%)	321	(8.5%)	240	(6.4%)	325	(8.7%)
H23 (n=7,967)	平均値（標準偏差）	6.12	(2.33)	5.88	(2.16)	9.94	(3.68)	17.76	(5.09)	7.41	(2.04)	5.38	(2.05)
	ハイリスク者（%）	687	(8.7%)	484	(6.1%)	677	(8.5%)	661	(8.4%)	454	(6.0%)	729	(9.6%)
H24 (n=12,124)	平均値（標準偏差）	6.23	(2.38)	5.96	(2.19)	9.79	(3.67)	17.85	(5.08)	7.22	(2.05)	5.26	(2.03)
	ハイリスク者（%）	1162	(9.6%)	820	(6.8%)	1014	(8.4%)	991	(8.2%)	598	(5.0%)	1033	(8.6%)

表6. 平成22-24年度岩手県メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		仕事コントロール	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	7.10	(2.10)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		6.4%	
H22 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.15)	6.91	(2.00)	2.87	(1.00)	7.48	(1.87)
	ハイリスク者（%）	279	(11.9%)	258	(11.0%)	271	(11.6%)	149	(6.5%)
H23 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.12)	6.79	(1.99)	2.67	(1.01)	7.52	(1.97)
	ハイリスク者（%）	906	(13.4%)	803	(11.9%)	1002	(14.8%)	534	(8.4%)
H24 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.08)	6.51	(1.86)	2.70	(0.93)	7.27	(1.76)
	ハイリスク者（%）	1978	(19.4%)	1421	(13.9%)	1080	(10.6%)	481	(4.7%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成22-24年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		仕事コントロール	
沿岸地区									
H22 (n=147)	平均値（標準偏差）	7.33	(2.24)	6.60	(2.11)	2.86	(1.01)	7.29	(1.96)
	ハイリスク者（%）	13	(8.8%)	27	(18.4%)	19	(12.9%)	9	(6.2%)
H23 (n=2,268)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.01)	6.56	(1.89)	2.45	(0.97)	7.52	(2.02)
	ハイリスク者（%）	360	(15.9%)	297	(13.1%)	398	(17.6%)	198	(9.2%)
H24 (n=1,928)	平均値（標準偏差）	6.38	(2.00)	6.50	(1.77)	2.76	(0.89)	7.15	(1.69)
	ハイリスク者（%）	344	(17.8%)	258	(13.4%)	154	(8.0%)	66	(3.4%)
内陸地区									
H22 (n=2,108)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.14)	6.94	(1.99)	2.91	(0.99)	7.50	(1.86)
	ハイリスク者（%）	252	(12.0%)	219	(10.4%)	221	(10.5%)	135	(6.5%)
H23 (n=4,498)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.15)	6.91	(2.02)	2.77	(1.02)	7.53	(1.94)
	ハイリスク者（%）	546	(12.1%)	506	(11.3%)	604	(13.4%)	336	(7.9%)
H24 (n=8,279)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.10)	6.52	(1.88)	2.68	(0.94)	7.30	(1.77)
	ハイリスク者（%）	1634	(19.7%)	1162	(14.0%)	925	(11.2%)	415	(5.0%)

表8. 平成22-24年度メンタルヘルス調査 女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況）

	年度別	疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		家族サポート	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	4.60	(1.80)
	ハイリスク者（%）	10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.3%	
H22 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	6.24	(2.41)	5.75	(2.29)	9.86	(3.81)	18.96	(5.24)	7.98	(2.06)	4.93	(2.00)
	ハイリスク者（%）	243	(10.5%)	172	(7.5%)	218	(9.5%)	190	(8.3%)	222	(9.9%)	284	(12.5%)
H23 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.47)	6.05	(2.36)	10.57	(3.92)	19.39	(5.33)	7.95	(2.14)	4.97	(1.98)
	ハイリスク者（%）	1001	(14.9%)	639	(9.5%)	825	(12.3%)	705	(10.6%)	684	(10.9%)	772	(12.3%)
H24 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.79	(2.49)	5.97	(2.26)	10.03	(3.73)	19.15	(5.07)	7.58	(2.05)	4.95	(1.97)
	ハイリスク者（%）	1528	(15.0%)	857	(8.4%)	954	(9.4%)	909	(9.0%)	660	(6.5%)	1211	(12.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表9. 平成21-24年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

年度別		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		家族サポート	
沿岸地区													
H22 (n=147)	平均値(標準偏差)	6.21	(2.47)	5.77	(2.24)	9.88	(4.00)	19.09	(5.55)	7.75	(2.36)	5.19	(2.21)
	ハイリスク者（%）	15	(10.3%)	11	(7.5%)	15	(10.4%)	18	(12.4%)	20	(13.9%)	26	(17.9%)
H23 (n=2,268)	平均値(標準偏差)	6.97	(2.49)	6.22	(2.35)	10.80	(3.93)	19.35	(5.36)	7.92	(2.15)	4.83	(1.93)
	ハイリスク者（%）	369	(16.4%)	237	(10.5%)	294	(13.1%)	232	(10.4%)	233	(11.1%)	217	(10.3%)
H24 (n=1,928)	平均値(標準偏差)	6.78	(2.44)	5.98	(2.24)	10.04	(3.72)	19.07	(5.10)	7.40	(2.12)	4.88	(1.97)
	ハイリスク者（%）	272	(14.2%)	159	(8.3%)	180	(9.4%)	169	(8.9%)	114	(6.0%)	230	(12.1%)
内陸地区													
H22 (n=2108)	平均値(標準偏差)	6.21	(2.40)	5.74	(2.28)	9.86	(3.80)	18.92	(5.23)	7.99	(2.04)	4.91	(1.98)
	ハイリスク者（%）	218	(10.5%)	151	(7.3%)	197	(9.5%)	163	(7.9%)	197	(9.7%)	247	(12.1%)
H23 (n=4,498)	平均値(標準偏差)	6.67	(2.46)	5.97	(2.36)	10.46	(3.91)	19.42	(5.31)	7.98	(2.13)	5.04	(2.00)
	ハイリスク者（%）	632	(14.1%)	402	(9.0%)	531	(11.9%)	473	(10.7%)	451	(10.9%)	554	(13.4%)
H24 (n=8,279)	平均値(標準偏差)	6.79	(2.50)	5.96	(2.27)	10.04	(3.73)	19.17	(5.06)	7.62	(2.04)	4.97	(1.97)
	ハイリスク者（%）	1255	(15.2%)	698	(8.5%)	774	(9.4%)	739	(9.0%)	546	(6.7%)	980	(12.1%)

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 1

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査:研究企画設立までの経緯

坂下　史絵（岩手産業保健総合支援センター）
阿部　千恵子（岩手県予防医学協会）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

本稿では、平成25年度産業保健調査研究の題材となった、岩手県内事業場におけるメンタルヘルス事業の設立経緯と、その後の事業進捗状況について記述した。上記事業は平成 21 年から平成 24 年にかけて実施されたが、「自殺対策加速化プラン」に基づいて予算化された地域自殺対策緊急強化基金の設立が事業設立実施の契機となった。さらに平成 23 年には「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」に基づいて予算化された緊急健康診断事業が行われ、この緊急健診事業でも 5488 名の参加者が得られた。岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査は、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」を用いて調査を行われ、総数 51,284 件（複数回受診者を含む）のメンタルヘルスに関するデータが集められた。平成 21 年から平成 24 年の年度別参加事業所数をみると平成 21 年は 3、平成 22 年は 14、平成 23 年は 25（緊急健康診断事業に参加した従業員 300 未満の企業 240 事業所を除く）、平成 24 年は 36 企業であった。業種別に見ると、平成 21 年は製造業 1 社、情報通信業 1 社、複合サービス業 1 社であり、平成 22 年度には製造業 2 社、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 社、卸小売業 2 社、学術研究部門 1 企業、複合サービス 2 社、公務員 3 事業所であった。平成 23 年度は製造業 3 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 事業所、卸小売業 1 事業所、金融保険業 2 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 1 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 5 事業所、その他 4 事業所が参加し、参加者総数は 17,747 名であった。平成 24 年度は製造業 11 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 2 事業所、卸小売業 3 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 3 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 8 事業所、その他 3 事業所が参加し、参加者総数は 25,984 名であった。

本研究データは平成 23 年の東日本大震災をはさんで 4 年間にわたって集められたものであり、奇しくも、大震災が労働者のメンタルヘルスに与える影響を知ることのできる貴重な資料となっている。今回の平成 25 年度産業保健調査研究を契機にデータセットの一元化を図り、震災によって労働者のメンタルヘルスがどのように変化したのかを調査研究することがたいへん意義深いものと思われる。東日本大震災が岩手県内労働者のメンタルヘルスにどのような影響を与えたのかが本研究によって明らかにされることが期待される。

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査実施経緯

平成10年に日本の自殺者数が年間3万人を超えてから自殺者数は高いまま推移し、参議院の超党派議員で構成された「自殺防止対策を考える議員有志の会」による議員立法として提出された、自殺対策基本法は平成18年6月8日参議院内閣委員会で可決され、同6月15日に衆議院本会議で可決されて成立した。平成18年6月21日に公布、同年10月28日に施行された。平成18年10月1日には国立精神・神経センター精神保健研究所（当時）に自殺対策推進室が設置され、平成19年4月1日に内閣府に自殺対策推進室が設置された。さらに、平成19年6月8日には「自殺総合対策の大綱」が閣議決定された。この内容は、内閣府に特別の機関として自殺総合対策会議（会長・内閣官房長官）を設置し、自殺対策の指針である基本的かつ総合的な自殺対策の大綱の作成、関係行政機関相互の調整や自殺対策に関する重要事項について審議し、自殺対策の推進を図るというものである。

平成20年10月31日に行われた自殺対策総合会議では「自殺対策加速化プラン」が決定された。内閣府はこれを受けて平成21年度補正予算において100億円の予算を計上して「地域における自殺対策力」を強化するために都道府県に「地域自殺対策緊急強化基金」造成した。この基金は各都道府県の人口や自殺者数等に基づいて配分され、基金事業の実施は5つのモデル事業の中から地域の実情を踏まえて実施している。

予算の実績をみると、平成21年は13億3千万、平成22年は37億8千万予算化されている。民間団体にも補助金が交付され、平成21年度は総額1億4600万円、平成22年度は4億5200万円が交付された。尚、平成22年10月に閣議決定された円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策にも自殺予防に関係する予算「住民生活に光をそそぐ交付金」1000億円の予算が計上されて地域自殺対策緊急強化基金増額に用いられた。

上記の流れを踏まえて岩手県予防医学協会は、平成21年7月22日に岩手県に対して地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、平成21年10月に岩手県から交付金助成通知を受け取った。交付申請内容は、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を実施するというものである。メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。メンタルヘルスチェックシートは、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に4関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている（資料1）。

全衛連が行うメンタルヘルスサービスの内容は、

1）ストレスチェックを実施
2）受診者に対する結果報告及び必要な事後指導の実施
3）長時間労働者に対する医師の面接指導も併せて実施
4）職場評価結果票の提供
5）教育研修、職場改善指導等の実施

の5項目からなっている。

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査実施推移

平成21年10月に地域自殺対策緊急強化基金からの交付を受けて、岩手県予防医学協会では県内企業に対して周知活動を図り（資料2）、申請のあった企業を対象として事業場におけるメンタルヘルス調査を実施した。平成21年度は年度途中からの開始にもかかわらず、総数2,503人の参加者が得られた。全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してのメンタルヘルス調査では、記入されたチェックシートをOCRで読み上げ、各個人毎に得点の集計を実施するとともに、下光輝一らが開発した標準化得点法に基づいて個人結果表の作成を行っている。岩手県予防医学協会では、全衛連のメンタルヘルスチェックサービスを利用して、個人ごとのストレスプロフィール結果作成に1個人あたり600円の料金体系で対応している。岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査参加者各個人の結果表作成代金として、地域自殺対策緊急強化基金からの交付を充てた。平成21年度は、2,503人に対して全額で150万円の交付資金をこれに充てた。

平成22年度も地域自殺対策緊急強化基金からの交付を受けて、申請のあった企業を対象として事業場におけるメンタルヘルス調査を実施した。平成22年度は、前年度実施した企業への交付金充当は行わず、初めて参加した企業にのみ交付金充当を先着順で実施した。総数6,645人が参加し、全参加者の内、50.9%に交付金が用いられ、交付金支出は203万円であった。

平成23年度は3月11日に東日本大震災発災があり、第177回通常国会において「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」として第一次補正予算案として10億円余を計上した。緊急健康診断事業は一般競争入札の結果全国労働衛生団体連合会（全衛連）に業務の委託が決定され、全衛連は被災3県（岩手、宮城、福島）で10億の資金を使って、各県の健診機関に協力を仰いで緊急健康診断事業を実施した。緊急健康診断事業の対象とされたのは、被災県において、従業員が300人未満の中小事業場労働者であり、健診代金は全額無料である。緊急健康診断事業対象企業は、原則として申し込み順で組み入れられたが、可能な限り地震や津波などの直接的被害や震災により経営環境が激変した企業を優先することが求められた。緊急健康診断事業では、通常の特定健診事業に加えてストレスによる健康影響の調査が加えられており、震災に関連したアンケート調査と全衛連のストレスチェックシートの二つの調査がその内容である。後者は希望者のみ実施した。

岩手県では、従業員300人未満の中小企業64,014事業所403,135人（平成21年調査）中、1,941事業所（3.0%）、31,757人（7.9%）が緊急健康診断事業に参加した。この中でメンタルヘルスチェックシートによるメンタルヘルス調査参加者は5,488人であった。緊急健康診断事業対象企業ではなかった企業では17,747人が参加し、初回参加企業には地域自殺対策緊急強化基金からの交付金を充てたが、初回参加企業の調査参加者数は2,391人にとどまり、交付金使用額は143万6000円であった。

平成24年度も地域自殺対策緊急強化基金からの交付を受けて、事業場におけるメンタルヘルス調査を実施した。参加者総数は25,984人であり、初参加企業は19社（5,067人）存在した。200万円余の交付金は申し込み順で初回参加企業の参加者個人の結果表作成代金に充てた。

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査実施結果

表 1 はストレスチェックの事業場ごとの件数を示したものである。前述したように、一人当たり 600 円の地域自殺対策緊急強化基金からの交付は、事業に始めて参加した企業のみを対象としたことから、事業に参加した 48 企業をみると、多くが 1 回のみの参加であり、複数回参加した企業は、13 企業（27%）であった。平成 21 年から平成 24 年の年度別参加企業数をみると平成 21 年は 3、平成 22 年は 14、平成 23 年は 25（緊急健康診断事業に参加した従業員 300 未満の企業 240 事業所を除く）、平成 24 年は 36 企業であった。

業種別に見ると、平成 21 年は製造業 1 社、情報通信業 1 社、複合サービス業 1 社であり、平成 22 年度には製造業 2 社、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 社、卸小売業 2 社、学術研究部門 1 企業、複合サービス 2 社、公務員 3 事業所であった。平成 23 年度は震災発災年であり、緊急健康診断事業に参加した主に JA 関連 240 事業所の参加があった。地域自殺対策緊急強化基金からの交付を受けて参加した 10 事業所と自己負担で参加した 15 企業合わせて 25 事業所が参加し、参加者総数は 17,747 名と前年の 2.7 倍の参加者が得られた。業種内容を見ると、製造業 3 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 3 事業所、卸小売業 1 事業所、金融保険業 2 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 1 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 5 事業所、その他 4 事業所であった。平成 24 年度は地域自殺対策緊急強化基金からの交付を受けて参加した 8 事業所と自己負担で参加した 28 企業合わせて 36 事業所が参加し、参加者総数は 25,984 名と更に増加して前年の 1.5 倍の参加者が得られた。業種内容を見ると、製造業 11 事業所、電気ガス熱供給水道事業 1 社、情報通信業 2 事業所、卸小売業 3 事業所、学術研究部門 1 企業、教育学習支援 1 事業所、医療福祉 3 事業所、複合サービス業 3 事業所、公務 8 事業所、その他 3 事業所であった。

総括

本稿では、平成 25 年度産業保健調査研究の題材となった、岩手県内事業場におけるメンタルヘルス事業の設立経緯と、その後の事業進捗状況について記述した。「自殺対策加速化プラン」に基づいて予算化された地域自殺対策緊急強化基金ならびに「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」に基づいて予算化された緊急健康診断事業の交付金を使って、岩手県内労働者のメンタルヘルス状況を、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」を用いて調査を行い、総数 50000 件（複数回受診者を含む）のメンタルヘルスに関するデータが集められた。このデータは平成 23 年の東日本大震災をはさんで 4 年間にわたって集められたものであり、奇しくも、大震災が労働者のメンタルヘルスに与える影響を知ることのできる貴重な資料となっている。今回の平成 25 年度産業保健調査研究を契機にデータセットの一元化を図り、震災によって労働者のメンタルヘルスがどのように変化したのかを調査研究することがたいへん意義深いものと思われる。平成 25 年度産業保健調査研究によって、東日本大震災が岩手県内労働者のメンタルヘルスにどのような影響を与えたのかが本研究によって明らかにされることが期待される。

最後に、関係した緒機関、調査にご協力い

ただいた岩手県内労働者に心から感謝を申しあげるとともに、震災の犠牲者とその家族、震災によって大きなダメージを受けた被災地域の事業場と労働者に心から哀悼の意を述べたい。

健康危険情報

特になし

研究発表

1.論文発表

特になし

2.学会発表

特になし

知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1．平成21～24年度までにメンタルヘルス調査に参加した事業所内訳

	業種	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	19公務		1162	3818	39138
2	19公務		1	28	107
3	9卸業、小売業				1581
4	7情報通信業		289	40	2538
5	7情報通信業		15	12	148
6	12学術研究、専門		244	286	2859
7	5製造業		163		
8	20その他				
9	5製造業	541	567		
10	6電気・ガス・熱供給・水道業		127	232	2268
11	17複合サービス事業	256	437	434	4108
12	17複合サービス事業		1240	1195	12638
13	19公務		1016	1000	9867
14	9卸業、小売業		746		6508
15	7情報通信業		360		
16	12教育、学習支援業			2557	11767
17	5製造業			121	
18	7情報通信業	114		122	
19	19公務			37	1208
20	5製造業			633	
21	19公務				
22	9卸業、小売業		273	344	
23	20その他			20	
24	16医療、福祉			61	608
25	5製造業			79	
26	20その他			35	
27	10金融業、保険業			127	
28	19公務			140	1368
29	10金融業、保険業			152	
30	5製造業				538
31	5製造業				458
32	5製造業				938
33	5製造業				2468
34	5製造業				91
35	5製造業				148
36	5製造業				2568
37	5製造業				97
38	5製造業				668
39	19公務				6798
40	19公務				1508
41	19公務				968
42	20その他				838
43	16医療、福祉				1258
44	17複合サービス事業			192	8468
45	5製造業				1468
46	5製造業				468
47	16医療、福祉				107
48	9卸業、小売業				2908
49	緊急健康診断事業(その他)			5468	
50	20その他			394	3238
51	20その他				968
		511	6642	17747	259868

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 2
平成 25 年度産業保健調査研究企画立案経緯

大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

本稿では、平成 25 年度産業保健調査研究企画立案までの経緯を記述するとともに、独立行政法人労働者健康福祉機構からの課題申請受理を受けて、労働者健康福祉機構とは別に岩手医科大学での倫理審査を行って倫理性に問題がないと判断されたこと、研究とは関係なく企画された、岩手県内事業場におけるメンタルヘルス事業によって集められた労働者の個人情報を第三者の研究者が研究目的で扱う場合によって生じる様々な事態を未然に防ぐための個人情報管理体制の確立のために、研究者主導で厳しい管理体制を自らに課した経緯を記述した。

具体的には、平成 25 年度研究期間内に開催した班会議では、研究者が全員集まって研究企画内容を確認するとともに、個人情報を扱うことに関して高い倫理性を維持するために以下の対応をとった。

1）労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず、研究代表者の所属する岩手医科大学医学部倫理委員会に倫理申請を行い、研究目的ならびに研究内容に倫理的問題がないことを審議した上で正式に承認された

2）匿名化データセットの保有権限を岩手産業保健推進センターに限定して持たせるために、岩手産業保健推進センターは、匿名化データセットを本研究事業で活用することデータ使用は本研究事業の主任研究者分担研究者研究協力者に限定することを謳った覚書を岩手県予防医学協会と取り交わしてデータセットを入手した。

3）研究者はデータセット使用について本研究事業以外への研究データの利用を一切行わないことをデータセット保有者である岩手産業保健推進センターに誓約書に署名して提出した上でデータセットを受け取った。

4）本研究事業を実施する研究者は、利益相反に関する書類を岩手産業保健推進センターに提出することを全員に義務付けた。

本研究に参加した研究者は、労働者の個人情報を大切に取り扱うとともに、産業保健調査を根拠に集められた貴重なメンタルヘルスに関する情報を、研究者の専門性を遺憾なく発揮して労働衛生行政に資する調査内容を本報告書で報告する。

平成 25 年度産業保健調査研究企画立案までの経緯

平成 24 年 12 月 21 日に岩手産業保健推進センター平成24年度第2回相談員会議が開催された。会議席上で岩手産業保健推進センター事務局から、独立行政法人労働者健康福祉機構平成 25 年度産業保健調査研究助成についての通知があった。この議題に対して坂下相談員から「平成 21 年度から実施してきた岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査を利用して、本研究事業の課題申請をしてはどうか」との提案が行われた。尚、坂下相談員の提案に関して、事務局側から坂下研究代表として課題申請をする方向で前向きに進めることはできないかとの提案があり、大澤相談員から、研究代表者を坂下相談員として研究計画の作成、研究申請書の作成を大澤が手伝うことができれば応援する旨の意見提案があった。尚、研究申請書提出期限は平成 25 年 1 月 21 日であり、平成 24 年 12 月中に予防医学協会での課題提出に関する検討を行ってもらうこととして会議は閉幕した。会議後事務局が介在して坂下相談員と大澤相談員の相談がもたれ、予防医学協会での内諾が取れた後に坂下相談員が上記事業の概要を大澤に提示して研究計画書を作成する方針となった。

平成 25 年 1 月 18 日に予防医学協会から内諾が得られたとの通知が岩手産業保健推進センターにあり、これを受けて大澤相談員から坂下相談員に対して岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に関する概要に関する資料を送付するよう依頼した。1 月 21 日には坂下相談員から資料を受け取り、大澤相談員は、同日中に送られてきた坂下相談員の資料を基に研究計画書書式に研究計画書案を同日中に書き上げて研究者と岩手産業保健推進センターに送付した。翌日 1 月 22 日には大澤相談員と事務局川村業務課長とが相談し、岩手労働局に行政側からの意見の記入をしてもらう方針を確認。その後坂下相談員から研究代表者を辞退する申し出が提出され、研究代表者を大澤に変更して 1 月 24 日に研究計画書を提出した。

平成 25 年度産業保健調査研究採択に伴う諸手続きと研究実施・成果公表までの経緯

平成 25 年 3 月 29 日付け労健福発第 423 号通知により条件付採用課題として研究計画書の一部修正提出が求められた。4 月 10 日には修正研究計画書を送付し、正式に採択されたとの通知を受けた。採択通知を受けて、研究代表者大澤は、研究の倫理性判断には研究費出資元である労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず、岩手医科大学倫理委員会での審議が必要と判断して倫理審査書類を 4 月 24 日に岩手医科大学医学部倫理審査委員会に提出した（資料 1）。平成 25 年 5 月 1 日に開催された岩手医科大学倫理委員会では、本研究計画に関して正式に承認された（資料 2）。

平成 25 年 8 月 1 日には、第一回の平成 25 年度産業保健調査会議を実施した（資料 3）。研究代表者大澤からは、研究計画書（資料 4）の提示を行いながら、研究計画書採択に至るまでの簡単な経緯、研究計画書の具体的な内容説明を行った。

岩手県予防医学協会からは、岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に関して、平成 21 年度から平成 24 年度までに実施した件数と収集されたデータ概要について説明が行

われた（資料 5）。

引き続き研究代表者大澤から、「自殺対策加速化プラン」に基づいて予算化された地域自殺対策緊急強化基金が契機となった開始された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査のデータが、第三者が解析目的で利用することに関しての倫理的問題点とその対策についての周知があった。

まず、研究目的としては集められていない個人情報を第三者が研究目的で利用することに関して、文部科学省厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針に則って、労働者健康福祉機構の倫理審査のみならず、研究代表者の所属する岩手医科大学医学部倫理委員会で審議して正式に承認されたことを改めて報告した。次に、倫理委員会での承認において、収集された個人情報が調査実施機関である岩手県予防医学協会に厳重に管理されること、そして匿名化されたデータセットのみが、本研究事業に関連した研究活動のみに使用されることを徹底する必要性があることを分担研究者と研究協力者に説明した。

上記案件を担保するために研究代表者大澤からは、労働者の個人情報データセットを本研究目的のために匿名化して岩手産業保健推進センターに譲渡すること、匿名化データセットの保有権限を岩手産業保健推進センターに限定して持たせるために、岩手産業保健推進センターは、匿名化データセットを本研究事業でのみ活用して、データ使用は本研究事業の研究代表者、分担研究者、研究協力者に限定することを謳った覚書を岩手県予防医学協会と取り交わしてデータセットを入手すること（資料 6）、研究者はデータセット使用について本研究事業以外への研究データの利用を一切行わないことをデータセット保有者である岩手産業保健推進センターに誓約書に署名して提出すること（資料 7）を義務付けることを提案した。さらに、本研究事業を実施する研究者は、全員利益相反に関する書類（資料 8）を岩手産業保健推進センターに提出することを義務付けることを大澤から提案し、研究者全員の了承が得られた。

引き続き大澤からは岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査のデータ編集と匿名化作業について提案があり、岩手県予防医学協会職員の意向もあり、データ編集と匿名化作業は、岩手県予防医学協会内で予防医学協会職員の手で行うことが確認された。大澤からはデータ編集とデータセット完成時期の提示があり、予防医学協会職員からの了承が得られ、平成 25 年 9 月にはデータ編集とデータセットの完成ならびに各研究者への配布をする予定となった。

研究事業の成果報告として国際学会や全国規模への学会での発表、質の高い学術専門誌への論文投稿について大澤から各研究者へのお願いをした。平成 26 年 4 月には研究報告書の大まかなとりまとめが必要なこと、平成 26 年 10 月には産業保健調査研究会での成果公表が求められていることを鑑みて、演題締め切りが平成 25 年 9 月から 12 月に設定されている複数の全国学会での積極的な演題応募を各研究者にお願いして第 1 回目の会議は終了した。

第 1 回会議終了後岩手県予防医学協会では職員によるデータ編集と匿名化作業が進められたが、データ編集作業が大幅に遅れ、平成 25 年 11 月 21 日に匿名化データセットが完成した。各研究者からは誓約書と利益相反

書類を受け取った上で、匿名化されたデータセットの格納されたCDROMが配布された。

研究代表者大澤は、平成21年から平成24年までの1年毎に分割編集されているデータセットを4年分のデータセットに編集しなおして集計を行い、男性31,687件、女性19,323件（複数回受診者を含めた集計）のデータセットについて、質問指標項目の集計結果（平均値）と複数の質問指標項目の集計によって判断された標準化指標による職業性ストレスまたは心理的反応のハイリスク者（5段階評価の最悪点）の割合を、各年度ごとに性別・地域別・業種別に算出して各研究者に配布するとともに、学会への積極的な演題応募を要請した。

研究代表者大澤は上記データセットの集計解析を行い、第84回日本衛生学会総会に演題を応募して採択された。また黒澤研究分担者は第13回日本トラウマティック・ストレス学会演題を応募して採択された。更に黒澤はTHE PACIFIC RIM COLLEGE OF SYCHIATRISTS SCIENTIFIC MEETING (PRCP) 2014に演題を応募し、現在採択可否について待機中である。今後、上記学会公表内容をまとめて、いくつかの論文にまとめて公表する予定である。

総括

本稿では、平成25年度産業保健調査研究企画立案までの経緯を記述するとともに、独立行政法人労働者健康福祉機構からの課題申請受理を受けて、労働者健康福祉機構による倫理審査とは別に岩手医科大学医学部倫理審査を受けて、研究内容に関して倫理性の問題がないと判断されたことを記述した。具体的には、研究とは関係なく企画された、岩手県内事業場におけるメンタルヘルス事業によって集められた労働者個人情報を、第三者である研究者が研究目的で扱う場合によって生じる様々な不都合な事態を未然に防ぐために、文部科学省厚生労働省による疫学研究の倫理指針に忠実に則って、個人情報管理体制の確立のために、研究者主導で厳しい管理体制を自らに課した経緯を記述した。

研究実施年度内には研究者が全員集まって班会議を開催し、研究企画内容を確認するとともに、個人情報を扱うことに関して高い倫理性を維持するために、研究者全員からデータ取り扱いに関する誓約書を取得すること、利益相反の書類に全員が記入して岩手県予防医学協会に提出を義務付けることを全員の総意で確認した。

岩手県予防医学協会の職員のみが立ち会って労働者の個人情報のデータ編集と匿名化作業を実施したこと、匿名化されたデータセットは、データ取り扱いに関する覚書に基づいて岩手県予防医学協会から岩手産業保健推進センターに委譲されたこと、岩手産業保健推進センターでは、研究者にデータ取り扱いに関する覚書内容を徹底するため各研究者から匿名化データセット引渡しに際してデータ利用に関する誓約書に署名をした書類を受けとったことを記述した。

研究者は、独立行政法人労働者健康福祉機構平成25年産業保健調査を契機に作成された平成21年から平成24年までの岩手県内事業場におけるメンタルヘルス事業によって収集されたデータセットを、上記研究事業に関連した成果報告にのみ用いることを厳重に守り研究成果の社会還元をする義務を負う。独立行政法人労働者健康福祉機構産業保健調査は、貴重な公的資金助成によっ

て行われることから、研究者は、集められた貴重な産業衛生関連のデータを自らの高い専門性を十分に発揮して解析ならびに解釈を行って、労働者の置かれている状況をわかりやすく記述する義務がある。

本研究事業では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災が、被災地域の労働者にどのような労働負担、心理的負担を強いているのかを解明することを目的としており、今回の平成 25 年度産業保健調査研究を契機にデータセットの一元化を図り、震災によって労働者のメンタルヘルスがどのように変化したのかを調査研究することは、独立行政法人労働者健康福祉機構平成 25 年産業保健調査の根本的な意義にも適った研究と考えられる。

最後に、関係した諸機関、調査にご協力いただいた岩手県内労働者に心から感謝を申しあげるとともに、震災の犠牲者とその家族、震災によって大きなダメージを受けた被災地域の事業場と労働者に心から哀悼の意を述べたい。

健康危険情報

特になし

研究発表

1.論文発表

平成26年4月時点で投稿準備中

2.学会発表

1. 黒澤美枝、大澤正樹 “東日本大震災後の労働者のメンタルヘルス” 第 13 回日本トラウマティック・ストレス学会 平成 26 年 5 月 16 日 コラッセ福島

2. 大澤正樹、黒澤美枝、坂下史絵、小野田敏行、阿部千恵子、青木慎一郎 “東日本大震災被災地域における男性労働者の震災前後でのメンタルヘルス状況変化” 第 84 回日本衛生学会 平成 26 年 5 月 27 日

3. （演題応募中）M. Kurosawa; M. Ohsawa; S. Sakashita; S. Aoki "Changes in job stressors and psychological distress among workers in Iwate Prefecture after the Great East Japan Earthquake and Tsunami" THE PACIFIC RIM COLLEGE OF PSYCHIATRISTS SCIENTIFIC MEETING (PRCP) 2014 Oct 5-7 2014 Vancouver, BC Canada

知的財産権の出願・登録状況

特になし

（別紙様式 1）

倫 理 審 査 申 請 書 （ 一 般 ）

平成 25 年 4 月 24 日

岩手医科大学医学部長
医学部倫理委員会委員長 殿

申請者（実施担当講座（科・部門）教授）

所 属 医学部衛生学公衆衛生学講座

役 職 教授

氏 名 坂田 清美 印

研究統括責任者（学内の原則として講師以上）

所 属 医学部衛生学公衆衛生学講座

役 職 講師

氏 名 大澤 正樹 印

◎研究統括責任者が申請者と同じ場合は、「同上」と記載

※受付番号 H ー

1. 審査対象 実施計画 ・ 出版公表原稿

2. 研究課題名 被災地域労働者の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

3. 主任研究者
（学内における研究の場合は研究統括責任者を記載すること。また、多施設共同研究の場合は、当該研究課題の主任研究者も併記すること。）
（学内）所属 医学部衛生学公衆衛生学講座 役職 講師 氏名 大澤 正樹
（学外）所属 岩手県産業保健推進センター 役職 基幹相談員 氏名 大澤 正樹

4. 分担研究者
所属 岩手県立大学社会福祉学部 役職 教 授 氏名 青木 慎一郎
所属 岩手県精神保健福祉センター 役職 所 長 氏名 黒澤 美枝
所属 岩手県産業保健推進センター 役職 基幹相談員 氏名 坂下 史絵
所属 医学部衛生学公衆衛生学講座 役職 准教授 氏名 小野田 敏行
所属 岩手県予防医学協会 役職 部 長 氏名 関向 和明
所属 岩手県産業保健推進センター 役職 特別相談員 氏名 阿部 千恵子

5. 外部機関との多施設共同研究の有無
共同研究の有無: ☑有 ・ □無
外部機関の名称 1: 岩手県産業保健推進センター
外部機関の所在地: 岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目 9-1 マリオス 14 階
外部機関の役職: 所長 氏名:石川 育成
共同研究の総括責任者の役職:基幹相談員
共同研究の総括責任者の氏名:大澤 正樹（岩手医科大学主任研究者が兼務）
研究費用の分担:あり（独立行政法人労働者健康福祉機構 平成25年度産業保健調査研究費による負担）
外部機関の名称 2: 岩手県予防医学協会
外部機関の所在地:岩手県盛岡市永井 14-42
外部機関の役職: 会長 氏名:高橋 牧之介

共同研究の総括責任者の役職:部長
共同研究の総括責任者の氏名:関向　和明
研究費用の分担:なし
※将来知的財産権が発生した場合の所有権
所有権者:独立行政法人　労働者健康福祉機構

6. 研究で問題が生じた場合の責任の所在および補償の有無
（責任の所在には、申請者並びに研究統括責任者（学内）を記載すること。また、多施設共同研究の場合は、当該研究課題の総括責任者も併記すること。）
責任の所在:（学内）所属　医学部衛生学公衆衛生学講座　役職　講師　　氏名　大澤　正樹
（学内）所属
補償の有無:　　□有　・　☑無
補償の内容（対処方法等）:本研究は、問診による労働者のメンタルヘルス状況調査の集計解析を行うだけの観察疫学研究であり、本研究に関連しての医療行為に基づく危険有害事故はないと考えられる。

7. 研究等の概要
（倫理的に問題となる箇所にアンダーラインを引くとともに、コントロールをどうするかも含めて記載すること。）
（1）目　　的
平成23年3月11日の東日本大震災により、岩手県は甚大な被害をこうむると共に、震災からの復興は思うように進まず、県内企業の従業者の中には、劣悪な社会家庭環境に置かれたままの者が多数存在していると考えられる。職場環境のみならず、社会環境や家庭環境の変化が労働者のメンタルヘルスに影響を及ぼしている可能性がある。また復興支援に伴って、インフラ設備の復旧に関する支援事業が増大しており、通信事業・水道・ガス・電気などの一部の業種では少ない人員に多大な労働負荷がかかり、過重労働やメンタルヘルス不調を生じている可能性がある。本研究は、独立行政法人労働者健康福祉機構　平成25年度産業保健調査研究費　産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究分野に応募して採択された研究事業費助成（資料1:独立行政法人労働者健康福祉機構　平成25年度産業保健調査研究費　産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究計画書）を受けて、岩手県内労働者を対象に平成21年度から平成24年度まで継続して実施してきたメンタルヘルス状況調査について、今まで個人や企業への健康相談支援活動に役立ててきた活動内容を、岩手県内企業全体で平成21年度から平成24年度までの労働者のメンタルヘルスに関する経年的なデータセットを作成して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのか、そして震災から受けるメンタルヘルス悪化影響に関して、労働者の属性の違いがあるのかを検証する。
（2）対象及び方法
本研究では、平成 21 年度から平成 24 年度まで岩手県内企業を対象に実施してきた健診時に同時に行ってきたメンタルヘルス調査事業において、今まで事業所や労働者個人への還元活動として行なってきたメンタルヘルス状況の周知活動を、労働者健康福祉機構研究事業を契機にして、労働者個人の調査票データを岩手県労働者全体の 4 年間のメンタルヘルスに関するデータベースに再構築編集する。このデータベースを利用して岩手県内労働者のメンタルヘルス状況について集団全体ならびに属性によって層化して（性別、年代別、業種別、地域別（震災被害甚大地域（岩手県南部、津波被害のあった沿岸地域）と被害の少なかった地域（岩手県内陸北部））、メンタルヘルス状況の比較検討を行う。また震災前（平成 21 年度と 22 年度）と震災後（平成 23 年度と 24 年度）で分けて同様の解析を行い、震災後の労働者のメンタルヘルス状況について特徴を明らかにする。対象企業は平成 21 年度から 24 年度まで調査に参加して きた 36 社であり、年間の参加労働者は平成 24 年時点で約 25000 人 である。メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会が作成した「メンタルヘルスチェックシート」を用いて実施された。本チェックシート は、厚生労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に、「最近 1 ヶ月間の時間外労働時間」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた、計 60 の質問項目で構成されている。メンタルヘルスに関連した集計については、岩手県予防医学 協会職員（関向和明、阿部千恵子）が予防医学協会内で、匿名化されていない個人 情報つきのデータ編集を実施して匿名化を行い、匿名化されたデータについて疫学統計専門家（大澤正樹、小野田敏行）が解析内容と解析手法を具体的に指示して予防医学協会職員を中心に解析を行わせる。尚、匿名化作業は、解析専門家が連結可能性のないデータセットひな形と個人情報照合のためのひな形を予め作成して岩手県予防医学協会に依頼して実施する。以上の過程を経て研究代表者の大澤が成果報告をまとめ、関連学会への成果公表を行なう。
（3）実施場所及び実施期間
実施場所:岩手県産業保健推進センター、岩手県予防医学協会、岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座研究室
実施期間:倫理審査委員会承認後から始めて、平成 26 年 3 月まで。
（4）研究にかかる費用

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成25年度産業保健調査研究費　産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究分野―被災地域労働者の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索（通知番号 2 研究代表者　大澤正樹　1,375 千円）をあてる（資料 2：産業保健調査研究検討委員会審査結果通知書）。

8. 倫理審査申請の要点

（倫理上の問題点を箇条書きで記載すること。）

岩手県職場におけるメンタルヘルス調査で収集されたデータを、新たに労働者健康福祉機構平成25年度産業保健調査研究事業として利用活用するにあたり、本来の目的とは違った形で収集データを利用する本研究内容では、次の点が倫理審査委員会での承認を得る必要があると考えられる。

1）岩手県職場におけるメンタルヘルス調査によって収集された労働者個人の精神的身体的健康状況に関する個人情報は、本来は労働者本人ならびに事業主が産業衛生活動に直接役立てるために実施されたものであるが、調査票データの利用については調査票の最終ページに利用に関しての許諾を得る項目を設けており、データの第三者提供についての意思が確認できるよう配慮している。この点に関して倫理委員会での確認と倫理性に関する審議が必要と考えられる（資料 3：調査票）。

2）本研究事業では、データの第三者提供が許される範囲内の利用条件を遵守した研究事業であること、そして研究成果報告に当たって、労働者個人健康状態や属性を公表することはせず、利用目的は労働者健康福祉機構研究事業に基づいた研究であることを明確にし、その成果公表は労働者健康福祉機構研究事業に関連したものに限定し、その他の目的外利用はしないこと、データ利用に当って個人情報漏洩の可能性を最大限防ぐ対策を実施する。個人情報が附帯された状態で調査票が格納されている岩手県予防医学協会においては、OCR によるマークシート読み取りで情報の電子化を図るとともに、個人情報との連結は外部機関では一切できないような匿名化を図って解析担当者へのデータセット提供を実施する。この個人情報漏洩対策についても倫理審査委員会での審議が必要と考えられる（資料 1：研究計画書）。

以上の観点から倫理性について審査を希望するものである。

9. 研究の対象等

対象者は平成 21 年度から 24 年度まで職場におけるメンタルヘルス調査に協力してきた岩手県内企業 27 社に従事する労働者であり、年間の参加労働者は平成 24 年時点で約 17000 人である。

10. 研究の対象予定症例数

（多施設共同研究の場合は、学内で取扱う症例数の他に全体の症例数も記載すること。）

学内症例数：　0 件（全体症例数：約 0　件）

学外症例数：4 年間の調査総件数 52,369 件。

11. 研究の実施場所

岩手医科大学（医学部衛生学公衆衛生学講座研究室）

岩手県産業保健推進センター

岩手県予防医学協会

12. 研究期間

医学部倫理委員会承認日　～　平成　26 年　3 月　31 日

13. 研究費の出所

（臨床研究の場合は必ず記載すること。）

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成25年度産業保健調査研究費　産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究分野―被災地域労働者の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索（通知番号 2 研究代表者　大澤正樹）をあてる（1,375 千円　）

14. 研究等における倫理的配慮について

（研究等の対象となる個人および家族に対する人権擁護・ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護の具体的方法を記載すること。）

岩手県職場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県予防医学協会と岩手県内事業主との間で、労働者のメンタルヘルス情報収集に関しての覚書を取り交わしており、労働者の個人情報は、労働者個人の精神的身体的健康状況を把握するために収集され、労働者の健康ならびにその他の個人情報は、岩手県予防医学協会が責任を持って厳重に管理し、データの利用は覚書に則って厳密に実施される。尚、調査票には、調査票データの利用については調査票の最終ページに利用に関しての許諾を得る項目を設けており、データの第三者提供についての意思が確認できるよう配慮している。本研究事業では、労働者個人健康状態や属性を公表することはせず、利用目的は労働者健康福祉機構研究事業に基づいた研究であることを明確にし、その成果公表は労働者健康福祉機構研究事業関連したものに限定し、その他の目的外利用はしないこと、データ利用に当って個人情報漏洩の可能性を最大限防ぐ対策を実施する。また労働者健康福祉機構研究助成を受けて事業

を展開するに当たり、その倫理性については、研究代表者が所属する岩手医科大学での当倫理委員会での審議を行なうことを労働者健康福祉機構に誓約している。

15. 研究等の対象となる個人に理解を求め同意を得る方法

（説明の具体的な内容を記載し、説明文書、同意文書の写し等を添付すること。）

岩手県予防医学協会が実施した調査票を資料として提供（資料3）（利用に関しての許諾を得る項目）

16. 研究等によって生ずる個人への不利益及び危険性に対する配慮及び研究終了後の対応

（具体的に箇条書きで記載すること。）

- 本研究は、労働者個人に関するメンタルヘルスの関する調査結果を、岩手県全体で集計してデータベースを構築して、疫学的手法を用いた解析を行うことを目的としているため、対象者個人に対する危険や不利益を生じる可能性はほとんどないと考えられる。
- 本研究事業では、労働者個人情報とメンタルヘルス情報が岩手県予防医学協会内に連結可能な状態で存在しているデータを電子化して匿名化するため、最終的なデータセットが作成されるまでの間には個人情報が漏洩する可能性が存在する。従って、岩手県予防医学協会内での労働者個人情報の電子化編集作業にあたっては、データの外部持ち出しを固く禁じ、データの編集作業担当者は、データ編集が許された岩手県予防医学協会のごく一部の職員にのみに限定する。万一データの編集不備などがおきても即座に対応できる対応をとって個人情報漏洩を未然に阻止する体制をとる。連結可能なデータセットは厳重に岩手県予防医学協会内に管理され、その情報の利用に当たっては、データの所有者でありかつ管理者である岩手県予防医学協会の担当者（関向）が責任を持って取り扱う。尚、連結不可能な匿名化データセットは、主任研究者と分担研究者に提供され、本研究事業の趣旨に則って適宜解析研究を実施して、研究者間の協議を経た上で成果公表を行なう。

17. 医学上の貢献の予測

本研究では、労働者のメンタルヘルスの状況が一地域の 2 万人単位の集団で明らかにされることから、日本の労働者のメンタルヘルス状況に関しての基礎的な資料を提供することが期待できる。また、震災前後で経時的に調査を実施してきたことから、震災に伴って震災地域の社会家庭職場環境がどのように変化し、それによって労働者のメンタルヘルスがどのように変化していったのかを確認できる貴重な資料を提供する。また岩手県予防医学協会の保有する平成 23 年度（震災当該年度）のデータの粗解析結果では、震災後のメンタルヘルス状況の悪化が、職種によって大きく異なる可能性が示唆されている。具体的には、通信情報産業従事者や電気ガス水道などの社会インフラに関連した職種の労働者で仕事の負担が多く、会社からの支援が少ない、と感じている労働者の割合が多くなっていた。震災復興に伴って一部の業種に大量の仕事が発生して、労働者の労働衛生環境が悪化していることがメンタルヘルス悪化に影響している可能性がある。本研究では、震災後の岩手県において、震災によって直接あるいは間接的にメンタルヘルスへの悪影響を与える可能性が職種によって違うことについても探ることが可能と考えられ、労働衛生行政施策立案にとって貴重な資料として活用されることが期待される。

18. その他

（上記以外の倫理的配慮がある場合は記載すること。）

注意事項

1） 申請にあたっては、申請書（原本）1 部、研究実施計画書、説明文書、同意書を各 15 部必ず添付すること。
2） 上記以外の提出資料がある場合は同様に各 15 部提出すること。
3） 学内の複数講座（科・部門）が実施する場合は、「倫理審査申請に係る研究実施承諾書（別紙様式 2）」の原本 1 部を併せて提出すること。
4） 申請にあたっては、「倫理審査申請に際しての注意事項」に基づき記載すること。
5） ※印は記載しないこと。

倫理申請審査結果通知書

平成25年5月16　日

申請者
衛生学公衆衛生学講座
教授　坂田　清美　殿

医学部長　小林誠一郎

受付番号　H25-28
研究課題名　被災地域労働者の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

申　請　者　衛生学公衆衛生学講座　教授　坂田　清美

研究統括責任者　衛生学公衆衛生学講座　講師　大澤　正樹

主任研究者　衛生学公衆衛生学講座　講師　大澤　正樹
岩手県産業保健推進センター　基幹相談員　大澤　正樹

分担研究者　岩手県立大学社会福祉学部　教授　青木　慎一郎
岩手県精神保健福祉センター　所長　鳥澤　美枝
岩手県産業保健推進センター　基幹相談員　坂下　史絵
衛生学公衆衛生学講座　准教授　小野田敏行
岩手県予防医学協会　部長　関向　和明
岩手県産業保健推進センター　特別相談員　阿部　千恵子

判定結果　承認

承認年月日　平成25年5月2日

条　　件

備　　考

岩手産保発第５１号
平成２５年７月２５日

平成２５年度産業保健調査研究
調査研究者　各位

独立行政法人労働者健康福祉機構
岩手産業保健推進センター
所長　石川　育成

平成２５年度産業保健調査研究　第１回班会議の開催について

日頃より産業保健推進センターの推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成２５年度産業保健調査研究第１回班会議を、下記のとおり開催しますので御案内申し上げます。

記

１　日　　時　　平成２５年８月１日（木）１４：００～１５：３０
２　会　　場　　アイーナ（いわて県民情報交流センター）６階　会議室６０４
〒０２０－００４５ 岩手県盛岡市盛岡駅西通１丁目７番１号
３　会議内容　　独立行政法人労働者健康福祉機構　平成２５年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する研究
研究課題「被災地域の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索」
（１）　今年度の研究計画について
・岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の概要について
・岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査データ取り扱いに関して
・データ匿名化とデータセット編集について
・データ解析、成果公表、論文著作権について
・今年度、次年度スケジュール
（２）その他

調査研究計画書 兼 倫理審査申請書

優先順位　　岩手産業保健推進センター

1. 調査研究の対象区分（実施要領の「3」の区分により該当する記号と項目名を記入）

産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究

2. 調査研究課題名

被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

3. 調査研究期間

平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月

4. 調査研究費

1,375 千 円

5. 調査研究体制

研究代表者	所属	職名	研究分担事項
大澤 正樹	岩手産業保健推進センター	基幹相談員	統計分析・総括
研究分担者	**所属**	**職名**	**研究分担事項**
青木儀一郎	岩手産業保健推進センター	特別相談員	研究企画・監修
黒澤 美枝	岩手県精神保健福祉センター	所長	研究企画・監修
坂下 史絵	岩手産業保健推進センター	基幹相談員	情報収集
共同研究者	**所属**	**職名**	**研究分担事項**
小野田敏行	岩手産業保健推進センター	基幹相談員	統計分析
関向 和明	岩手産業保健推進センター	基幹相談員	企画・コーディネート
阿部千恵子	岩手産業保健推進センター	特別相談員	ストレスチェック集積

6. 調査研究の概要

（1）「7. 調査研究の目的及び必要性」から「9. 調査研究計画、方法」及び「13. 倫理面への配慮」の要旨を簡潔に記入すること。

（2）アンケート調査または実地調査等を行う場合は、実施対象および対象数を明記すること。

（3）調査研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

平成23年3月11日の東日本大震災と津波により、岩手県は甚大な被害をこうむった。被災からもうじき2年を経過するが岩手県内企業の従業者の中には劣悪な社会家庭環境（家族の死亡や別離、転居や仮設住宅居住）に置かれたままの者が多数存在していると考えられる。また、復興支援に伴ってインフラ設備の復旧に関する支援事業が増大し、通信事業・水道・ガス・電気などの一部の業種では少ない人員に多大な労働負荷がかかり、メンタルヘルス不調に影響している可能性がある。本研究では、平成21年度から平成24年度まで継続して実施してきた岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査について、個別に集められたデータセットを労働者健康福祉機構研究事業を契機に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、研究調査が終了する平成26年3月の時点までに解析作業を終了し、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に職種や労働者属性の違いが存在するのかを検証する。

《流れ図》

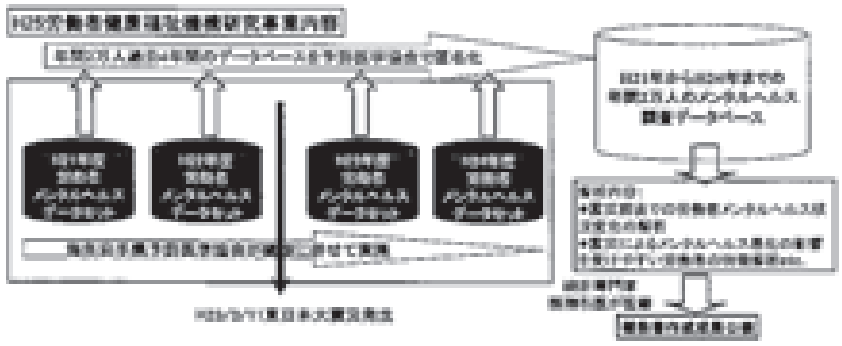


表1. 平成21～24年度までにメンタルヘルス調査に参加した事業所内訳

	業種	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	19公務		1162	3818	3913
2	19公務		1	28	107
3	9卸業、小売業				1581
4	7情報通信業		289	40	283
5	7情報通信業		15	12	14
6	12学術研究、専門		244	286	285
7	5製造業		163		
8	20その他				
9	5製造業	541	567		
10	6電気・ガス・熱供給・水道業		127	232	228
11	17複合サービス事業	256	437	434	410
12	17複合サービス事業		1240	1195	1263
13	19公務		1016	1000	967
14	9卸業、小売業		748		880
15	7情報通信業		360		
16	12教育、学習支援業			2557	11767
17	5製造業			121	
18	7情報通信業	114		122	
19	19公務			37	120
20	5製造業			633	
21	19公務				
22	9卸業、小売業		273	344	
23	20その他			20	
24	16医療、福祉			61	68
25	5製造業			79	
26	20その他			35	
27	10金融業、保険業			127	
28	19公務			140	138
29	10金融業、保険業			152	
30	5製造業				53
31	5製造業				45
32	5製造業				93
33	5製造業				246
34	5製造業				91
35	5製造業				14
36	5製造業				258
37	5製造業				97
38	5製造業				66
39	19公務				679
40	19公務				150
41	19公務				98
42	20その他				83
43	16医療、福祉				125
44	17複合サービス事業			192	848
45	5製造業				149
46	5製造業				46
47	16医療、福祉				107
48	9卸業、小売業				290
49	緊急健康診断事業(その他)			5488	
50	20その他			594	323
51	20その他				99
		911	6642	17747	25984

集団定義①業種
1 農業、林業
2 漁業
3 鉱業、採石業、砂利採取業
4 建設業
5 製造業
6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業
8 運輸業、郵便業
9 卸業、小売業
10 金融業、保険業
11 不動産業、物品賃貸業
12 学術研究、専門・技術サービス業
13 宿泊業、飲食業
14 生活関連サービス業、娯楽業
15 教育、学習支援業
16 医療、福祉
17 複合サービス事業
18 サービス業（他に分類されないもの）
19 公務（他に分類されるものを除く）
20 その他

集団定義②役職
1 管理職
2 一般職

集団定義③部門職種
1 専門・技術職
2 管理職業
3 事務職
4 販売職
5 サービス職
6 運輸・通信職
7 技能職(生産工程／労務作業)
8 その他

集団定義④雇用形態
1 正社員
2 出向
3 派遣
4 臨時
5 その他

覚　書

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成２５年度産業保健調査
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する研究
「被災地域の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索」
に伴うデータ提供および解析に関する覚書

独立行政法人労働者健康福祉機構岩手産業保健推進センター（以下「甲」という）と公益財団法人岩手県予防医学協会（以下「乙」という）は、産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する研究において、岩手県内労働者のメンタルヘルス状況を明らかにするため次のとおり覚書を締結する。

第1条 甲は乙の了承のもと平成21年度以降に乙が岩手県内事業所に委託されて行った岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に関連した検査項目の検査結果を入手する。

第2条 甲の業務の内容は次のとおりとする。

1 全国労働衛生団体連合会が作成した「メンタルヘルスチェックシート」に基づいて、メンタルヘルス状況調査を実施した岩手県内労働者の高ストレス者の有所見率に関わるデータの分析を行う。

2 平成21年度から平成24年度まで継続して実施してきた調査について、個別に集められたデータセットを平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に職種や労働者属性の違いが存在するのかを検証する。

3 １，２で得られた解析内容は、独立行政法人労働者健康福祉機構平成25年度産業保健調査報告書に盛り込む。

第3条 データの分析において必要と認められる経費は予算書に基づき甲が負担するものとする。但し、解析の必要の有無については、甲、乙協議の上決定する。

第4条 甲は業務を処理するために知り得た岩手県内労働者のメンタルヘルス状況等の機密についてはこれを他に漏洩することのないよう細心の注意を払い万全を期するものとする。これを保障するものとして以下の手順を定める。なお、甲は、乙から提供されたデータを本研究以外では使用しない。

1 乙の提供する個人情報（メンタルヘルス状況）は、個人識別が不可能な状態で甲に提供する。

2　甲の解析結果の公表は集積データのみで行う。

第5条　甲の業務は甲の管理する事務室で行うものとし、これを第三者に委託し、または請負わせないものとする。

第6条　甲は乙により提供されたデータファイル（磁気テープ、磁気ディスク、その他の記憶媒体に記憶されているもの、以下「データファイル」という）の使用目的以外の使用、又は第三者への提供は行わないものとする。

第7条　甲は業務以外にデータファイルを使用したり、複写及び複製しないものとする。

第8条　甲はデータファイルの保管については善良なる管理者の注意をもって保管し、管理するものとする。

第9条　乙の結果に関するデータファイル等の所有権は、乙に帰属するものとする。乙の単独データの公表は甲の同意のもと下記の原則に基づき公表する。

1　乙から提供されたデータを含む、集積データに基づく総合的な解析結果に関する公表権は甲が所有する。
2　乙単独または乙を含む集積データの一部に基づく、乙の公表に関しては1の事項を侵害しない範囲で、甲、乙協議の上決定する。

第10条　乙は甲に対して、甲が業務の処理に当たり、甲の故意、過失により乙に損害を与えたときは、その損害を請求することができる。但し、天変地異等の不可抗力による場合は、甲はその責を負わないものとする。

第11条　本事業を円滑に遂行するにあたり、甲は乙に対して業務に必要な人的資源および必要な物品を提供する。具体的な項目については協議の上決定する。

第12条　甲は業務に関する書類を整備し、永久に保存するものとする。

第13条　乙は各号の一に該当する場合は、この覚書の全部または一部を解除することがある。

1　天変地異その他この覚書締結後に生じた事情の変更により、業務の実施を継続する必要がなくなった場合。
2　甲が業務を実施することができなくなった場合。
3　甲がこの覚書に違反した場合

第14条 本覚書の有効期間は、平成25年8月1日から平成27年3月31日までとする。

第15条 本覚書に定めなき事項又は本覚書の解釈に疑義を生じた事項については、本覚書の当事者間にて誠意をもって協議し、これを処理する。

以上のとおり覚書を交換した証として、本書２通を作成し、甲乙記名押印の上、各１通を保有する。

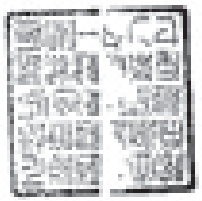
平成25年　　月　　日

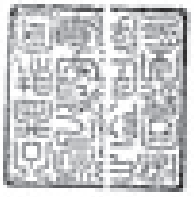
甲　独立行政法人労働者健康福祉機構岩手産業保健推進センター

所　長　　石川　育成

乙　公益財団法人岩手県予防医学協会

会　長　　高橋　牧之介





誓約書（受領書）

独立行政法人労働者健康福祉機構
岩手産業保健推進センター
　　所長　石川　青成　殿

被災地域の震災前後のメンタルヘルス状況の変化と悪化に影響する要因の探索配布用匿名化データセットを確かに受領しました。
つきまして私は、同データを使用するにあたり、以下のことについて厳重に注意します。

1．データを適正に管理するとともに、秘密の保護に遺漏なきように致します。本研究事業とは関係のない第三者には原則としてデータを使用させません。

2．他の研究者等にデータが遺漏していることが判明した折には、原因を明らかにし、事務局からの指示に従い適切な処置を行います。

3．データを用いて公表を行う際にはあらかじめ事務局に解析計画を報告し、公表の許諾を得るものとします。

平成　　年　　月　　日

機関名

住所

氏名（署名）　　印

別紙様式２

研究等に係る利益相反自己申告書

独立行政法人労働者健康福祉機構
岩手産業保健推進センター
所長　石川　育成　殿

私及び１親等内の親族の研究等に関する産学官連携活動について、下記に相違ないことを申告します。

平成25年　　月　　日

所　属：
署　名：　　㊞
連絡先：E-mail
TEL　　FAX

調査研究の対象区分	独立行政法人労働者健康福祉機構平成２５年度産業保健調査 産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
調査研究課題名	被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索

注：
1）記入上の注意：下記の項目は、上記研究題目に関係する企業等との関係について、申告日より起算して過去１年間の実績を記入して下さい。
2）この「研究等に係る利益相反自己申告書」は、研究課題毎に提出していただきます。

１．申請者の外部活動（診療活動を除く）※1

※1　申告する研究題目に関係するものについて漏れなく記載して下さい。関係する企業等が複数あり１枚の用紙に記入しきれない場合は、別紙を添付しても可。

１企業等からの収入の合計が１００万円を超える場合の有無		□ 有 ・ □ 無	
有の場合のみ、企業等ごとに下記の項目にて記載下さい			
企業等			
役割（役職・その他）			
活動内容			
活動時間	時間／月	報酬・給与	万円／年
原稿料		講演謝金等	
ロイヤリティ		個人に対する資金提供	
大学への届出	有（　　年　　月）　・　無		

2．申請者の家族※2の外部活動（診療活動を除く）

※2　配偶者及び生計を一にする扶養親族。

１企業からの収入の合計が１００万円を超える場合の有無		□ 有 ・ □ 無	
有の場合のみ、企業等ごとに下記の項目にて記載下さい			
企　業　等			
役割（役職・その他）			
活　動　内　容			
活　動　時　間	時間／月	報　酬　・　給　与	万円／年
原　稿　料		講　演　謝　金　等	
ロ　イ　ヤ　リ　ティ		個人に対する資金提供	

3．申請者の申告研究題目に係る産学官連携活動 ※3

※3　申告する研究題目に関係するもので、申請者又はその所属部署が開発した共同研究、受託研究、治験、発明等の知的財産権の権利譲渡・実施許諾等、企業等からの研究費等の受入れ、研究協成寄付金等の受入れ、薬品・機器等の無償提供の受入れ等。

１企業等からの産学連携活動にかかる受入れ額の合計が１００万円を超える場合の有無		□ 有 ・ □ 無	
有の場合のみ、企業等ごとに下記の項目にて記載下さい			
企　業　等			
活　動　内　容			
受　受　金　額	万円／年	個人に対する資金提供	万円／年

4．申請者及び申請者の家族の産学官連携活動の相手先のエクイティ ※4

※4　エクイティとは、公開・非公開を問わず、株式、出資金、ストックオプション、受益権等。

エクイティ保有の有無	□ 有 ・ □ 無
有の場合のみ、企業等ごとに記載下さい	
企　業　等	
対行の種類（数量）	

5．被験者への説明・同意文書への記載（説明・同意が必要な場合に限る。）

記　載　の　有　無	□ 有 ・ □ 無 ・ □ 説明同意の必要なし
利益相反に関する説明・同意文書への記載説明文があれば添付すること。	

6．その他（既に講じられているＣＯＩの管理状況や、１．～５．の記載の補足等

ご協力ありがとうございました。本用紙に署名・捺印のうえ、封筒に入れ提出して下さい。

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 3

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査:平成 21 年度調査報告

坂下　史絵（岩手産業保健総合支援センター）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は全衛連が行うメンタルヘルスサービスの試行的事業として実施され、解析対象者は、男性637名（19～66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19～65歳、平均年齢39.4歳）で、3業種の内訳は、情報通信業(114名)、製造業(541名)、複合サービス事業（256名)であった。

下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」に則って、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、標準化得点法に基づいた集計を行った。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。

解析結果、岩手県男性労働者の職業性ストレスに関する標準化得点は下光らの提示した基準値とほぼ同様の値を示していた。仕事をコントロールできていないと感じている男性労働者が岩手県では多かった。全体として若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点に関しては、基準値と比較して活気がないと感じている男性労働者が多く、また身体愁訴・家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。若い世代ほど活気・イライラ・疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・支援状況・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労・抑うつ・身体愁訴に関する項目でハイリスク者が多く見られた。

岩手県女性労働者の標準化得点は、仕事負担に関して得点が悪かった。男性と同様に若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点は、基準値と比較して男性と同様に活気がない、家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。岩手県では、労働者のメンタルヘルスに対する家族のサポートが十分でないことが示唆され、労働者のメンタルヘルス向上に関しては、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。

男女ともに岩手県労働者で認められたメンタルヘルスに関するいくつかの特徴が明らかにされ、今後労働者のメンタルヘルスを向上させるための基礎的資料となることが期待される。

A. 研究目的

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査目的

平成10年に日本の自殺者数が年間3万人を超えてから自殺者数は高いまま推移し、自殺予防対策を講じることが喫緊の課題であることが国民の中で広く認識されるにいたった。「自殺防止対策を考える議員有志の会」による議員立法として提出された、自殺対策基本法は平成18年6月8日参議院内閣委員会で可決され、同6月15日に衆議院本会議で可決されて成立した。平成19年4月1日に内閣府に自殺対策推進室が設置され、平成20年10月31日に行われた自殺対策総合会議では「自殺対策加速化プラン」が決定された。これを受けて平成21年度補正予算において100億円の予算を計上して「地域における自殺対策力」を強化するために都道府県に「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。上記の流れを踏まえて岩手県予防医学協会は、岩手県に対して地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を実施した。

B. 研究方法

対象者

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は岩手県内陸地域に位置する5つの事業所が参加し、参加者数は2,503名であった。2,503名の中で、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、3事業所911名のデータである。本稿では、この911名のデータセットを解析した結果を報告する。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。メンタルヘルスチェックシートは、旧労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている（参考資料）。

職業性ストレス簡易調査票とは、平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表　加藤正明）」において、ストレス測定グループ（グループリーダー　下光輝一）が開発した質問票であり、57の質問項目から構成される。下光らは、5年間の研究調査の最終年度に当たる平成11年度調査報告書には、12,274名で「職業性ストレス簡易調査票」を用いて調査を行って、因子分析に基づいた質問項目の方向性と妥当性検討を行い、因子構造検討結果から、複数の質問項目の集計によって得られる標準化得点法を開発して、標準化得点法結果をもとにした、全国標準値も併せて報告している（参考資料(http://www.tmu-ph.ac/pdf/H11report.pdf)）。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセン

テージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別（製造業、情報通信業、複合サービス事業）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。尚、本研究事業では、震災前後でのハイリスク者の割合（有所見率）をχ^2乗検定を用いて比較検討する予定であるが（黒澤分担研究者担当）、本稿は単純に平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の結果の記述に留めた。

C. 研究結果

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内陸地域に位置する5つの事業所が参加し、参加者数は2,503名であった。2,503名の中で、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、3事業所911名のデータである。男性は637名（19～66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19～65歳、平均年齢39.4歳）であった。3業種の内訳は、情報通信業(114名),製造業(541名),複合サービス事業 (256名)であった。以下に男女別に集計結果にそって結果を提示する。

男性労働者解析結果

表1は、男性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。質問項目の1から7に関しては、仕事の負担に関する項目が並んでおり、仕事の負担を強く感じている（そうだ、と回答）労働者の割合は、8.6%から30.1%みられ（表では太字で表示）、仕事への集中力が要求されること、多くの仕事量があることなどに負担を感じている労働者の割合が大きかった。質問項目の8番目から17番目に関しては、仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目が並んでおり、自分のペースで仕事ができないと感じている労働者が14.9%と高い割合で存在していたものの、そのほかの項目は3.1%から9.9%とそれほど高いわけではなかった。

表2は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的反応項目に関して不良であると回答した部分を太字で表示してある。心理的な活気や元気さについては、4分の1の労働者で活気がないと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。一方で、怒り、不安、憂鬱、疲労感などに関して不良であると回答した労働者は5%前後であった。

表3は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。不良であると回答した労働者割合を太字で示してある。肩こり・腰痛・眼精疲労に関する項目では10%前後の労働者は不良であると回答しているのに対して、そのほかの身体愁訴に関しては、不良であると回答した労働者割合は0から5%程度とそれほど高くはなかった。周囲からの支援状況に関する質問項目では、家族や友人が頼りになると回答した労働者が4割前後存在していた一方で、職場の上司とのコミュニュケーションが取れていないと回答した労働者の割合が7％前後存在しており、特に、個人的な問題については職場の上司とは全く相談できないと回答した労働者は13.2％存在していた。

仕事や家庭生活に関する満足度を問う質問項目では、仕事に不満足である、と回答した労働者が10.8%、家庭生活に不満足であると回答したものが4.4%存在していた。

表4は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。岩手県男性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値とほぼ同様の値を示していた。職場環境に関する得点は、岩手県労働者では基準値と比べて高く（基準値に比べて岩手県労働者の職場環境はよい）、ハイリスク者の割合も低かった。一方で仕事をコントロールできていないと感じている労働者が岩手県では多いことが示唆された。年齢階級別に見ると、全体として若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。仕事コントロールに関するハイリスク者割合は、30歳未満で20.0%、30代で16.2%、40代で11.5%であった。

表5は、表4と同様に職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を3つの業種別に示したものである。業種別で見られる特徴としては、仕事のコントロールができていないと感じる労働者は製造業に多く、仕事の負担が大きい、仕事の身体的負担が大きいと感じている労働者は複合サービス業で多いことであった。

表6は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると岩手県労働者の特徴としては、基準値と比較して活気がないと感じている労働者が多く、身体愁訴を訴える労働者が多く、家族からの支援がないと感じている労働者が多いことである。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気・イライラ・疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・支援状況・満足感すべての項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労（18%）、抑うつ(18%)、身体愁訴（14.3%）に関する項目でハイリスク者が多く見られた。30代では活気がないと感じる労働者が多く（15%）、また家族からの支援がないと感じているハイリスク者（10.9%）が多かった。40代では活気がない（22.3%）、身体愁訴（13.8%）、家族支援がない（10.5%）と考えるハイリスク者が多かった。50代では、身体愁訴（16.5%）と家族支援（11.5%）に関するハイリスク者が多かった。60歳以上は9人のみであり、評価はできなかった。

表7は、表6と同様に心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。情報通信業では肩こりや腰痛に悩まされる労働者が多く（ハイリスク者17.0%）、製造業では活気に関するハイリスク者割合が高く（19.2%）、複合サービス業では抑うつに関するハイリスク者（16.1%）が多かった。一般職と管理職に分けた検討では、一般職では活気がないと感じるハイリスク者が多く（17.4%）、管理職では肩こり腰痛といった身体愁訴を感じるハイリスク者が多かった（15.2%）。また管理職では満足感に関してのハイリスク者が多かった（12.5%）。

女性労働者解析結果

表8は、女性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担を強く感じている女性労働者の割合は、9.9%から35.8%みられ、仕事への集中力が要求されること、一生懸命働かなければならないことに負担を感じている労働者の割合が大きかった。仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目に関しては、自己裁量権が発揮できないと感じている女性労働者の割合が12～13％前後存在しているものの、仕事負担に関する項目と比べて極端に悪いと感じている労働者の割合は多くはなかった。

表9は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的な活気や元気さについては、2から3割の労働者でほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。一方で、怒り、不安、憂うつ、疲労感などに関してほとんどいつもあったと回答した労働者は1％から11％程度存在していた。

表10は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こりがほとんどいつもあったと回答した労働者が27％、眼が疲れることがほとんどいつもあったと回答した労働者が18.6％と突出して多かった。周囲の支援状況をみると、上司に関しては、困ったときに頼りに全くならないと回答した者が10.9％、個人的に問題を全く聞いてくれない、と回答した者が15.3％存在しており、上司に関しては十分な支援を受けられないと感じている女性労働者の割合が高かった。

表11は標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。岩手県女性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べると、仕事負担に関しては得点が低め（悪い）であり、対人関係・職場環境・自己裁量権・働きがいに関してはほぼ同様の値を示していた。

年齢階級別に見ると、男性と同様に若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。30歳未満では仕事の量的負担（12.2％）質的負担（16.3％）が大きいと感じるハイリスク者が多く存在しており、30代と40代でのハイリスク者割合は、それぞれ量的負担（30代：12.9％；40代：10％）、質的負担（30代：13.9％；40代：10％）であった。50歳以上では、ハイリスク者の割合は高くはなかった。

表12は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を3つの業種別に示したものである。女性労働者の回答者数が少ないためばらつきの多い結果となってしまった研究限界はあるものの、業種別で見られる特徴としては、情報通信業では仕事の量的負担（20％）・質的負担（30％）に関してのハイリスク者が多く、また仕事コントロールが出来ないと感じるハイリスク者が15％存在していた。製造業では身体的負担が大きいと感じるハイリスク者が15.2％、職場環境が悪いと感じるハイリスク者が14.4％存在していた。複合サービス業では、仕事の量的負担（17.8％）・質的負担（17.1％）に関してのハイリスク者が多かった。

表13は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計

10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると岩手県女性労働者の特徴としては、基準値と比較して男性と同様に活気がないと感じている労働者が多かった。また、家族からの支援がないと感じるハイリスク者が多かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気・イライラ・疲労・抑うつ・支援状況の項目で基準値より悪い結果が認められ、イライラ（10.2%）と疲労（14.3%）を感じる労働者が多く、特に抑うつに関するハイリスク者が16.3%も存在した。また上司サポート（8.2%）に関するハイリスク者が多く見られた。30代では活気がない（11.9%）、疲労がある（11.9%）と感じるハイリスク者が多く存在し、40代では活気・疲労・不安・抑うつ・支援状況の項目で基準値より悪い結果が認められ、活気がない（13.8%）・疲労（11.5%）・不安（12.8%）・抑うつ（11.4%）に関するハイリスク者が多く、また上司サポート（10.1%）、家族サポート(13.8%)に関する項目でハイリスク者が多く見られた。50代では、身体愁訴（10.8%）と家族支援がない（15.0%）項目でハイリスク者が多かった。60歳以上は4人のみであり、評価はできなかった。

表14は、表6と同様に心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。情報通信業では疲労に関するハイリスク者が20%も存在していた。また家族からの支援に関するハイリスク者が10%存在していた。製造業では活気がないと感じる労働者が多く（ハイリスク者12%）、家族からの支援がないと考えるハイリスク者が13.6%存在していた。複合サービス業では、活気がない（13.2%）、イライラ感（10.2%）、抑うつ（11.1%）に関するハイリスク者が多かった。また上司支援（12.6%）、家族支援（8.6%）でハイリスク者が多かった。女性労働者では管理職は存在していなかったために一般職と管理職に分けた検討は出来なかった。

D. 考察

本研究事業において平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の概要は以下のとおりである。

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は全衛連が行うメンタルヘルスサービスの試行的事業として実施され、解析対象者は、男性637名（19～66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19～65歳、平均年齢39.4歳）で、3業種の内訳は、情報通信業(114名)、製造業(541名)、複合サービス事業（256名)であった。

下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」に則って、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、標準化得点法に基づいた集計を行った。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を用いた。

解析結果、岩手県男性労働者の職業性ストレスに関する標準化得点は下光らの提示した基準値とほぼ同様の値を示していた。仕事をコントロールできていないと感じている男性労働者が岩手県では多かった。全体として若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別では、仕事のコントロールができていないと感じる労働者は製造業に多く、仕事の負担が大きい、仕事の身体的負担が大きいと感じている労働者は複合サービス業で多かった。

心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点に関しては、基準値と比較して活気がないと感じている男性労働者が多く、また身体愁訴・家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。若い世代ほど活気・イライラ・疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・支援状況・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労・抑うつ・身体愁訴に関する項目でハイリスク者が多く見られた。業種別にみられた特徴としては、情報通信業では肩こりや腰痛に悩まされる労働者が多く、製造業では活気がないと感じる労働者が多く、複合サービス業では抑うつに関するハイリスク者が多かった。

岩手県女性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べると、仕事負担に関しては得点が悪かった。男性と同様に若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別で見られる特徴としては、情報通信業と複合サービス業では仕事負担に関してのハイリスク者が多く、製造業では身体的負担が大きいと感じるハイリスク者が多かった。

心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点は、基準値と比較して男性と同様に活気がない、家族からの支援がないと感じるハイリスク者が多かった。業種別の特徴として、情報通信業では疲労と家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多かった。製造業では抑うつと肩こりや腰痛に悩まされるハイリスク者が多かった。製造業では家族からの支援がないと考えるハイリスク者が多く存在していた。複合サービス業では、活気がない、イライラ感、抑うつに関するハイリスク者が多く、上司支援や家族支援がないと考えている者が多かった。

下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」を用いた労働者のメンタルヘルス調査は全衛連が中心となって広く全国で多数の労働者を対象に実施されている。しかし、調査結果が研究対象として解析されて報告されている例は少ないようである。従って、本研究で集められたデータの特徴の比較検討に当たっては、下光らが労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」報告書の中で提示した、男性約6,600人、女性約1,100人のデータセット解析結果を用いるしか方法はないようである。

基準値との比較を通して、平成21年度の調査結果から浮かび上がった岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男女ともに活気がないと感じている労働者が多いこと、年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、仕事負担や肩こりなどの身体愁訴に関するハイリスク者の割合が高いこと、男女ともに家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多いことなどが上げられた。

岩手県内労働者では家族のサポートが十分でないことが示唆され、労働者のメンタルヘルス向上に関しては、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

E. 結論

平成21年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は男性637名（19-66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19-65歳、平均年齢39.4歳）を対象として実施され、岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男女ともに活気がないと感じている労働者が多いこと、年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、仕事

負担や肩こりなどの身体愁訴に関するハイリスク者の割合が高いこと、家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多いことが特徴であった。

男女ともに岩手県労働者で認められたメンタルヘルスに関するいくつかの特徴が明らかにされ、今後労働者のメンタルヘルスを向上させるための基礎的資料となることが期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

特になし

2.学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

[illegible]	
[illegible]	
[illegible]	[illegible]
[illegible]	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

全　衛　連
ストレスチェックシート

【お知らせとお願い】

① このチェックシートは厚生労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」を基本に、一部項目を追加しています。

② メンタルヘルスサービスは、「ストレスチェック」及びその結果に基づく「事後指導」から構成されています。「ストレスチェック」は、中災防が開発したシステムの提供を受けて実施します。

③「ストレスチェック」では、このチェックシートの各質問に対するあなたの回答に基づき、セルフケアにお役立てしていただくためのアドバイスを、後日、個人評価結果（「あなたのストレスプロフィール」）に記載してお返しします。

④ 裏面の左上部に記載の氏名等をご確認のうえ、質問項目にご回答ください。

⑤ 1つの設問に対してどれか1つの回答を選択し、黒鉛筆（H B以上の濃さ）で該当する枠中の橙色マークをしっかりと塗り潰してください。

マークの仕方

良い例　　悪い例

⑥ 全項目に回答するようお願いします。回答のない項目があると正しい判定ができません。

⑦ 記入が済みましたら、健康診断受診の際にご提出ください。

⑧ このチェックシートにお答えいただいた個人情報を含む回答データは、実施機関が責任をもって保管致します。あなたの同意がない限り、個人の回答データ及び評価結果を第三者へ提供することはありません。ただし、産業保健向上を目的とした学術研究等に使用するために、特定の個人が識別できないように匿名化したうえで利用することがあります。

⑨「ストレスチェック」の結果、ストレス得点が高い人など一定の方に対して、産業保健に精通した医師等による「事後指導」の機会を提供します。「事後指導」の対象となった方へは別途ご案内いたします。

⑩ 上記内容にご承諾いただきましたら、右の同意欄にチェック☑をお願いします。 □

〈 ストレスチェック実施機関 〉

公益財団法人 岩手県予防医学協会

健康診断データ等の個人情報についてのご相談は協会の個人情報苦情相談窓口までお問合せください。

公益財団法人岩手県予防医学協会
個人情報保護管理責任者 事務局長
個人情報苦情相談窓口 総務課長

〒020-0045 盛岡市永井14-42
TEL 019-638-7180(代) FAX 019-637-1208
URL http://www.ecpl.or.jp
E-mail info@ecpl.or.jp

表1. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

男性労働者(n=637)	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**111**	**(17.4%)**	365	(57.3%)	130	(20.4%)	30	(4.7%)	1	(0.2%)
時間内に仕事を処理しきれない	**95**	**(14.9%)**	239	(37.5%)	220	(34.5%)	81	(12.7%)	2	(0.3%)
一生懸命働かなければならない	**181**	**(28.4%)**	374	(58.7%)	68	(10.7%)	13	(2.0%)	1	(0.2%)
かなり注意を集中する必要がある	**192**	**(30.1%)**	349	(54.8%)	86	(13.5%)	7	(1.1%)	3	(0.5%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**101**	**(15.9%)**	284	(44.6%)	215	(33.8%)	34	(5.3%)	3	(0.5%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**108**	**(17.0%)**	291	(45.7%)	201	(31.6%)	34	(5.3%)	3	(0.5%)
体を大変よく使う仕事だ	**55**	**(8.6%)**	176	(27.6%)	256	(40.2%)	147	(23.1%)	3	(0.5%)
自分のペースで仕事ができる	50	(7.8%)	254	(39.9%)	237	(37.2%)	**95**	**(14.9%)**	1	(0.2%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	68	(10.7%)	343	(53.8%)	172	(27.0%)	**54**	**(8.5%)**	0	(0.0%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	39	(6.1%)	309	(48.5%)	222	(34.9%)	**63**	**(9.9%)**	4	(0.6%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**26**	**(4.1%)**	157	(24.6%)	325	(51.0%)	127	(19.9%)	2	(0.3%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**37**	**(5.8%)**	192	(30.1%)	320	(50.2%)	85	(13.3%)	3	(0.5%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**20**	**(3.1%)**	109	(17.1%)	359	(56.4%)	144	(22.6%)	5	(0.8%)
私の職場の雰囲気は友好的である	109	(17.1%)	376	(59.0%)	120	(18.8%)	**30**	**(4.7%)**	2	(0.3%)
私の職場の作業環境(騒音・照明・温度・換気など)はよくない	**47**	**(7.4%)**	135	(21.2%)	296	(46.5%)	157	(24.6%)	2	(0.3%)
仕事の内容は自分にあっている	70	(11.0%)	331	(52.0%)	178	(27.9%)	**56**	**(8.8%)**	2	(0.3%)
働き甲斐のある仕事だ	82	(12.9%)	321	(50.4%)	179	(28.1%)	**55**	**(8.6%)**	0	(0.0%)

表2. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

心理的反応項目

男性労働者(n=637)	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**159**	**(25.0%)**	318	(49.9%)	138	(21.7%)	21	(3.3%)	1	(0.2%)
元気がいっぱいだ	**142**	**(22.3%)**	310	(48.7%)	156	(24.5%)	28	(4.4%)	1	(0.2%)
生き生きする	**174**	**(27.3%)**	301	(47.3%)	136	(21.4%)	23	(3.6%)	3	(0.5%)
怒りを感じる	146	(22.9%)	279	(43.8%)	178	(27.9%)	**32**	**(5.0%)**	2	(0.3%)
内心腹立たしい	150	(23.5%)	286	(44.9%)	155	(24.3%)	**41**	**(6.4%)**	5	(0.8%)
イライラしている	144	(22.6%)	309	(48.5%)	144	(22.6%)	**37**	**(5.8%)**	3	(0.5%)
ひどく疲れた	103	(16.2%)	291	(45.7%)	181	(28.4%)	**60**	**(9.4%)**	2	(0.3%)
へとへとだ	238	(37.4%)	245	(38.5%)	109	(17.1%)	**42**	**(6.6%)**	3	(0.5%)
だるい	163	(25.6%)	295	(46.3%)	120	(18.8%)	**57**	**(8.9%)**	2	(0.3%)
気が張り詰めている	114	(17.9%)	317	(49.8%)	158	(24.8%)	**46**	**(7.2%)**	2	(0.3%)
不安だ	194	(30.5%)	259	(40.7%)	129	(20.3%)	**52**	**(8.2%)**	3	(0.5%)
落ち着かない	281	(44.1%)	235	(36.9%)	93	(14.6%)	**23**	**(3.6%)**	5	(0.8%)
ゆううつだ	239	(37.5%)	258	(40.5%)	92	(14.4%)	**45**	**(7.1%)**	3	(0.5%)
何をするのも面倒だ	280	(44.0%)	261	(41.0%)	64	(10.0%)	**29**	**(4.6%)**	3	(0.5%)
物事に集中できない	266	(41.8%)	303	(47.6%)	56	(8.8%)	**9**	**(1.4%)**	3	(0.5%)
気分が晴れない	186	(29.2%)	310	(48.7%)	93	(14.6%)	**40**	**(6.3%)**	8	(1.3%)
仕事が手につかない	405	(63.6%)	193	(30.3%)	31	(4.9%)	**3**	**(0.5%)**	5	(0.8%)
悲しいと感じる	430	(67.5%)	144	(22.6%)	43	(6.8%)	**17**	**(2.7%)**	3	(0.5%)

表3. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

身体愁訴と周囲支援状況

男性労働者(n=637)	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	499	(78.3%)	98	(15.4%)	35	(5.5%)	**3**	**(0.5%)**	2	(0.3%)
体の節々がいたむ	428	(67.2%)	152	(23.9%)	42	(6.6%)	**11**	**(1.7%)**	4	(0.6%)
頭が重かったり頭痛がする	311	(48.8%)	218	(34.2%)	87	(13.7%)	**19**	**(3.0%)**	2	(0.3%)
首筋や肩がこる	163	(25.6%)	248	(38.9%)	137	(21.5%)	**87**	**(13.7%)**	2	(0.3%)
腰が痛い	255	(40.0%)	202	(31.7%)	120	(18.8%)	**59**	**(9.3%)**	1	(0.2%)
眼が疲れる	122	(19.2%)	258	(40.5%)	183	(28.7%)	**69**	**(10.8%)**	5	(0.8%)
動悸や息切れがする	477	(74.9%)	119	(18.7%)	36	(5.7%)	**4**	**(0.6%)**	1	(0.2%)
胃腸の具合が悪い	374	(58.7%)	178	(27.9%)	58	(9.1%)	**23**	**(3.6%)**	4	(0.6%)
食欲がない	490	(76.9%)	119	(18.7%)	22	(3.5%)	**4**	**(0.6%)**	2	(0.3%)
便秘や下痢をする	347	(54.5%)	191	(30.0%)	65	(10.2%)	**33**	**(5.2%)**	1	(0.2%)
よく眠れない	309	(48.5%)	202	(31.7%)	89	(14.0%)	**35**	**(5.5%)**	2	(0.3%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	86	(13.5%)	202	(31.7%)	307	(48.2%)	**42**	**(6.6%)**	0	(0.0%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	153	(24.0%)	305	(47.9%)	170	(26.7%)	**9**	**(1.4%)**	0	(0.0%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	299	(46.9%)	244	(38.3%)	85	(13.3%)	**9**	**(1.4%)**	0	(0.0%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	82	(12.9%)	212	(33.3%)	292	(45.8%)	**47**	**(7.4%)**	4	(0.6%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	89	(14.0%)	267	(41.9%)	245	(38.5%)	**34**	**(5.3%)**	2	(0.3%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	235	(36.9%)	246	(38.6%)	138	(21.7%)	**16**	**(2.5%)**	2	(0.3%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	53	(8.3%)	176	(27.6%)	315	(49.5%)	**84**	**(13.2%)**	9	(1.4%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	54	(8.5%)	213	(33.4%)	309	(48.5%)	**52**	**(8.2%)**	9	(1.4%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	244	(38.3%)	258	(40.5%)	115	(18.1%)	**16**	**(2.5%)**	4	(0.6%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	60	(9.4%)	304	(47.7%)	203	(31.9%)	**69**	**(10.8%)**	1	(0.2%)
家庭生活に満足だ	149	(23.4%)	341	(53.5%)	117	(18.4%)	**28**	**(4.4%)**	2	(0.3%)

表4. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.44	(1.89)	6.40	(1.74)	2.78	(0.90)	8.60	(1.70)	2.89	(0.86)	7.42	(1.85)	2.87	(0.77)	2.35	(0.79)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	57	(8.9%)	36	(5.7%)	55	(8.6%)	67	(10.7%)	47	(7.4%)	87	(13.7%)	26	(4.1%)	56	(8.8%)	55	(8.6%)
19-29歳 (n=50)	平均値（標準偏差）	6.46	(1.84)	6.12	(1.88)	2.46	(1.03)	8.78	(1.78)	2.94	(0.96)	7.56	(1.97)	2.76	(0.72)	2.50	(0.86)	2.18	(0.85)
	ハイリスク者（%）	4	(8.0%)	3	(6.0%)	10	(20.0%)	4	(8.0%)	5	(10.0%)	10	(20.0%)	2	(4.0%)	6	(12.0%)	5	(10.0%)
30-39歳 (n=260)	平均値（標準偏差）	6.41	(1.89)	6.52	(1.74)	2.72	(0.89)	8.51	(1.69)	2.82	(0.88)	7.53	(1.97)	2.82	(0.73)	2.35	(0.77)	2.40	(0.82)
	ハイリスク者（%）	27	(10.4%)	14	(5.4%)	23	(8.8%)	28	(10.8%)	22	(8.5%)	42	(16.2%)	9	(3.5%)	21	(8.1%)	28	(10.8%)
40-49歳 (n=229)	平均値（標準偏差）	6.28	(1.84)	6.22	(1.69)	2.84	(0.88)	8.54	(1.65)	2.93	(0.79)	7.48	(1.69)	2.85	(0.77)	2.35	(0.79)	2.35	(0.79)
	ハイリスク者（%）	22	(9.6%)	15	(6.6%)	20	(8.7%)	26	(11.5%)	11	(4.8%)	26	(11.5%)	11	(4.8%)	19	(8.3%)	17	(7.4%)
50-59歳 (n=89)	平均値（標準偏差）	6.74	(1.88)	6.62	(1.66)	2.97	(0.82)	8.77	(1.76)	2.96	(0.94)	6.97	(1.76)	3.08	(0.87)	2.34	(0.80)	2.20	(0.76)
	ハイリスク者（%）	4	(4.5%)	4	(4.5%)	1	(1.1%)	9	(10.5%)	8	(9.0%)	9	(10.2%)	4	(4.5%)	10	(11.2%)	5	(5.6%)
60-66歳 (n=9)	平均値（標準偏差）	8.50	(2.45)	6.75	(2.92)	3.13	(1.13)	10.14	(1.46)	2.89	(1.05)	6.00	(1.69)	3.63	(0.52)	1.44	(0.53)	1.67	(0.50)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

＊労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別・管理職/一般職		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.44	(1.89)	6.40	(1.74)	2.78	(0.90)	8.60	(1.70)	2.89	(0.86)	7.42	(1.85)	2.87	(0.77)	2.35	(0.79)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	57	(8.9%)	36	(5.7%)	55	(8.6%)	67	(10.7%)	47	(7.4%)	87	(13.7%)	26	(4.1%)	56	(8.8%)	55	(8.6%)
情報通信業 (n=94)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.03)	6.22	(1.86)	2.91	(0.93)	9.05	(1.61)	3.27	(0.80)	6.58	(1.83)	3.22	(0.86)	2.03	(0.73)	1.81	(0.71)
	ハイリスク者（%）	10	(10.6%)	7	(7.4%)	7	(7.4%)	5	(5.4%)	2	(2.1%)	7	(7.5%)	5	(5.3%)	2	(2.1%)	0	(0.0%)
製造業 (n=416)	平均値（標準偏差）	6.47	(1.77)	6.51	(1.65)	2.78	(0.85)	8.50	(1.62)	2.78	(0.83)	7.67	(1.76)	2.77	(0.73)	2.40	(0.76)	2.48	(0.77)
	ハイリスク者（%）	30	(7.2%)	18	(4.3%)	31	(7.5%)	47	(11.5%)	33	(7.9%)	65	(15.7%)	17	(4.1%)	38	(9.1%)	42	(10.1%)
複合サービス事業 (n=127)	平均値（標準偏差）	6.40	(2.15)	6.15	(1.92)	2.68	(1.01)	8.58	(1.94)	2.94	(0.92)	7.21	(1.97)	2.94	(0.77)	2.40	(0.89)	2.20	(0.83)
	ハイリスク者（%）	17	(13.4%)	11	(8.7%)	17	(13.4%)	15	(11.9%)	12	(9.4%)	15	(11.9%)	4	(3.1%)	16	(12.6%)	13	(10.2%)

＊労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表6. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.15	(2.16)	6.40	(2.25)	6.35	(2.34)	6.06	(2.15)	10.2	(3.59)	18.5	(5.49)	7.65	(2.09)	6.99	(1.93)	5.43	(2.10)	4.48	(1.30)
	ハイリスク者（%）	107	(16.8%)	44	(7.0%)	62	(9.8%)	50	(7.9%)	59	(9.4%)	79	(12.7%)	44	(7.0%)	41	(6.5%)	65	(10.3%)	37	(5.8%)
19-29歳 (n=50)	平均値（標準偏差）	6.22	(2.19)	6.53	(2.14)	7.10	(2.48)	6.64	(2.31)	10.74	(4.11)	17.5	(5.96)	7.56	(2.35)	6.92	(2.10)	5.16	(2.07)	4.52	(1.33)
	ハイリスク者（%）	8	(16.0%)	4	(8.2%)	9	(18.0%)	5	(10.0%)	9	(18.0%)	7	(14.3%)	5	(10.0%)	3	(6.0%)	3	(6.0%)	3	(6.0%)
30-39歳 (n=260)	平均値（標準偏差）	6.33	(2.19)	6.58	(2.26)	6.63	(2.22)	5.88	(2.13)	10.14	(3.55)	18.0	(5.18)	7.68	(2.15)	6.65	(1.95)	5.35	(2.15)	4.51	(1.29)
	ハイリスク者（%）	39	(15.0%)	19	(7.4%)	25	(9.6%)	20	(7.7%)	25	(9.7%)	26	(10.1%)	16	(6.2%)	11	(4.2%)	28	(10.9%)	14	(5.4%)
40-49歳 (n=229)	平均値（標準偏差）	5.80	(2.17)	6.27	(2.26)	6.19	(2.34)	6.20	(2.19)	10.46	(3.74)	19.0	(5.57)	7.64	(2.07)	7.22	(1.89)	5.56	(2.08)	4.57	(1.29)
	ハイリスク者（%）	51	(22.3%)	14	(6.2%)	20	(8.8%)	20	(8.8%)	21	(9.3%)	31	(13.8%)	19	(8.5%)	21	(9.3%)	24	(10.5%)	17	(7.4%)
50-59歳 (n=89)	平均値（標準偏差）	6.37	(1.95)	6.25	(2.21)	5.66	(2.32)	6.03	(1.97)	9.52	(2.92)	19.4	(5.81)	7.69	(1.78)	7.45	(1.77)	5.55	(2.08)	4.28	(1.25)
	ハイリスク者（%）	9	(10.1%)	7	(8.0%)	7	(8.0%)	5	(5.8%)	4	(4.7%)	14	(16.5%)	4	(4.7%)	6	(7.1%)	10	(11.5%)	3	(3.4%)
60-66歳 (n=9)	平均値（標準偏差）	7.56	(1.74)	5.22	(2.22)	5.22	(2.91)	4.56	(1.01)	7.44	(1.88)	18.2	(5.14)	6.71	(1.80)	6.86	(1.86)	4.75	(1.58)	3.00	(0.87)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成21年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

業種別・管理職/一般職		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.15	(2.16)	6.40	(2.25)	6.35	(2.34)	6.06	(2.15)	10.18	(3.59)	18.51	(5.49)	7.65	(2.09)	6.99	(1.93)	5.43	(2.10)	4.48	(1.30)
	ハイリスク者（%）	107	(16.8%)	44	(7.0%)	62	(9.8%)	50	(7.9%)	59	(9.4%)	79	(12.7%)	44	(7.0%)	41	(6.5%)	65	(10.3%)	37	(5.8%)
情報通信業 (n=94)	平均値（標準偏差）	6.83	(2.32)	6.29	(2.11)	6.16	(2.55)	5.90	(1.88)	9.21	(3.21)	18.62	(5.88)	7.00	(1.92)	6.74	(1.91)	4.96	(1.89)	3.81	(1.20)
	ハイリスク者（%）	9	(9.6%)	4	(4.3%)	11	(11.7%)	4	(4.3%)	6	(6.5%)	16	(17.0%)	3	(3.3%)	4	(4.3%)	5	(5.3%)	1	(1.1%)
製造業 (n=416)	平均値（標準偏差）	5.93	(2.08)	6.39	(2.26)	6.39	(2.21)	5.96	(2.06)	10.32	(3.50)	18.66	(5.27)	7.84	(2.01)	7.12	(1.90)	5.52	(2.13)	4.67	(1.25)
	ハイリスク者（%）	80	(19.2%)	27	(6.6%)	34	(8.2%)	26	(6.3%)	33	(8.0%)	46	(11.3%)	30	(7.3%)	29	(7.0%)	47	(11.4%)	29	(7.0%)
複合サービス事業 (n=127)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.19)	6.52	(2.31)	6.37	(2.59)	6.49	(2.55)	10.45	(4.06)	17.94	(5.91)	7.47	(2.34)	6.72	(2.02)	5.48	(2.11)	4.37	(1.32)
	ハイリスク者（%）	18	(14.2%)	13	(10.3%)	17	(13.5%)	20	(16.1%)	20	(16.1%)	17	(13.9%)	11	(9.0%)	8	(6.6%)	13	(10.6%)	7	(5.6%)
一般職 (n=601)	平均値（標準偏差）	6.14	(2.17)	6.41	(2.27)	6.37	(2.35)	6.05	(2.18)	10.19	(3.63)	18.43	(5.53)	7.68	(2.10)	6.99	(1.95)	5.41	(2.09)	4.48	(1.29)
	ハイリスク者（%）	105	(17.4%)	44	(7.4%)	59	(9.8%)	49	(8.2%)	57	(9.6%)	74	(12.5%)	44	(7.4%)	41	(6.9%)	62	(10.4%)	33	(5.5%)
管理職 (n=32)	平均値（標準偏差）	6.39	(1.92)	6.27	(1.89)	5.97	(2.16)	6.21	(1.52)	10.00	(3.02)	20.03	(4.48)	7.12	(1.69)	6.88	(1.63)	5.85	(2.21)	4.47	(1.37)
	ハイリスク者（%）	2	(6.1%)	0	(0.0%)	3	(9.1%)	1	(3.0%)	2	(6.1%)	5	(15.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(9.1%)	4	(12.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表8. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

女性労働者（n=274）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**29**	**(10.6%)**	129	(47.1%)	76	(27.7%)	35	(12.8%)	5	(1.8%)
時間内に仕事を処理しきれない	**32**	**(11.7%)**	82	(29.9%)	88	(32.1%)	69	(25.2%)	3	(1.1%)
一生懸命働かなければならない	**81**	**(29.6%)**	147	(53.6%)	36	(13.1%)	8	(2.9%)	2	(0.7%)
かなり注意を集中する必要がある	**98**	**(35.8%)**	134	(48.9%)	30	(10.9%)	11	(4.0%)	1	(0.4%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**30**	**(10.9%)**	87	(31.8%)	109	(39.8%)	45	(16.4%)	3	(1.1%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**37**	**(13.5%)**	131	(47.8%)	83	(30.3%)	20	(7.3%)	3	(1.1%)
体を大変よく使う仕事だ	**27**	**(9.9%)**	56	(20.4%)	97	(35.4%)	91	(33.2%)	3	(1.1%)
自分のペースで仕事ができる	25	(9.1%)	109	(39.8%)	107	(39.1%)	**32**	**(11.7%)**	1	(0.4%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	37	(13.5%)	137	(50.0%)	66	(24.1%)	**32**	**(11.7%)**	2	(0.7%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	8	(2.9%)	115	(42.0%)	110	(40.1%)	**36**	**(13.1%)**	5	(1.8%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**16**	**(5.8%)**	72	(26.3%)	143	(52.2%)	36	(13.1%)	7	(2.6%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**16**	**(5.8%)**	53	(19.3%)	138	(50.4%)	59	(21.5%)	8	(2.9%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**2**	**(0.7%)**	41	(15.0%)	125	(45.6%)	96	(35.0%)	10	(3.6%)
私の職場の雰囲気は友好的である	70	(25.5%)	139	(50.7%)	46	(16.8%)	**15**	**(5.5%)**	4	(1.5%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**30**	**(10.9%)**	63	(23.0%)	114	(41.6%)	63	(23.0%)	4	(1.5%)
仕事の内容は自分にあっている	45	(16.4%)	136	(49.6%)	70	(25.5%)	**19**	**(6.9%)**	4	(1.5%)
働き甲斐のある仕事だ	46	(16.8%)	144	(52.6%)	65	(23.7%)	**16**	**(5.8%)**	3	(1.1%)

表9. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

心理的反応項目

女性労働者（n=274）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**64**	**(23.4%)**	132	(48.2%)	60	(21.9%)	15	(5.5%)	3	(1.1%)
元気がいっぱいだ	**53**	**(19.3%)**	114	(41.6%)	83	(30.3%)	19	(6.9%)	5	(1.8%)
生き生きする	**75**	**(27.4%)**	117	(42.7%)	63	(23.0%)	15	(5.5%)	4	(1.5%)
怒りを感じる	57	(20.8%)	114	(41.6%)	85	(31.0%)	**16**	**(5.8%)**	2	(0.7%)
内心腹立たしい	67	(24.5%)	119	(43.4%)	72	(26.3%)	**14**	**(5.1%)**	2	(0.7%)
イライラしている	59	(21.5%)	121	(44.2%)	76	(27.7%)	**16**	**(5.8%)**	2	(0.7%)
ひどく疲れた	38	(13.9%)	106	(38.7%)	102	(37.2%)	**26**	**(9.5%)**	2	(0.7%)
へとへとだ	102	(37.2%)	95	(34.7%)	55	(20.1%)	**20**	**(7.3%)**	2	(0.7%)
だるい	63	(23.0%)	110	(40.1%)	67	(24.5%)	**31**	**(11.3%)**	3	(1.1%)
気が張り詰めている	81	(29.6%)	106	(38.7%)	53	(19.3%)	**29**	**(10.6%)**	5	(1.8%)
不安だ	97	(35.4%)	99	(36.1%)	43	(15.7%)	**31**	**(11.3%)**	4	(1.5%)
落ち着かない	147	(53.6%)	78	(28.5%)	37	(13.5%)	**10**	**(3.6%)**	2	(0.7%)
ゆううつだ	107	(39.1%)	94	(34.3%)	45	(16.4%)	**26**	**(9.5%)**	2	(0.7%)
何をするのも面倒だ	111	(40.5%)	106	(38.7%)	40	(14.6%)	**15**	**(5.5%)**	2	(0.7%)
物事に集中できない	131	(47.8%)	113	(41.2%)	16	(5.8%)	**12**	**(4.4%)**	2	(0.7%)
気分が晴れない	99	(36.1%)	118	(43.1%)	30	(10.9%)	**25**	**(9.1%)**	2	(0.7%)
仕事が手につかない	182	(66.4%)	76	(27.7%)	11	(4.0%)	**3**	**(1.1%)**	2	(0.7%)
悲しいと感じる	167	(60.9%)	68	(24.8%)	32	(11.7%)	**4**	**(1.5%)**	3	(1.1%)

表10. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

身体愁訴と周囲支援状況

女性労働者（n=274）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	172	(62.8%)	75	(27.4%)	21	(7.7%)	**3**	**(1.1%)**	3	(1.1%)
体の節々がいたむ	188	(68.6%)	60	(21.9%)	16	(5.8%)	**7**	**(2.6%)**	3	(1.1%)
頭が重かったり頭痛がする	93	(33.9%)	114	(41.6%)	51	(18.6%)	**14**	**(5.1%)**	2	(0.7%)
首筋や肩がこる	37	(13.5%)	91	(33.2%)	72	(26.3%)	**74**	**(27.0%)**	0	(0.0%)
腰が痛い	107	(39.1%)	92	(33.6%)	52	(19.0%)	**23**	**(8.4%)**	0	(0.0%)
眼が疲れる	42	(15.3%)	90	(32.8%)	88	(32.1%)	**51**	**(18.6%)**	3	(1.1%)
動悸や息切れがする	216	(78.8%)	42	(15.3%)	11	(4.0%)	**4**	**(1.5%)**	1	(0.4%)
胃腸の具合が悪い	154	(56.2%)	79	(28.8%)	32	(11.7%)	**6**	**(2.2%)**	3	(1.1%)
食欲がない	211	(77.0%)	48	(17.5%)	11	(4.0%)	**2**	**(0.7%)**	2	(0.7%)
便秘や下痢をする	138	(50.4%)	80	(29.2%)	37	(13.5%)	**17**	**(6.2%)**	2	(0.7%)
よく眠れない	148	(54.0%)	74	(27.0%)	41	(15.0%)	**10**	**(3.6%)**	1	(0.4%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	27	(9.9%)	59	(21.5%)	165	(60.2%)	**22**	**(8.0%)**	1	(0.4%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	55	(20.1%)	128	(46.7%)	86	(31.4%)	**3**	**(1.1%)**	2	(0.7%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	149	(54.4%)	99	(36.1%)	25	(9.1%)	**1**	**(0.4%)**	0	(0.0%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	21	(7.7%)	96	(35.0%)	125	(45.6%)	**30**	**(10.9%)**	2	(0.7%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	34	(12.4%)	116	(42.3%)	112	(40.9%)	**10**	**(3.6%)**	2	(0.7%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	114	(41.6%)	120	(43.8%)	39	(14.2%)	**1**	**(0.4%)**	0	(0.0%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	14	(5.1%)	67	(24.5%)	149	(54.4%)	**42**	**(15.3%)**	2	(0.7%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	29	(10.6%)	98	(35.8%)	122	(44.5%)	**22**	**(8.0%)**	3	(1.1%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	132	(48.2%)	101	(36.9%)	37	(13.5%)	**3**	**(1.1%)**	1	(0.4%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	27	(9.9%)	138	(50.4%)	87	(31.8%)	**20**	**(7.3%)**	2	(0.7%)
家庭生活に満足だ	74	(27.0%)	148	(54.0%)	39	(14.2%)	**13**	**(4.7%)**	0	(0.0%)

表11. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体（n=274）	平均値（標準偏差）	7.05	(2.16)	6.76	(1.95)	2.93	(0.97)	9.07	(1.72)	2.78	(0.93)	7.52	(1.88)	2.75	(0.76)	2.23	(0.81)	2.19	(0.78)
	ハイリスク者（%）	31	(11.3%)	32	(11.7%)	27	(9.9%)	18	(6.9%)	30	(10.9%)	19	(7.1%)	16	(5.8%)	19	(6.9%)	16	(5.8%)
19-29歳（n=49）	平均値（標準偏差）	6.85	(2.02)	6.49	(2.06)	2.98	(0.92)	8.98	(1.64)	2.85	(0.87)	7.52	(1.62)	2.81	(0.64)	2.42	(0.77)	2.19	(0.76)
	ハイリスク者（%）	6	(12.2%)	8	(16.3%)	3	(6.1%)	3	(6.3%)	4	(8.2%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	4	(8.2%)	2	(4.1%)
30-39歳（n=101）	平均値（標準偏差）	6.86	(2.07)	6.72	(2.01)	2.97	(0.99)	9.09	(1.82)	2.80	(0.88)	7.37	(1.97)	2.64	(0.84)	2.30	(0.87)	2.15	(0.79)
	ハイリスク者（%）	13	(12.9%)	14	(13.9%)	10	(9.9%)	9	(9.2%)	8	(7.9%)	8	(7.9%)	11	(10.9%)	10	(9.9%)	7	(6.9%)
40-49歳（n=80）	平均値（標準偏差）	7.18	(2.26)	6.83	(1.90)	2.79	(0.96)	8.89	(1.74)	2.52	(0.97)	7.69	(1.87)	2.73	(0.82)	2.17	(0.75)	2.25	(0.78)
	ハイリスク者（%）	8	(10.0%)	8	(10.0%)	9	(11.3%)	6	(8.0%)	15	(18.8%)	7	(9.1%)	5	(6.3%)	4	(5.0%)	5	(6.3%)
50-59歳（n=40）	平均値（標準偏差）	7.26	(2.27)	6.97	(1.87)	3.05	(0.99)	9.38	(1.53)	3.18	(0.91)	7.64	(1.95)	2.95	(0.56)	2.05	(0.79)	2.21	(0.80)
	ハイリスク者（%）	4	(10.0%)	2	(5.0%)	4	(10.0%)	0	(0.0%)	3	(7.5%)	3	(7.7%)	0	(0.0%)	1	(2.5%)	2	(5.0%)
60-66歳（n=4）	平均値（標準偏差）	10.33	(0.58)	7.67	(0.58)	2.75	(1.26)	10.67	(0.58)	2.33	(0.58)	7.00	(3.00)	3.00	(0.00)	1.50	(0.58)	1.75	(0.96)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

＊労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表12. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体（n=274）	平均値（標準偏差）	7.05	(2.16)	6.76	(1.95)	2.93	(0.97)	9.07	(1.72)	2.78	(0.93)	7.52	(1.88)	2.75	(0.76)	2.23	(0.81)	2.19	(0.78)
	ハイリスク者（%）	31	(11.3%)	32	(11.7%)	27	(9.9%)	18	(6.9%)	30	(10.9%)	19	(7.1%)	16	(5.8%)	19	(6.9%)	16	(5.8%)
情報通信業（n=20）	平均値（標準偏差）	6.15	(2.37)	5.65	(1.90)	3.00	(0.92)	9.80	(1.51)	3.25	(0.91)	7.60	(1.96)	3.05	(0.89)	1.90	(0.79)	1.75	(0.79)
	ハイリスク者（%）	4	(20.0%)	6	(30.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	3	(15.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
製造業（n=125）	平均値（標準偏差）	7.34	(1.92)	7.20	(1.73)	2.74	(1.04)	9.11	(1.61)	2.57	(0.93)	7.41	(1.92)	2.70	(0.77)	2.20	(0.74)	2.23	(0.74)
	ハイリスク者（%）	4	(3.2%)	4	(3.2%)	19	(15.2%)	6	(5.1%)	18	(14.4%)	9	(7.3%)	9	(7.2%)	6	(4.8%)	6	(4.8%)
複合サービス事業（n=129）	平均値（標準偏差）	6.90	(2.31)	6.52	(2.07)	3.10	(0.88)	8.92	(1.84)	2.91	(0.89)	7.62	(1.84)	2.74	(0.73)	2.32	(0.86)	2.21	(0.80)
	ハイリスク者（%）	23	(17.8%)	22	(17.1%)	7	(5.4%)	12	(9.8%)	11	(8.5%)	7	(5.6%)	6	(4.7%)	13	(10.1%)	10	(7.8%)

＊労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表13. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体　(n=274)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.31)	6.52	(2.29)	6.64	(2.45)	5.81	(2.39)	10.33	(3.95)	19.50	(5.28)	8.08	(1.92)	7.00	(1.94)	4.96	(1.86)	4.34	(1.23)
	ハイリスク者（%）	34	(12.4%)	23	(8.5%)	31	(11.4%)	25	(9.3%)	28	(10.3%)	23	(8.6%)	23	(8.5%)	16	(5.9%)	30	(11.0%)	12	(4.4%)
19-29歳 (n=49)	平均値（標準偏差）	6.00	(1.80)	6.86	(2.40)	7.02	(2.18)	6.45	(2.37)	11.57	(3.98)	19.04	(4.49)	7.94	(2.09)	6.78	(2.17)	4.69	(1.61)	4.31	(1.08)
	ハイリスク者（%）	4	(8.2%)	5	(10.2%)	7	(14.3%)	4	(8.2%)	8	(16.3%)	4	(8.3%)	4	(8.2%)	2	(4.1%)	3	(6.1%)	1	(2.0%)
30-39歳 (n=101)	平均値（標準偏差）	6.65	(2.37)	6.48	(2.27)	6.63	(2.57)	5.49	(2.24)	9.78	(3.69)	19.30	(5.43)	7.99	(1.91)	6.59	(1.92)	4.66	(1.89)	4.33	(1.25)
	ハイリスク者（%）	12	(11.9%)	9	(8.9%)	12	(11.9%)	7	(7.0%)	8	(7.9%)	9	(9.0%)	8	(8.0%)	4	(4.0%)	9	(8.9%)	5	(5.0%)
40-49歳 (n=80)	平均値（標準偏差）	6.21	(2.06)	6.68	(2.24)	6.68	(2.47)	5.76	(2.55)	10.68	(4.05)	20.17	(5.10)	8.32	(1.93)	7.39	(1.93)	5.24	(1.80)	4.50	(1.24)
	ハイリスク者（%）	11	(13.8%)	5	(6.3%)	9	(11.5%)	10	(12.8%)	9	(11.4%)	6	(7.7%)	8	(10.1%)	8	(10.1%)	11	(13.8%)	4	(5.1%)
50-59歳 (n=40)	平均値（標準偏差）	6.90	(3.07)	6.08	(2.27)	6.30	(2.45)	6.03	(2.43)	9.74	(4.06)	19.51	(6.26)	8.03	(1.73)	7.43	(1.53)	5.45	(1.97)	4.20	(1.29)
	ハイリスク者（%）	7	(17.5%)	4	(10.0%)	3	(7.5%)	4	(10.5%)	3	(7.7%)	4	(10.8%)	3	(7.5%)	2	(5.0%)	6	(15.0%)	2	(5.0%)
60-66歳 (n=4)	平均値（標準偏差）	6.67	(1.15)	4.33	(1.53)	4.33	(1.53)	4.67	(1.53)	6.67	(1.15)	16.00	(3.00)	7.67	(1.53)	8.00	(1.00)	5.33	(3.21)	3.25	(1.50)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表14. 平成21年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値（標準偏差）＊	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=274)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.31)	6.52	(2.29)	6.64	(2.45)	5.81	(2.39)	10.33	(3.95)	19.50	(5.28)	8.08	(1.92)	7.00	(1.94)	4.96	(1.86)	4.34	(1.23)
	ハイリスク者（%）	34	(12.4%)	23	(8.5%)	31	(11.4%)	25	(9.3%)	28	(10.3%)	23	(8.6%)	23	(8.5%)	16	(5.9%)	30	(11.0%)	12	(4.4%)
情報通信業 (n=20)	平均値（標準偏差）	7.15	(2.56)	6.10	(2.15)	7.00	(2.71)	6.15	(2.54)	9.70	(3.03)	19.90	(4.69)	7.35	(2.11)	7.16	(1.86)	4.60	(1.70)	4.10	(1.02)
	ハイリスク者（%）	2	(10.0%)	1	(5.0%)	4	(20.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.3%)	2	(10.0%)	0	(0.0%)
製造業 (n=125)	平均値（標準偏差）	6.48	(2.26)	6.42	(2.23)	6.78	(2.43)	5.43	(2.29)	10.18	(4.00)	20.05	(5.30)	8.15	(1.75)	6.98	(2.02)	5.05	(1.99)	4.49	(1.27)
	ハイリスク者（%）	15	(12.0%)	9	(7.2%)	14	(11.3%)	11	(8.9%)	13	(10.4%)	9	(7.4%)	6	(4.8%)	7	(5.6%)	17	(13.6%)	8	(6.5%)
複合サービス事業 (n=129)	平均値（標準偏差）	6.28	(2.31)	6.69	(2.37)	6.45	(2.44)	6.14	(2.43)	10.57	(4.03)	18.90	(5.32)	8.13	(2.03)	6.98	(1.89)	4.93	(1.75)	4.23	(1.21)
	ハイリスク者（%）	17	(13.2%)	13	(10.2%)	13	(10.2%)	13	(10.5%)	14	(11.1%)	13	(10.4%)	16	(12.6%)	8	(6.3%)	11	(8.6%)	4	(3.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成25年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 4

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査:平成 22 年度調査報告

坂下　史絵（岩手産業保健総合支援センター）
阿部　千恵子（岩手県予防医学協会）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の解析対象者は、男性は4,306名（平均年齢42.5歳）、女性は2,336名（平均年齢42.5歳）であった。業種の内訳は、卸小売業（1,021名）、学術研究・専門・技術サービス(244名)、公務（2,179名）、情報通信業(664名)、製造業(730名)、電気ガス水道熱供給業（127名）、複合サービス事業（1,677名)であった。平成22年度の調査結果から判明した岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男性では年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、女性では30～50代で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合が高いことが上げられた。業種別に検討すると、男性では電気ガス水道業で多数の項目でハイリスク者割合が高かった。女性では、卸小売業・学術研究業・公務で職業性ストレス関連項目の得点が悪く、学術研究業・公務・製造業で心理的反応項目の得点が悪かった。周囲からの支援に関する項目の得点が基準値より悪い傾向にあり、特に家族からのサポートに関する項目で男女ともに基準値より悪く、ハイリスク者の割合も高かった。沿岸地区と内陸地区の比較では、男性労働者は概ね沿岸地域で得点がよく、職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合は全般的に基準値と比較しても低かった。女性労働者では、沿岸地区の労働者で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目の両者で得点が悪いものが多く、またハイリスク者割合が高かった。沿岸地域の女性労働者では、周囲からの支援に関して得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。特に家族サポートが悪いと考えている女性労働者が18%も存在しており、この地域の大きな特徴と考えられた。岩手県では男女に共通して仕事負担が多いと考えている労働者が多く、周囲からの支援が不十分と考えている労働者が多いことが判明した。沿岸地域の女性労働者では、職場の支援状況と家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在していることから、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。

A. 研究目的

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査目的

日本の自殺者数が高いまま推移し、自殺予防対策を講じることが喫緊の課題であることが国民の中で広く認識され、平成18年6月15日には自殺対策基本法が衆議院本会議で可決されて成立した。平成21年度補正予算において100億円の予算を計上して都道府県に「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。岩手県予防医学協会は地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施し、平成22年度も継続して事業を実施した。

B. 研究方法

対象者

平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は岩手県内13事業所が参加し、参加者数は6,645名であった。6,645名の中で、メンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、6,642名のデータである。本稿では、この6,642名のデータセットを解析した結果を報告する。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全国労働衛生団体連合会（全衛連）が行うメンタルヘルスサービスとして実施され、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表　加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別（製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸業・小売業、学術研究、専門・技術サービス業、複合サービス事業、公務（他に分類されるものを除く）、地域別（内陸地域と沿岸地域、図1参照）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

C. 研究結果

平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内陸地域に位置する13事業所が参加し、参加者数は6,645名

であった。6,645名の中で、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、13事業所6,642名のデータである。男性は4,306名（17～77歳、平均年齢42.5歳）、女性は2,336名（17～75歳、平均年齢42.5歳）であった。業種の内訳は、卸小売業（1,021名）、学術研究・専門・技術サービス(244名)、公務（2,179名）、情報通信業(664名)、製造業(730名)、電気ガス水道熱供給業（127名）、複合サービス事業（1,677名)であった。以下に男女別に集計結果にそって結果を提示する。

男性労働者解析結果

表1は、男性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担を強く感じている（そうだ、と回答）労働者の割合は、9.4%から28.3%みられ（表では太字で表示）、一生懸命働かなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が大きかった。仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目については、自分のペースで仕事ができないと感じている労働者が13.5%とやや高い割合で存在していたものの、そのほかの項目はそれほど高いわけではなかった。

表2は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的反応項目に関して不良であると回答した部分を太字で表示してある。心理的な活気や元気さについては、16.4%から19.1%の労働者がほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。一方で、怒り、不安、憂鬱、疲労感などに関して不良であると回答した労働者は2から8%程度であり、その割合は高くはなかった。

表3は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こり・腰痛・眼精疲労に関する項目では7.5%から12.1%の労働者は不良であると回答しているのに対して、そのほかの身体愁訴に関しては、不良であると回答した労働者割合は1から4%程度とそれほど高くはなかった。周囲からの支援状況に関する質問項目では、家族や友人が頼りになると回答した労働者が4割前後存在していた一方で、職場の上司には個人的な問題を聞いてもらえないと回答した労働者の割合が11.4%存在していた。満足度を問う質問項目では、仕事に不満足である、と回答した労働者が8%、家庭生活に不満足であると回答したものが3.7%存在していた。

表4は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。岩手県男性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事をコントロールできていないと感じるハイリスク者が11.2%存在していた。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。仕事がコントロールできていないと感じている労働者は30歳未満で13.5%、30代で11.6%、40代で10.6%、50代で10.9%、60歳以上で9.2%存在しており、若い世代ほどハイリスク者は多いものの、基準値と比べて岩手県男性労働者は全ての世代で仕事がコントロールできていない

と感じている者が多かった。30歳未満の労働者では、身体的負担に関するハイリスク者が18.8%も存在しており、突出して高い割合であった。

表5は、表4と同様に職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を7つの業種別ならびに管理職と一般職に分けて示したものである。業種別で見られる特徴としては、身体的負担が大きいと感じるハイリスク者が卸小売業で17.8%と非常に高い割合で存在していた。対人関係のストレスでは、電気ガス水道業で28%と非常に高い割合でハイリスク者が存在しており、学術研究職においても16.4%とかなり高い割合でハイリスク者が存在していた。職場環境に関するストレスでは、ほとんどの業種で得点が良好であったが、例外的に情報通信業でハイリスク者が16.5%存在していた。仕事がコントロールできないと感じるハイリスク者の割合は学術研究行を除いた全ての業種で高かったが、電気ガス水道業で23.4%と非常に高くなっていた。仕事の適性がないと感じるハイリスク者の割合は、電気ガス水道業と複合サービス業で高く、働きがいがないと感じるハイリスク者の割合は製造業と電気ガス水道業で高かった。一般職と管理職の比較では、管理職の得点は全領域で良好であり、一般職の得点が相対的に不良であった。

表6は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。沿岸地域と内陸地域を比べると、沿岸地域の労働者の得点は概ね良好であり、内陸地域では、岩手県男性労働者の特徴である、身体的負担を感じているハイリスク者の割合と仕事コントロールが出来ていない、と感じるハイリスク者の割合が高かった。

表7は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると岩手県男性労働者の心理的反応等の得点は、基準値とほぼ同様であり、極端に悪い得点はみられなかった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポート・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労（10.2%）、抑うつ(11.8%)、身体愁訴（9.9%）に関する項目でハイリスク者が多く見られた。30代と40代では活気がないと感じる労働者が多く（30代：12.3%；40代：12.6%）、また家族からの支援がないと感じているハイリスク者（30代：8.6%；40代：9.5%）が多かった。60歳以上では、上司や同僚のサポートがない（9.9%）と考えるハイリスク者が多かった。

表8は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気や元気さががないと感じる労働者は岩手県全体では多かったが、業種別に見ると情報通信業（12.7%）、製造業(16.3%)、電気ガス水道業（22.4%）でハイリスク者割合が高くなっていた。疲労に関するハイリスク者割合は電気ガス水道業で12.4%と高かった。不安感に関するハイリスク者割合が高かったのは、卸小売業、電気ガス水道業、複合サービス業で、ハイリスク者が8.4から9.3%存在していた。抑うつに関するハイリスク者割合は電気ガス水道業（13.1%）と複合サービス業（12%）で高かった。肩こり腰痛眼精疲労などの身体

愁訴のハイリスク者は、情報通信業(13%)、電気ガス水道業(11.4%)、複合サービス業(10%)で高かった。上司からのサポートがないと感じているハイリスク者割合は電気ガス水道業で21.2%と突出して高かった。同僚のサポートがないと感じているハイリスク者割合が高かったのは、学術研究業(9%)、製造業(8.8%)、電気ガス水道業(9.5%)であった。家族からのサポートがないと感じるハイリスク者割合は製造業(11.7%)と複合サービス業(12.1%)で高かった。一般職と管理職に分けた検討では、一般職では活気がないと感じるハイリスク者が多く(11.5%)、管理職では上司からのサポートがないと感じるハイリスク者が多かった(10.8%)。

表9は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。沿岸地域と内陸地域を比べると、沿岸地域の労働者の得点は職業性ストレス関連項目と同様に概ね良好であった。沿岸地域内陸地域ともに岩手県男性労働者では家族からのサポートがないと感じるハイリスク者割合が若干高かった。内陸地域では、活気がないと感じるハイリスク者割合と身体愁訴を訴えるハイリスク者割合がやや高かった。

女性労働者解析結果

表10は、女性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担を強く感じている女性労働者の割合は、8.7%から30.2%みられ、一生懸命働かなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が大きかった。仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目に関しては、自己裁量権が発揮できないと感じている女性労働者の割合が9から14%前後存在しているものの、仕事負担に関する項目と比べて極端に悪いと感じている労働者の割合は多くはなかった。

表11は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的な活気や元気さについては、2割の女性労働者でほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。ひどく疲れた、気が張り詰めている、だるい、不安だ、といった項目でハイリスク者が1割程度存在していたが、怒り、落ち着かない、憂鬱などに関してほとんどいつもあったと回答した労働者は5%前後とそれほど高い割合ではなかった。

表12は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こりがほとんどいつもあったと回答した労働者が25.7%、眼が疲れることがほとんどいつもあったと回答した労働者が17.8%と突出して多かった。周囲の支援状況をみると、上司に関しては、困ったときに頼りに全くならないと回答した者が10.6%、個人的に問題を全く聞いてくれない、と回答した者が18.4%存在しており、上司に関しては十分な支援を受けられないと感じている女性労働者の割合が高かった。

表13は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した(労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書)。岩手県女性

労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べると、仕事負担に関しては得点が悪く、対人関係・自己裁量権・仕事適性・働きがいに関してはほぼ同様か低めの値を示していた。

年齢階級別に見ると、男性とは違って中年世代で得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。仕事の量的負担が大きいと感じるハイリスク者は30代40代で13.7％存在しており、仕事の質的負担が大きいと感じるハイリスク者は30代40代で11.4％、50代で12.7％と高くなっていた。仕事による身体的負担が大きいと感じるハイリスク者割合は50代で16.3％と高かった。また男性とは違って仕事コントロールが出来ないと感じるハイリスク者割合がもっとも高かったのは60歳以上の労働者だった。

表14は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を業種別に示したものである。業種別で見られる特徴としては、量的仕事負担が大きいと感じるハイリスク者割合が卸小売業、学術研究業、公務、複合サービス業で高くなっており、特に学術研究（19.6％）と公務（16.2％）で高かった。仕事の質的負担が大きいと感じるハイリスク者は複合サービス業（16.9％）で高かった。仕事による身体的負担が大きいと感じるハイリスク者割合は卸小売業（19％）で高かった。対人関係でストレスを感じるハイリスク者割合は学術研究業（12.8％）でやや高かった。それ以外の項目では基準値と比較して得点が極端に悪い項目はなかった。

表15は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。沿岸地域では、仕事の質的負担が大きいと感じるハイリスク者割合が18.4％、仕事による身体的負担が大きいと感じるハイリスク者割合が12.9％と高かった。内陸地域では仕事の量的負担が大きいと感じるハイリスク者割合が12％とやや高かった。

表16は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると岩手県女性労働者の特徴としては、活気がない、抑うつ、上司サポートがない、家族サポートがないことに関する項目で得点が悪かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気・イライラ・疲労・抑うつ・支援状況の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労（15.8%）を感じる労働者が多く、抑うつに関するハイリスク者も15.3％存在した。また上司サポート（10.3％）、家族サポート(11.4%)に関する項目でハイリスク者が多く見られた。30代では活気がない（15.8％）、疲労がある（10.7％）と感じるハイリスク者が多く存在し、40代では活気がない（15.8％）項目で基準値より悪い結果が認められた。全ての世代で周囲からの支援状況に関する得点が悪い傾向にあり、特に家族からのサポートがないと感じるハイリスク者は全ての世代で高くなっており、60代では16.5％にも達していた。そのほか上司からのサポートがないと感じるハイリスク者が50代で13.7％存在、同僚からのサポートがないと感じるハイリスク者が60代で12.6％存在していた。

表17は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気に関する項目では、公務、情報通信業、製造業、電気ガス水道業、複合サービス業でハイリスク者割合が高かった

が、特に電気ガス水道業ではハイリスク者割合が20%と突出して高かった。イライラ感に関する項目では学術研究業が10.3%とやや高めであった。疲労に関する項目では、学術研究業、公務、情報通信業、製造業でハイリスク者割合が12.4～14.6%と高かった。抑うつに関する項目では学術研究業が14.7%と高く、公務や製造業でも10.8%とやや高めであった。周囲からの支援状況に関する項目では、同僚からのサポートは概ね良好であったが、上司からのサポートがないと感じるハイリスク者割合は卸小売業で12.7%、製造業で12.8%と高かった。家族からのサポートがないと考えるハイリスク者は全ての業種で基準値を上回っており、ハイリスク者割合も高かった。特に、電気ガス水道業(20%)、製造業(17.9%)、学術研究業(15.6%)で高かった。

表18は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。男性労働者に関しては内陸地域より沿岸地域の得点がよかったが、女性労働者に関しては沿岸地域の労働者の得点が悪いものが多かった。活気に関する項目では、沿岸地域ではハイリスク者割合が18.4%であったのに対して内陸地域では12.9%であった。身体愁訴に関しては沿岸地域で12.4%、内陸地域で7.9%のハイリスク者が存在していた。周囲からの支援状況に関する項目では、全ての項目で沿岸地域の労働者の得点が悪かった。上司サポートが不良であると考えるハイリスク者は沿岸地域で13.9%、内陸地域で9.7%、同僚サポートが不良であると考えるハイリスク者は沿岸で13.2%、内陸で7%、家族サポートが不良であると考えるハイリスク者は沿岸で17.9%と非常に高かったのに対して内陸地域では12.1%であった。

D. 考察

本研究事業において平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の概要は以下のとおりである。

解析対象者は、男性は4,306名(平均年齢42.5歳)、女性は2,336名(平均年齢42.5歳)であった。業種の内訳は、卸小売業(1,021名)、学術研究・専門・技術サービス(244名)、公務(2,179名)、情報通信業(664名)、製造業(730名)、電気ガス水道熱供給業(127名)、複合サービス事業(1,677名)であった。

岩手県男性労働者の標準化得点は職業性ストレス関連9項目に関しては基準値と比べ高い項目はほとんどなかったが、仕事がコントロールできていないと感じている者が多かった。30歳未満の労働者では、身体的負担に関するハイリスク者が18.8%も存在しており、突出して高い割合であった。業種別で見られる特徴としては、身体的負担に関するハイリスク者割合が高かったのは卸小売業、対人関係のハイリスク者割合が高かったのは電気ガス水道業、仕事のコントロールに関するハイリスク者は電気ガス水道業で非常に高かった。沿岸地域と内陸地域の男性労働者を比べると、沿岸地域の労働者の得点は概ね良好であった。

岩手県男性労働者の心理的反応等の得点は、基準値とほぼ同様であり、極端に悪い得点はみられなかった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポート・満足感の項目で基準値より悪い結果が認められ、特に疲労(10.2%)、抑うつ(11.8%)、身体愁訴(9.9%)に関する項目でハイリスク者が多く見られた。活気や元気さがないと感じる労働者は岩手県全体では

多かったが、業種別に見ると情報通信業、製造業、電気ガス水道業でハイリスク者割合が高くなっていた。周囲からの支援状況に関する項目では、電気ガス水道業でハイリスク者割合が高く、特に上司からのサポートがないと感じているハイリスク者割合は21.2%と突出して高かった。

岩手県女性労働者の職業性ストレス関連9項目の標準化得点は、仕事負担に関しては得点が悪く、対人関係、自己裁量権、仕事適性、働きがいに関してはほぼ同様か基準値より低い値であった。年齢階級別に見ると、中年世代で得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。仕事コントロールに関するハイリスク者割合が最も高かったのは60歳以上の労働者だった。

業種別で見られる特徴としては、量的仕事負担が大きいと感じるハイリスク者割合が卸小売業、学術研究業、公務、複合サービス業で高かった。仕事の質的負担に関するハイリスク者は複合サービス業で高かった。仕事による身体的負担に関するハイリスク者割合は卸小売業で高かった。

岩手県女性労働者の心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する標準化得点は、活気がない、抑うつ、上司サポート、家族サポートに関する項目で得点が悪かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気・イライラ・疲労・抑うつ・支援状況の項目で基準値より悪い結果が認められ、疲労（15.8%）と抑うつ（15.3%）に関するハイリスク者割合が高かった。全ての世代で周囲からの支援状況に関する得点が悪い傾向にあり、特に家族からのサポートがないと感じるハイリスク者は全ての世代で高くなっていた。

業種別の特徴として、情報通信業では疲労と家族からの支援に関するハイリスク者割合が高かった。製造業では家族からの支援に関するハイリスク者が多かった。複合サービス業では、活気、抑うつ、上司支援、家族支援に関するハイリスク者が多かった。

卸小売業と製造業では上司からのサポートに関するハイリスク者割合が高かった。家族からのサポートに関するハイリスク者割合は、全ての業種で基準値を上回っており、特に、電気ガス水道業、製造業、学術研究業でハイリスク者割合が高かった。地域別の検討では、沿岸地域の女性労働者では、活気・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する全ての項目で得点が悪かった。

平成22年度の調査結果から判明した岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男性では年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪いものが多いこと、女性では30～50代で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合が高いことが上げられた。職業性ストレス関連項目と心理的反応項目の得点は業種間にも大きな違いがあり、男性では電気ガス水道業で多数の項目でハイリスク者割合が高かった。女性では卸小売業、学術研究業、公務で職業性ストレス関連得点が悪く、心理的反応項目では学術研究業・公務・製造業で得点が悪かった。周囲からの支援に関する項目では、男女ともに基準値より悪い傾向にあり、特に家族からのサポートに関する項目では、男女ともに基準値より悪く、ハイリスク者の割合が高かった。

沿岸地区と内陸地区の比較では、男性労働者は概ね沿岸地域で得点がよく、職業性ストレス関連項目と心理的反応項目のハイリスク者の割合は全般的に基準値と比較しても低かっ

た。女性労働者では、沿岸地区の労働者で職業性ストレス関連項目と心理的反応項目の両者で得点が悪いものが多く、またハイリスク者割合が高かった。沿岸地域の女性労働者では、周囲からの支援に関して得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。特に家族サポートが悪いと考えている女性労働者が17.9%も存在しており、この地域の大きな特徴と考えられた。

今回の検討結果を見た限りでは、岩手県では男女に共通して仕事負担が多いと考えている労働者が多く、周囲からの支援が不十分と考えている労働者が多いことが判明した。沿岸地域の女性労働者では、職場の支援状況も不十分である上に、家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在していることから、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

E. 結論

平成22年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は男性4,306名、女性は2,336名で実施され、岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、男女ともに活気がないと感じている労働者が多いこと、男性では年齢が若いほど職業性ストレスと心理的反応ストレスの得点の悪く、女性では30～50代の中年世代で得点の悪いもの多いこと、男女ともに周囲からのサポートがよくないと考えている労働者が多いこと、特に沿岸地域の女性労働者では、職場と家族からの支援がないと感じているハイリスク者が多いのが特徴であった。

男女ともに岩手県労働者で認められたメンタルヘルスに関するいくつかの特徴が明らかにされ、今後労働者のメンタルヘルスを向上させるための基礎的資料となることが期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

特になし

2.学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

図1　研究対象地域：
岩手県内陸地域と沿岸地域の分類

表1. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

男性労働者（n=4,306）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**593**	**(13.8%)**	2200	(51.1%)	1103	(25.6%)	392	(9.1%)	18	(0.4%)
時間内に仕事を処理しきれない	**515**	**(12.0%)**	1491	(34.6%)	1484	(34.5%)	804	(18.7%)	12	(0.3%)
一生懸命働かなければならない	**1219**	**(28.3%)**	2387	(55.4%)	551	(12.8%)	130	(3.0%)	19	(0.4%)
かなり注意を集中する必要がある	**975**	**(22.6%)**	2389	(55.5%)	807	(18.7%)	124	(2.9%)	11	(0.3%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**585**	**(13.6%)**	1986	(46.1%)	1436	(33.3%)	287	(6.7%)	12	(0.3%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**594**	**(13.8%)**	2017	(46.8%)	1409	(32.7%)	277	(6.4%)	9	(0.2%)
体を大変よく使う仕事だ	**404**	**(9.4%)**	959	(22.3%)	1599	(37.1%)	1337	(31.0%)	7	(0.2%)
自分のペースで仕事ができる	371	(8.6%)	1785	(41.5%)	1560	(36.2%)	**582**	**(13.5%)**	8	(0.2%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	605	(14.1%)	2335	(54.2%)	1070	(24.8%)	**286**	**(6.6%)**	10	(0.2%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	320	(7.4%)	2257	(52.4%)	1342	(31.2%)	**370**	**(8.6%)**	17	(0.4%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**159**	**(3.7%)**	936	(21.7%)	2329	(54.1%)	867	(20.1%)	15	(0.3%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**185**	**(4.3%)**	1039	(24.1%)	2216	(51.5%)	846	(19.6%)	20	(0.5%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**118**	**(2.7%)**	546	(12.7%)	2196	(51.0%)	1417	(32.9%)	29	(0.7%)
私の職場の雰囲気は友好的である	1056	(24.5%)	2488	(57.8%)	551	(12.8%)	**187**	**(4.3%)**	24	(0.6%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**326**	**(7.6%)**	811	(18.8%)	1885	(43.8%)	1270	(29.5%)	14	(0.3%)
仕事の内容は自分にあっている	620	(14.4%)	2351	(54.6%)	1006	(23.4%)	**303**	**(7.0%)**	26	(0.6%)
働き甲斐のある仕事だ	819	(19.0%)	2309	(53.6%)	851	(19.8%)	**245**	**(5.7%)**	82	(1.9%)

表2. 平成22年度メンタルヘルス調査 男性労働者調査結果

心理的反応項目

男性労働者 (n=4,306)	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**773**	**(18.0%)**	2055	(47.7%)	1178	(27.4%)	280	(6.5%)	20	(0.5%)
元気がいっぱいだ	**708**	**(16.4%)**	1992	(46.3%)	1218	(28.3%)	371	(8.6%)	17	(0.4%)
生き生きする	**824**	**(19.1%)**	2008	(46.6%)	1148	(26.7%)	304	(7.1%)	22	(0.5%)
怒りを感じる	1245	(28.9%)	1995	(46.3%)	909	(21.1%)	**140**	**(3.3%)**	17	(0.4%)
内心腹立たしい	1408	(32.7%)	1913	(44.4%)	801	(18.6%)	**163**	**(3.8%)**	21	(0.5%)
イライラしている	1284	(29.8%)	1984	(46.1%)	844	(19.6%)	**174**	**(4.0%)**	20	(0.5%)
ひどく疲れた	876	(20.3%)	1945	(45.2%)	1149	(26.7%)	**317**	**(7.4%)**	19	(0.4%)
へとへとだ	1894	(44.0%)	1507	(35.0%)	680	(15.8%)	**206**	**(4.8%)**	19	(0.4%)
だるい	1351	(31.4%)	1848	(42.9%)	808	(18.8%)	**279**	**(6.5%)**	20	(0.5%)
気が張り詰めている	915	(21.2%)	1925	(44.7%)	1104	(25.6%)	**342**	**(7.9%)**	20	(0.5%)
不安だ	1421	(33.0%)	1789	(41.5%)	751	(17.4%)	**330**	**(7.7%)**	15	(0.3%)
落ち着かない	2086	(48.4%)	1534	(35.6%)	524	(12.2%)	**147**	**(3.4%)**	15	(0.3%)
ゆううつだ	1994	(46.3%)	1497	(34.8%)	580	(13.5%)	**216**	**(5.0%)**	19	(0.4%)
何をするのも面倒だ	2115	(49.1%)	1619	(37.6%)	408	(9.5%)	**146**	**(3.4%)**	18	(0.4%)
物事に集中できない	2031	(47.2%)	1756	(40.8%)	404	(9.4%)	**98**	**(2.3%)**	17	(0.4%)
気分が晴れない	1583	(36.8%)	1885	(43.8%)	593	(13.8%)	**229**	**(5.3%)**	16	(0.4%)
仕事が手につかない	2857	(66.3%)	1138	(26.4%)	228	(5.3%)	**68**	**(1.6%)**	15	(0.3%)
悲しいと感じる	2995	(69.6%)	936	(21.7%)	263	(6.1%)	**90**	**(2.1%)**	22	(0.5%)

表3. 平成22年度メンタルヘルス調査 男性労働者調査結果

身体愁訴と周囲支援状況

男性労働者（n=4,306）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	3439	(79.9%)	607	(14.1%)	172	(4.0%)	**69**	**(1.6%)**	19	(0.4%)
体の節々がいたむ	2933	(68.1%)	1024	(23.8%)	252	(5.9%)	**82**	**(1.9%)**	15	(0.3%)
頭が重かったり頭痛がする	2510	(58.3%)	1309	(30.4%)	399	(9.3%)	**69**	**(1.6%)**	19	(0.4%)
首筋や肩がこる	1307	(30.4%)	1552	(36.0%)	910	(21.1%)	**519**	**(12.1%)**	18	(0.4%)
腰が痛い	1769	(41.1%)	1495	(34.7%)	694	(16.1%)	**325**	**(7.5%)**	23	(0.5%)
眼が疲れる	940	(21.8%)	1718	(39.9%)	1150	(26.7%)	**481**	**(11.2%)**	17	(0.4%)
動悸や息切れがする	3323	(77.2%)	762	(17.7%)	171	(4.0%)	**31**	**(0.7%)**	19	(0.4%)
胃腸の具合が悪い	2664	(61.9%)	1232	(28.6%)	296	(6.9%)	**96**	**(2.2%)**	18	(0.4%)
食欲がない	3381	(78.5%)	753	(17.5%)	121	(2.8%)	**33**	**(0.8%)**	18	(0.4%)
便秘や下痢をする	2520	(58.5%)	1274	(29.6%)	363	(8.4%)	**130**	**(3.0%)**	19	(0.4%)
よく眠れない	2483	(57.7%)	1264	(29.4%)	387	(9.0%)	**152**	**(3.5%)**	20	(0.5%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	535	(12.4%)	1633	(37.9%)	1896	(44.0%)	**222**	**(5.2%)**	20	(0.5%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	965	(22.4%)	2171	(50.4%)	1089	(25.3%)	**62**	**(1.4%)**	19	(0.4%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	2002	(46.5%)	1652	(38.4%)	562	(13.1%)	**51**	**(1.2%)**	39	(0.9%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	617	(14.3%)	1692	(39.3%)	1628	(37.8%)	**334**	**(7.8%)**	35	(0.8%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	593	(13.8%)	1919	(44.6%)	1582	(36.7%)	**184**	**(4.3%)**	28	(0.7%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	1613	(37.5%)	1766	(41.0%)	790	(18.3%)	**97**	**(2.3%)**	40	(0.9%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	410	(9.5%)	1375	(31.9%)	1944	(45.1%)	**493**	**(11.4%)**	84	(2.0%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	420	(9.8%)	1543	(35.8%)	1928	(44.8%)	**343**	**(8.0%)**	72	(1.7%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	1794	(41.7%)	1721	(40.0%)	660	(15.3%)	**90**	**(2.1%)**	41	(1.0%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	591	(13.7%)	2305	(53.5%)	1048	(24.3%)	**343**	**(8.0%)**	19	(0.4%)
家庭生活に満足だ	1236	(28.7%)	2292	(53.2%)	594	(13.8%)	**158**	**(3.7%)**	26	(0.6%)

表4. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

年齢階級		仕事負担（量）	仕事負担（質）	身体的負担	対人関係	職場環境	仕事コントロール	技能活用	仕事適正	働きがい
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30 (2.00)	6.40 (1.80)	2.90 (0.90)	8.70 (1.70)	2.70 (1.00)	7.10 (1.80)	3.00 (0.80)	2.20 (1.70)	2.32 (0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%	5.8%	9.1%	9.6%	13.8%	4.7%	4.1%	5.7%	6.5%
全体　(n=4,306)	平均値（標準偏差）	6.61 (1.80)	6.50 (1.81)	2.40 (0.98)	9.24 (1.78)	2.94 (0.93)	7.41 (1.91)	2.78 (0.78)	2.22 (0.80)	1.96 (0.82)
	ハイリスク者（%）	270 (6.3%)	199 (4.6%)	404 (9.4%)	317 (7.4%)	326 (7.6%)	480 (11.2%)	159 (3.7%)	303 (7.0%)	245 (5.7%)
19-29歳 (n=416)	平均値（標準偏差）	6.61 (1.89)	6.65 (1.73)	2.91 (0.95)	8.97 (1.75)	2.90 (0.90)	7.30 (1.80)	2.92 (0.73)	2.26 (0.76)	2.15 (0.80)
	ハイリスク者（%）	23 (5.5%)	19 (4.6%)	78 (18.8%)	26 (6.3%)	40 (9.6%)	56 (13.5%)	28 (6.7%)	31 (7.5%)	21 (5.0%)
30-39歳 (n=1,391)	平均値（標準偏差）	6.70 (2.04)	6.63 (1.80)	3.02 (0.91)	9.06 (1.75)	2.94 (0.88)	7.18 (1.84)	2.95 (0.75)	2.28 (0.79)	2.16 (0.77)
	ハイリスク者（%）	93 (6.7%)	57 (4.1%)	128 (9.2%)	105 (7.6%)	110 (7.9%)	161 (11.6%)	49 (3.5%)	99 (7.1%)	94 (6.8%)
40-49歳 (n=1,464)	平均値（標準偏差）	7.17 (2.08)	6.78 (1.92)	2.93 (0.93)	8.98 (1.70)	3.02 (0.85)	7.06 (1.93)	2.87 (0.74)	2.19 (0.77)	2.12 (0.73)
	ハイリスク者（%）	109 (7.4%)	74 (5.1%)	110 (7.5%)	105 (7.2%)	115 (7.9%)	154 (10.6%)	43 (2.9%)	113 (7.7%)	84 (5.7%)
50-59歳 (n=880)	平均値（標準偏差）	8.02 (2.03)	7.00 (1.96)	2.85 (0.94)	9.49 (1.85)	3.24 (0.86)	6.58 (2.05)	3.03 (0.82)	1.86 (0.76)	1.97 (0.80)
	ハイリスク者（%）	44 (5.0%)	43 (4.9%)	75 (8.5%)	71 (8.2%)	53 (6.0%)	95 (10.9%)	32 (3.6%)	55 (6.3%)	39 (4.4%)
60-66歳 (n=155)	平均値（標準偏差）	6.80 (2.00)	6.67 (1.81)	2.90 (0.95)	9.05 (1.75)	2.96 (0.89)	7.20 (1.86)	2.91 (0.75)	2.23 (0.78)	2.12 (0.78)
	ハイリスク者（%）	1 (0.6%)	6 (3.9%)	13 (8.4%)	10 (6.7%)	8 (5.2%)	14 (9.2%)	7 (4.5%)	5 (3.2%)	7 (4.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表6. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

地域別		仕事負担（量）	仕事負担（質）	身体的負担	対人関係	職場環境	仕事コントロール	技能活用	仕事適正	働きがい
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30 (2.00)	6.40 (1.80)	2.90 (0.90)	8.70 (1.70)	2.70 (1.00)	7.10 (1.80)	3.00 (0.80)	2.20 (1.70)	2.32 (0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%	5.8%	9.1%	9.6%	13.8%	4.7%	4.1%	5.7%	6.5%
沿岸地区　(n=433)	平均値（標準偏差）	6.75 (1.96)	6.61 (1.80)	2.94 (0.87)	9.11 (1.60)	2.98 (0.86)	7.01 (1.80)	2.96 (0.73)	2.26 (0.74)	2.11 (0.75)
	ハイリスク者（%）	24 (5.5%)	22 (5.1%)	29 (6.7%)	18 (4.2%)	28 (6.5%)	37 (8.5%)	15 (3.5%)	26 (6.0%)	21 (4.8%)
内陸地区　(n=3824)	平均値（標準偏差）	6.82 (2.01)	6.68 (1.81)	2.90 (0.95)	9.03 (1.77)	2.95 (0.89)	7.22 (1.87)	2.90 (0.75)	2.23 (0.79)	2.13 (0.79)
	ハイリスク者（%）	243 (6.3%)	175 (4.6%)	362 (9.4%)	298 (7.9%)	298 (7.8%)	439 (11.5%)	143 (3.7%)	274 (7.2%)	223 (5.8%)
所在地不明　(n=49)	平均値（標準偏差）	6.19 (1.93)	6.45 (1.90)	2.10 (0.96)	9.70 (1.86)	3.21 (0.72)	7.10 (1.87)	3.05 (0.73)	2.02 (0.75)	1.71 (0.67)
	ハイリスク者（%）	3 (7.1%)	2 (4.8%)	13 (31.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	4 (9.5%)	1 (2.4%)	3 (7.1%)	1 (2.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別・管理職/一般職		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=4306)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.00)	6.67	(1.81)	2.90	(0.95)	9.05	(1.75)	2.96	(0.89)	7.20	(1.86)	2.91	(0.75)	2.23	(0.78)	2.12	(0.78)
	ハイリスク者（%）	270	(6.3%)	199	(4.6%)	404	(9.4%)	317	(7.4%)	326	(7.6%)	480	(11.2%)	159	(3.7%)	303	(7.0%)	245	(5.7%)
卸業、小売業 (n=359)	平均値（標準偏差）	6.14	(1.91)	6.70	(1.86)	2.42	(0.96)	9.04	(1.70)	3.12	(0.82)	7.16	(1.91)	2.94	(0.78)	2.07	(0.73)	1.96	(0.73)
	ハイリスク者（%）	36	(10.0%)	15	(4.2%)	64	(17.8%)	23	(6.5%)	18	(5.0%)	41	(11.5%)	13	(3.6%)	13	(3.6%)	10	(2.8%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=147)	平均値（標準偏差）	6.13	(2.00)	6.26	(1.59)	3.35	(0.69)	8.27	(1.89)	3.31	(0.76)	6.31	(1.81)	3.32	(0.76)	1.84	(0.73)	1.90	(0.77)
	ハイリスク者（%）	16	(10.9%)	8	(5.4%)	1	(0.7%)	24	(16.4%)	4	(2.7%)	6	(4.1%)	4	(2.7%)	4	(2.7%)	4	(2.7%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1660)	平均値（標準偏差）	6.95	(2.10)	6.78	(1.80)	3.13	(0.91)	9.49	(1.59)	3.05	(0.85)	7.03	(1.78)	2.95	(0.74)	2.24	(0.76)	2.06	(0.73)
	ハイリスク者（%）	105	(6.3%)	69	(4.2%)	110	(6.6%)	63	(3.8%)	88	(5.3%)	149	(9.0%)	53	(3.2%)	108	(6.5%)	72	(4.3%)
情報通信業 (n=526)	平均値（標準偏差）	7.08	(1.85)	6.52	(1.93)	2.76	(0.95)	8.79	(1.82)	2.59	(0.98)	7.33	(2.00)	2.88	(0.75)	2.13	(0.78)	2.05	(0.78)
	ハイリスク者（%）	20	(3.8%)	36	(6.8%)	58	(11.0%)	50	(9.7%)	87	(16.5%)	71	(13.7%)	27	(5.1%)	35	(6.7%)	24	(4.6%)
製造業 (n=553)	平均値（標準偏差）	6.88	(1.67)	6.92	(1.60)	2.80	(0.91)	8.51	(1.75)	2.78	(0.86)	7.49	(1.85)	2.79	(0.70)	2.33	(0.74)	2.40	(0.83)
	ハイリスク者（%）	17	(3.1%)	10	(1.8%)	56	(10.1%)	64	(11.7%)	48	(8.7%)	75	(13.6%)	14	(2.5%)	37	(6.7%)	56	(10.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=107)	平均値（標準偏差）	7.08	(2.13)	6.57	(1.78)	3.00	(0.86)	7.86	(2.18)	3.29	(0.79)	7.98	(1.99)	2.86	(0.73)	2.29	(0.84)	2.41	(0.87)
	ハイリスク者（%）	6	(5.6%)	6	(5.6%)	5	(4.7%)	30	(28.0%)	3	(2.8%)	25	(23.4%)	2	(1.9%)	10	(9.3%)	14	(13.1%)
複合サービス事業 (n=954)	平均値（標準偏差）	6.68	(2.02)	6.47	(1.85)	2.74	(0.95)	8.98	(1.70)	2.94	(0.88)	7.31	(1.83)	2.86	(0.76)	2.34	(0.82)	2.17	(0.79)
	ハイリスク者（%）	70	(7.3%)	55	(5.8%)	110	(11.5%)	63	(6.7%)	78	(8.2%)	113	(12.0%)	46	(4.8%)	96	(10.1%)	65	(6.8%)
一般職 (n=4260)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.00)	6.67	(1.81)	2.90	(0.95)	9.05	(1.75)	2.96	(0.89)	7.20	(1.86)	2.91	(0.75)	2.23	(0.78)	2.13	(0.78)
	ハイリスク者（%）	269	(6.3%)	199	(4.7%)	403	(9.4%)	317	(7.5%)	322	(7.5%)	479	(11.3%)	159	(3.7%)	301	(7.1%)	244	(5.7%)
管理職 (n=39)	平均値（標準偏差）	7.08	(1.74)	6.77	(1.68)	3.28	(0.76)	9.42	(1.62)	2.85	(0.90)	6.59	(1.70)	2.95	(0.56)	2.00	(0.77)	1.81	(0.74)
	ハイリスク者（%）	1	(2.6%)	0	(0.0%)	1	(2.6%)	0	(0.0%)	4	(10.3%)	1	(2.6%)	0	(0.0%)	2	(5.1%)	1	(2.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体　(n=4,306)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.19)	6.10	(2.36)	6.62	(2.26)	6.17	(2.30)	10.3	(3.85)	17.7	(5.49)	7.22	(2.09)	6.57	(2.09)	5.20	(2.13)	4.32	(1.38)
	ハイリスク者（%）	494	(11.5%)	195	(4.6%)	325	(7.6%)	282	(6.6%)	364	(8.5%)	349	(8.2%)	256	(6.1%)	267	(6.3%)	365	(8.6%)	167	(3.9%)
19-29歳 (n=416)	平均値（標準偏差）	6.68	(2.27)	5.97	(2.20)	6.26	(2.32)	5.92	(2.18)	9.86	(3.62)	17.5	(5.00)	7.29	(2.06)	6.67	(1.93)	5.29	(2.04)	4.26	(1.28)
	ハイリスク者（%）	37	(8.9%)	23	(5.5%)	42	(10.2%)	36	(8.7%)	49	(11.8%)	41	(9.9%)	22	(5.3%)	23	(5.6%)	36	(8.7%)	25	(6.1%)
30-39歳 (n=1,391)	平均値（標準偏差）	6.58	(2.29)	5.91	(2.18)	6.04	(2.30)	5.91	(2.16)	9.90	(3.77)	17.8	(5.01)	7.42	(2.06)	6.95	(1.86)	5.36	(2.09)	4.24	(1.26)
	ハイリスク者（%）	171	(12.3%)	73	(5.3%)	126	(9.1%)	93	(6.7%)	111	(8.0%)	102	(7.4%)	76	(5.5%)	75	(5.4%)	118	(8.6%)	55	(4.0%)
40-49歳 (n=1,464)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.26)	5.79	(2.02)	5.54	(2.10)	5.82	(2.04)	9.53	(3.72)	17.9	(5.04)	7.65	(1.98)	7.25	(1.73)	5.33	(1.96)	4.06	(1.18)
	ハイリスク者（%）	185	(12.6%)	64	(4.4%)	112	(7.7%)	100	(6.9%)	130	(8.9%)	121	(8.4%)	89	(6.2%)	92	(6.4%)	136	(9.5%)	65	(4.5%)
50-59歳 (n=880)	平均値（標準偏差）	7.83	(2.70)	5.17	(2.10)	4.95	(2.14)	5.51	(2.01)	8.54	(3.70)	16.9	(4.76)	7.50	(2.10)	7.11	(1.87)	5.20	(1.86)	3.43	(1.03)
	ハイリスク者（%）	92	(10.5%)	29	(3.3%)	41	(4.7%)	45	(5.2%)	67	(7.8%)	77	(9.0%)	55	(6.5%)	63	(7.4%)	69	(8.2%)	22	(2.5%)
60-66歳 (n=155)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.30)	5.90	(2.17)	6.03	(2.28)	5.91	(2.15)	9.81	(3.73)	17.7	(5.06)	7.40	(2.05)	6.89	(1.90)	5.31	(2.04)	4.19	(1.27)
	ハイリスク者（%）	9	(5.8%)	6	(4.0%)	4	(2.7%)	8	(5.3%)	7	(4.7%)	8	(5.3%)	14	(9.9%)	14	(9.7%)	6	(4.2%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表9. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
沿岸地区　(n=433)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.28)	5.97	(2.10)	5.98	(2.17)	6.05	(2.04)	9.99	(3.59)	17.17	(4.72)	7.06	(1.96)	6.74	(1.86)	5.36	(2.01)	4.18	(1.21)
	ハイリスク者（%）	48	(11.1%)	17	(3.9%)	23	(5.3%)	24	(5.5%)	33	(7.6%)	23	(5.3%)	13	(3.1%)	16	(3.8%)	36	(8.5%)	11	(2.5%)
内陸地区　(n=3824)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.30)	5.89	(2.18)	6.03	(2.30)	5.89	(2.16)	9.79	(3.75)	17.74	(5.09)	7.44	(2.06)	6.91	(1.90)	5.31	(2.04)	4.20	(1.27)
	ハイリスク者（%）	443	(11.6%)	177	(4.7%)	298	(7.8%)	254	(6.7%)	327	(8.6%)	321	(8.5%)	240	(6.4%)	250	(6.7%)	325	(8.7%)	155	(4.1%)
所在地不明　(n=49)	平均値（標準偏差）	7.60	(2.24)	5.66	(2.22)	6.10	(2.32)	6.05	(2.42)	9.71	(3.83)	18.45	(5.57)	7.29	(2.18)	6.76	(1.65)	5.24	(2.34)	3.69	(1.35)
	ハイリスク者（%）	3	(7.1%)	1	(2.4%)	4	(9.5%)	4	(9.5%)	4	(9.5%)	5	(11.9%)	3	(7.1%)	1	(2.4%)	4	(9.5%)	1	(2.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表8. 平成22年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

業種別・管理職/一般職		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=4306)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.30)	5.90	(2.17)	6.03	(2.28)	5.91	(2.15)	9.81	(3.73)	17.69	(5.06)	7.40	(2.05)	6.89	(1.90)	5.31	(2.04)	4.19	(1.27)
	ハイリスク者（%）	494	(11.5%)	195	(4.6%)	325	(7.6%)	282	(6.6%)	364	(8.5%)	349	(8.2%)	256	(6.1%)	267	(6.3%)	365	(8.6%)	167	(3.9%)
卸業、小売業 (n=359)	平均値（標準偏差）	7.48	(2.34)	5.92	(2.29)	5.93	(2.36)	5.96	(2.26)	9.58	(3.89)	17.48	(5.41)	7.43	(2.06)	6.88	(1.90)	5.02	(2.02)	4.12	(1.24)
	ハイリスク者（%）	20	(5.6%)	22	(6.2%)	29	(8.1%)	30	(8.4%)	32	(9.0%)	25	(7.1%)	21	(5.9%)	26	(7.3%)	21	(5.9%)	13	(3.6%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=147)	平均値（標準偏差）	6.82	(2.26)	5.60	(2.20)	6.10	(2.19)	5.68	(2.00)	9.77	(3.90)	17.03	(4.97)	7.41	(2.21)	7.10	(1.97)	4.81	(2.01)	3.86	(1.30)
	ハイリスク者（%）	15	(10.2%)	6	(4.1%)	11	(7.5%)	6	(4.1%)	13	(8.9%)	10	(6.9%)	11	(7.8%)	13	(9.0%)	6	(4.1%)	4	(2.7%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1660)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.27)	5.57	(2.05)	5.70	(2.27)	5.67	(2.09)	9.27	(3.48)	16.96	(4.61)	7.00	(1.92)	6.62	(1.81)	5.12	(1.91)	4.00	(1.19)
	ハイリスク者（%）	168	(10.1%)	56	(3.4%)	103	(6.2%)	81	(4.9%)	107	(6.5%)	93	(5.7%)	48	(2.9%)	65	(4.0%)	99	(6.1%)	39	(2.4%)
情報通信業 (n=526)	平均値（標準偏差）	6.50	(2.20)	5.90	(2.11)	6.12	(2.19)	5.95	(2.11)	9.83	(3.67)	18.64	(5.21)	7.73	(2.06)	7.11	(1.96)	5.41	(2.12)	4.21	(1.25)
	ハイリスク者（%）	67	(12.7%)	16	(3.1%)	40	(7.7%)	35	(6.7%)	47	(9.0%)	67	(13.0%)	40	(7.8%)	43	(8.4%)	54	(10.5%)	17	(3.3%)
製造業 (n=553)	平均値（標準偏差）	6.28	(2.26)	6.40	(2.19)	6.32	(2.19)	5.85	(2.04)	10.10	(3.50)	18.23	(5.12)	7.82	(2.04)	7.15	(1.94)	5.52	(2.13)	4.57	(1.33)
	ハイリスク者（%）	90	(16.3%)	39	(7.1%)	45	(8.2%)	33	(6.0%)	38	(6.9%)	49	(8.9%)	51	(9.3%)	48	(8.8%)	64	(11.7%)	40	(7.3%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=107)	平均値（標準偏差）	5.94	(2.54)	6.08	(2.23)	6.55	(2.35)	6.28	(2.17)	10.73	(3.86)	18.34	(5.23)	8.90	(2.06)	7.30	(1.99)	5.24	(2.21)	4.37	(1.29)
	ハイリスク者（%）	24	(22.4%)	5	(4.7%)	13	(12.4%)	9	(8.6%)	14	(13.1%)	12	(11.4%)	22	(21.2%)	10	(9.5%)	9	(8.7%)	5	(4.7%)
複合サービス事業 (n=954)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.27)	6.20	(2.26)	6.33	(2.32)	6.32	(2.25)	10.55	(4.05)	18.24	(5.35)	7.51	(2.08)	7.02	(1.89)	5.67	(2.09)	4.35	(1.30)
	ハイリスク者（%）	110	(11.5%)	51	(5.4%)	84	(8.9%)	88	(9.3%)	113	(12.0%)	93	(10.0%)	63	(6.8%)	62	(6.7%)	112	(12.1%)	49	(5.2%)
一般職 (n=4260)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.30)	5.90	(2.18)	6.03	(2.29)	5.91	(2.15)	9.81	(3.73)	17.69	(5.06)	7.40	(2.05)	6.89	(1.90)	5.31	(2.04)	4.19	(1.27)
	ハイリスク者（%）	491	(11.5%)	195	(4.6%)	323	(7.6%)	280	(6.6%)	362	(8.6%)	347	(8.3%)	252	(6.0%)	265	(6.3%)	362	(8.7%)	167	(3.9%)
管理職 (n=39)	平均値（標準偏差）	6.63	(1.99)	5.41	(1.77)	5.54	(1.93)	5.31	(1.82)	8.97	(3.37)	17.55	(4.27)	7.62	(2.31)	7.00	(1.53)	4.97	(2.01)	3.68	(0.99)
	ハイリスク者（%）	3	(7.7%)	0	(0.0%)	2	(5.1%)	2	(5.1%)	2	(5.3%)	2	(5.3%)	4	(10.8%)	2	(5.4%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表10. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

女性労働者（n=2,336）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**255**	**(10.9%)**	1018	(43.6%)	683	(29.2%)	363	(15.5%)	17	(0.7%)
時間内に仕事を処理しきれない	**272**	**(11.6%)**	708	(30.3%)	761	(32.6%)	578	(24.7%)	17	(0.7%)
一生懸命働かなければならない	**706**	**(30.2%)**	1252	(53.6%)	273	(11.7%)	93	(4.0%)	12	(0.5%)
かなり注意を集中する必要がある	**570**	**(24.4%)**	1161	(49.7%)	492	(21.1%)	100	(4.3%)	13	(0.6%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**203**	**(8.7%)**	755	(32.3%)	972	(41.6%)	381	(16.3%)	25	(1.1%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**453**	**(19.4%)**	1109	(47.5%)	614	(26.3%)	146	(6.3%)	14	(0.6%)
体を大変よく使う仕事だ	**271**	**(11.6%)**	524	(22.4%)	767	(32.8%)	769	(32.9%)	5	(0.2%)
自分のペースで仕事ができる	198	(8.5%)	1006	(43.1%)	802	(34.3%)	**318**	**(13.6%)**	12	(0.5%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	338	(14.5%)	1176	(50.3%)	606	(25.9%)	**209**	**(8.9%)**	7	(0.3%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	85	(3.6%)	954	(40.8%)	959	(41.1%)	**313**	**(13.4%)**	25	(1.1%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**94**	**(4.0%)**	568	(24.3%)	1246	(53.3%)	392	(16.8%)	36	(1.5%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**115**	**(4.9%)**	495	(21.2%)	1128	(48.3%)	574	(24.6%)	24	(1.0%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**36**	**(1.5%)**	223	(9.5%)	998	(42.7%)	1028	(44.0%)	51	(2.2%)
私の職場の雰囲気は友好的である	562	(24.1%)	1246	(53.3%)	374	(16.0%)	**124**	**(5.3%)**	30	(1.3%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**197**	**(8.4%)**	511	(21.9%)	956	(40.9%)	651	(27.9%)	21	(0.9%)
仕事の内容は自分にあっている	385	(16.5%)	1321	(56.5%)	473	(20.2%)	**145**	**(6.2%)**	12	(0.5%)
働き甲斐のある仕事だ	451	(19.3%)	1268	(54.3%)	452	(19.3%)	**118**	**(5.1%)**	47	(2.0%)

表11．平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

心理的反応項目

女性労働者（n=2,336）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**505**	**(21.6%)**	1029	(44.0%)	594	(25.4%)	185	(7.9%)	23	(1.0%)
元気がいっぱいだ	**413**	**(17.7%)**	906	(38.8%)	684	(29.3%)	318	(13.6%)	15	(0.6%)
生き生きする	**530**	**(22.7%)**	953	(40.8%)	594	(25.4%)	231	(9.9%)	28	(1.2%)
怒りを感じる	633	(27.1%)	1077	(46.1%)	507	(21.7%)	**94**	**(4.0%)**	25	(1.1%)
内心腹立たしい	736	(31.5%)	1022	(43.8%)	435	(18.6%)	**121**	**(5.2%)**	22	(0.9%)
イライラしている	630	(27.0%)	1098	(47.0%)	469	(20.1%)	**123**	**(5.3%)**	16	(0.7%)
ひどく疲れた	426	(18.2%)	1050	(44.9%)	608	(26.0%)	**241**	**(10.3%)**	11	(0.5%)
へとへとだ	986	(42.2%)	783	(33.5%)	405	(17.3%)	**146**	**(6.3%)**	16	(0.7%)
だるい	701	(30.0%)	945	(40.5%)	464	(19.9%)	**208**	**(8.9%)**	18	(0.8%)
気が張り詰めている	657	(28.1%)	915	(39.2%)	498	(21.3%)	**247**	**(10.6%)**	19	(0.8%)
不安だ	865	(37.0%)	851	(36.4%)	405	(17.3%)	**201**	**(8.6%)**	14	(0.6%)
落ち着かない	1304	(55.8%)	662	(28.3%)	258	(11.0%)	**93**	**(4.0%)**	19	(0.8%)
ゆううつだ	1010	(43.2%)	821	(35.1%)	317	(13.6%)	**172**	**(7.4%)**	16	(0.7%)
何をするのも面倒だ	1060	(45.4%)	917	(39.3%)	245	(10.5%)	**100**	**(4.3%)**	14	(0.6%)
物事に集中できない	1193	(51.1%)	885	(37.9%)	192	(8.2%)	**50**	**(2.1%)**	16	(0.7%)
気分が晴れない	946	(40.5%)	928	(39.7%)	307	(13.1%)	**138**	**(5.9%)**	17	(0.7%)
仕事が手につかない	1706	(73.0%)	487	(20.8%)	95	(4.1%)	**28**	**(1.2%)**	20	(0.9%)
悲しいと感じる	1509	(64.6%)	551	(23.6%)	184	(7.9%)	**77**	**(3.3%)**	15	(0.6%)

表12. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

身体愁訴と周囲支援状況

女性労働者（n=2,336）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	1630	(69.8%)	504	(21.6%)	138	(5.9%)	**49**	**(2.1%)**	15	(0.6%)
体の節々がいたむ	1606	(68.8%)	535	(22.9%)	126	(5.4%)	**59**	**(2.5%)**	10	(0.4%)
頭が重かったり頭痛がする	992	(42.5%)	907	(38.8%)	332	(14.2%)	**90**	**(3.9%)**	15	(0.6%)
首筋や肩がこる	422	(18.1%)	723	(31.0%)	580	(24.8%)	**600**	**(25.7%)**	11	(0.5%)
腰が痛い	867	(37.1%)	811	(34.7%)	448	(19.2%)	**198**	**(8.5%)**	12	(0.5%)
眼が疲れる	478	(20.5%)	784	(33.6%)	647	(27.7%)	**415**	**(17.8%)**	12	(0.5%)
動悸や息切れがする	1828	(78.3%)	391	(16.7%)	89	(3.8%)	**15**	**(0.6%)**	13	(0.6%)
胃腸の具合が悪い	1367	(58.5%)	695	(29.8%)	209	(8.9%)	**52**	**(2.2%)**	13	(0.6%)
食欲がない	1788	(76.5%)	425	(18.2%)	84	(3.6%)	**23**	**(1.0%)**	16	(0.7%)
便秘や下痢をする	1240	(53.1%)	684	(29.3%)	255	(10.9%)	**143**	**(6.1%)**	14	(0.6%)
よく眠れない	1381	(59.1%)	649	(27.8%)	218	(9.3%)	**75**	**(3.2%)**	13	(0.6%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	190	(8.1%)	637	(27.3%)	1294	(55.4%)	**200**	**(8.6%)**	15	(0.6%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	486	(20.8%)	1092	(46.7%)	702	(30.1%)	**41**	**(1.8%)**	15	(0.6%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	1265	(54.2%)	784	(33.6%)	236	(10.1%)	**18**	**(0.8%)**	33	(1.4%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	270	(11.6%)	774	(33.1%)	1010	(43.2%)	**248**	**(10.6%)**	34	(1.5%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	380	(16.3%)	954	(40.8%)	873	(37.4%)	**103**	**(4.4%)**	26	(1.1%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	1083	(46.4%)	831	(35.6%)	355	(15.2%)	**34**	**(1.5%)**	33	(1.4%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	169	(7.2%)	544	(23.3%)	1115	(47.7%)	**430**	**(18.4%)**	78	(3.3%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	272	(11.6%)	791	(33.9%)	1016	(43.5%)	**201**	**(8.6%)**	56	(2.4%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	1191	(51.0%)	778	(33.3%)	308	(13.2%)	**35**	**(1.5%)**	24	(1.0%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	276	(11.8%)	1320	(56.5%)	553	(23.7%)	**171**	**(7.3%)**	16	(0.7%)
家庭生活に満足だ	676	(28.9%)	1270	(54.4%)	303	(13.0%)	**74**	**(3.2%)**	13	(0.6%)

表13. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.15)	6.91	(2.00)	2.87	(1.00)	9.24	(1.76)	2.89	(0.91)	7.48	(1.87)	2.84	(0.75)	2.16	(0.77)	2.10	(0.77)
	ハイリスク者（%）	279	(11.9%)	258	(11.0%)	271	(11.6%)	163	(7.2%)	197	(8.4%)	149	(6.5%)	94	(4.0%)	145	(6.2%)	118	(5.1%)
19-29歳 (n=323)	平均値（標準偏差）	7.30	(2.01)	7.16	(2.01)	3.04	(0.97)	9.27	(1.69)	3.07	(0.81)	7.49	(1.75)	2.78	(0.77)	2.28	(0.78)	2.14	(0.79)
	ハイリスク者（%）	26	(8.0%)	28	(8.7%)	26	(8.0%)	18	(5.6%)	15	(4.6%)	14	(4.4%)	14	(4.3%)	24	(7.4%)	24	(7.4%)
30-39歳 (n=664)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.18)	6.93	(1.98)	3.04	(0.96)	9.07	(1.82)	2.83	(0.92)	7.49	(1.86)	2.80	(0.75)	2.29	(0.79)	2.16	(0.79)
	ハイリスク者（%）	91	(13.7%)	76	(11.4%)	70	(10.5%)	61	(9.5%)	65	(9.8%)	37	(5.6%)	18	(2.7%)	37	(5.6%)	28	(4.2%)
40-49歳 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.96	(2.13)	6.87	(2.00)	2.87	(0.99)	9.02	(1.76)	2.80	(0.91)	7.49	(1.77)	2.85	(0.69)	2.21	(0.73)	2.16	(0.73)
	ハイリスク者（%）	91	(13.7%)	76	(11.4%)	70	(10.5%)	61	(9.5%)	65	(9.8%)	37	(5.6%)	18	(2.7%)	37	(5.6%)	28	(4.2%)
50-59歳 (n=584)	平均値（標準偏差）	7.03	(2.14)	6.71	(1.98)	2.65	(1.02)	9.58	(1.67)	2.94	(0.92)	7.45	(1.97)	2.89	(0.77)	1.98	(0.75)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	70	(12.0%)	74	(12.7%)	95	(16.3%)	21	(3.8%)	44	(7.5%)	40	(7.0%)	23	(3.9%)	24	(4.1%)	22	(3.8%)
60-66歳 (n=101)	平均値（標準偏差）	7.86	(2.29)	7.51	(2.07)	2.51	(1.05)	9.80	(1.69)	3.05	(1.02)	7.51	(2.28)	2.97	(0.86)	1.73	(0.68)	1.77	(0.70)
	ハイリスク者（%）	8	(7.9%)	6	(5.9%)	19	(18.8%)	2	(2.1%)	10	(9.9%)	12	(12.6%)	5	(5.0%)	2	(2.0%)	1	(1.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表15. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.15)	6.91	(2.00)	2.87	(1.00)	9.24	(1.76)	2.89	(0.91)	7.48	(1.87)	2.84	(0.75)	2.16	(0.77)	2.10	(0.77)
	ハイリスク者（%）	279	(11.9%)	258	(11.0%)	271	(11.6%)	163	(7.2%)	197	(8.4%)	149	(6.5%)	94	(4.0%)	145	(6.2%)	118	(5.1%)
沿岸地区 (n=147)	平均値（標準偏差）	7.33	(2.24)	6.60	(2.11)	2.86	(1.01)	9.23	(1.76)	2.92	(0.93)	7.29	(1.96)	2.93	(0.81)	2.19	(0.82)	2.02	(0.74)
	ハイリスク者（%）	13	(8.8%)	27	(18.4%)	19	(12.9%)	10	(6.9%)	13	(8.8%)	9	(6.2%)	9	(6.1%)	13	(8.8%)	6	(4.1%)
内陸地区 (n=2108)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.14)	6.94	(1.99)	2.91	(0.99)	9.23	(1.77)	2.89	(0.91)	7.50	(1.86)	2.84	(0.74)	2.17	(0.77)	2.12	(0.77)
	ハイリスク者（%）	252	(12.0%)	219	(10.4%)	221	(10.5%)	149	(7.3%)	181	(8.6%)	135	(6.5%)	83	(3.9%)	130	(6.2%)	111	(5.3%)
所在地不明 (n=81)	平均値（標準偏差）	6.75	(2.09)	6.68	(1.97)	2.02	(1.00)	9.54	(1.57)	2.79	(0.82)	7.34	(1.90)	2.85	(0.65)	1.91	(0.71)	1.78	(0.66)
	ハイリスク者（%）	14	(17.3%)	12	(14.8%)	31	(38.3%)	4	(4.9%)	3	(3.7%)	5	(6.3%)	2	(2.5%)	2	(2.5%)	1	(1.2%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表14. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

業種別・管理職/一般職		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.15)	6.91	(2.00)	2.87	(1.00)	9.24	(1.76)	2.89	(0.91)	7.48	(1.87)	2.84	(0.75)	2.16	(0.77)	2.10	(0.77)
	ハイリスク者（%）	279	(11.9%)	258	(11.0%)	271	(11.6%)	163	(7.2%)	197	(8.4%)	149	(6.5%)	94	(4.0%)	145	(6.2%)	118	(5.1%)
卸業、小売業 (n=662)	平均値（標準偏差）	6.96	(1.96)	7.09	(1.90)	2.38	(0.94)	9.46	(1.69)	2.86	(0.91)	7.76	(1.89)	2.73	(0.75)	1.99	(0.71)	2.01	(0.74)
	ハイリスク者（%）	83	(12.5%)	55	(8.3%)	126	(19.0%)	33	(5.2%)	56	(8.5%)	53	(8.2%)	32	(4.8%)	26	(3.9%)	26	(3.9%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=97)	平均値（標準偏差）	6.25	(2.08)	6.57	(1.69)	3.31	(0.70)	8.46	(1.86)	3.29	(0.69)	7.22	(1.70)	3.08	(0.69)	2.14	(0.71)	1.88	(0.67)
	ハイリスク者（%）	19	(19.6%)	8	(8.2%)	2	(2.1%)	12	(12.8%)	1	(1.0%)	4	(4.1%)	1	(1.0%)	2	(2.1%)	1	(1.0%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=519)	平均値（標準偏差）	6.70	(2.17)	6.69	(1.92)	3.02	(1.02)	9.29	(1.75)	2.80	(0.94)	7.27	(1.85)	2.89	(0.79)	2.28	(0.77)	2.14	(0.78)
	ハイリスク者（%）	84	(16.2%)	61	(11.8%)	60	(11.6%)	36	(7.1%)	51	(9.8%)	31	(6.0%)	27	(5.2%)	39	(7.5%)	29	(5.6%)
情報通信業 (n=138)	平均値（標準偏差）	7.81	(2.15)	7.41	(2.03)	3.32	(0.87)	9.22	(1.66)	2.78	(0.92)	7.13	(2.04)	2.79	(0.76)	2.16	(0.79)	2.17	(0.78)
	ハイリスク者（%）	8	(5.8%)	9	(6.5%)	7	(5.1%)	5	(3.7%)	14	(10.1%)	8	(5.9%)	9	(6.5%)	8	(5.8%)	9	(6.5%)
製造業 (n=177)	平均値（標準偏差）	7.60	(1.82)	7.58	(1.67)	2.98	(0.98)	9.01	(1.70)	2.71	(0.92)	7.49	(1.87)	2.68	(0.71)	2.13	(0.72)	2.27	(0.78)
	ハイリスク者（%）	9	(5.1%)	3	(1.7%)	17	(9.6%)	15	(8.6%)	20	(11.3%)	14	(7.9%)	8	(4.5%)	10	(5.6%)	10	(5.6%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=20)	平均値（標準偏差）	8.75	(2.00)	9.00	(1.72)	3.70	(0.47)	9.50	(1.79)	3.15	(0.93)	7.05	(1.47)	2.70	(0.73)	2.00	(0.73)	2.35	(0.88)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)
複合サービス事業 (n=723)	平均値（標準偏差）	7.33	(2.26)	6.64	(2.15)	3.02	(0.95)	9.16	(1.82)	2.99	(0.89)	7.50	(1.83)	2.93	(0.71)	2.25	(0.81)	2.13	(0.78)
	ハイリスク者（%）	76	(10.5%)	122	(16.9%)	59	(8.2%)	62	(8.9%)	54	(7.5%)	39	(5.5%)	16	(2.2%)	59	(8.2%)	41	(5.7%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表16. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.50)	6.04	(2.23)	6.24	(2.41)	5.75	(2.29)	9.86	(3.81)	18.96	(5.24)	7.98	(2.06)	6.93	(2.00)	4.93	(2.00)	4.17	(1.22)
	ハイリスク者（%）	304	(13.0%)	145	(6.3%)	243	(10.5%)	172	(7.5%)	218	(9.5%)	190	(8.3%)	222	(9.9%)	165	(7.3%)	284	(12.5%)	81	(3.5%)
19-29歳 (n=323)	平均値（標準偏差）	6.61	(2.22)	6.36	(2.39)	7.06	(2.44)	6.32	(2.38)	11.18	(4.09)	20.13	(5.11)	7.72	(2.23)	6.79	(2.16)	4.76	(2.06)	4.39	(1.19)
	ハイリスク者（%）	37	(11.5%)	32	(10.0%)	51	(15.8%)	34	(10.6%)	49	(15.3%)	32	(10.0%)	33	(10.3%)	28	(8.8%)	36	(11.4%)	11	(3.4%)
30-39歳 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.59	(2.38)	6.28	(2.26)	6.51	(2.43)	5.76	(2.35)	10.20	(4.01)	19.04	(5.19)	7.79	(2.02)	6.80	(2.01)	4.93	(1.99)	4.24	(1.29)
	ハイリスク者（%）	105	(15.8%)	39	(6.0%)	70	(10.7%)	43	(6.6%)	58	(8.9%)	56	(8.6%)	58	(9.1%)	47	(7.3%)	81	(12.5%)	20	(3.0%)
40-49歳 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.52	(2.42)	6.16	(2.19)	6.32	(2.38)	5.71	(2.26)	9.94	(3.68)	19.12	(5.34)	8.04	(2.00)	6.94	(1.96)	5.02	(1.97)	4.29	(1.16)
	ハイリスク者（%）	105	(15.8%)	39	(6.0%)	70	(10.7%)	43	(6.6%)	58	(8.9%)	56	(8.6%)	58	(9.1%)	47	(7.3%)	81	(12.5%)	20	(3.0%)
50-59歳 (n=584)	平均値（標準偏差）	7.32	(2.67)	5.61	(2.04)	5.61	(2.23)	5.57	(2.16)	8.92	(3.32)	18.43	(5.17)	8.24	(2.06)	7.10	(1.93)	4.86	(2.00)	3.93	(1.17)
	ハイリスク者（%）	59	(10.1%)	21	(3.7%)	42	(7.3%)	37	(6.5%)	32	(5.6%)	42	(7.5%)	75	(13.7%)	42	(7.6%)	73	(13.2%)	14	(2.4%)
60-66歳 (n=101)	平均値（標準偏差）	8.09	(2.94)	5.04	(2.17)	4.75	(1.79)	5.16	(2.10)	8.19	(3.24)	16.53	(4.65)	8.22	(1.91)	7.16	(2.10)	5.25	(2.07)	3.60	(1.17)
	ハイリスク者（%）	8	(7.9%)	3	(3.1%)	1	(1.0%)	5	(5.0%)	3	(3.0%)	5	(5.3%)	6	(6.5%)	12	(12.6%)	16	(16.5%)	2	(2.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表18. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.50)	6.04	(2.23)	6.24	(2.41)	5.75	(2.29)	9.86	(3.81)	18.96	(5.24)	7.98	(2.06)	6.93	(2.00)	4.93	(2.00)	4.17	(1.22)
	ハイリスク者（%）	304	(13.0%)	145	(6.3%)	243	(10.5%)	172	(7.5%)	218	(9.5%)	190	(8.3%)	222	(9.9%)	165	(7.3%)	284	(12.5%)	81	(3.5%)
沿岸地区 (n=147)	平均値（標準偏差）	6.64	(2.64)	6.00	(2.23)	6.21	(2.47)	5.77	(2.24)	9.88	(4.00)	19.09	(5.55)	7.75	(2.36)	7.40	(2.18)	5.19	(2.21)	4.10	(1.21)
	ハイリスク者（%）	27	(18.4%)	9	(6.2%)	15	(10.3%)	11	(7.5%)	15	(10.4%)	18	(12.4%)	20	(13.9%)	19	(13.2%)	26	(17.9%)	4	(2.7%)
内陸地区 (n=2108)	平均値（標準偏差）	6.79	(2.50)	6.04	(2.22)	6.21	(2.40)	5.74	(2.28)	9.86	(3.80)	18.92	(5.23)	7.99	(2.04)	6.90	(1.99)	4.91	(1.98)	4.18	(1.22)
	ハイリスク者（%）	272	(12.9%)	127	(6.1%)	218	(10.5%)	151	(7.3%)	197	(9.5%)	163	(7.9%)	197	(9.7%)	143	(7.0%)	247	(12.1%)	75	(3.6%)
所在地不明 (n=81)	平均値（標準偏差）	7.69	(2.28)	6.12	(2.39)	7.01	(2.34)	6.05	(2.60)	9.71	(3.89)	19.79	(5.10)	8.04	(2.00)	6.81	(2.03)	4.85	(2.11)	3.95	(1.15)
	ハイリスク者（%）	5	(6.2%)	9	(11.1%)	10	(12.3%)	10	(12.3%)	6	(7.7%)	9	(11.5%)	5	(6.3%)	3	(3.8%)	11	(13.6%)	2	(2.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表17. 平成22年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

業種別・管理職/一般職		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.50)	6.04	(2.23)	6.24	(2.41)	5.75	(2.29)	9.86	(3.81)	18.96	(5.24)	7.98	(2.06)	6.93	(2.00)	4.93	(2.00)	4.17	(1.22)
	ハイリスク者（%）	304	(13.0%)	145	(6.3%)	243	(10.5%)	172	(7.5%)	218	(9.5%)	190	(8.3%)	222	(9.9%)	165	(7.3%)	284	(12.5%)	81	(3.5%)
卸業、小売業 (n=662)	平均値（標準偏差）	7.48	(2.54)	5.89	(2.19)	5.80	(2.27)	5.48	(2.25)	8.79	(3.48)	17.76	(4.97)	8.30	(2.03)	6.81	(2.05)	4.56	(1.86)	3.94	(1.19)
	ハイリスク者（%）	48	(7.3%)	36	(5.6%)	50	(7.7%)	44	(6.8%)	37	(5.7%)	43	(6.7%)	80	(12.7%)	42	(6.6%)	59	(9.2%)	14	(2.1%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=97)	平均値（標準偏差）	6.79	(2.25)	6.45	(2.16)	7.21	(2.37)	6.07	(1.98)	11.18	(3.72)	19.47	(4.61)	7.88	(2.21)	7.03	(2.02)	5.14	(2.11)	4.10	(1.29)
	ハイリスク者（%）	9	(9.3%)	10	(10.3%)	14	(14.6%)	8	(8.2%)	14	(14.7%)	6	(6.2%)	9	(9.3%)	8	(8.2%)	15	(15.6%)	3	(3.1%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=519)	平均値（標準偏差）	6.42	(2.39)	6.04	(2.15)	6.50	(2.42)	5.93	(2.36)	10.24	(3.84)	19.86	(5.28)	7.68	(1.92)	6.81	(1.93)	5.15	(1.94)	4.32	(1.17)
	ハイリスク者（%）	82	(15.8%)	27	(5.2%)	64	(12.4%)	42	(8.1%)	56	(10.8%)	52	(10.1%)	34	(6.7%)	34	(6.6%)	64	(12.5%)	22	(4.3%)
情報通信業 (n=138)	平均値（標準偏差）	6.47	(2.11)	5.62	(2.02)	6.19	(2.58)	5.51	(2.19)	9.57	(3.29)	18.90	(4.98)	7.79	(2.03)	7.10	(1.98)	4.74	(1.92)	4.08	(1.23)
	ハイリスク者（%）	17	(12.3%)	3	(2.2%)	18	(13.1%)	9	(6.6%)	8	(5.9%)	11	(8.1%)	12	(9.2%)	9	(6.8%)	15	(11.4%)	4	(3.0%)
製造業 (n=177)	平均値（標準偏差）	6.58	(2.31)	6.50	(2.26)	6.71	(2.37)	5.35	(1.93)	10.02	(3.70)	20.11	(5.38)	8.42	(1.95)	7.22	(1.96)	5.16	(2.20)	4.44	(1.27)
	ハイリスク者（%）	22	(12.4%)	16	(9.0%)	22	(12.4%)	3	(1.7%)	19	(10.8%)	15	(8.7%)	22	(12.8%)	13	(7.5%)	31	(17.9%)	10	(5.7%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=20)	平均値（標準偏差）	6.70	(2.49)	4.95	(1.85)	4.95	(1.50)	4.45	(1.85)	8.40	(3.05)	18.50	(4.77)	7.80	(1.88)	6.90	(1.59)	5.15	(1.90)	4.00	(1.17)
	ハイリスク者（%）	4	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)	1	(5.0%)	4	(20.0%)	1	(5.0%)
複合サービス事業 (n=723)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.59)	6.11	(2.34)	6.24	(2.43)	6.02	(2.36)	10.43	(4.01)	19.08	(5.37)	7.85	(2.14)	7.00	(2.04)	5.05	(2.07)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者（%）	122	(16.9%)	53	(7.5%)	75	(10.5%)	66	(9.3%)	83	(11.7%)	62	(8.8%)	63	(9.1%)	58	(8.4%)	96	(13.8%)	27	(3.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 5

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査:平成 23 年度調査報告

黒澤　美枝（岩手県精神保健福祉センター）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

平成 23 年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は、男性は 10,975 名（平均年齢 42.9 歳）、女性は 6,772 名（平均年齢 41.2 歳）で実施された。男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べて身体的負担と仕事コントロールの項目の得点が悪かった。沿岸地域では、仕事の量的負担、仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除くと全て悪かった。年齢階級別にみると、若い世代ではほとんどの項目で得点が悪く、ハイリスク者割合も高かった。業種別では、医療福祉業・教育学習支援業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。地域別の比較では、沿岸地域で疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べると、仕事負担と仕事コントロールの得点が悪かった。年齢階級別では、中年世代でハイリスク者割合が高かった。業種別では、仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業・卸小売業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業・複合サービス業などほぼ全ての業種で高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担・仕事の質的負担・身体的負担・仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも高かった。女性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気・疲労・抑うつ・身体愁訴・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。回答結果を業種別でみると、医療福祉業・学術研究業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より悪かったが、特にハイリスク者が多かったのは、製造業・複合サービス業であった。沿岸地域女性労働者では、イライラ、疲労、不安、抑うつ、上司からのサポートの項目でハイリスク者割合が基準値より高く、なおかつ内陸地域より高かった。平成 23 年度の岩手県労働者のメンタルヘルス調査では、基準値と違って標準化得点が悪く、ハイリスク者が非常に多い集団が認められた。この特異的な現象は、東日本大震災後の混乱した状況を反映している可能性がある。震災前のデータとも比較して、統計的手法を用いた解析検討が望まれる。

A. 研究目的

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査目的

岩手県予防医学協会は地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施してきている。平成23年度も継続して上記事業を実施した。また平成23年3月11日に東日本大震災発災があり、第177回通常国会において「被災労働者に対する緊急健康診断事業（無料の健康診断の実施に必要な経費）」として第一次補正予算案として10億円余が計上され、緊急健康診断事業は全国労働衛生団体連合会（全衛連）に業務の委託が決定され、被災3県（岩手、宮城、福島）で10億円の資金を使って、各県の健診機関に協力を仰いで緊急健康診断事業を実施した。緊急健康診断事業の対象とされたのは、被災県において、従業員が300人未満の中小事業場労働者であり、健診代金は全額無料である。緊急健康診断事業では、通常の特定健診事業に加えてストレスによる健康影響の調査が加えられており、震災に関連したアンケート調査と全衛連のストレスチェックシートの二つの調査がその内容である。岩手県では、従業員300人未満の中小企業64,014事業所403,135人中、1,941事業所（3.0%）、31,757人（7.9%）が緊急健康診断事業に参加した。

B. 研究方法

対象者

平成23年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は岩手県内陸地域に位置する25の事業所（12,259人）が参加した。また前述した、緊急健康診断事業に参加した31,757人中メンタルヘルス調査参加者は5,488人であった。両者を合わせて総数17,747名が平成23年度のメンタルヘルス調査に参加し、本稿では、この17,747名のデータセットを解析した結果を報告する。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別（製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸業・小売業、金融業・保険業、学術研究・専門・技術サービス業、教

育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、公務（他に分類されるものを除く）、その他）、地域別（内陸地域と沿岸地域、阿部報告書の図1参照）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

C. 研究結果

平成23年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内陸地域に位置する27事業所の従業員12,259人と、従業員300人未満の中小事業所を対象に実施された被災地緊急健康診断事業参加者でメンタルヘルス調査に参加した5,488人、計17,747人が参加した。男性は10,975名（17～85歳、平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（15～81歳、平均年齢41.2歳）であった。業種の内訳は、医療、福祉（61名）、卸業、小売業（344名）、学術研究、専門・技術サービス業（286名）、教育、学習支援業（2,557名）、金融業、保険業（279名）、公務（5,023名）、情報通信業（174名）、製造業（833名）、電気・ガス・熱供給・水道業（232名）、複合サービス事業（1,821名）、その他（6,137名）であった。以下に男女別に集計結果にそって結果を提示する。

男性労働者解析結果

表1は、男性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担を強く感じている（そうだ、と回答）労働者の割合は、11.4%から30.5%でみられ（表では太字で表示）、一生懸命働かなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が大きかった。仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目については、自分のペースで仕事ができないと感じている労働者が13.5%とやや高い割合で存在していたものの、そのほかの項目はそれほど高いわけではなかった。

表2は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的反応項目に関して不良であると回答した部分を太字で表示してある。心理的な活気や元気さについては、16.7%～18.8%の労働者がほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。また、ひどく疲れた（9.2%）、気が張り詰めている（8.1%）の項目では1割弱の労働者がほとんどいつもあったと回答していた。一方で、怒り、憂鬱、集中できない、悲しいなどに関して不良であると回答した労働者は1～5%程度であり、その割合は高くはなかった。

表3は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こり・腰痛・眼精疲労に関する項目では9.1%～13.3%の労働者はほとんどいつもあったと回答しているのに対して、そのほかの身体愁訴に関しては、ほとんどいつもあったと回答した労働者割合は0～3%程度であり、それほど高くはなかった。周囲からの支援状況に関する質問項目では、家族が非常に頼りになると回答した労働者が4割前後存在していた一方で、職場の上司には個人的な問題を聞いてもらえないと回答した労働者の割合が10.9%存在していた。満足度を問う質問項目では、仕事に満足していない、と回答した労働者が7.6%、家庭生活に

満足していないと回答したものが3.2％存在していた。

表4は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。

岩手県男性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、身体的負担と仕事コントロールの項目の得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。身体的負担に関するハイリスク者は、30歳未満で22.6％、30代で12.6％、60代で13.6%と高かった。仕事コントロールに関するハイリスク者は、30歳未満で15.1％、30代で11.8％、40代で11.0％、50代で8.9％、60歳以上で6.1％であり、基準値と比べて岩手県男性労働者は全ての世代で高かった。

表5は、表4と同様に職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を業種別に分けて示したものである。業種別で見られる特徴としては、身体的負担に関するハイリスク者が医療福祉業で35.7％、卸小売業で35.1％と非常に高い割合で存在していた。対人関係に関する項目のハイリスク者は、医療福祉業、卸小売業、学術研究業、電気ガス水道業で11％を超えていた。仕事コントロールに関するハイリスク者は、医療福祉業、卸小売業、情報通信業、製造業、電気ガス水道業で10％を超えており、医療福祉業では20％を超えていた。仕事適正に関するハイリスク者は医療福祉業で14.3％と高かった。

表6は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。沿岸地域と内陸地域を比べると、得点の大きな差は目立たなかったが、ハイリスク者の割合を見ると、沿岸地域で全体的に高くなっていた。特に身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者の割合が沿岸地域で高かった。

表7は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。岩手県男性労働者の心理的反応項目では、イライラに関する項目を除くと悪かった。またハイリスク者割合もイライラの項目以外では高くなっていた。周囲からの支援に関する項目でも得点は悪く、ハイリスク者割合が高かった。

年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者は、活気に関する項目以外の全ての項目で基準値より悪い得点であり、ハイリスク者割合も高かった。30代では、イライラ・同僚サポート・満足感の3項目を除いた項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。40代では、イライラ・上司サポート・同僚サポート・満足感の4項目を除いた項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。50代以上では、同僚サポートと家族サポートに関してハイリスク者割合が高かったが、その他の項目は概ね基準値と同様であった。

表8は、標準化得点法を用いた心理的反

応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気や元気さに関するハイリスク者割合は、情報通信業（13.8％）、製造業（16.6%）、電気ガス水道業（15.8％）で高かった。イライラに関する項目では、卸小売業でハイリスク者割合が10.8％と高かった。疲労に関するハイリスク者割合は、医療福祉業で28.6％、卸小売業で19.4％、情報通信業で15.2％、製造業で13.3％と高かった。不安に関するハイリスク者割合は、医療福祉業で14.3％、情報通信業で10.2％と高かった。抑うつに関するハイリスク者割合は、医療福祉業で14.3％、教育学習支援業で10.3％、情報通信業で10.9％、製造業で11.9％、電気ガス水道業で11.1％、複合サービス業で12.0％と高かった。肩こり腰痛眼精疲労などの身体愁訴のハイリスク者割合は、卸小売業で18.0％、情報通信業で11.0％、製造業で125％と高かった。

周囲からの支援に関する項目では、上司からの支援に関するハイリスク者割合は学術研究業で9.7％、製造業で10.9％と高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は学術研究業13.3％と高かった。家族からのサポートに関するハイリスク者割合は、製造業で12.9％、電気ガス水道業で10.3％、複合サービス業で12.9％と高かった。満足に関する項目では、製造業でハイリスク者割合が8.0％とやや高かった。

表9は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。沿岸地域と内陸地域を比べると、沿岸地域の労働者の得点は内陸地域よりも悪く、ハイリスク者割合も高かった。沿岸地域で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった項目は、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートに関する項目である。内陸地域では、活気、同僚や家族からのサポートに関するハイリスク者割合がやや高かった。

女性労働者解析結果

表10は、女性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担に関する7項目でのハイリスク者割合は、8.7%から34.5%でみられ、一生懸命働かなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が大きかった。また仕事の自己裁量権に関するハイリスク者割合が10～15％前後存在していた。その他の職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目に関しては、悪いと感じている労働者の割合は概ね2.5%～9.1%とそれほど高くはなかった。

表11は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。活気や元気さについては、18.6～24.7％の女性労働者でほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。ひどく疲れた(15.3%)、へとへとだ（9.4％）、だるい（11.6％）、気が張り詰めている(11.8%)、不安だ（11.3％）、といった項目でハイリスク者が高かったが、怒り、落ち着かない、憂うつなどに関してほとんどいつもあったと回答した労働者は1～8％前後とそれほど高い割合ではなかった。

表12は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こりがほとんどいつもあったと回答した労働者が28.1％、眼が疲れることがほとんどいつもあったと回答した労働者が19.2％と突出して多かっ

た。周囲からの支援状況をみると、上司に関しては、困ったときに頼りに全くならないと回答した者が11.4%、上司が個人的問題を全く聞いてくれないと回答した者が17.2%存在しており、上司に関しては十分な支援を受けられないと感じている女性労働者の割合が高かった。

表13は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。平成23年度の岩手県女性労働者の標準化得点は、基準値と比べると、仕事負担と仕事コントロールに関しては得点が悪く、対人関係・職場環境・働きがいに関してはほぼ同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担に関するハイリスク者割合は60歳以上を除いた全ての世代で高くなっており、30代では14.7%、40代では15.3%と中年世代で高くなっていたのが特徴である。仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関する項目では、60歳以上も含めて全ての世代でハイリスク者割合が基準値よりも高かった。身体的負担に関する項目では、30歳未満で18.2%、60歳以上で19.7%のハイリスク者が存在し、若年と高齢でハイリスク者が特に多かったのが特徴的である。

表14は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を業種別に示したものである。業種別で見られる特徴としては、量的仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業（21.3%）、卸小売業(14.6%)、学術研究業(18.8%)、教育学習支援業(21.5%)、公務（15.1%）、製造業（13.2%）、複合サービス業（11.2%）で高くなっており、特に医療福祉業・教育学習支援業・学術研究業ではハイリスク者が約20%存在していた。仕事による身体的負担に関する項目では、医療福祉業（23.4%）、卸小売業(12.2%)、教育学習支援業(12.2%)、金融業（13.5%）、公務（13.4%）、情報通信業(11.1%)、製造業（11.4%）、複合サービス業（16.0%）で高くなっており、特に医療福祉業・ではハイリスク者が2割存在していた。身体的負担に関する項目では、医療福祉業（34.0%）、卸小売業(23.5%)、製造業（16.5%）で高かった。仕事コントロールに関する項目では、医療福祉業（15.9%）、情報通信業（11.4%）、製造業（12.1%）で高かった。仕事適正に関する項目では、複合サービス業でハイリスク者割合が10.3%と高かった。

表15は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。沿岸地域では、仕事の量的負担に関するハイリスク者割合が15.9%、仕事の質的負担に関するハイリスク者割合が13.1%、身体的負担に関するハイリスク者割合が17.6%、仕事コントロールに関するハイリスク者割合が9.2%といずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

表16は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると平成23年度岩手県女性労働者の特徴としては、活気・疲労・抑うつ・身体愁訴・上司サポート・家族サポ

ートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

年齢階級別に見ると、活気に関するハイリスク者割合は、30歳未満の労働者で11.7%、30代で13.7%、40代で15.2%、50代で14.1%であり、中年世代で高かった。イライラに関する項目では、30歳未満が8.5%、30代が9.4%と若い世代でハイリスク者割合が高かった。疲労に関するハイリスク者割合は、30歳未満18.1%、30代16.2%、40代15.9%、50代10.6%と年齢が若いほど非常に高い割合が観察された。不安に関するハイリスク者割合は、30歳未満でのみ11.7%と高い値であった。抑うつに関するハイリスク者割合は、30歳未満15.0%、30代12.6%、40代12.7%、50代10.0%と年齢が若いほ高い割合が観察された。身体愁訴に関するハイリスク者割合は30歳未満から50代まで10-12%で観察され、30歳未満でハイリスク者割合が若干高かった。

支援状況の項目では、上司からのサポートに関するハイリスク者は、9.2%から12.8%存在し、中年世代で若干高かった。同僚サポートに関するハイリスク者割合は50代と60歳以上でやや高かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも基準値より高かったが、50代で15.1%と非常に高かった。

表17は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気に関する項目では、医療福祉業(12.8%)、学術研究業(12.8%)、公務(15.0%)、情報通信業(11.1%)、製造業(16.8%)、複合サービス業(15.1%)でハイリスク者割合が高かった。イライラに関するハイリスク者割合は、医療福祉業(10.6%)で高かった。疲労に関する項目では、医療福祉業(27.7%)、学術研究業(18.8%)、教育学習支援業(17.6%)、公務(14.5%)、製造業(20.2%)で高くなっており、特に医療福祉業・教育学習支援業・学術研究業・製造業ではハイリスク者割合が高かった。不安に関するハイリスク者割合は医療福祉業で17%、製造業で12%と高かった。抑うつに関する項目では、医療福祉業(19.1%)、学術研究業(12.0%)、教育学習支援業(13.1%)、製造業(14.2%)、複合サービス業(13.2%)とハイリスク者割合が高かった。身体愁訴に関するハイリスク者割合は、製造業で14.5%と非常に高かった。その他情報通信業を除いた全ての業種で10%程度存在していた。

周囲からの支援状況に関する項目では、上司からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉業で13.0%、卸小売業で14.4%、製造業で16.6%、複合サービス業で10.6%と高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉業で13.0%、情報通信業で11.01%とやや高かったものの、その他の業種では基準値と同等か下回った。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より高いハイリスク者割合が観察された。特に高かったのは、医療福祉業で23.4%、製造業で18.0%、複合サービス業で16.6%の3業種であった。

表18は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。女性労働者に関しては沿岸地域の労働者で得点が悪い項目が多かった。沿岸地域では、イライラ(8.1%)、疲労(16.4%)、不安(10.5%)、抑うつ(13.1%)、上司からのサポート(11.1%)の項目でハイリスク者割合が基準値より高く、なおかつ内陸地域より高かった。一方内陸地域では、活気

(14.5%)と家族サポート(13.4%)の項目でハイリスク者割合が高かった。

D. 考察

本研究事業において平成23年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の概要は以下のとおりである。

解析対象者は計17,747人で、男性は10,975名(平均年齢42.9歳)、女性は6,772名(平均年齢41.2歳)であった。業種の内訳は、医療、福祉 (61名)、卸業、小売業 (344名)、学術研究、専門・技術サービス業 (286名)、教育、学習支援業 (2,557名)、金融業、保険業 (279名)、公務 (5,023名)、情報通信業 (174名)、製造業 (833名)、電気・ガス・熱供給・水道業(232名)、複合サービス事業 (1,821名)、その他 (6,137名)であった。

平成23年岩手県男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べて悪い項目はほとんどなかったが、身体的負担と仕事をコントロールの項目の得点が悪かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。身体的負担に関するハイリスク者は、30歳未満で22.6%、30代で12.6%と高かった。仕事がコントロールできていないと感じているハイリスク者は基準値と比べて岩手県男性労働者は全ての世代で高かった。業種別では、身体的負担に関するハイリスク者が医療福祉業で35.7%、卸小売業で35.1%と非常に高い割合で存在していた。仕事コントロールに関するハイリスク者は、医療福祉業では20%を超えていた。仕事適正に関するハイリスク者は医療福祉業で14.3%と高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担、仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

岩手県男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除くと全て悪かった。周囲からの支援に関しても得点は悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別にみると、若い世代ではほとんどの項目で得点が悪く、ハイリスク者割合も高かった。特に30代では、イライラ・同僚サポート・満足感の3項目を除いた項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気や元気さに関するハイリスク者割合は、情報通信業・製造業・電気ガス水道業で高く、イライラに関する項目では、卸小売業で高く、疲労に関する項目では医療福祉業・卸小売業・情報通信業・製造業で高く、不安に関する項目では、医療福祉業・情報通信業で高く、抑うつに関する項目では、医療福祉業・教育学習支援業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。身体愁訴のハイリスク者割合は、卸小売業・情報通信業・製造業で高かった。周囲からの支援に関する項目では、学術研究業・製造業で職場からの支援項目でハイリスク者割合が高かった。家族からのサポートがないと感じるハイリスク者割合は、製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。

地域別の比較では、沿岸地域の労働者では、疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。

平成23年岩手県女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べると、仕事負担と仕事コントロールに関しては得点が悪く、対人関係・職場環境・働きがい

に関してはほぼ基準値と同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担に関するハイリスク者割合は60歳以上を除いた全ての世代で高くなっており、特に中年世代で高かった。仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関する項目では、60歳以上も含めて全ての世代でハイリスク者割合が基準値よりも高かった。身体的負担に関する項目では、若年と高齢でハイリスク者が特に多かった。

業種別で見られる特徴としては、仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業・卸小売業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業・複合サービス業などほぼ全ての業種で高かった。仕事コントロールに関する項目では、医療福祉業・情報通信業・製造業で高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担・仕事の質的負担・身体的負担・仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

岩手県女性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気・疲労・抑うつ・身体愁訴・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

年齢階級別に見ると、活気に関するハイリスク者割合は中年世代で高く、イライラと抑うつに関する項目では若い世代でハイリスク者割合が高かった。疲労と不安に関するハイリスク者割合は、若い世代でのみ高かった。身体愁訴に関するハイリスク者割合は30歳未満から50代まで10～12％で観察された。上司からのサポートに関するハイリスク者は、中年世代で高く、同僚サポートに関するハイリスク者割合は50歳以上で高かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも高く、50代で特に高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。イライラに関するハイリスク者割合は、医療福祉業で高かった。疲労に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業で高かった。不安に関するハイリスク者割合は医療福祉業・製造業で高かった。抑うつに関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。身体愁訴に関する項目では、製造業でハイリスク者割合が高かった。

上司からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉・卸小売業・製造業・複合サービス業で高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は、医療福祉業・情報通信業で高かった。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より高かったが、特に高かったのは、医療福祉業・製造業・複合サービス業であった。

地域別の比較では、沿岸地域女性労働者では、イライラ、疲労、不安、抑うつ、上司からのサポートの項目でハイリスク者割合が基準値より高く、なおかつ内陸地域より高かった。一方内陸地域では、活気と家族サポートの項目で基準値ならびに沿岸地域に比べてハイリスク者割合が高かった。

今回の検討結果をみると、平成23年度の岩手県では、男女に共通して仕事負担が多いと考えている労働者が多く、周囲からの支援が不十分と考えている労働者が多いことが判明した。沿岸地域の女性労働者では、職場の支

援状況も不十分である上に、家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在していることから、職場環境の改善のみならず、家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

E. 結論

平成23年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は、男性は10,975名（平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（平均年齢41.2歳）で実施された。

男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べて身体的負担と仕事コントロールの項目の得点が悪かった。沿岸地域では、仕事の量的負担、仕事の質的負担、身体的負担、仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも基準値と内陸地域のハイリスク割合を上回っていた。

男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除くと全て悪かった。年齢階級別にみると、若い世代ではほとんどの項目で得点が悪く、ハイリスク者割合も高かった。業種別では、医療福祉業・教育学習支援業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。地域別の比較では、沿岸地域で疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。

女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べると、仕事負担と仕事コントロールの得点が悪かった。年齢階級別では、中年世代でハイリスク者割合が高かった。業種別では、仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業・卸小売業・学術研究業・教育学習支援業・公務・製造業・複合サービス業などほぼ全ての業種で高かった。沿岸地域では、仕事の量的負担・仕事の質的負担・身体的負担・仕事コントロールに関するハイリスク者割合がいずれも高かった。

女性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気・疲労・抑うつ・身体愁訴・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。回答結果を業種別でみると、医療福祉業・学術研究業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業でハイリスク者割合が高かった。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より悪かったが、特にハイリスク者が多かったのは、医療福祉業・製造業・複合サービス業であった。沿岸地域女性労働者では、イライラ、疲労、不安、抑うつ、上司からのサポートの項目でハイリスク者割合が基準値より高く、なおかつ内陸地域より高かった。

平成23年度の岩手県労働者のメンタルヘルスに関する特徴としては、職業性ストレス関連項目に関する回答結果では男女ともに仕事負担に関してハイリスク者が多く、男性では若い世代で、女性では中年世代でハイリスク者が多かった。心理的反応項目に関する回答結果は、男女ともにほとんどの項目で得点が悪く、そしてハイリスク者割合が高かった。男性では若い世代で得点が悪く、女性では中年世代で高かった。地域別の検討では、沿岸地域の女性労働者では、心理的反応項目と周囲からの支援の項目でハイリスク者割合が非常に高かった。

平成23年度の岩手県労働者のメンタルヘルス調査では、基準値と比べて標準化得点が悪

く、ハイリスク者が非常に多い集団が認められた。この特異的な現象は、東日本大震災後の混乱した状況を反映している可能性がある。震災前のデータとも比較して、統計的手法を用いた解析検討が望まれる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

特になし

2.学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

男性労働者（n=19,075）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**1590**	**(14.5%)**	5393	(49.1%)	2672	(24.3%)	1026	(9.3%)	294	(2.7%)
時間内に仕事を処理しきれない	**1480**	**(13.5%)**	3662	(33.4%)	3506	(31.9%)	2032	(18.5%)	295	(2.7%)
一生懸命働かなければならない	**3352**	**(30.5%)**	5767	(52.5%)	1199	(10.9%)	362	(3.3%)	295	(2.7%)
かなり注意を集中する必要がある	**2439**	**(22.2%)**	5860	(53.4%)	2053	(18.7%)	327	(3.0%)	296	(2.7%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**1438**	**(13.1%)**	5053	(46.0%)	3383	(30.8%)	798	(7.3%)	303	(2.8%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**1705**	**(15.5%)**	5246	(47.8%)	3146	(28.7%)	570	(5.2%)	308	(2.8%)
体を大変よく使う仕事だ	**1249**	**(11.4%)**	2554	(23.3%)	3881	(35.4%)	3007	(27.4%)	284	(2.6%)
自分のペースで仕事ができる	876	(8.0%)	4503	(41.0%)	3812	(34.7%)	**1484**	**(13.5%)**	300	(2.7%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	1492	(13.6%)	5705	(52.0%)	2679	(24.4%)	**803**	**(7.3%)**	296	(2.7%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	867	(7.9%)	5791	(52.8%)	3110	(28.3%)	**898**	**(8.2%)**	309	(2.8%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**430**	**(3.9%)**	2103	(19.2%)	5844	(53.2%)	2291	(20.9%)	307	(2.8%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**476**	**(4.3%)**	2489	(22.7%)	5623	(51.2%)	2069	(18.9%)	318	(2.9%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**302**	**(2.8%)**	1398	(12.7%)	5389	(49.1%)	3545	(32.3%)	341	(3.1%)
私の職場の雰囲気は友好的である	2693	(24.5%)	6193	(56.4%)	1386	(12.6%)	**388**	**(3.5%)**	315	(2.9%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**1011**	**(9.2%)**	2374	(21.6%)	4495	(41.0%)	2776	(25.3%)	319	(2.9%)
仕事の内容は自分にあっている	1576	(14.4%)	6157	(56.1%)	2314	(21.1%)	**594**	**(5.4%)**	334	(3.0%)
働きがいのある仕事だ	2379	(21.7%)	5824	(53.1%)	1883	(17.2%)	**483**	**(4.4%)**	406	(3.7%)

表2. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

心理的反応項目

男性労働者（n=10,975）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**1887**	**(17.2%)**	5348	(48.7%)	2991	(27.3%)	722	(6.6%)	27	(0.2%)
元気がいっぱいだ	**1835**	**(16.7%)**	5065	(46.2%)	3099	(28.2%)	950	(8.7%)	26	(0.2%)
生き生きする	**2064**	**(18.8%)**	5146	(46.9%)	2964	(27.0%)	759	(6.9%)	42	(0.4%)
怒りを感じる	3141	(28.6%)	4927	(44.9%)	2462	(22.4%)	**417**	**(3.8%)**	28	(0.3%)
内心腹立たしい	3605	(32.8%)	4723	(43.0%)	2141	(19.5%)	**476**	**(4.3%)**	30	(0.3%)
イライラしている	3274	(29.8%)	5088	(46.4%)	2107	(19.2%)	**478**	**(4.4%)**	28	(0.3%)
ひどく疲れた	2011	(18.3%)	4869	(44.4%)	3064	(27.9%)	**1005**	**(9.2%)**	26	(0.2%)
へとへとだ	4593	(41.8%)	3807	(34.7%)	1913	(17.4%)	**637**	**(5.8%)**	25	(0.2%)
だるい	3266	(29.8%)	4685	(42.7%)	2210	(20.1%)	**790**	**(7.2%)**	24	(0.2%)
気が張り詰めている	2467	(22.5%)	4773	(43.5%)	2823	(25.7%)	**885**	**(8.1%)**	27	(0.2%)
不安だ	3733	(34.0%)	4396	(40.1%)	2015	(18.4%)	**803**	**(7.3%)**	28	(0.3%)
落ち着かない	5091	(46.4%)	4012	(36.6%)	1431	(13.0%)	**414**	**(3.8%)**	27	(0.2%)
ゆううつだ	4862	(44.3%)	3939	(35.9%)	1591	(14.5%)	**556**	**(5.1%)**	27	(0.2%)
何をするのも面倒だ	5184	(47.2%)	4192	(38.2%)	1207	(11.0%)	**365**	**(3.3%)**	27	(0.2%)
物事に集中できない	5012	(45.7%)	4649	(42.4%)	1063	(9.7%)	**228**	**(2.1%)**	23	(0.2%)
気分が晴れない	3822	(34.8%)	4844	(44.1%)	1639	(14.9%)	**645**	**(5.9%)**	25	(0.2%)
仕事が手につかない	7151	(65.2%)	3049	(27.8%)	612	(5.6%)	**136**	**(1.2%)**	27	(0.2%)
悲しいと感じる	6892	(62.8%)	2832	(25.8%)	913	(8.3%)	**308**	**(2.8%)**	30	(0.3%)

表3. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

身体愁訴と周囲支援状況

男性労働者（n=10,975）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	8764	(79.9%)	1617	(14.7%)	405	(3.7%)	**166**	**(1.5%)**	23	(0.2%)
体の節々がいたむ	7298	(66.5%)	2681	(24.4%)	710	(6.5%)	**261**	**(2.4%)**	25	(0.2%)
頭が重かったり頭痛がする	6453	(58.8%)	3335	(30.4%)	974	(8.9%)	**188**	**(1.7%)**	25	(0.2%)
首筋や肩がこる	3376	(30.8%)	3752	(34.2%)	2349	(21.4%)	**1465**	**(13.3%)**	33	(0.3%)
腰が痛い	4411	(40.2%)	3622	(33.0%)	1920	(17.5%)	**994**	**(9.1%)**	28	(0.3%)
眼が疲れる	2509	(22.9%)	4260	(38.8%)	2934	(26.7%)	**1240**	**(11.3%)**	32	(0.3%)
動悸や息切れがする	8479	(77.3%)	1940	(17.7%)	425	(3.9%)	**100**	**(0.9%)**	31	(0.3%)
胃腸の具合が悪い	6770	(61.7%)	3117	(28.4%)	796	(7.3%)	**262**	**(2.4%)**	30	(0.3%)
食欲がない	8506	(77.5%)	2015	(18.4%)	331	(3.0%)	**92**	**(0.8%)**	31	(0.3%)
便秘や下痢をする	6434	(58.6%)	3250	(29.6%)	951	(8.7%)	**312**	**(2.8%)**	28	(0.3%)
よく眠れない	6371	(58.1%)	3190	(29.1%)	1019	(9.3%)	**365**	**(3.3%)**	30	(0.3%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	1370	(12.5%)	3902	(35.6%)	4759	(43.4%)	**580**	**(5.3%)**	364	(3.3%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	2374	(21.6%)	5342	(48.7%)	2767	(25.2%)	**132**	**(1.2%)**	360	(3.3%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	4876	(44.4%)	4159	(37.9%)	1418	(12.9%)	**131**	**(1.2%)**	391	(3.6%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	1601	(14.6%)	4010	(36.5%)	4116	(37.5%)	**857**	**(7.8%)**	391	(3.6%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	1552	(14.1%)	4628	(42.2%)	3919	(35.7%)	**489**	**(4.5%)**	387	(3.5%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	4011	(36.5%)	4338	(39.5%)	2018	(18.4%)	**215**	**(2.0%)**	393	(3.6%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	1051	(9.6%)	3525	(32.1%)	4742	(43.2%)	**1195**	**(10.9%)**	462	(4.2%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	1050	(9.6%)	3814	(34.8%)	4836	(44.1%)	**827**	**(7.5%)**	448	(4.1%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	4401	(40.1%)	4293	(39.1%)	1666	(15.2%)	**222**	**(2.0%)**	393	(3.6%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	1478	(13.5%)	5893	(53.7%)	2419	(22.0%)	**833**	**(7.6%)**	352	(3.2%)
家庭生活に満足だ	3101	(28.3%)	5725	(52.2%)	1433	(13.1%)	**354**	**(3.2%)**	362	(3.3%)

表4. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.07)	6.60	(1.83)	2.81	(0.98)	9.07	(1.74)	2.85	(0.92)	7.19	(1.86)	2.94	(0.75)	2.18	(0.75)	2.04	(0.76)
	ハイリスク者（%）	785	(7.2%)	514	(4.7%)	1249	(11.4%)	788	(7.4%)	1011	(9.2%)	1173	(11.0%)	430	(3.9%)	594	(5.4%)	483	(4.4%)
19-29歳 (n=1,587)	平均値（標準偏差）	6.57	(1.91)	6.68	(1.94)	2.40	(1.04)	9.06	(1.85)	2.80	(0.96)	7.48	(1.96)	2.79	(0.80)	2.23	(0.77)	2.03	(0.83)
	ハイリスク者（%）	88	(5.5%)	67	(4.2%)	358	(22.6%)	143	(9.4%)	174	(11.0%)	229	(15.1%)	100	(6.3%)	97	(6.1%)	95	(6.0%)
30-39歳 (n=2,992)	平均値（標準偏差）	6.43	(1.95)	6.52	(1.79)	2.73	(0.99)	8.95	(1.79)	2.78	(0.93)	7.30	(1.86)	2.97	(0.72)	2.20	(0.75)	2.03	(0.77)
	ハイリスク者（%）	256	(8.6%)	141	(4.7%)	377	(12.6%)	256	(8.9%)	324	(10.8%)	341	(11.8%)	94	(3.1%)	164	(5.5%)	131	(4.4%)
40-49歳 (n=3,072)	平均値（標準偏差）	6.53	(2.02)	6.50	(1.78)	2.91	(0.92)	9.02	(1.68)	2.82	(0.91)	7.28	(1.79)	2.95	(0.74)	2.24	(0.76)	2.08	(0.75)
	ハイリスク者（%）	257	(8.4%)	157	(5.1%)	268	(8.7%)	205	(6.8%)	281	(9.1%)	329	(11.0%)	117	(3.8%)	206	(6.7%)	140	(4.6%)
50-59歳 (n=2,837)	平均値（標準偏差）	7.11	(2.13)	6.65	(1.81)	3.01	(0.88)	9.17	(1.67)	2.94	(0.87)	6.94	(1.82)	2.97	(0.75)	2.12	(0.72)	2.04	(0.74)
	ハイリスク者（%）	162	(5.7%)	129	(4.5%)	180	(6.3%)	167	(6.1%)	190	(6.7%)	246	(8.9%)	95	(3.3%)	116	(4.1%)	101	(3.6%)
60-66歳 (n=487)	平均値（標準偏差）	8.10	(2.34)	7.21	(2.10)	2.78	(1.03)	9.52	(1.62)	3.05	(0.93)	6.53	(1.89)	2.96	(0.85)	1.92	(0.68)	1.99	(0.74)
	ハイリスク者（%）	22	(4.5%)	20	(4.1%)	66	(13.6%)	17	(3.8%)	42	(8.6%)	28	(6.1%)	24	(4.9%)	11	(2.3%)	16	(3.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表6. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.07)	6.60	(1.83)	2.81	(0.98)	9.07	(1.74)	2.85	(0.92)	7.19	(1.86)	2.94	(0.75)	2.18	(0.75)	2.04	(0.76)
	ハイリスク者（%）	785	(7.2%)	514	(4.7%)	1249	(11.4%)	788	(7.4%)	1011	(9.2%)	1173	(11.0%)	430	(3.9%)	594	(5.4%)	483	(4.4%)
沿岸地区 (n=2,991)	平均値（標準偏差）	6.51	(2.07)	6.53	(1.88)	2.63	(0.95)	9.06	(1.77)	2.89	(0.91)	7.25	(1.91)	3.00	(0.76)	2.13	(0.72)	1.96	(0.77)
	ハイリスク者（%）	245	(8.2%)	154	(5.1%)	402	(13.4%)	230	(7.9%)	255	(8.5%)	371	(12.7%)	119	(4.0%)	126	(4.2%)	122	(4.1%)
内陸地区 (n=7,967)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.06)	6.62	(1.82)	2.88	(0.98)	9.07	(1.73)	2.83	(0.92)	7.17	(1.84)	2.91	(0.75)	2.20	(0.75)	2.08	(0.76)
	ハイリスク者（%）	540	(6.8%)	360	(4.5%)	846	(10.6%)	557	(7.3%)	755	(9.5%)	800	(10.4%)	310	(3.9%)	467	(5.9%)	361	(4.5%)
所在地不明 (n=17)	平均値（標準偏差）	6.94	(1.48)	7.59	(1.28)	2.82	(0.88)	9.29	(1.57)	2.94	(0.83)	7.24	(1.79)	2.82	(0.73)	2.12	(0.78)	1.88	(0.60)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.07)	6.60	(1.83)	2.81	(0.98)	9.07	(1.74)	2.85	(0.92)	7.19	(1.86)	2.94	(0.75)	2.18	(0.75)	2.04	(0.76)
	ハイリスク者（%）	785	(7.2%)	514	(4.7%)	1249	(11.4%)	788	(7.4%)	1011	(9.2%)	1173	(11.0%)	430	(3.9%)	594	(5.4%)	483	(4.4%)
その他 (n=3,206)	平均値（標準偏差）	6.69	(2.06)	6.64	(1.95)	2.38	(1.00)	8.74	(1.84)	2.69	(0.98)	7.44	(2.02)	2.86	(0.79)	2.19	(0.73)	2.14	(0.79)
	ハイリスク者（%）	197	(6.1%)	132	(4.1%)	665	(20.7%)	330	(11.5%)	415	(12.9%)	436	(15.0%)	164	(5.1%)	142	(4.4%)	175	(5.5%)
医療、福祉 (n=14)	平均値（標準偏差）	5.43	(1.16)	6.64	(2.27)	2.21	(1.12)	7.69	(1.60)	3.71	(0.47)	7.71	(2.05)	3.21	(0.70)	2.50	(1.09)	2.07	(0.83)
	ハイリスク者（%）	1	(7.1%)	0	(0.0%)	5	(35.7%)	2	(15.4%)	0	(0.0%)	3	(21.4%)	0	(0.0%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)
卸業、小売業 (n=131)	平均値（標準偏差）	5.76	(1.82)	6.43	(2.11)	1.93	(0.84)	8.95	(2.11)	3.08	(0.91)	7.03	(1.98)	2.78	(0.83)	2.12	(0.83)	2.06	(0.85)
	ハイリスク者（%）	15	(11.5%)	10	(7.6%)	46	(35.1%)	18	(13.7%)	8	(6.1%)	16	(12.3%)	12	(9.2%)	9	(6.9%)	7	(5.3%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=169)	平均値（標準偏差）	6.24	(1.89)	6.48	(1.65)	3.36	(0.73)	8.41	(1.90)	3.33	(0.74)	6.47	(1.74)	3.22	(0.80)	1.85	(0.71)	1.85	(0.73)
	ハイリスク者（%）	19	(11.2%)	7	(4.1%)	3	(1.8%)	24	(14.3%)	6	(3.6%)	7	(4.2%)	5	(3.0%)	3	(1.8%)	4	(2.4%)
教育、学習支援業 (n=1,422)	平均値（標準偏差）	6.13	(1.98)	6.43	(1.82)	2.63	(0.85)	9.21	(1.76)	3.00	(0.88)	6.90	(1.79)	3.17	(0.70)	2.00	(0.68)	1.71	(0.69)
	ハイリスク者（%）	158	(11.1%)	86	(6.0%)	127	(8.9%)	94	(6.7%)	98	(6.9%)	125	(8.8%)	30	(2.1%)	36	(2.5%)	29	(2.0%)
金融業、保険業 (n=183)	平均値（標準偏差）	6.90	(2.17)	5.88	(1.50)	3.37	(0.69)	9.36	(1.83)	3.10	(0.90)	7.03	(1.74)	3.11	(0.64)	2.27	(0.81)	1.97	(0.73)
	ハイリスク者（%）	15	(8.2%)	9	(4.9%)	3	(1.6%)	16	(8.9%)	12	(6.6%)	17	(9.3%)	1	(0.5%)	16	(8.7%)	6	(3.3%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=3,976)	平均値（標準偏差）	7.02	(2.08)	6.73	(1.74)	3.20	(0.84)	9.36	(1.56)	2.86	(0.88)	7.12	(1.74)	2.94	(0.72)	2.21	(0.73)	2.06	(0.72)
	ハイリスク者（%）	244	(6.1%)	166	(4.2%)	182	(4.6%)	146	(3.7%)	316	(7.9%)	361	(9.1%)	123	(3.1%)	217	(5.5%)	148	(3.7%)
情報通信業 (n=138)	平均値（標準偏差）	6.78	(1.73)	6.41	(1.91)	2.99	(0.88)	8.95	(1.85)	2.98	(0.86)	7.07	(2.05)	3.12	(0.71)	2.12	(0.93)	1.81	(0.75)
	ハイリスク者（%）	5	(3.6%)	8	(5.8%)	8	(5.8%)	13	(9.4%)	5	(3.6%)	18	(13.0%)	2	(1.4%)	14	(10.1%)	2	(1.4%)
製造業 (n=463)	平均値（標準偏差）	6.50	(1.98)	6.52	(1.78)	2.59	(1.00)	8.77	(1.79)	2.69	(0.95)	7.70	(1.91)	2.68	(0.79)	2.30	(0.77)	2.28	(0.77)
	ハイリスク者（%）	46	(9.9%)	19	(4.1%)	74	(16.0%)	43	(9.4%)	57	(12.3%)	72	(15.7%)	38	(8.2%)	40	(8.6%)	37	(8.0%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=209)	平均値（標準偏差）	7.50	(2.14)	6.74	(1.92)	2.97	(0.88)	8.69	(1.78)	2.67	(0.92)	7.42	(1.78)	2.87	(0.73)	2.25	(0.80)	2.17	(0.79)
	ハイリスク者（%）	11	(5.3%)	10	(4.8%)	13	(6.2%)	24	(11.5%)	22	(10.5%)	21	(10.1%)	10	(4.8%)	17	(8.1%)	13	(6.2%)
複合サービス事業 (n=1,064)	平均値（標準偏差）	6.67	(2.02)	6.40	(1.84)	2.74	(0.95)	8.98	(1.67)	2.96	(0.85)	7.09	(1.77)	2.86	(0.75)	2.27	(0.80)	2.13	(0.78)
	ハイリスク者（%）	74	(7.0%)	67	(6.3%)	123	(11.6%)	78	(7.4%)	72	(6.8%)	97	(9.2%)	45	(4.2%)	98	(9.2%)	62	(5.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)ー男性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=10,975)	平均値(標準偏差)	6.74	(2.29)	5.95	(2.21)	6.20	(2.35)	5.93	(2.17)	10.04	(3.72)	17.81	(5.11)	7.40	(2.06)	6.89	(1.89)	5.33	(2.04)	4.15	(1.24)
	ハイリスク者 (%)	1222	(11.1%)	577	(5.3%)	1006	(9.2%)	696	(6.4%)	983	(9.0%)	925	(8.5%)	644	(6.1%)	623	(5.9%)	963	(9.2%)	379	(3.6%)
19-29歳 (n=1,587)	平均値(標準偏差)	6.79	(2.26)	6.29	(2.38)	6.84	(2.38)	6.12	(2.33)	10.67	(3.84)	17.80	(5.43)	7.34	(2.11)	6.58	(2.02)	5.16	(2.04)	4.40	(1.28)
	ハイリスク者 (%)	155	(9.8%)	131	(8.3%)	214	(13.5%)	141	(8.9%)	201	(12.7%)	142	(9.0%)	90	(6.0%)	81	(5.4%)	130	(8.7%)	85	(5.7%)
30-39歳 (n=2,992)	平均値(標準偏差)	6.69	(2.26)	6.23	(2.26)	6.57	(2.38)	6.04	(2.22)	10.32	(3.78)	17.91	(5.22)	7.38	(2.10)	6.71	(1.94)	5.25	(2.03)	4.23	(1.26)
	ハイリスク者 (%)	330	(11.0%)	187	(6.3%)	349	(11.7%)	210	(7.0%)	293	(9.8%)	275	(9.3%)	180	(6.3%)	145	(5.0%)	256	(8.9%)	112	(3.9%)
40-49歳 (n=3,072)	平均値(標準偏差)	6.58	(2.28)	5.99	(2.15)	6.29	(2.35)	6.05	(2.21)	10.23	(3.75)	18.01	(5.06)	7.34	(2.07)	6.92	(1.85)	5.41	(2.09)	4.19	(1.23)
	ハイリスク者 (%)	396	(12.9%)	152	(5.0%)	287	(9.4%)	224	(7.3%)	284	(9.3%)	255	(8.4%)	168	(5.7%)	161	(5.4%)	302	(10.2%)	115	(3.8%)
50-59歳 (n=2,837)	平均値(標準偏差)	6.78	(2.28)	5.56	(2.06)	5.55	(2.10)	5.69	(1.97)	9.47	(3.51)	17.66	(4.93)	7.54	(1.97)	7.18	(1.75)	5.42	(1.99)	4.00	(1.18)
	ハイリスク者 (%)	308	(10.9%)	92	(3.3%)	139	(4.9%)	107	(3.8%)	187	(6.6%)	226	(8.1%)	185	(6.8%)	196	(7.2%)	233	(8.6%)	63	(2.3%)
60-66歳 (n=487)	平均値(標準偏差)	7.71	(2.41)	5.16	(2.01)	5.04	(2.07)	5.17	(1.90)	8.42	(3.17)	16.89	(4.65)	7.39	(2.02)	7.13	(1.86)	5.39	(2.01)	3.63	(1.11)
	ハイリスク者 (%)	33	(6.8%)	15	(3.1%)	17	(3.5%)	14	(2.9%)	18	(3.8%)	27	(5.8%)	21	(5.0%)	40	(9.3%)	42	(9.6%)	4	(0.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表9. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)ー男性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全体 (n=10,975)	平均値(標準偏差)	6.74	(2.29)	5.95	(2.21)	6.20	(2.35)	5.93	(2.17)	10.04	(3.72)	17.81	(5.11)	7.40	(2.06)	6.89	(1.89)	5.33	(2.04)	4.15	(1.24)
	ハイリスク者 (%)	1222	(11.1%)	577	(5.3%)	1006	(9.2%)	696	(6.4%)	983	(9.0%)	925	(8.5%)	644	(6.1%)	623	(5.9%)	963	(9.2%)	379	(3.6%)
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
沿岸地区 (n=2,991)	平均値(標準偏差)	6.89	(2.31)	6.07	(2.21)	6.40	(2.37)	6.04	(2.20)	10.32	(3.82)	17.95	(5.17)	7.38	(2.09)	6.85	(1.90)	5.20	(2.01)	4.12	(1.26)
	ハイリスク者 (%)	302	(10.1%)	173	(5.8%)	319	(10.7%)	212	(7.1%)	306	(10.3%)	261	(8.8%)	188	(6.6%)	167	(5.8%)	231	(8.1%)	100	(3.5%)
内陸地区 (n=7,967)	平均値(標準偏差)	6.69	(2.28)	5.91	(2.21)	6.12	(2.33)	5.88	(2.16)	9.94	(3.68)	17.76	(5.09)	7.41	(2.04)	6.90	(1.88)	5.38	(2.05)	4.17	(1.24)
	ハイリスク者 (%)	920	(11.5%)	404	(5.1%)	687	(8.7%)	484	(6.1%)	677	(8.5%)	661	(8.4%)	454	(6.0%)	456	(6.0%)	729	(9.6%)	279	(3.6%)
所在地不明 (n=17)	平均値(標準偏差)	7.29	(1.21)	5.76	(1.82)	6.00	(1.80)	5.47	(2.03)	9.53	(2.03)	19.06	(5.10)	7.65	(2.69)	6.88	(2.00)	6.06	(2.35)	3.71	(1.10)
	ハイリスク者 (%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(17.6%)	2	(11.8%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表8. 平成23年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)ー男性労働者

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=10,975)	平均値(標準偏差)	6.74	(2.29)	5.95	(2.21)	6.20	(2.35)	5.93	(2.17)	10.04	(3.72)	17.81	(5.11)	7.40	(2.06)	6.89	(1.89)	5.33	(2.04)	4.15	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1222	(11.1%)	577	(5.3%)	1006	(9.2%)	696	(6.4%)	983	(9.0%)	925	(8.5%)	644	(6.1%)	623	(5.9%)	963	(9.2%)	379	(3.6%)
その他 (n=3,206)	平均値(標準偏差)	6.63	(2.34)	6.34	(2.29)	6.54	(2.36)	6.04	(2.25)	10.35	(3.73)	18.22	(5.37)	7.81	(2.10)	7.14	(1.95)	5.49	(2.11)	4.41	(1.29)
	ハイリスク者（%）	420	(13.1%)	243	(7.6%)	342	(10.7%)	235	(7.4%)	326	(10.3%)	339	(10.7%)	261	(9.3%)	237	(8.4%)	317	(11.2%)	144	(5.0%)
医療、福祉 (n=14)	平均値(標準偏差)	6.29	(2.16)	7.29	(2.27)	7.50	(2.77)	6.57	(2.59)	11.71	(4.16)	18.07	(4.12)	8.07	(1.82)	7.15	(1.52)	5.50	(1.91)	4.21	(1.53)
	ハイリスク者（%）	1	(7.1%)	1	(7.1%)	4	(28.6%)	2	(14.3%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	1	(7.7%)	1	(7.1%)	1	(7.1%)
卸業、小売業 (n=131)	平均値(標準偏差)	7.11	(2.56)	6.30	(2.58)	6.78	(2.75)	6.20	(2.38)	10.24	(4.03)	19.55	(6.52)	7.28	(2.37)	6.74	(2.19)	5.12	(2.10)	4.41	(1.30)
	ハイリスク者（%）	14	(10.7%)	14	(10.8%)	25	(19.4%)	11	(8.5%)	11	(8.5%)	23	(18.0%)	10	(7.7%)	9	(6.9%)	12	(9.2%)	9	(6.9%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=169)	平均値(標準偏差)	6.85	(2.23)	5.54	(2.05)	6.16	(2.32)	5.51	(1.88)	9.33	(3.46)	17.30	(4.98)	7.64	(2.10)	7.28	(2.02)	5.08	(2.03)	3.95	(1.19)
	ハイリスク者（%）	15	(8.9%)	5	(3.0%)	14	(8.4%)	3	(1.8%)	9	(5.4%)	12	(7.2%)	16	(9.7%)	22	(13.3%)	14	(8.4%)	1	(0.6%)
教育、学習支援業 (n=1,422)	平均値(標準偏差)	7.18	(2.33)	6.02	(2.20)	6.53	(2.40)	6.04	(2.19)	10.41	(3.85)	17.73	(5.05)	7.13	(2.13)	6.62	(1.92)	4.90	(1.90)	3.83	(1.21)
	ハイリスク者（%）	115	(8.1%)	76	(5.4%)	172	(12.1%)	105	(7.4%)	146	(10.3%)	114	(8.1%)	72	(5.1%)	69	(4.9%)	83	(5.9%)	33	(2.3%)
金融業、保険業 (n=183)	平均値(標準偏差)	7.18	(2.23)	5.80	(2.21)	5.57	(2.06)	6.15	(2.11)	9.66	(3.19)	17.89	(4.92)	6.92	(2.08)	6.76	(2.04)	5.18	(1.85)	3.97	(1.17)
	ハイリスク者（%）	9	(4.9%)	8	(4.4%)	5	(2.7%)	11	(6.0%)	11	(6.0%)	17	(9.3%)	5	(2.8%)	11	(6.0%)	7	(3.8%)	2	(1.1%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=3,976)	平均値(標準偏差)	6.72	(2.21)	5.54	(2.03)	5.74	(2.23)	5.70	(2.07)	9.49	(3.51)	17.20	(4.71)	7.14	(1.90)	6.73	(1.78)	5.25	(1.96)	4.03	(1.16)
	ハイリスク者（%）	406	(10.2%)	114	(2.9%)	259	(6.5%)	185	(4.7%)	258	(6.5%)	227	(5.8%)	147	(3.7%)	162	(4.1%)	306	(7.8%)	89	(2.2%)
情報通信業 (n=138)	平均値(標準偏差)	6.30	(2.21)	6.34	(2.34)	6.56	(2.64)	6.37	(2.34)	10.43	(3.84)	18.90	(5.60)	7.39	(2.16)	7.02	(1.95)	5.12	(1.94)	3.99	(1.33)
	ハイリスク者（%）	19	(13.8%)	10	(7.3%)	21	(15.2%)	14	(10.2%)	15	(10.9%)	15	(11.0%)	8	(5.8%)	10	(7.2%)	8	(6.0%)	6	(4.3%)
製造業 (n=463)	平均値(標準偏差)	6.19	(2.25)	6.36	(2.38)	6.78	(2.36)	5.98	(2.17)	10.79	(3.98)	18.74	(5.40)	8.23	(1.94)	7.41	(1.76)	5.72	(2.22)	4.50	(1.27)
	ハイリスク者（%）	77	(16.6%)	37	(8.1%)	61	(13.3%)	29	(6.3%)	55	(11.9%)	57	(12.5%)	50	(10.9%)	38	(8.2%)	59	(12.9%)	37	(8.0%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=209)	平均値(標準偏差)	6.31	(2.34)	5.69	(2.15)	5.73	(2.24)	5.91	(2.31)	10.05	(4.06)	18.09	(5.45)	7.42	(2.18)	6.89	(1.96)	5.50	(2.12)	4.08	(1.26)
	ハイリスク者（%）	33	(15.8%)	6	(2.9%)	14	(6.8%)	17	(8.2%)	23	(11.1%)	20	(9.8%)	13	(6.4%)	9	(4.4%)	21	(10.3%)	6	(2.9%)
複合サービス事業 (n=1,064)	平均値(標準偏差)	6.83	(2.27)	6.07	(2.25)	6.26	(2.27)	6.18	(2.19)	10.46	(3.93)	18.25	(5.19)	7.39	(2.09)	6.94	(1.88)	5.70	(2.12)	4.30	(1.26)
	ハイリスク者（%）	113	(10.6%)	63	(5.9%)	89	(8.4%)	84	(7.9%)	127	(12.0%)	101	(9.7%)	61	(5.8%)	55	(5.3%)	135	(12.9%)	51	(4.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表10. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

女性労働者 （n=6,772）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**732**	**(10.8%)**	3156	(46.6%)	1691	(25.0%)	862	(12.7%)	331	(4.9%)
時間内に仕事を処理しきれない	**1054**	**(15.6%)**	2178	(32.2%)	1810	(26.7%)	1415	(20.9%)	315	(4.7%)
一生懸命働かなければならない	**2334**	**(34.5%)**	3318	(49.0%)	605	(8.9%)	203	(3.0%)	312	(4.6%)
かなり注意を集中する必要がある	**1641**	**(24.2%)**	3243	(47.9%)	1296	(19.1%)	268	(4.0%)	324	(4.8%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**588**	**(8.7%)**	2365	(34.9%)	2379	(35.1%)	1103	(16.3%)	337	(5.0%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**1402**	**(20.7%)**	3119	(46.1%)	1564	(23.1%)	369	(5.4%)	318	(4.7%)
体を大変よく使う仕事だ	**1002**	**(14.8%)**	1739	(25.7%)	2128	(31.4%)	1591	(23.5%)	312	(4.6%)
自分のペースで仕事ができる	524	(7.7%)	2526	(37.3%)	2371	(35.0%)	**1031**	**(15.2%)**	320	(4.7%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	967	(14.3%)	3117	(46.0%)	1663	(24.6%)	**706**	**(10.4%)**	319	(4.7%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	309	(4.6%)	2915	(43.0%)	2275	(33.6%)	**923**	**(13.6%)**	350	(5.2%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**348**	**(5.1%)**	1476	(21.8%)	3298	(48.7%)	1293	(19.1%)	357	(5.3%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**359**	**(5.3%)**	1506	(22.2%)	2946	(43.5%)	1611	(23.8%)	350	(5.2%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**170**	**(2.5%)**	708	(10.5%)	2832	(41.8%)	2688	(39.7%)	374	(5.5%)
私の職場の雰囲気は友好的である	1611	(23.8%)	3428	(50.6%)	1018	(15.0%)	**371**	**(5.5%)**	344	(5.1%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**619**	**(9.1%)**	1495	(22.1%)	2543	(37.6%)	1783	(26.3%)	332	(4.9%)
仕事の内容は自分にあっている	1043	(15.4%)	3744	(55.3%)	1264	(18.7%)	**375**	**(5.5%)**	346	(5.1%)
働きがいのある仕事だ	1562	(23.1%)	3400	(50.2%)	1110	(16.4%)	**320**	**(4.7%)**	380	(5.6%)

表11. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

心理的反応項目

女性労働者（n=6,772）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**1566**	**(23.1%)**	3108	(45.9%)	1609	(23.8%)	462	(6.8%)	27	(0.4%)
元気がいっぱいだ	**1260**	**(18.6%)**	2924	(43.2%)	1811	(26.7%)	750	(11.1%)	27	(0.4%)
生き生きする	**1673**	**(24.7%)**	2869	(42.4%)	1682	(24.8%)	505	(7.5%)	43	(0.6%)
怒りを感じる	1582	(23.4%)	3155	(46.6%)	1664	(24.6%)	**348**	**(5.1%)**	23	(0.3%)
内心腹立たしい	1944	(28.7%)	2921	(43.1%)	1495	(22.1%)	**381**	**(5.6%)**	31	(0.5%)
イライラしている	1583	(23.4%)	3101	(45.8%)	1587	(23.4%)	**482**	**(7.1%)**	19	(0.3%)
ひどく疲れた	846	(12.5%)	2840	(41.9%)	2032	(30.0%)	**1035**	**(15.3%)**	19	(0.3%)
へとへとだ	2277	(33.6%)	2418	(35.7%)	1419	(21.0%)	**638**	**(9.4%)**	20	(0.3%)
だるい	1615	(23.8%)	2784	(41.1%)	1568	(23.2%)	**783**	**(11.6%)**	22	(0.3%)
気が張り詰めている	1792	(26.5%)	2590	(38.2%)	1570	(23.2%)	**800**	**(11.8%)**	20	(0.3%)
不安だ	2106	(31.1%)	2544	(37.6%)	1334	(19.7%)	**766**	**(11.3%)**	22	(0.3%)
落ち着かない	3319	(49.0%)	2221	(32.8%)	875	(12.9%)	**332**	**(4.9%)**	25	(0.4%)
ゆううつだ	2574	(38.0%)	2486	(36.7%)	1144	(16.9%)	**553**	**(8.2%)**	15	(0.2%)
何をするのも面倒だ	2601	(38.4%)	2844	(42.0%)	937	(13.8%)	**368**	**(5.4%)**	22	(0.3%)
物事に集中できない	3054	(45.1%)	2762	(40.8%)	759	(11.2%)	**175**	**(2.6%)**	22	(0.3%)
気分が晴れない	2314	(34.2%)	2873	(42.4%)	1061	(15.7%)	**502**	**(7.4%)**	22	(0.3%)
仕事が手につかない	4585	(67.7%)	1710	(25.3%)	358	(5.3%)	**97**	**(1.4%)**	22	(0.3%)
悲しいと感じる	3609	(53.3%)	2007	(29.6%)	834	(12.3%)	**302**	**(4.5%)**	20	(0.3%)

表12. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

心理的反応項目等

女性労働者（n=6,772）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	4510	(66.6%)	1600	(23.6%)	503	(7.4%)	**138**	**(2.0%)**	21	(0.3%)
体の節々がいたむ	4396	(64.9%)	1627	(24.0%)	489	(7.2%)	**233**	**(3.4%)**	27	(0.4%)
頭が重かったり頭痛がする	2562	(37.8%)	2736	(40.4%)	1135	(16.8%)	**318**	**(4.7%)**	21	(0.3%)
首筋や肩がこる	1155	(17.1%)	2105	(31.1%)	1597	(23.6%)	**1900**	**(28.1%)**	15	(0.2%)
腰が痛い	2518	(37.2%)	2316	(34.2%)	1188	(17.5%)	**730**	**(10.8%)**	20	(0.3%)
眼が疲れる	1400	(20.7%)	2321	(34.3%)	1727	(25.5%)	**1302**	**(19.2%)**	22	(0.3%)
動悸や息切れがする	5067	(74.8%)	1283	(18.9%)	327	(4.8%)	**68**	**(1.0%)**	27	(0.4%)
胃腸の具合が悪い	3883	(57.3%)	2053	(30.3%)	632	(9.3%)	**183**	**(2.7%)**	21	(0.3%)
食欲がない	5065	(74.8%)	1360	(20.1%)	257	(3.8%)	**66**	**(1.0%)**	24	(0.4%)
便秘や下痢をする	3596	(53.1%)	2058	(30.4%)	750	(11.1%)	**351**	**(5.2%)**	17	(0.3%)
よく眠れない	3773	(55.7%)	2038	(30.1%)	659	(9.7%)	**275**	**(4.1%)**	27	(0.4%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	573	(8.5%)	1692	(25.0%)	3469	(51.2%)	**655**	**(9.7%)**	383	(5.7%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	1369	(20.2%)	2885	(42.6%)	2037	(30.1%)	**97**	**(1.4%)**	384	(5.7%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	3359	(49.6%)	2189	(32.3%)	747	(11.0%)	**50**	**(0.7%)**	427	(6.3%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	793	(11.7%)	2009	(29.7%)	2773	(40.9%)	**769**	**(11.4%)**	428	(6.3%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	1097	(16.2%)	2599	(38.4%)	2381	(35.2%)	**287**	**(4.2%)**	408	(6.0%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	2997	(44.3%)	2287	(33.8%)	975	(14.4%)	**80**	**(1.2%)**	433	(6.4%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	559	(8.3%)	1617	(23.9%)	2945	(43.5%)	**1167**	**(17.2%)**	484	(7.1%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	862	(12.7%)	2291	(33.8%)	2709	(40.0%)	**467**	**(6.9%)**	443	(6.5%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	3155	(46.6%)	2244	(33.1%)	868	(12.8%)	**96**	**(1.4%)**	409	(6.0%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	756	(11.2%)	3584	(52.9%)	1565	(23.1%)	**486**	**(7.2%)**	381	(5.6%)
家庭生活に満足だ	1692	(25.0%)	3480	(51.4%)	959	(14.2%)	**257**	**(3.8%)**	384	(5.7%)

表13. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

年齢階級別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
全体 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.12)	6.79	(1.99)	2.67	(1.01)	9.14	(1.85)	2.85	(0.93)	7.52	(1.97)	2.86	(0.79)	2.15	(0.75)	2.03	(0.79)
	ハイリスク者（%）	906	(13.4%)	803	(11.9%)	1002	(14.8%)	525	(8.3%)	619	(9.1%)	534	(8.4%)	348	(5.1%)	375	(5.5%)	320	(4.7%)
19-29歳 (n=1,316)	平均値（標準偏差）	6.90	(2.00)	7.00	(2.05)	2.63	(1.07)	9.18	(1.83)	2.98	(0.91)	7.69	(1.92)	2.74	(0.79)	2.23	(0.76)	2.04	(0.80)
	ハイリスク者（%）	139	(10.6%)	138	(10.5%)	240	(18.2%)	106	(8.5%)	101	(7.7%)	103	(8.2%)	77	(5.9%)	88	(6.7%)	69	(5.2%)
30-39歳 (n=1,822)	平均値（標準偏差）	6.79	(2.18)	6.88	(1.98)	2.80	(1.02)	9.01	(1.87)	2.85	(0.92)	7.50	(1.91)	2.88	(0.77)	2.21	(0.76)	2.08	(0.80)
	ハイリスク者（%）	267	(14.7%)	212	(11.6%)	236	(13.0%)	170	(9.7%)	156	(8.6%)	132	(7.5%)	88	(4.8%)	124	(6.8%)	109	(6.0%)
40-49歳 (n=1,864)	平均値（標準偏差）	6.56	(2.07)	6.57	(1.91)	2.65	(0.98)	9.13	(1.87)	2.78	(0.92)	7.56	(1.94)	2.91	(0.78)	2.18	(0.75)	2.01	(0.78)
	ハイリスク者（%）	285	(15.3%)	234	(12.6%)	263	(14.1%)	147	(8.4%)	173	(9.3%)	158	(9.0%)	90	(4.8%)	102	(5.5%)	78	(4.2%)
50-59歳 (n=1,501)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.14)	6.69	(1.97)	2.61	(0.97)	9.19	(1.79)	2.82	(0.95)	7.39	(2.03)	2.91	(0.79)	2.05	(0.74)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	195	(13.0%)	193	(12.9%)	210	(14.0%)	92	(6.7%)	160	(10.7%)	115	(8.3%)	69	(4.6%)	55	(3.7%)	55	(3.7%)
60-66歳 (n=269)	平均値（標準偏差）	7.35	(2.28)	7.19	(2.16)	2.35	(0.98)	9.84	(1.75)	2.98	(1.04)	7.35	(2.39)	2.84	(0.96)	1.75	(0.70)	1.85	(0.79)
	ハイリスク者（%）	20	(7.4%)	26	(9.7%)	53	(19.7%)	10	(4.5%)	29	(10.8%)	26	(11.3%)	24	(8.9%)	6	(2.2%)	9	(3.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表15. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
全体 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.12)	6.79	(1.99)	2.67	(1.01)	9.14	(1.85)	2.85	(0.93)	7.52	(1.97)	2.86	(0.79)	2.15	(0.75)	2.03	(0.79)
	ハイリスク者（%）	906	(13.4%)	803	(11.9%)	1002	(14.8%)	525	(8.3%)	619	(9.1%)	534	(8.4%)	348	(5.1%)	375	(5.5%)	320	(4.7%)
沿岸地区 (n=2,268)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.01)	6.56	(1.89)	2.45	(0.97)	9.22	(1.85)	2.88	(0.93)	7.52	(2.02)	2.97	(0.80)	2.08	(0.70)	1.87	(0.74)
	ハイリスク者（%）	360	(15.9%)	297	(13.1%)	398	(17.6%)	168	(7.9%)	189	(8.3%)	198	(9.2%)	97	(4.3%)	83	(3.7%)	63	(2.8%)
内陸地区 (n=4,498)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.15)	6.91	(2.02)	2.77	(1.02)	9.10	(1.84)	2.84	(0.94)	7.53	(1.94)	2.81	(0.79)	2.19	(0.78)	2.11	(0.80)
	ハイリスク者（%）	546	(12.1%)	506	(11.3%)	604	(13.4%)	357	(8.5%)	430	(9.6%)	336	(7.9%)	251	(5.6%)	292	(6.5%)	257	(5.7%)
所在地不明 (n=6)	平均値（標準偏差）	9.00	(1.55)	8.50	(1.05)	3.67	(0.52)	10.20	(0.84)	3.33	(0.52)	6.67	(0.82)	2.67	(0.52)	1.67	(0.52)	2.00	(0.00)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表14. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.12)	6.79	(1.99)	2.67	(1.01)	9.14	(1.85)	2.85	(0.93)	7.52	(1.97)	2.86	(0.79)	2.15	(0.75)	2.03	(0.79)
	ハイリスク者（%）	906	(13.4%)	803	(11.9%)	1002	(14.8%)	525	(8.3%)	619	(9.1%)	534	(8.4%)	348	(5.1%)	375	(5.5%)	320	(4.7%)
その他 (n=2931)	平均値（標準偏差）	7.01	(2.14)	7.06	(2.09)	2.40	(1.05)	9.03	(1.89)	2.83	(0.98)	7.90	(2.10)	2.74	(0.84)	2.11	(0.76)	2.10	(0.82)
	ハイリスク者（%）	303	(10.3%)	299	(10.2%)	644	(22.0%)	239	(9.4%)	300	(10.2%)	323	(12.5%)	204	(7.0%)	140	(4.8%)	163	(5.6%)
医療、福祉 (n=47)	平均値（標準偏差）	6.33	(2.22)	6.06	(1.95)	2.11	(1.05)	7.63	(2.18)	3.04	(0.78)	8.32	(2.08)	2.83	(0.82)	2.15	(0.93)	2.02	(0.83)
	ハイリスク者（%）	10	(21.3%)	11	(23.4%)	16	(34.0%)	15	(32.6%)	2	(4.3%)	7	(15.9%)	4	(8.5%)	4	(8.5%)	2	(4.3%)
卸業、小売業 (n=213)	平均値（標準偏差）	6.44	(1.85)	6.58	(1.88)	2.23	(0.92)	9.29	(1.99)	3.06	(0.94)	7.57	(2.04)	2.71	(0.76)	2.03	(0.76)	1.97	(0.73)
	ハイリスク者（%）	31	(14.6%)	26	(12.2%)	50	(23.5%)	21	(10.0%)	17	(8.0%)	18	(8.5%)	11	(5.2%)	7	(3.3%)	7	(3.3%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=117)	平均値（標準偏差）	6.36	(1.97)	6.61	(1.69)	3.33	(0.66)	8.76	(1.83)	3.28	(0.73)	6.91	(1.68)	3.05	(0.65)	2.03	(0.70)	1.89	(0.67)
	ハイリスク者（%）	22	(18.8%)	9	(7.7%)	1	(0.9%)	12	(10.4%)	2	(1.7%)	4	(3.4%)	0	(0.0%)	2	(1.7%)	2	(1.7%)
教育、学習支援業 (n=1135)	平均値（標準偏差）	6.01	(1.85)	6.45	(1.68)	2.57	(0.83)	9.36	(1.74)	2.90	(0.90)	6.89	(1.65)	3.22	(0.65)	2.02	(0.61)	1.63	(0.61)
	ハイリスク者（%）	244	(21.5%)	138	(12.2%)	105	(9.3%)	66	(5.9%)	85	(7.5%)	24	(2.1%)	11	(1.0%)	20	(1.8%)	7	(0.6%)
金融業、保険業 (n=96)	平均値（標準偏差）	7.73	(1.83)	6.32	(1.81)	3.50	(0.56)	9.86	(1.53)	3.20	(0.80)	7.51	(1.72)	2.77	(0.66)	2.24	(0.82)	2.07	(0.71)
	ハイリスク者（%）	3	(3.1%)	13	(13.5%)	0	(0.0%)	2	(2.1%)	2	(2.1%)	4	(4.2%)	2	(2.1%)	8	(8.3%)	3	(3.1%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1047)	平均値（標準偏差）	6.69	(2.12)	6.66	(1.89)	3.12	(0.93)	9.30	(1.71)	2.73	(0.89)	7.28	(1.80)	2.89	(0.77)	2.32	(0.75)	2.15	(0.75)
	ハイリスク者（%）	158	(15.1%)	140	(13.4%)	75	(7.2%)	64	(6.2%)	101	(9.6%)	59	(5.7%)	53	(5.1%)	89	(8.5%)	59	(5.6%)
情報通信業 (n=36)	平均値（標準偏差）	7.26	(2.41)	7.29	(2.42)	3.09	(0.98)	9.26	(1.62)	2.83	(0.86)	7.60	(2.17)	2.80	(0.93)	2.00	(0.84)	1.91	(0.92)
	ハイリスク者（%）	1	(2.8%)	4	(11.1%)	2	(5.6%)	1	(2.9%)	1	(2.8%)	4	(11.4%)	3	(8.3%)	3	(8.3%)	3	(8.3%)
製造業 (n=370)	平均値（標準偏差）	6.63	(1.94)	6.56	(1.89)	2.56	(0.97)	8.92	(1.96)	2.73	(0.97)	7.93	(2.01)	2.59	(0.80)	2.14	(0.77)	2.16	(0.74)
	ハイリスク者（%）	49	(13.2%)	42	(11.4%)	61	(16.5%)	41	(11.2%)	49	(13.2%)	44	(12.1%)	31	(8.4%)	23	(6.2%)	18	(4.9%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=23)	平均値（標準偏差）	9.00	(1.73)	8.65	(1.50)	3.91	(0.29)	10.13	(1.71)	2.61	(0.99)	6.96	(1.49)	2.61	(0.72)	2.17	(0.72)	2.17	(0.58)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(13.0%)	0	(0.0%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)
複合サービス事業 (n=757)	平均値（標準偏差）	7.21	(2.23)	6.77	(2.13)	3.06	(0.88)	9.08	(1.85)	2.93	(0.88)	7.40	(1.84)	2.86	(0.71)	2.30	(0.84)	2.17	(0.80)
	ハイリスク者（%）	85	(11.2%)	121	(16.0%)	48	(6.3%)	64	(8.6%)	57	(7.5%)	47	(6.3%)	28	(3.7%)	78	(10.3%)	56	(7.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表16. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

年齢階級別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体　(n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.60	(2.40)	6.31	(2.27)	6.77	(2.47)	6.05	(2.36)	10.57	(3.92)	19.39	(5.33)	7.95	(2.14)	6.86	(2.03)	4.97	(1.98)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者（%）	922	(13.6%)	509	(7.6%)	1001	(14.9%)	639	(9.5%)	825	(12.3%)	705	(10.6%)	684	(10.9%)	432	(6.9%)	772	(12.3%)	257	(4.0%)
19-29歳 (n=1,316)	平均値（標準偏差）	6.57	(2.20)	6.47	(2.39)	7.17	(2.42)	6.33	(2.44)	11.15	(4.03)	19.86	(5.40)	7.83	(2.14)	6.58	(2.11)	4.69	(1.83)	4.40	(1.26)
	ハイリスク者（%）	154	(11.7%)	112	(8.5%)	238	(18.1%)	153	(11.7%)	196	(15.0%)	153	(11.7%)	121	(9.7%)	75	(6.0%)	109	(8.8%)	69	(5.5%)
30-39歳 (n=1,822)	平均値（標準偏差）	6.48	(2.30)	6.52	(2.30)	6.96	(2.51)	6.05	(2.38)	10.61	(3.90)	19.31	(5.30)	7.84	(2.12)	6.74	(2.00)	4.92	(1.97)	4.28	(1.22)
	ハイリスク者（%）	250	(13.7%)	169	(9.4%)	294	(16.2%)	179	(9.9%)	228	(12.6%)	184	(10.2%)	160	(9.2%)	99	(5.7%)	214	(12.3%)	72	(4.1%)
40-49歳 (n=1,864)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.40)	6.30	(2.24)	6.89	(2.50)	6.04	(2.37)	10.68	(3.92)	19.52	(5.31)	7.98	(2.16)	6.81	(2.00)	5.01	(1.99)	4.26	(1.23)
	ハイリスク者（%）	284	(15.2%)	143	(7.7%)	296	(15.9%)	177	(9.5%)	236	(12.7%)	200	(10.9%)	213	(12.3%)	112	(6.4%)	222	(12.9%)	71	(4.0%)
50-59歳 (n=1,501)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.52)	6.05	(2.14)	6.30	(2.34)	5.95	(2.23)	10.19	(3.78)	19.24	(5.26)	8.17	(2.10)	7.29	(1.95)	5.24	(2.07)	4.15	(1.16)
	ハイリスク者（%）	212	(14.1%)	78	(5.2%)	158	(10.6%)	116	(7.8%)	148	(10.0%)	149	(10.2%)	170	(12.8%)	122	(9.1%)	201	(15.1%)	40	(2.9%)
60-66歳 (n=269)	平均値（標準偏差）	7.98	(2.87)	5.52	(2.07)	5.30	(2.16)	5.40	(2.23)	8.87	(3.67)	17.53	(5.25)	7.98	(2.18)	7.21	(2.04)	5.00	(2.01)	3.62	(1.13)
	ハイリスク者（%）	22	(8.2%)	7	(2.7%)	15	(5.7%)	14	(5.3%)	17	(6.5%)	19	(7.6%)	20	(9.3%)	24	(11.0%)	26	(11.9%)	5	(2.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表18. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体　(n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.60	(2.40)	6.31	(2.27)	6.77	(2.47)	6.05	(2.36)	10.57	(3.92)	19.39	(5.33)	7.95	(2.14)	6.86	(2.03)	4.97	(1.98)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者（%）	922	(13.6%)	509	(7.6%)	1001	(14.9%)	639	(9.5%)	825	(12.3%)	705	(10.6%)	684	(10.9%)	432	(6.9%)	772	(12.4%)	257	(4.0%)
沿岸地区 (n=2,268)	平均値（標準偏差）	6.70	(2.37)	6.33	(2.26)	6.97	(2.49)	6.22	(2.35)	10.80	(3.93)	19.35	(5.36)	7.92	(2.15)	6.79	(2.01)	4.83	(1.93)	4.17	(1.23)
	ハイリスク者（%）	272	(12.0%)	182	(8.1%)	369	(16.4%)	237	(10.5%)	294	(13.1%)	232	(10.4%)	233	(11.1%)	143	(6.7%)	217	(10.3%)	90	(4.2%)
内陸地区 (n=4,498)	平均値（標準偏差）	6.54	(2.41)	6.29	(2.27)	6.67	(2.46)	5.97	(2.36)	10.46	(3.91)	19.42	(5.31)	7.98	(2.13)	6.89	(2.04)	5.04	(2.00)	4.29	(1.21)
	ハイリスク者（%）	650	(14.5%)	327	(7.3%)	632	(14.1%)	402	(9.0%)	531	(11.9%)	473	(10.7%)	451	(10.9%)	288	(6.9%)	554	(13.4%)	167	(4.0%)
所在地不明　(n=6)	平均値（標準偏差）	8.00	(2.10)	5.17	(2.32)	5.17	(1.83)	3.83	(0.75)	7.50	(1.22)	20.17	(3.66)	7.33	(1.63)	8.40	(1.34)	5.20	(2.39)	3.33	(0.82)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表17. 平成23年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.60	(2.40)	6.31	(2.27)	6.77	(2.47)	6.05	(2.36)	10.57	(3.92)	19.39	(5.33)	7.95	(2.14)	6.86	(2.03)	4.97	(1.98)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者（%）	922	(13.6%)	509	(7.6%)	1001	(14.9%)	639	(9.5%)	825	(12.3%)	705	(10.6%)	684	(10.9%)	432	(6.9%)	772	(12.3%)	257	(4.0%)
その他 (n=2931)	平均値（標準偏差）	6.54	(2.48)	6.44	(2.30)	6.75	(2.49)	5.96	(2.38)	10.50	(3.93)	19.24	(5.47)	8.35	(2.14)	6.96	(2.12)	4.99	(2.02)	4.34	(1.28)
	ハイリスク者（%）	441	(15.0%)	238	(8.2%)	422	(14.5%)	268	(9.2%)	354	(12.2%)	302	(10.5%)	365	(14.9%)	209	(8.4%)	324	(13.1%)	134	(5.3%)
医療、福祉 (n=47)	平均値（標準偏差）	6.50	(2.47)	6.66	(2.60)	7.40	(2.72)	6.81	(2.52)	11.26	(4.32)	20.26	(5.31)	8.02	(2.08)	7.30	(2.00)	5.43	(2.24)	4.26	(1.47)
	ハイリスク者（%）	6	(12.8%)	5	(10.6%)	13	(27.7%)	8	(17.0%)	9	(19.1%)	5	(10.9%)	6	(13.0%)	6	(13.0%)	11	(23.4%)	2	(4.3%)
卸業、小売業 (n=213)	平均値（標準偏差）	7.00	(2.36)	6.11	(2.34)	6.35	(2.42)	5.97	(2.36)	10.07	(3.67)	18.92	(5.68)	8.07	(2.26)	6.96	(2.23)	4.76	(1.98)	4.18	(1.36)
	ハイリスク者（%）	18	(8.5%)	18	(8.6%)	23	(10.8%)	17	(8.0%)	17	(8.1%)	22	(10.6%)	30	(14.4%)	22	(10.5%)	24	(11.5%)	15	(7.1%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=117)	平均値（標準偏差）	6.56	(2.36)	6.01	(2.12)	7.01	(2.56)	6.05	(2.19)	10.75	(3.92)	19.09	(5.46)	7.72	(2.14)	6.59	(2.12)	4.75	(1.89)	4.14	(1.24)
	ハイリスク者（%）	15	(12.8%)	8	(6.9%)	22	(18.8%)	8	(6.8%)	14	(12.0%)	13	(11.1%)	8	(6.9%)	6	(5.2%)	9	(7.8%)	3	(2.6%)
教育、学習支援業 (n=1135)	平均値（標準偏差）	6.97	(2.26)	6.24	(2.14)	7.19	(2.42)	6.27	(2.28)	10.92	(3.89)	19.31	(5.02)	7.44	(2.07)	6.41	(1.85)	4.66	(1.80)	3.99	(1.14)
	ハイリスク者（%）	95	(8.4%)	72	(6.4%)	199	(17.6%)	112	(9.9%)	148	(13.1%)	105	(9.4%)	71	(6.3%)	27	(2.4%)	84	(7.6%)	28	(2.5%)
金融業、保険業 (n=96)	平均値（標準偏差）	6.83	(2.29)	5.94	(2.14)	6.20	(2.28)	5.61	(2.40)	9.81	(3.29)	19.28	(4.68)	6.97	(1.87)	6.41	(1.82)	4.75	(1.70)	4.26	(1.15)
	ハイリスク者（%）	10	(10.4%)	5	(5.2%)	8	(8.3%)	9	(9.5%)	6	(6.3%)	9	(9.4%)	0	(0.0%)	1	(1.0%)	9	(9.4%)	4	(4.2%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1047)	平均値（標準偏差）	6.38	(2.28)	6.08	(2.17)	6.68	(2.44)	6.01	(2.35)	10.50	(3.87)	19.54	(5.12)	7.57	(1.98)	6.81	(1.89)	5.07	(1.92)	4.26	(1.12)
	ハイリスク者（%）	157	(15.0%)	62	(5.9%)	151	(14.5%)	102	(9.8%)	120	(11.5%)	112	(10.8%)	59	(5.7%)	61	(5.9%)	115	(11.2%)	28	(2.7%)
情報通信業 (n=36)	平均値（標準偏差）	7.14	(2.61)	6.06	(2.10)	6.19	(2.53)	5.83	(2.46)	9.78	(3.91)	18.78	(5.06)	7.89	(2.16)	7.25	(2.30)	4.46	(1.75)	4.03	(1.20)
	ハイリスク者（%）	4	(11.1%)	2	(5.6%)	4	(11.1%)	3	(8.6%)	4	(11.1%)	2	(5.6%)	4	(11.1%)	4	(11.1%)	4	(11.4%)	1	(2.9%)
製造業 (n=370)	平均値（標準偏差）	6.38	(2.44)	6.42	(2.36)	7.01	(2.59)	6.36	(2.48)	10.76	(4.00)	20.90	(5.50)	8.52	(2.08)	7.21	(2.03)	5.17	(2.07)	4.24	(1.23)
	ハイリスク者（%）	62	(16.8%)	32	(8.7%)	74	(20.2%)	44	(12.0%)	52	(14.2%)	52	(14.5%)	61	(16.6%)	35	(9.5%)	66	(18.0%)	15	(4.1%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=23)	平均値（標準偏差）	7.17	(1.99)	5.74	(2.80)	5.52	(2.19)	5.65	(2.52)	9.39	(3.16)	18.83	(4.94)	6.83	(1.53)	6.48	(1.97)	5.13	(2.03)	4.00	(1.13)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	2	(8.7%)	2	(8.7%)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	3	(13.0%)	1	(4.3%)
複合サービス事業 (n=757)	平均値（標準偏差）	6.47	(2.36)	6.31	(2.34)	6.39	(2.39)	6.04	(2.31)	10.59	(4.05)	19.37	(5.28)	7.86	(2.15)	7.13	(1.97)	5.26	(2.11)	4.35	(1.16)
	ハイリスク者（%）	114	(15.1%)	65	(8.6%)	84	(11.1%)	66	(8.8%)	99	(13.2%)	81	(10.9%)	79	(10.6%)	60	(8.0%)	123	(16.6%)	26	(3.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 6
岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査:平成 24 年度調査報告

青木　慎一郎（岩手県立大学社会福祉学部）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

平成24年度岩手県メンタルヘルス調査は、男性は15,769名（平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（平均年齢43.7歳）、総数25,984人で実施された。業種の内訳は、医療、福祉（300名）、卸業、小売業（2,751名）、学術研究、専門・技術サービス業（285名）、教育、学習支援業（11,767名）、公務（6,172名）、情報通信業（297名）、製造業（1,158名）、電気・ガス・熱供給・水道業（228名）、複合サービス事業（2,521名）、その他（505名）であった。

男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事コントロールの項目の得点が悪く、若い世代で顕著であった。男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除いた全ての項目で悪く、若い世代で顕著であった。地域別の比較では、沿岸地域で疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。

女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、仕事負担に関する項目で得点が悪く、特に中年世代で悪かった。岩手県女性労働者の心理的反応項目、身体愁訴、周囲からの支援、満足度に関する回答結果は、疲労・抑うつ・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪かった。疲労に関しては、60歳未満の全ての世代でハイリスク者割合が高く、抑うつに関しては若い世代ほどハイリスク者が多かった。家族サポートに関する項目では、40代でハイリスク者がもっとも多かった。

平成24年度の岩手県労働者のメンタルヘルス調査では、職業性ストレス関連項目では女性で仕事負担が多いと考えている労働者が多く、心理的反応項目では、男女共通して多くの項目でハイリスク者割合が高かった。また男女ともに家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在しており、特に女性労働者でその傾向は顕著であった。

心理的反応項目に関する成績が男女ともに悪かったこと、家族からの支援が不十分と感じていることが岩手県全域の事業所で観察されたことは、東日本大震災を経過して1年以上たった時点でも職場環境や家庭環境が通常の環境に復帰していないことや、震災後に発生した復興支援事業などにより一部の業種で過重な労働負荷が生じた可能性を示唆する。震災前後でのより詳細なデータ比較を統計的手法を駆使して明らかにすることが望まれる。

A. 研究目的

岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査目的

岩手県予防医学協会は地域自殺対策緊急強化基金への交付申請を行い、岩手県内事業所におけるメンタルヘルス対策への活用を目的として、一次予防を中心とした労働者のメンタルヘルス状況調査を平成21年度から実施してきている。平成24年度も継続して上記事業を実施した。

B. 研究方法

対象者

平成24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は岩手県内36の事業所25,993人が参加した。この中でメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できたのは、36事業所25,984名のデータである。本稿では、この25,984名のデータセットを解析した結果を報告する。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性ストレス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答結果を男女別に示すとともに、同じく標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上）、所属企業による業種別（製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸業・小売業、学術研究・専門・技術サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉業、複合サービス事業、公務（他に分類されるものを除く）、その他）、地域別（内陸地域と沿岸地域、阿部報告書の図1参照）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。グループ間でのハイリスク者の割合（有所見率）の比較では統計的有意差検定を行わず、基準値との大まかな比較を通した記述的表現に留めた。

C. 研究結果

平成24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査では、岩手県内36事業所の従業員25,984人が参加した。男性は15,769名（18～80歳、平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（18～72歳、平均年齢43.7歳）であった。業種の内訳は、医療、福祉（300名）、卸業、小売業（2,751名）、学術研究、専門・技術サービス業（285名）、教育、学習支援業（11,767名）、公務（6,172名）、情報通信業（297名）、製造業（1,158名）、電気・ガス・熱供給・水道業（228名）、複合サービス事業（2,521名）、その他（505名）であった。以下に男女別に集計結

果にそって結果を提示する。

男性労働者解析結果

表1は、男性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担を強く感じている（そうだ、と回答）労働者の割合は、9.2%から31.5%でみられ（表では太字で表示）、一生懸命働かなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が大きかった。仕事の自己裁量権、職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目については、自分のペースで仕事ができない項目に関して13.9%の労働者がほとんどいつもと感じていると回答していた。そのほかの項目はそれほど高いわけではなかった。

表2は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。心理的反応項目に関して不良であると回答した部分を太字で表示してある。心理的な活気や元気さについては、14.4%から16.5%の労働者がほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。また、ひどく疲れた（10.0%）、気が張り詰めている（8.7%）の項目では1割程度の労働者がほとんどいつもあったと回答していた。一方で、怒り、憂鬱、集中できない、悲しいなどに関して不良であると回答した労働者は1から5%程度であり、その割合は高くはなかった。

表3は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こり・腰痛・眼精疲労に関する項目では9.1%-14.6%の労働者はほとんどいつもあったと回答しているのに対して、そのほかの身体愁訴に関しては、ほとんどいつもあったと回答した労働者割合は1から3%程度であり、それほど高くはなかった。周囲からの支援状況に関する質問項目では、家族が非常に頼りになると回答した労働者が4割程度存在していた一方で、職場の上司には個人的な問題を聞いてもらえないと回答した労働者の割合が9.1%存在していた。満足度を問う質問項目では、仕事に満足していない、と回答した労働者が6.6%、家庭生活に満足していないと回答したものが3.3%存在していた。

表4は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。

岩手県男性労働者の標準化得点は下光らの提示した基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事コントロールの項目の得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。身体的負担に関するハイリスク者は、30歳未満で16.9%、30代で11.5%と高かった。仕事がコントロールできていないと感じているハイリスク者は、30歳未満で10.9%、30代で10.7%、40代で10.5%、50代で6.6%、60歳以上で8.5%であり、基準値と比べて岩手県男性労働者は全ての世代で高かった。

表5は、表4と同様に職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を業種別に分けて示したものである。業種別で見られる特徴としては、仕事の量的負担の項目で学術研究・教育学習支援業で11.7%とハイリスク者割合が高かった。身体的負担に関するハイリスク者は、医療福祉業で30.0%、卸小売業で16.8%、製造業で

13.5%に高い割合で存在していた。対人関係に関する項目のハイリスク者は、学術研究業、情報通信業、製造業で12%を超えていた。仕事コントロールに関する項目では、全ての業種で基準値より悪く、医療福祉業、卸小売業、情報通信業、製造業ではハイリスク者割合が10%を超えていた。仕事適正に関するハイリスク者割合は複合サービス業で9.3%とやや高かった。

表6は、職業性ストレス関連9項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。沿岸地域と内陸地域を比べると、得点の大きな差は目立たなかったが、ハイリスク者の割合を見ると、身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者の割合が内陸地域で高かった。

表7は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると岩手県男性労働者の心理的反応の得点では、活気とイライラに関する項目を除くと悪かった。周囲からの支援に関しては、家族からのサポートの項目で得点は悪かった。

年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者では、活気とイライラに関する二つ以外の全ての項目で基準値より悪い得点であり、ハイリスク者割合も高かった。30代では、活気・イライラの項目を除いた項目で得点が悪く、40代では、イライラの項目を除いた項目で得点が悪かった。身体愁訴に関しては、30代と40代で基準値よりやや高かった。周囲からの支援に関しては、60歳未満の全ての世代で家族からの支援に関してハイリスク者割合が高かった。

表8は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気や元気さに関するハイリスク者割合は、卸小売業(11.0%)、情報通信業(11.9%)、製造業(14.1%)、電気ガス水道業(13.3%)で高かった。イライラに関する項目では、卸小売業(8.7%)、情報通信業(8.6%)、製造業(9.1%)でハイリスク者割合が高かった。疲労に関する項目では、卸小売業(11.8%)、教育学習支援業(11.8%)、製造業(12.8%)でハイリスク者割合が高かった。不安に関する項目では、卸小売業(9.7%)でハイリスク者割合が高かった。抑うつに関する項目では、卸小売業(11.4%)、製造業(13.2%)、複合サービス業(11.5%)でハイリスク者割合が高かった。肩こり腰痛眼精疲労などの身体愁訴のハイリスク者割合は、卸小売業で12.2%、製造業で13.7%、電気ガス水道業で12.4%、複合サービス業で10.0%と高かった。

周囲からの支援に関する項目では、上司からのサポートに関するハイリスク者割合は製造業で9.0%、情報通信業で12.5%と高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は学術研究業10.6%、情報通信業で11.5%と高かった。家族からのサポートに関するハイリスク者割合は、学術研究業で10.7%、情報通信業で11.1%、製造業で12.6%、電気ガス水道業で11.5%、複合サービス業で12.9%と高かった。満足に関する項目では、製造業でハイリスク者割合が7.4%とやや高かった。

表9は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。心理的反応項目に関しては、県全体では疲労・不安・抑うつの3項目で基準値より悪かったが、沿岸地域と内陸地域を比べると、疲労と抑うつの項目では沿岸地域の労働者の得点が悪く、ハイリスク者割合も高かった。不安に関しては沿岸地域と内陸地

域でほぼ同等であった。身体愁訴の項目では、沿岸地域でやや得点が悪く、ハイリスク者割合も沿岸地域でやや高かった。周囲からの支援に関する項目では、家族からのサポートが不十分と考える労働者が岩手県全体では多く、沿岸地区でハイリスク者割合がより高かった。

女性労働者解析結果

表10は、女性労働者の職業性ストレスに関する17質問項目の回答結果の集計である。仕事の負担に関する7項目ではハイリスク者割合は10.2%から33.6%でみられ、一生懸命働かなければならないこと、時間内に仕事を処理しなければならないこと、仕事のことをいつも考えていなければならないこと、仕事への集中力が要求されることに負担を感じている労働者の割合が20%を超えていた。また仕事を自分のペースでできないと考えている女性労働者の割合が14.1%存在していた。その他の職場環境、仕事のやりがいなどに関する項目に関しては、悪いと感じている労働者の割合は8%未満であった。

表11は、心理的反応に関する18質問項目の回答結果である。活気や元気さについては、15.8%から18.1%の女性労働者でほとんどなかったと回答しており、バイタリティーが欠如している労働者が比較的多かったことを示している。ひどく疲れた(16.0%)、へとへとだ(10.4%)、だるい(10.1%)、気が張り詰めている(11.8%)、といった項目でハイリスク者割合が10%を超えていた。不安、怒り、落ち着かない、憂鬱などに関してほとんどいつもあったと回答した労働者は8%前後とそれほど高い割合ではなかった。

表12は、身体愁訴・周囲支援状況・満足度に関する質問項目の回答結果である。肩こりがほとんどいつもあったと回答した労働者が29.9%、眼が疲れることがほとんどいつもあったと回答した労働者が19.9%と突出して多かった。周囲の支援状況をみると、上司に関しては、困ったときに頼りに全くならないと回答した者が7.0%、上司が個人的問題を全く聞いてくれないと回答した者が11.9%存在しており、上司に関しては十分な支援を受けられないと感じている女性労働者の割合が高かった。

表13は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の割合を年齢階級別に示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した(労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書)。平成24年度の岩手県女性労働者の標準化得点は、基準値と比べると、仕事負担に関する項目で得点が悪く、またハイリスク者割合が高かった。対人関係・職場環境・自己裁量権・働き甲斐に関してはほぼ同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担と質的負担に関するハイリスク者割合は全ての世代で高くなっており、量的負担のハイリスク者割合は30歳未満で12.1%、30代では15.9%、40代では23.7%、50代では20.4%、60歳以上で12.6%、質的負担のハイリスク者割合は、30歳未満で10.3%、30代では11.5%、40代では15.8%、50代では15.3%、60歳以上で11.1%と中年世代で非常に高くなっていたのが特徴である。身体的負担に関しては、ハイリスク者割合が40代で11.2%、50代で10.6%、60歳以上で16.3%であり、高齢労働者でハイリスク者割合が高かった。仕事コントロールに関する項目でも、60歳以上で7.9%と高齢世代で高かった。

表14は、職業性ストレス関連9項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の割合を業種別に示したものである。業種別で見ら

れる特徴としては、量的仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業（12.7%）、学術研究業(14.6%)、教育学習支援業(26.2%)、公務（15.3%）で高くなっており、特に教育学習支援業ではハイリスク者が20%を超えていた。質的仕事負担に関する項目のハイリスク者割合は、医療福祉業（17.7%）、学術研究業(12.2%)、教育学習支援業(16.1%)、公務（11.7%）、複合サービス（14.7%）で高かった。仕事による身体的負担に関する項目では、医療福祉業（30.5%）、で非常に高かった。対人関係に関する項目では、学術研究業(16.3%)、製造業（16.9%）でハイリスク者割合が高かった。仕事コントロール、仕事適正、働きがいに関する項目では、情報通信業（10.5%、9.2%、11.5%）で高かった。

表15は、職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の割合を地域別に示したものである。仕事の量的負担に関するハイリスク者割合は、沿岸地域で17.8%、内陸地域で19.7%、仕事の質的負担に関するハイリスク者割合は、沿岸地域で13.4%、内陸地域で14.0%と両地域いずれも基準値を大きく上回っていた。

表16は、標準化得点法を用いた心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する計10項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年齢階級別に示したものである。全体でみると平成24年度岩手県女性労働者の特徴としては、疲労・抑うつ・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。

年齢階級別に見ると、疲労に関するハイリスク者割合は、30歳未満15.1%、30代14.3%、40代17.9%、50代13.0%と60歳未満の全ての世代でハイリスク者割合が高かったが、40代で最もハイリスク者割合が高かった。抑うつに関するハイリスク者割合は、30歳未満13.3%、30代10.0%、40代9.3%、50代7.9%と年齢が若いほど高い割合が観察された。身体愁訴に関するハイリスク者割合は50代で9.7%と高かった。

支援状況の項目では、上司からのサポートに関するハイリスク者は、50代で7.7%、60歳以上で9.8%と高齢労働者で高かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも基準値より高かったが、40代で13.6%と最も高かった。

表17は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を業種別に示したものである。活気に関する項目では、医療福祉業（14.1%）、卸小売業（11.0%）、公務（11.6%）、情報通信業(12.6%)、製造業（15.1%）、複合サービス業（15.0%）でハイリスク者割合が高かった。イライラに関するハイリスク者割合は、製造業（9.2%）で高かった。疲労に関する項目では、医療福祉業（11.4%）、教育学習支援業(18.1%)、公務（13.6%）、情報通信業(13.8%)、製造業（14.1%）で高かった。抑うつに関する項目では、医療福祉業（11.9%）、製造業（10.1%）、電気ガス水道業（12.0%）、複合サービス業（12.1%）とハイリスク者割合が高かった。身体愁訴に関するハイリスク者割合は、医療福祉業（13.2%）と製造業（13.4%）で高かった。

上司からのサポートに関するハイリスク者割合は、卸小売業で12.4%、学術研究業で14.8%、製造業で19.3%と高かった。同僚からのサポートに関するハイリスク者割合は、情報通信業（10.5%）、製造業（10.8%）、電気ガス水道業で（12.0%）と高かった。家族からのサポートに関する項目では、岩手県女性労働者では全ての業種で基準値より高いハイリスク者割合が観察され、いずれも10%を超えていた。高かった業種は、電気ガス水道業で16.0%、

製造業で15.0％であった。

表18は、心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に示したものである。基準値と比較して岩手県女性でハイリスク者割合が高かったのは、疲労、抑うつ、上司サポート、家族サポートに関する項目であったが、これらの項目に関しては沿岸地域と内陸地域で差はみられなかった。

D. 考察

本研究事業において平成24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の概要は以下のとおりである。

解析対象者は25,984人で、男性は15,769名（18～80歳、平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（18～72歳、平均年齢43.7歳）であった。業種の内訳は、医療、福祉（300名）、卸業、小売業（2,751名）、学術研究、専門・技術サービス業（285名）、教育、学習支援業（11,767名）、公務（6,172名）、情報通信業（297名）、製造業（1,158名）、電気・ガス・熱供給・水道業（228名）、複合サービス事業（2,521名）、その他（505名）であった。

平成24年岩手県男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事コントロールの項目の得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、若い世代ほど得点が悪く、ハイリスク者の割合が高かった。業種別で見られる特徴としては、仕事負担の項目では学術研究・教育学習支援業・医療福祉業・卸小売業・製造業でハイリスク者割合が高かった。対人関係に関する項目では、学術研究業、情報通信業、製造業で高く、仕事コントロールに関する項目では、全ての業種でハイリスク者割合が基準値より高かった。

岩手県男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、活気とイライラに関する項目を除くと全て悪かった。年齢階級別に見ると、30歳未満の労働者では、活気とイライラに関する二つ以外の全ての項目で基準値より悪い得点であり、ハイリスク者割合が高かった。周囲からの支援に関しては、60歳未満の全ての世代で家族からの支援に関してハイリスク者割合が高かった。

心理的反応項目に関する回答結果を業種別でみると、活気や元気さに関するハイリスク者割合は、卸小売業・情報通信業・製造業・電気ガス水道業で、イライラに関する項目では、卸小売業・情報通信業・製造業で、疲労に関する項目では、卸小売業・教育学習支援業・製造業で、不安に関する項目では卸小売業で、抑うつに関する項目では、卸小売業・、製造業・複合サービス業で、身体愁訴の項目では卸小売業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で高かった。地域別の比較では、疲労と抑うつの項目では沿岸地域の労働者の得点が悪く、不安に関しては沿岸地域と内陸地域でほぼ同等であった。家族からのサポートの項目では、沿岸地区でハイリスク者割合がより高かった。

平成24年岩手県女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、仕事負担に関する項目で得点が悪く、またハイリスク者割合が高かった。対人関係・職場環境・自己裁量権・働き甲斐に関してはほぼ基準値と同様であった。

年齢階級別に見ると、仕事の量的負担と質的負担に関するハイリスク者割合は全ての世代で高くなっており、特に中年世代で高くなっていた。身体的負担に関する項目では、若年と高齢でハイリスク者が多かった。業種別で見られる特徴としては、仕事負担に関する項目では、医療福祉業・学術研究業・教育学習支援業・公務で、対人関係に関する項目では、

学術研究業・製造業で、仕事コントロール、仕事適正、働きがいに関する項目では、情報通信業で高かった。地域別の検討では、仕事の量的負担に関するハイリスク者割合は、沿岸地域で17.8%、内陸地域で19.7%、仕事の質的負担に関するハイリスク者割合は、沿岸地域で13.4%、内陸地域で14.0%と両地域いずれも基準値を大きく上回っていた。

岩手県女性労働者の心理的反応項目、身体愁訴、周囲からの支援、満足度に関する回答結果は、疲労・抑うつ・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪く、ハイリスク者割合が高かった。年齢階級別に見ると、疲労に関する項目は、60歳未満の全ての世代でハイリスク者割合が高かった。抑うつに関する項目では、年齢が若いほどハイリスク者が多かった。身体愁訴に関する項目では、50代でハイリスク者が最も多かった。家族サポートに関するハイリスク者割合は、どの世代でも基準値より高かったが、40代で13.6%と最も高かった。

上記項目に関して業種別でみると、活気に関する項目では、医療福祉業・卸小売業・公務・情報通信業・製造業・複合サービス業で、イライラに関する項目では製造業で、疲労に関する項目では、医療福祉業・教育学習支援業・公務・情報通信業・製造業で、抑うつに関する項目では、医療福祉業・製造業・電気ガス水道業・複合サービス業で、身体愁訴に関する項目では、医療福祉業と製造業でハイリスク者割合が高かった。上司からのサポートに関する項目では、卸小売業・学術研究業・製造業で、同僚からのサポートに関する項目では、情報通信業・製造業・電気ガス水道業で、家族からのサポートに関する項目では、全ての業種で基準値より高いハイリスク者割合が観察された。地域別の比較では、沿岸地域と内陸地域で心理的反応・身体愁訴・支援状況・満足度に関する項目において回答内容に差はみられなかった。

今回の検討結果をみると、平成24年度の岩手県では、基準値と比較して職業性ストレス関連項目では女性で仕事負担が多いと考えている労働者が多く、男女共通して心理的反応項目の多くの項目でハイリスク者割合が高かったことである。また男女ともに家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在しており、特に女性労働者でその傾向は顕著であった。沿岸地域と内陸地域の地域差に関しては目立った差は観察されなかった。

心理的反応項目に関する成績が男女ともに悪かったこと、家族からの支援が不十分と感じていることが岩手県全域の事業所で観察されたことから、職場環境の改善のみならず、労働者の心の支援や家庭や社会を広く巻き込んだ活動が必要であることが再認識された。今後の検討課題の重要な項目と考えられる。

E. 結論

平成24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査は、男性は15,769名（平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（平均年齢43.7歳）で実施された。

男性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、基準値と比べ悪い項目はほとんどなかったが、仕事コントロールの項目の得点が悪く、若い世代で顕著であった。男性労働者の心理的反応項目に関する回答結果は、イライラに関する項目を除いた全ての項目で悪く、若い世代で顕著であった。地域別の比較では、沿岸地域で疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・上司サポートの項目で内陸地域よりハイリスク者割合が高かった。

女性労働者の職業性ストレス関連項目に関する回答結果は、仕事負担に関する項目で得点が悪く、特に中年世代で悪かった。岩手県

女性労働者の心理的反応項目、身体愁訴、周囲からの支援、満足度に関する回答結果は、疲労・抑うつ・上司サポート・家族サポートに関する項目で得点が悪かった。疲労に関しては、60歳未満の全ての世代でハイリスク者割合が高く、抑うつに関しては若い世代ほどハイリスク者が多かった。家族サポートに関する項目では、40代でハイリスク者がもっとも多かった。

平成24年度の岩手県労働者のメンタルヘルス調査では、職業性ストレス関連項目では女性で仕事負担が多いと考えている労働者が多く、心理的反応項目では、男女に共通して多くの項目でハイリスク者割合が高かった。また男女ともに家族からの支援がない、と考えるハイリスク者が多数存在しており、特に女性労働者でその傾向は顕著であった。

心理的反応項目に関する成績が男女ともに悪かったこと、家族からの支援が不十分と感じていることが岩手県全域の事業所で観察されたことは、東日本大震災を経過して1年以上たった後でも職場環境や家庭環境が復帰していないことや、震災後に発生した復興支援事業などにより一部の業種で過重な労働負荷が生じた可能性を示唆する。震災前後で、より詳細なデータ比較を、統計的手法駆使して明らかにすることが望まれる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

特になし

2.学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

男性労働者（n=15,769）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**2879**	**(18.3%)**	8247	(52.3%)	3448	(21.9%)	1180	(7.5%)	15	(0.1%)
時間内に仕事を処理しきれない	**2905**	**(18.4%)**	5836	(37.0%)	4766	(30.2%)	2248	(14.3%)	14	(0.1%)
一生懸命働かなければならない	**4967**	**(31.5%)**	8684	(55.1%)	1671	(10.6%)	422	(2.7%)	25	(0.2%)
かなり注意を集中する必要がある	**3388**	**(21.5%)**	8933	(56.6%)	3003	(19.0%)	424	(2.7%)	21	(0.1%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**2226**	**(14.1%)**	8016	(50.8%)	4655	(29.5%)	839	(5.3%)	33	(0.2%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**2929**	**(18.6%)**	7943	(50.4%)	4200	(26.6%)	678	(4.3%)	19	(0.1%)
体を大変よく使う仕事だ	**1443**	**(9.2%)**	4028	(25.5%)	6186	(39.2%)	4093	(26.0%)	19	(0.1%)
自分のペースで仕事ができる	1059	(6.7%)	6475	(41.1%)	6030	(38.2%)	**2188**	**(13.9%)**	17	(0.1%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	1975	(12.5%)	8884	(56.3%)	3975	(25.2%)	**921**	**(5.8%)**	14	(0.1%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1278	(8.1%)	9235	(58.6%)	4241	(26.9%)	**994**	**(6.3%)**	21	(0.1%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**443**	**(2.8%)**	2574	(16.3%)	9025	(57.2%)	3708	(23.5%)	19	(0.1%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**614**	**(3.9%)**	3506	(22.2%)	8596	(54.5%)	3028	(19.2%)	25	(0.2%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**294**	**(1.9%)**	1626	(10.3%)	8439	(53.5%)	5369	(34.0%)	41	(0.3%)
私の職場の雰囲気は友好的である	4085	(25.9%)	9332	(59.2%)	1843	(11.7%)	**472**	**(3.0%)**	37	(0.2%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**1088**	**(6.9%)**	2949	(18.7%)	7321	(46.4%)	4372	(27.7%)	39	(0.2%)
仕事の内容は自分にあっている	2329	(14.8%)	9372	(59.4%)	3291	(20.9%)	**723**	**(4.6%)**	54	(0.3%)
働き甲斐のある仕事だ	3948	(25.0%)	8756	(55.5%)	2323	(14.7%)	**535**	**(3.4%)**	207	(1.3%)

表2. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

心理的反応項目

男性労働者（n=15,769）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**2274**	**(14.4%)**	7672	(48.7%)	4714	(29.9%)	1094	(6.9%)	15	(0.1%)
元気がいっぱいだ	**2368**	**(15.0%)**	7350	(46.6%)	4796	(30.4%)	1239	(7.9%)	16	(0.1%)
生き生きする	**2595**	**(16.5%)**	7469	(47.4%)	4646	(29.5%)	1025	(6.5%)	34	(0.2%)
怒りを感じる	4884	(31.0%)	7041	(44.7%)	3310	(21.0%)	**515**	**(3.3%)**	19	(0.1%)
内心腹立たしい	5542	(35.1%)	6754	(42.8%)	2826	(17.9%)	**630**	**(4.0%)**	17	(0.1%)
イライラしている	5008	(31.8%)	7254	(46.0%)	2854	(18.1%)	**636**	**(4.0%)**	17	(0.1%)
ひどく疲れた	2794	(17.7%)	6892	(43.7%)	4488	(28.5%)	**1582**	**(10.0%)**	13	(0.1%)
へとへとだ	6411	(40.7%)	5501	(34.9%)	2825	(17.9%)	**1014**	**(6.4%)**	18	(0.1%)
だるい	4809	(30.5%)	6705	(42.5%)	3127	(19.8%)	**1106**	**(7.0%)**	22	(0.1%)
気が張り詰めている	3172	(20.1%)	7014	(44.5%)	4182	(26.5%)	**1379**	**(8.7%)**	22	(0.1%)
不安だ	5349	(33.9%)	6374	(40.4%)	2873	(18.2%)	**1157**	**(7.3%)**	16	(0.1%)
落ち着かない	7410	(47.0%)	5764	(36.6%)	2017	(12.8%)	**564**	**(3.6%)**	14	(0.1%)
ゆううつだ	7079	(44.9%)	5669	(36.0%)	2199	(13.9%)	**806**	**(5.1%)**	16	(0.1%)
何をするのも面倒だ	7707	(48.9%)	5913	(37.5%)	1666	(10.6%)	**473**	**(3.0%)**	10	(0.1%)
物事に集中できない	7448	(47.2%)	6626	(42.0%)	1390	(8.8%)	**282**	**(1.8%)**	23	(0.1%)
気分が晴れない	5782	(36.7%)	6897	(43.7%)	2199	(13.9%)	**873**	**(5.5%)**	18	(0.1%)
仕事が手につかない	10522	(66.7%)	4226	(26.8%)	809	(5.1%)	**198**	**(1.3%)**	14	(0.1%)
悲しいと感じる	10957	(69.5%)	3454	(21.9%)	973	(6.2%)	**367**	**(2.3%)**	18	(0.1%)

表3. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

心理的反応項目等

男性労働者（n=15,769）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	12730	(80.7%)	2199	(13.9%)	579	(3.7%)	**253**	**(1.6%)**	8	(0.1%)
体の節々がいたむ	10506	(66.6%)	3884	(24.6%)	1005	(6.4%)	**356**	**(2.3%)**	18	(0.1%)
頭が重かったり頭痛がする	9297	(59.0%)	4767	(30.2%)	1397	(8.9%)	**289**	**(1.8%)**	19	(0.1%)
首筋や肩がこる	4700	(29.8%)	5346	(33.9%)	3400	(21.6%)	**2303**	**(14.6%)**	20	(0.1%)
腰が痛い	6160	(39.1%)	5331	(33.8%)	2821	(17.9%)	**1436**	**(9.1%)**	21	(0.1%)
眼が疲れる	3255	(20.6%)	5948	(37.7%)	4473	(28.4%)	**2066**	**(13.1%)**	27	(0.2%)
動悸や息切れがする	12245	(77.7%)	2766	(17.5%)	603	(3.8%)	**134**	**(0.8%)**	21	(0.1%)
胃腸の具合が悪い	9756	(61.9%)	4500	(28.5%)	1119	(7.1%)	**377**	**(2.4%)**	17	(0.1%)
食欲がない	12540	(79.5%)	2660	(16.9%)	425	(2.7%)	**127**	**(0.8%)**	17	(0.1%)
便秘や下痢をする	9569	(60.7%)	4542	(28.8%)	1217	(7.7%)	**417**	**(2.6%)**	24	(0.2%)
よく眠れない	9413	(59.7%)	4511	(28.6%)	1307	(8.3%)	**512**	**(3.2%)**	26	(0.2%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	2067	(13.1%)	5946	(37.7%)	6970	(44.2%)	**751**	**(4.8%)**	35	(0.2%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	3416	(21.7%)	8057	(51.1%)	4114	(26.1%)	**159**	**(1.0%)**	23	(0.1%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	7531	(47.8%)	5983	(37.9%)	1986	(12.6%)	**181**	**(1.1%)**	88	(0.6%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	2704	(17.1%)	6332	(40.2%)	5704	(36.2%)	**977**	**(6.2%)**	52	(0.3%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	2585	(16.4%)	7217	(45.8%)	5377	(34.1%)	**554**	**(3.5%)**	36	(0.2%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	6090	(38.6%)	6360	(40.3%)	2925	(18.5%)	**302**	**(1.9%)**	92	(0.6%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	1844	(11.7%)	5667	(35.9%)	6717	(42.6%)	**1428**	**(9.1%)**	113	(0.7%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	1780	(11.3%)	6051	(38.4%)	6844	(43.4%)	**1007**	**(6.4%)**	87	(0.6%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	6803	(43.1%)	6271	(39.8%)	2354	(14.9%)	**283**	**(1.8%)**	58	(0.4%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	2493	(15.8%)	8866	(56.2%)	3347	(21.2%)	**1047**	**(6.6%)**	16	(0.1%)
家庭生活に満足だ	5032	(31.9%)	8151	(51.7%)	2040	(12.9%)	**516**	**(3.3%)**	30	(0.2%)

表4. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体　(n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.43	(2.05)	6.46	(1.79)	2.82	(0.92)	9.18	(1.68)	2.95	(0.86)	7.15	(1.77)	3.02	(0.71)	2.15	(0.72)	1.96	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	862	(5.5%)	1443	(9.2%)	931	(5.9%)	1088	(6.9%)	1463	(9.3%)	443	(2.8%)	723	(4.6%)	535	(3.4%)
19-29歳 (n=1,589)	平均値（標準偏差）	6.28	(1.87)	6.38	(1.83)	2.53	(0.98)	9.15	(1.76)	2.85	(0.91)	7.33	(1.76)	2.92	(0.75)	2.20	(0.75)	1.96	(0.78)
	ハイリスク者（%）	119	(7.5%)	81	(5.1%)	268	(16.9%)	125	(7.9%)	146	(9.2%)	173	(10.9%)	64	(4.0%)	92	(5.8%)	65	(4.1%)
30-39歳 (n=3,649)	平均値（標準偏差）	6.17	(1.96)	6.39	(1.76)	2.72	(0.96)	9.04	(1.76)	2.91	(0.89)	7.30	(1.78)	3.04	(0.71)	2.16	(0.74)	1.94	(0.76)
	ハイリスク者（%）	406	(11.1%)	206	(5.6%)	421	(11.5%)	275	(7.6%)	308	(8.4%)	389	(10.7%)	101	(2.8%)	195	(5.3%)	144	(3.9%)
40-49歳 (n=5,148)	平均値（標準偏差）	6.15	(1.98)	6.36	(1.76)	2.81	(0.90)	9.13	(1.68)	2.93	(0.85)	7.32	(1.73)	3.02	(0.70)	2.18	(0.71)	1.97	(0.72)
	ハイリスク者（%）	591	(11.5%)	316	(6.1%)	439	(8.5%)	316	(6.2%)	345	(6.7%)	538	(10.5%)	127	(2.5%)	248	(4.8%)	179	(3.5%)
50-59歳 (n=4,854)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.11)	6.55	(1.79)	3.00	(0.85)	9.30	(1.56)	3.03	(0.81)	6.84	(1.73)	3.02	(0.71)	2.13	(0.69)	1.98	(0.71)
	ハイリスク者（%）	357	(7.4%)	245	(5.0%)	269	(5.5%)	190	(3.9%)	256	(5.3%)	318	(6.6%)	126	(2.6%)	177	(3.6%)	137	(2.8%)
60-66歳 (n=529)	平均値（標準偏差）	7.99	(2.24)	7.20	(1.95)	2.94	(0.95)	9.48	(1.67)	3.10	(0.86)	6.80	(1.89)	2.98	(0.78)	1.90	(0.68)	1.91	(0.71)
	ハイリスク者（%）	16	(3.0%)	14	(2.6%)	46	(8.7%)	25	(4.8%)	33	(6.2%)	45	(8.5%)	25	(4.7%)	11	(2.1%)	10	(1.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表6. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
沿岸地区　(n=3616)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.02)	6.45	(1.77)	2.83	(0.88)	9.21	(1.70)	2.92	(0.89)	7.12	(1.74)	3.01	(0.72)	2.17	(0.73)	1.96	(0.75)
	ハイリスク者（%）	344	(9.5%)	193	(5.3%)	281	(7.8%)	214	(6.0%)	295	(8.2%)	317	(8.8%)	106	(2.9%)	170	(4.7%)	127	(3.5%)
内陸地区　(n=12124)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.06)	6.46	(1.80)	2.82	(0.93)	9.17	(1.67)	2.96	(0.85)	7.16	(1.77)	3.02	(0.71)	2.15	(0.72)	1.97	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1143	(9.4%)	669	(5.5%)	1160	(9.6%)	716	(5.9%)	791	(6.5%)	1146	(9.5%)	337	(2.8%)	552	(4.6%)	408	(3.4%)
所在地不明　(n=29)	平均値（標準偏差）	7.24	(2.15)	7.43	(1.60)	3.07	(0.80)	9.62	(1.47)	3.17	(0.89)	6.62	(1.35)	2.93	(0.65)	2.17	(0.66)	1.97	(0.57)
	ハイリスク者（%）	2	(6.9%)	0	(0.0%)	2	(6.9%)	1	(3.4%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.4%)	0	(0.0%)
全体　(n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.43	(2.05)	6.46	(1.79)	2.82	(0.92)	9.18	(1.68)	2.95	(0.86)	7.15	(1.77)	3.02	(0.71)	2.15	(0.72)	1.96	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	862	(5.5%)	1443	(9.2%)	931	(5.9%)	1088	(6.9%)	1463	(9.3%)	443	(2.8%)	723	(4.6%)	535	(3.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
全体　(n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.43	(2.05)	6.46	(1.79)	2.82	(0.92)	9.18	(1.68)	2.95	(0.86)	7.15	(1.77)	3.02	(0.71)	2.15	(0.72)	1.96	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	862	(5.5%)	1443	(9.2%)	931	(5.9%)	1088	(6.9%)	1463	(9.3%)	443	(2.8%)	723	(4.6%)	535	(3.4%)
その他 (n=197)	平均値（標準偏差）	7.17	(2.21)	6.84	(2.03)	2.85	(0.83)	8.44	(1.82)	2.69	(0.96)	8.13	(1.90)	2.85	(0.74)	2.18	(0.77)	2.25	(0.82)
	ハイリスク者（%）	7	(3.6%)	10	(5.1%)	11	(5.6%)	25	(12.7%)	25	(12.7%)	45	(23.0%)	9	(4.6%)	12	(6.1%)	18	(9.1%)
医療、福祉 (n=80)	平均値（標準偏差）	7.55	(2.29)	6.89	(2.03)	2.27	(1.08)	9.06	(1.92)	3.21	(0.79)	7.53	(1.88)	3.09	(0.70)	2.00	(0.76)	1.78	(0.71)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	1	(1.3%)	24	(30.0%)	8	(10.1%)	3	(3.8%)	10	(12.5%)	1	(1.3%)	4	(5.0%)	1	(1.3%)
卸業、小売業 (n=1763)	平均値（標準偏差）	6.27	(1.87)	6.48	(1.83)	2.52	(0.97)	8.78	(1.76)	2.84	(0.92)	7.34	(1.77)	3.04	(0.71)	2.23	(0.74)	2.11	(0.76)
	ハイリスク者（%）	138	(7.8%)	94	(5.3%)	296	(16.8%)	162	(9.2%)	169	(9.6%)	198	(11.3%)	46	(2.6%)	95	(5.4%)	80	(4.5%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=162)	平均値（標準偏差）	6.16	(1.94)	6.20	(1.54)	3.36	(0.75)	8.39	(1.90)	3.29	(0.73)	6.44	(1.74)	3.13	(0.82)	1.94	(0.71)	1.80	(0.64)
	ハイリスク者（%）	19	(11.7%)	7	(4.3%)	3	(1.9%)	22	(13.8%)	4	(2.5%)	8	(5.0%)	8	(4.9%)	5	(3.1%)	2	(1.2%)
教育、学習支援業 (n=6200	平均値（標準偏差）	5.98	(1.94)	6.30	(1.74)	2.62	(0.87)	9.35	(1.63)	3.10	(0.79)	7.01	(1.72)	3.14	(0.68)	2.03	(0.66)	1.75	(0.66)
	ハイリスク者（%）	788	(12.7%)	381	(6.1%)	615	(9.9%)	281	(4.6%)	235	(3.8%)	469	(7.6%)	127	(2.0%)	148	(2.4%)	95	(1.5%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=4667)	平均値（標準偏差）	6.95	(2.12)	6.68	(1.76)	3.22	(0.83)	9.38	(1.56)	2.93	(0.84)	7.14	(1.77)	2.92	(0.72)	2.22	(0.72)	2.06	(0.71)
	ハイリスク者（%）	324	(6.9%)	187	(4.0%)	204	(4.4%)	176	(3.8%)	301	(6.4%)	432	(9.3%)	153	(3.3%)	243	(5.2%)	166	(3.6%)
情報通信業 (n=210)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.13)	6.57	(2.14)	2.98	(1.00)	8.61	(1.90)	2.78	(0.91)	7.37	(1.94)	2.93	(0.70)	2.19	(0.71)	2.02	(0.70)
	ハイリスク者（%）	12	(5.7%)	9	(4.3%)	22	(10.5%)	29	(13.9%)	24	(11.4%)	29	(13.8%)	8	(3.8%)	9	(4.3%)	9	(4.3%)
製造業 (n=907)	平均値（標準偏差）	6.38	(1.97)	6.35	(1.82)	2.60	(0.92)	8.45	(1.70)	2.32	(0.98)	7.60	(1.76)	2.87	(0.69)	2.36	(0.75)	2.37	(0.77)
	ハイリスク者（%）	83	(9.2%)	59	(6.5%)	122	(13.5%)	110	(12.3%)	223	(24.6%)	125	(13.8%)	27	(3.0%)	67	(7.4%)	70	(7.7%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=203)	平均値（標準偏差）	7.07	(2.04)	6.41	(1.75)	2.92	(0.87)	9.13	(1.73)	2.76	(0.87)	7.31	(1.65)	2.98	(0.70)	2.19	(0.75)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	12	(5.9%)	8	(3.9%)	11	(5.4%)	13	(6.5%)	16	(7.9%)	20	(9.9%)	6	(3.0%)	12	(5.9%)	10	(4.9%)
複合サービス事業 (n=1380)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.05)	6.34	(1.91)	2.81	(0.93)	8.97	(1.71)	2.97	(0.84)	7.16	(1.78)	2.88	(0.75)	2.27	(0.82)	2.13	(0.77)
	ハイリスク者（%）	106	(7.7%)	106	(7.7%)	135	(9.8%)	105	(7.7%)	88	(6.4%)	127	(9.2%)	58	(4.2%)	128	(9.3%)	84	(6.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

年齢階級		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.24)	5.82	(2.20)	6.24	(2.37)	5.96	(2.18)	9.82	(3.68)	17.85	(5.09)	7.21	(2.06)	6.76	(1.90)	5.26	(2.03)	4.06	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	776	(4.9%)	1535	(9.8%)	1059	(6.7%)	1345	(8.6%)	1296	(8.3%)	767	(4.9%)	790	(5.0%)	1363	(8.8%)	507	(3.2%)
19-29歳 (n=1,589)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.21)	6.17	(2.29)	6.79	(2.29)	6.24	(2.26)	10.46	(3.74)	17.65	(5.13)	7.04	(2.06)	6.37	(1.99)	5.06	(1.96)	4.36	(1.32)
	ハイリスク者（%）	134	(8.4%)	110	(6.9%)	194	(12.2%)	136	(8.6%)	172	(10.8%)	119	(7.5%)	55	(3.5%)	59	(3.7%)	107	(6.8%)	87	(5.5%)
30-39歳 (n=3,649)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.28)	6.15	(2.25)	6.57	(2.39)	6.11	(2.28)	10.04	(3.74)	17.74	(5.14)	7.13	(2.08)	6.55	(1.93)	5.21	(2.07)	4.12	(1.28)
	ハイリスク者（%）	358	(9.8%)	221	(6.1%)	428	(11.7%)	299	(8.2%)	348	(9.6%)	304	(8.4%)	175	(4.8%)	152	(4.2%)	352	(9.7%)	140	(3.8%)
40-49歳 (n=5,148)	平均値（標準偏差）	6.75	(2.25)	5.91	(2.21)	6.49	(2.42)	6.07	(2.23)	10.03	(3.78)	18.09	(5.15)	7.18	(2.09)	6.73	(1.91)	5.30	(2.11)	4.09	(1.25)
	ハイリスク者（%）	551	(10.7%)	268	(5.2%)	604	(11.8%)	404	(7.9%)	501	(9.8%)	467	(9.1%)	262	(5.1%)	262	(5.1%)	501	(9.9%)	184	(3.6%)
50-59歳 (n=4,854)	平均値（標準偏差）	6.89	(2.20)	5.44	(2.05)	5.69	(2.21)	5.71	(2.01)	9.38	(3.48)	17.82	(4.97)	7.35	(2.00)	7.06	(1.78)	5.29	(1.95)	3.94	(1.16)
	ハイリスク者（%）	422	(8.7%)	159	(3.3%)	294	(6.1%)	208	(4.3%)	306	(6.3%)	371	(7.7%)	243	(5.1%)	282	(5.9%)	371	(7.8%)	93	(1.9%)
60-66歳 (n=529)	平均値（標準偏差）	7.60	(2.25)	5.06	(2.03)	5.01	(2.04)	5.18	(1.89)	8.46	(3.15)	16.95	(4.97)	7.48	(1.94)	7.02	(1.78)	5.35	(1.93)	3.61	(1.09)
	ハイリスク者（%）	24	(4.5%)	18	(3.4%)	15	(2.8%)	12	(2.3%)	18	(3.4%)	35	(6.7%)	32	(6.2%)	35	(6.7%)	32	(6.3%)	3	(0.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表9. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.24)	5.82	(2.20)	6.24	(2.37)	5.96	(2.18)	9.82	(3.68)	17.85	(5.09)	7.21	(2.06)	6.76	(1.90)	5.26	(2.03)	4.06	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	776	(4.9%)	1535	(9.8%)	1059	(6.7%)	1345	(8.6%)	1296	(8.3%)	767	(4.9%)	790	(5.0%)	1363	(8.8%)	507	(3.2%)
沿岸地区 (n=3616)	平均値（標準偏差）	6.88	(2.29)	5.85	(2.21)	6.29	(2.36)	5.96	(2.17)	9.94	(3.72)	17.83	(5.13)	7.21	(2.07)	6.74	(1.92)	5.23	(2.05)	4.11	(1.28)
	ハイリスク者（%）	346	(9.6%)	187	(5.2%)	372	(10.3%)	238	(6.6%)	330	(9.2%)	304	(8.5%)	169	(4.7%)	186	(5.2%)	327	(9.1%)	127	(3.5%)
内陸地区 (n=12124)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.23)	5.81	(2.19)	6.23	(2.38)	5.96	(2.19)	9.79	(3.67)	17.85	(5.08)	7.22	(2.05)	6.77	(1.89)	5.26	(2.03)	4.05	(1.23)
	ハイリスク者（%）	1142	(9.4%)	589	(4.9%)	1162	(9.6%)	820	(6.8%)	1014	(8.4%)	991	(8.2%)	598	(5.0%)	602	(5.0%)	1033	(8.6%)	380	(3.1%)
所在地不明 (n=29)	平均値（標準偏差）	6.72	(1.87)	5.14	(2.01)	5.34	(1.80)	4.93	(1.73)	8.64	(2.95)	16.69	(4.15)	6.79	(2.02)	6.89	(2.01)	5.37	(2.19)	3.69	(0.85)
	ハイリスク者（%）	1	(3.4%)	0	(0.0%)	1	(3.4%)	1	(3.4%)	1	(3.6%)	1	(3.4%)	0	(0.0%)	2	(7.1%)	3	(11.1%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表8. 平成24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
全体 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.24)	5.82	(2.20)	6.24	(2.37)	5.96	(2.18)	9.82	(3.68)	17.85	(5.09)	7.21	(2.06)	6.76	(1.90)	5.26	(2.03)	4.06	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	776	(4.9%)	1535	(9.8%)	1059	(6.7%)	1345	(8.6%)	1296	(8.3%)	767	(4.9%)	790	(5.0%)	1363	(8.8%)	507	(3.2%)
その他 (n=197)	平均値（標準偏差）	6.25	(2.32)	6.15	(2.41)	6.07	(2.49)	5.95	(2.15)	10.41	(4.08)	18.10	(5.16)	8.35	(1.93)	7.49	(1.89)	5.61	(2.13)	4.42	(1.24)
	ハイリスク者（%）	34	(17.3%)	15	(7.6%)	19	(9.6%)	10	(5.1%)	28	(14.4%)	15	(7.7%)	24	(12.3%)	23	(11.7%)	25	(13.0%)	10	(5.1%)
医療、福祉 (n=80)	平均値（標準偏差）	7.19	(2.29)	5.58	(2.51)	5.86	(2.45)	5.58	(2.01)	9.34	(3.82)	17.11	(4.56)	7.24	(2.21)	6.86	(2.08)	5.43	(2.02)	3.91	(1.42)
	ハイリスク者（%）	6	(7.5%)	6	(7.5%)	5	(6.3%)	2	(2.5%)	4	(5.0%)	7	(8.9%)	3	(3.8%)	6	(7.5%)	6	(7.6%)	4	(5.0%)
卸業、小売業 (n=1763)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.27)	6.55	(2.27)	6.62	(2.37)	6.36	(2.29)	10.58	(3.86)	18.82	(5.50)	7.32	(2.10)	6.85	(1.91)	5.28	(2.03)	4.38	(1.27)
	ハイリスク者（%）	194	(11.0%)	152	(8.7%)	207	(11.8%)	171	(9.7%)	200	(11.4%)	214	(12.2%)	91	(5.2%)	101	(5.8%)	142	(8.1%)	91	(5.2%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=162)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.13)	5.84	(2.22)	6.07	(2.42)	5.62	(2.16)	9.56	(3.61)	17.43	(5.11)	7.62	(1.96)	7.18	(2.04)	5.43	(2.22)	4.04	(1.20)
	ハイリスク者（%）	12	(7.4%)	11	(6.8%)	16	(9.9%)	10	(6.2%)	13	(8.0%)	14	(8.8%)	12	(7.5%)	17	(10.6%)	17	(10.7%)	4	(2.5%)
教育、学習支援業 (n=6200	平均値（標準偏差）	7.19	(2.24)	5.70	(2.13)	6.47	(2.41)	5.97	(2.16)	9.64	(3.63)	17.68	(4.96)	7.08	(2.07)	6.61	(1.90)	5.04	(1.98)	3.82	(1.20)
	ハイリスク者（%）	414	(6.7%)	259	(4.2%)	727	(11.8%)	421	(6.8%)	480	(7.8%)	455	(7.4%)	264	(4.3%)	253	(4.1%)	431	(7.1%)	138	(2.2%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=4667)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.21)	5.43	(2.05)	5.72	(2.24)	5.68	(2.11)	9.37	(3.48)	17.27	(4.76)	7.05	(1.94)	6.71	(1.81)	5.31	(2.00)	4.05	(1.19)
	ハイリスク者（%）	503	(10.8%)	140	(3.0%)	300	(6.4%)	244	(5.2%)	312	(6.7%)	290	(6.3%)	167	(3.6%)	206	(4.4%)	407	(8.8%)	114	(2.5%)
情報通信業 (n=210)	平均値（標準偏差）	6.34	(2.04)	6.11	(2.36)	6.32	(2.36)	5.79	(2.10)	10.07	(3.55)	18.22	(4.83)	7.86	(2.23)	7.27	(2.05)	5.37	(2.11)	4.06	(1.17)
	ハイリスク者（%）	25	(11.9%)	18	(8.6%)	17	(8.1%)	9	(4.3%)	19	(9.1%)	16	(7.7%)	26	(12.5%)	24	(11.5%)	23	(11.1%)	5	(2.4%)
製造業 (n=907)	平均値（標準偏差）	6.24	(2.15)	6.65	(2.27)	6.90	(2.30)	6.24	(2.20)	10.98	(3.77)	19.16	(5.52)	8.03	(1.99)	7.28	(1.89)	5.68	(2.14)	4.67	(1.29)
	ハイリスク者（%）	128	(14.1%)	82	(9.1%)	116	(12.8%)	65	(7.2%)	119	(13.2%)	123	(13.7%)	81	(9.0%)	77	(8.5%)	114	(12.6%)	67	(7.4%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=203)	平均値（標準偏差）	6.50	(2.22)	5.49	(2.26)	5.92	(2.40)	5.62	(1.96)	9.76	(3.40)	18.00	(5.66)	7.25	(2.25)	6.59	(2.03)	5.35	(2.19)	4.04	(1.17)
	ハイリスク者（%）	27	(13.3%)	10	(4.9%)	17	(8.4%)	9	(4.5%)	12	(6.0%)	25	(12.4%)	13	(6.5%)	9	(4.5%)	23	(11.5%)	5	(2.5%)
複合サービス事業 (n=1380)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.22)	6.15	(2.29)	6.15	(2.29)	6.27	(2.28)	10.38	(3.93)	18.40	(5.46)	7.40	(2.13)	6.93	(1.96)	5.62	(2.10)	4.36	(1.26)
	ハイリスク者（%）	146	(10.6%)	83	(6.0%)	111	(8.1%)	118	(8.6%)	158	(11.5%)	137	(10.0%)	86	(6.3%)	74	(5.4%)	175	(12.9%)	69	(5.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患発予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表10. 平成24年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

職業性ストレス関連項目

女性労働者（n=10,215）	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		無回答	
非常にたくさんの仕事をしなければならない	**1436**	**(14.1%)**	5342	(52.3%)	2424	(23.7%)	973	(9.5%)	40	(0.4%)
時間内に仕事を処理しきれない	**2495**	**(24.4%)**	3824	(37.4%)	2440	(23.9%)	1439	(14.1%)	17	(0.2%)
一生懸命働かなければならない	**3437**	**(33.6%)**	5588	(54.7%)	924	(9.0%)	236	(2.3%)	30	(0.3%)
かなり注意を集中する必要がある	**2149**	**(21.0%)**	5600	(54.8%)	2092	(20.5%)	344	(3.4%)	30	(0.3%)
高度な知識や技術が必要な難しい仕事だ	**1039**	**(10.2%)**	4727	(46.3%)	3461	(33.9%)	950	(9.3%)	38	(0.4%)
勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	**2585**	**(25.3%)**	5099	(49.9%)	2137	(20.9%)	366	(3.6%)	28	(0.3%)
体を大変よく使う仕事だ	**1080**	**(10.6%)**	3224	(31.6%)	3598	(35.2%)	2290	(22.4%)	23	(0.2%)
自分のペースで仕事ができる	632	(6.2%)	4145	(40.6%)	3969	(38.9%)	**1441**	**(14.1%)**	28	(0.3%)
自分で仕事の順番・やり方を決めることだできる	1309	(12.8%)	5718	(56.0%)	2531	(24.8%)	**642**	**(6.3%)**	15	(0.1%)
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	548	(5.4%)	5721	(56.0%)	3095	(30.3%)	**815**	**(8.0%)**	36	(0.4%)
自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない	**275**	**(2.7%)**	1552	(15.2%)	5661	(55.4%)	2694	(26.4%)	33	(0.3%)
自分の部署内で意見のくい違いがある	**410**	**(4.0%)**	2213	(21.7%)	5176	(50.7%)	2389	(23.4%)	27	(0.3%)
私の部署と他の部署とはうまが合わない	**122**	**(1.2%)**	813	(8.0%)	4889	(47.9%)	4336	(42.4%)	55	(0.5%)
私の職場の雰囲気は友好的である	2678	(26.2%)	5872	(57.5%)	1282	(12.6%)	**356**	**(3.5%)**	27	(0.3%)
私の職場の作業環境（騒音・照明・温度・換気など）はよくない	**726**	**(7.1%)**	2084	(20.4%)	4456	(43.6%)	2918	(28.6%)	31	(0.3%)
仕事の内容は自分にあっている	1614	(15.8%)	6168	(60.4%)	1969	(19.3%)	**414**	**(4.1%)**	50	(0.5%)
働き甲斐のある仕事だ	3018	(29.5%)	5504	(53.9%)	1264	(12.4%)	**307**	**(3.0%)**	122	(1.2%)

表11. 平成24年度メンタルヘルス調査　女性労働者調査結果

心理的反応項目

女性労働者 (n=10,215)	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
活気がわいてくる	**1642**	**(16.1%)**	4888	(47.9%)	2821	(27.6%)	834	(8.2%)	30	(0.3%)
元気がいっぱいだ	**1615**	**(15.8%)**	4573	(44.8%)	2955	(28.9%)	1052	(10.3%)	20	(0.2%)
生き生きする	**1851**	**(18.1%)**	4690	(45.9%)	2801	(27.4%)	834	(8.2%)	39	(0.4%)
怒りを感じる	2895	(28.3%)	4768	(46.7%)	2155	(21.1%)	**375**	**(3.7%)**	22	(0.2%)
内心腹立たしい	3366	(33.0%)	4504	(44.1%)	1895	(18.6%)	**431**	**(4.2%)**	19	(0.2%)
イライラしている	2650	(25.9%)	4939	(48.4%)	2078	(20.3%)	**527**	**(5.2%)**	21	(0.2%)
ひどく疲れた	1262	(12.4%)	4145	(40.6%)	3166	(31.0%)	**1634**	**(16.0%)**	8	(0.1%)
へとへとだ	3223	(31.6%)	3658	(35.8%)	2253	(22.1%)	**1062**	**(10.4%)**	19	(0.2%)
だるい	2636	(25.8%)	4218	(41.3%)	2310	(22.6%)	**1033**	**(10.1%)**	18	(0.2%)
気が張り詰めている	2305	(22.6%)	4092	(40.1%)	2591	(25.4%)	**1207**	**(11.8%)**	20	(0.2%)
不安だ	3570	(34.9%)	3977	(38.9%)	1830	(17.9%)	**821**	**(8.0%)**	17	(0.2%)
落ち着かない	5046	(49.4%)	3465	(33.9%)	1267	(12.4%)	**420**	**(4.1%)**	17	(0.2%)
ゆううつだ	4138	(40.5%)	3843	(37.6%)	1529	(15.0%)	**687**	**(6.7%)**	18	(0.2%)
何をするのも面倒だ	4514	(44.2%)	4092	(40.1%)	1172	(11.5%)	**420**	**(4.1%)**	17	(0.2%)
物事に集中できない	4866	(47.6%)	4195	(41.1%)	930	(9.1%)	**201**	**(2.0%)**	23	(0.2%)
気分が晴れない	3759	(36.8%)	4383	(42.9%)	1448	(14.2%)	**612**	**(6.0%)**	13	(0.1%)
仕事が手につかない	7226	(70.7%)	2412	(23.6%)	432	(4.2%)	**121**	**(1.2%)**	24	(0.2%)
悲しいと感じる	6518	(63.8%)	2552	(25.0%)	814	(8.0%)	**306**	**(3.0%)**	25	(0.2%)

表12. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

心理的反応項目等

女性労働者（n=10,215）	ほとんどなかった		ときどきあった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		無回答	
身体愁訴										
めまいがする	7169	(70.2%)	2240	(21.9%)	593	(5.8%)	**197**	**(1.9%)**	16	(0.2%)
体の節々がいたむ	6818	(66.7%)	2394	(23.4%)	696	(6.8%)	**286**	**(2.8%)**	21	(0.2%)
頭が重かったり頭痛がする	3993	(39.1%)	4133	(40.5%)	1684	(16.5%)	**386**	**(3.8%)**	19	(0.2%)
首筋や肩がこる	1579	(15.5%)	2961	(29.0%)	2602	(25.5%)	**3059**	**(29.9%)**	14	(0.1%)
腰が痛い	3982	(39.0%)	3374	(33.0%)	1856	(18.2%)	**992**	**(9.7%)**	11	(0.1%)
眼が疲れる	1771	(17.3%)	3441	(33.7%)	2953	(28.9%)	**2030**	**(19.9%)**	20	(0.2%)
動悸や息切れがする	7786	(76.2%)	1859	(18.2%)	439	(4.3%)	**106**	**(1.0%)**	25	(0.2%)
胃腸の具合が悪い	6029	(59.0%)	3056	(29.9%)	874	(8.6%)	**237**	**(2.3%)**	19	(0.2%)
食欲がない	8040	(78.7%)	1819	(17.8%)	263	(2.6%)	**75**	**(0.7%)**	18	(0.2%)
便秘や下痢をする	5638	(55.2%)	3026	(29.6%)	1032	(10.1%)	**493**	**(4.8%)**	26	(0.3%)
よく眠れない	6241	(61.1%)	2816	(27.6%)	815	(8.0%)	**313**	**(3.1%)**	30	(0.3%)
周囲の支援状況	非常に		かなり		多少		全くない		無回答	
どれくらい気軽に話ができますか―上司	886	(8.7%)	3134	(30.7%)	5410	(53.0%)	**759**	**(7.4%)**	26	(0.3%)
どれくらい気軽に話ができますか―同僚	2004	(19.6%)	5058	(49.5%)	3007	(29.4%)	**109**	**(1.1%)**	37	(0.4%)
どれくらい気軽に話ができますか―配偶者・家族・友人	5366	(52.5%)	3588	(35.1%)	1107	(10.8%)	**75**	**(0.7%)**	79	(0.8%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―上司	1475	(14.4%)	3879	(38.0%)	4095	(40.1%)	**717**	**(7.0%)**	49	(0.5%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―職場同僚	1377	(13.5%)	4124	(40.4%)	4073	(39.9%)	**577**	**(5.6%)**	64	(0.6%)
困ったときにどのくらい頼りになりますか―配偶者・家族・友人	4666	(45.7%)	3848	(37.7%)	1493	(14.6%)	**121**	**(1.2%)**	87	(0.9%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―上司	1054	(10.3%)	3305	(32.4%)	4563	(44.7%)	**1216**	**(11.9%)**	77	(0.8%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―職場同僚	1377	(13.5%)	4124	(40.4%)	4073	(39.9%)	**577**	**(5.6%)**	64	(0.6%)
個人的な問題をどのくらい聞いてくれますか―配偶者・家族・友人	5076	(49.7%)	3724	(36.5%)	1243	(12.2%)	**132**	**(1.3%)**	40	(0.4%)
満足度	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		無回答	
仕事に満足だ	1433	(14.0%)	6160	(60.3%)	2061	(20.2%)	**536**	**(5.2%)**	25	(0.2%)
家庭生活に満足だ	2884	(28.2%)	5620	(55.0%)	1366	(13.4%)	**325**	**(3.2%)**	20	(0.2%)

表13. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

年齢階級		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.08)	6.51	(1.86)	2.70	(0.93)	9.33	(1.73)	2.94	(0.88)	7.27	(1.76)	3.06	(0.72)	2.12	(0.71)	1.89	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1978	(19.4%)	1421	(13.9%)	1080	(10.6%)	589	(5.8%)	726	(7.1%)	481	(4.7%)	275	(2.7%)	414	(4.1%)	307	(3.0%)
19-29歳 (n=1,180)	平均値（標準偏差）	6.79	(1.98)	6.78	(1.85)	2.86	(1.00)	9.41	(1.84)	3.09	(0.84)	7.35	(1.74)	2.91	(0.75)	2.21	(0.76)	1.93	(0.80)
	ハイリスク者（%）	143	(12.1%)	121	(10.3%)	124	(10.5%)	79	(6.7%)	58	(4.9%)	61	(5.2%)	47	(4.0%)	72	(6.1%)	53	(4.5%)
30-39歳 (n=2,319)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.12)	6.77	(1.92)	2.85	(0.96)	9.33	(1.73)	2.98	(0.89)	7.26	(1.76)	3.04	(0.72)	2.17	(0.73)	1.92	(0.76)
	ハイリスク者（%）	368	(15.9%)	266	(11.5%)	208	(9.0%)	132	(5.7%)	157	(6.8%)	99	(4.3%)	61	(2.6%)	123	(5.3%)	87	(3.8%)
40-49歳 (n=3,560)	平均値（標準偏差）	6.04	(2.02)	6.32	(1.79)	2.60	(0.90)	9.27	(1.73)	2.86	(0.87)	7.34	(1.70)	3.12	(0.68)	2.13	(0.68)	1.87	(0.71)
	ハイリスク者（%）	843	(23.7%)	562	(15.8%)	398	(11.2%)	224	(6.3%)	287	(8.1%)	171	(4.8%)	65	(1.8%)	119	(3.3%)	93	(2.6%)
50-59歳 (n=2,886)	平均値（標準偏差）	6.28	(2.06)	6.38	(1.81)	2.65	(0.90)	9.33	(1.67)	2.93	(0.88)	7.16	(1.79)	3.07	(0.74)	2.05	(0.69)	1.87	(0.70)
	ハイリスク者（%）	590	(20.4%)	442	(15.3%)	306	(10.6%)	143	(5.0%)	204	(7.1%)	129	(4.5%)	84	(2.9%)	92	(3.2%)	66	(2.3%)
60-66歳 (n=270)	平均値（標準偏差）	7.42	(2.33)	7.10	(2.09)	2.48	(0.96)	9.73	(1.70)	3.08	(0.92)	7.15	(2.13)	2.97	(0.87)	1.74	(0.72)	1.80	(0.76)
	ハイリスク者（%）	34	(12.6%)	30	(11.1%)	44	(16.3%)	11	(4.2%)	20	(7.4%)	21	(7.9%)	18	(6.7%)	8	(3.0%)	8	(3.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表15. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.08)	6.51	(1.86)	2.70	(0.93)	9.33	(1.73)	2.94	(0.88)	7.27	(1.76)	3.06	(0.72)	2.12	(0.71)	1.89	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1978	(19.4%)	1421	(13.9%)	1080	(10.6%)	589	(5.8%)	726	(7.1%)	481	(4.7%)	275	(2.7%)	414	(4.1%)	307	(3.0%)
沿岸地区 (n=1,928)	平均値（標準偏差）	6.38	(2.00)	6.50	(1.77)	2.76	(0.89)	9.44	(1.72)	2.96	(0.89)	7.15	(1.69)	3.09	(0.70)	2.10	(0.69)	1.84	(0.73)
	ハイリスク者（%）	344	(17.8%)	258	(13.4%)	154	(8.0%)	99	(5.2%)	147	(7.6%)	66	(3.4%)	41	(2.1%)	72	(3.7%)	57	(3.0%)
内陸地区 (n=8,279)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.10)	6.52	(1.88)	2.68	(0.94)	9.30	(1.73)	2.93	(0.88)	7.30	(1.77)	3.05	(0.73)	2.12	(0.71)	1.90	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1634	(19.7%)	1162	(14.0%)	925	(11.2%)	490	(6.0%)	579	(7.0%)	415	(5.0%)	234	(2.8%)	342	(4.1%)	250	(3.0%)
所在地不明 (n=8)	平均値（標準偏差）	6.75	(1.83)	7.50	(2.20)	3.00	(0.93)	10.25	(1.28)	2.75	(0.89)	6.38	(1.85)	3.25	(0.71)	1.75	(0.46)	1.75	(0.46)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表14. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.08)	6.51	(1.86)	2.70	(0.93)	9.33	(1.73)	2.94	(0.88)	7.27	(1.76)	3.06	(0.72)	2.12	(0.71)	1.89	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1978	(19.4%)	1421	(13.9%)	1080	(10.6%)	589	(5.8%)	726	(7.1%)	481	(4.7%)	275	(2.7%)	414	(4.1%)	307	(3.0%)
その他 (n=308)	平均値（標準偏差）	7.37	(1.88)	6.72	(2.01)	2.79	(0.93)	9.08	(1.65)	2.61	(0.93)	7.86	(1.79)	2.88	(0.81)	2.05	(0.67)	2.10	(0.73)
	ハイリスク者（%）	19	(6.2%)	47	(15.3%)	31	(10.1%)	15	(4.9%)	43	(14.0%)	27	(8.8%)	17	(5.5%)	6	(1.9%)	11	(3.6%)
医療、福祉 (n=220)	平均値（標準偏差）	6.75	(1.99)	6.23	(1.93)	2.08	(0.94)	9.02	(2.03)	3.16	(0.86)	7.85	(1.84)	2.98	(0.74)	2.05	(0.76)	1.83	(0.75)
	ハイリスク者（%）	28	(12.7%)	39	(17.7%)	67	(30.5%)	24	(11.1%)	11	(5.0%)	18	(8.3%)	9	(4.1%)	8	(3.6%)	5	(2.3%)
卸業、小売業 (n=988)	平均値（標準偏差）	7.17	(2.01)	7.48	(1.88)	2.73	(0.99)	9.18	(1.85)	2.81	(0.95)	7.68	(1.90)	2.76	(0.76)	2.07	(0.72)	2.18	(0.78)
	ハイリスク者（%）	90	(9.1%)	49	(5.0%)	116	(11.7%)	70	(7.2%)	104	(10.5%)	86	(8.8%)	58	(5.9%)	36	(3.6%)	57	(5.8%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=123)	平均値（標準偏差）	6.55	(2.03)	6.63	(1.78)	3.46	(0.67)	8.52	(1.97)	3.37	(0.69)	6.77	(1.51)	3.08	(0.71)	2.07	(0.66)	1.86	(0.61)
	ハイリスク者（%）	18	(14.6%)	15	(12.2%)	1	(0.8%)	20	(16.3%)	1	(0.8%)	1	(0.8%)	1	(0.8%)	3	(2.4%)	0	(0.0%)
教育、学習支援業 (n=5,567)	平均値（標準偏差）	5.74	(1.83)	6.18	(1.68)	2.51	(0.84)	9.43	(1.65)	3.00	(0.84)	7.09	(1.67)	3.21	(0.65)	2.05	(0.65)	1.70	(0.64)
	ハイリスク者（%）	1456	(26.2%)	899	(16.1%)	600	(10.8%)	258	(4.7%)	297	(5.3%)	173	(3.1%)	73	(1.3%)	124	(2.2%)	66	(1.2%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1,505)	平均値（標準偏差）	6.78	(2.12)	6.73	(1.85)	3.02	(1.00)	9.53	(1.63)	2.87	(0.90)	7.27	(1.78)	2.95	(0.74)	2.28	(0.74)	2.05	(0.72)
	ハイリスク者（%）	230	(15.3%)	176	(11.7%)	159	(10.6%)	54	(3.6%)	132	(8.8%)	76	(5.1%)	48	(3.2%)	102	(6.8%)	57	(3.8%)
情報通信業 (n=87)	平均値（標準偏差）	7.86	(2.30)	7.20	(2.11)	3.26	(0.87)	9.14	(1.85)	2.91	(0.82)	7.79	(2.05)	2.78	(0.82)	2.20	(0.85)	2.16	(0.92)
	ハイリスク者（%）	8	(9.2%)	7	(8.0%)	4	(4.6%)	8	(9.3%)	5	(5.7%)	9	(10.5%)	7	(8.0%)	8	(9.2%)	10	(11.5%)
製造業 (n=251)	平均値（標準偏差）	7.41	(2.05)	7.11	(1.89)	3.13	(0.84)	8.36	(2.05)	2.44	(1.02)	7.69	(1.74)	2.77	(0.80)	2.28	(0.78)	2.44	(0.84)
	ハイリスク者（%）	17	(6.8%)	19	(7.6%)	9	(3.6%)	42	(16.9%)	54	(21.5%)	13	(5.2%)	14	(5.6%)	17	(6.8%)	31	(12.4%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=25)	平均値（標準偏差）	9.00	(2.29)	8.40	(2.40)	3.76	(0.60)	10.08	(1.71)	2.48	(1.05)	7.08	(1.78)	2.40	(0.91)	2.00	(0.82)	2.20	(0.76)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	2	(8.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(20.0%)	1	(4.0%)	4	(16.0%)	1	(4.0%)	1	(4.0%)
複合サービス事業 (n=1,141)	平均値（標準偏差）	7.40	(2.24)	6.77	(2.12)	3.00	(0.95)	9.12	(1.84)	2.98	(0.86)	7.45	(1.85)	2.86	(0.72)	2.26	(0.85)	2.16	(0.77)
	ハイリスク者（%）	112	(9.8%)	168	(14.7%)	93	(8.2%)	98	(8.7%)	74	(6.5%)	77	(6.8%)	44	(3.9%)	109	(9.6%)	69	(6.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表16. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

年齢階級		活気	イライラ	疲労	不安	抑うつ	身体愁訴	上司サポート	同僚サポート	家族サポート	満足感
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60 (2.30)	6.40 (2.20)	6.40 (2.20)	5.40 (2.00)	10.0 (3.30)	19.0 (5.00)	8.00 (2.10)	6.80 (2.00)	4.60 (1.80)	4.10 (1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%	7.8%	10.1%	10.0%	7.0%	9.0%	5.7%	7.8%	7.3%	12.5%
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.87 (2.34)	5.99 (2.18)	6.79 (2.49)	5.97 (2.26)	10.03 (3.73)	19.15 (5.07)	7.58 (2.05)	6.69 (1.92)	4.95 (1.97)	4.08 (1.18)
	ハイリスク者（%）	991 (9.7%)	574 (5.6%)	1528 (15.0%)	857 (8.4%)	954 (9.4%)	909 (9.0%)	660 (6.5%)	497 (4.9%)	1211 (12.1%)	295 (2.9%)
19-29歳 (n=1,180)	平均値（標準偏差）	6.80 (2.28)	6.14 (2.30)	6.89 (2.44)	6.29 (2.37)	10.73 (3.93)	18.97 (5.03)	7.38 (2.10)	6.50 (2.01)	4.68 (1.86)	4.21 (1.21)
	ハイリスク者（%）	110 (9.3%)	79 (6.7%)	178 (15.1%)	131 (11.1%)	156 (13.3%)	98 (8.4%)	66 (5.6%)	51 (4.3%)	108 (9.2%)	40 (3.4%)
30-39歳 (n=2,319)	平均値（標準偏差）	6.87 (2.32)	6.11 (2.18)	6.80 (2.47)	5.89 (2.29)	10.08 (3.82)	18.91 (5.11)	7.47 (2.13)	6.55 (1.99)	4.82 (1.94)	4.09 (1.22)
	ハイリスク者（%）	233 (10.0%)	132 (5.7%)	332 (14.3%)	200 (8.7%)	232 (10.0%)	194 (8.4%)	149 (6.5%)	114 (4.9%)	248 (10.8%)	82 (3.5%)
40-49歳 (n=3,560)	平均値（標準偏差）	6.77 (2.28)	6.14 (2.20)	7.09 (2.51)	5.99 (2.31)	10.13 (3.69)	19.32 (5.02)	7.60 (2.00)	6.61 (1.92)	5.04 (2.03)	4.12 (1.19)
	ハイリスク者（%）	351 (9.9%)	238 (6.7%)	635 (17.9%)	305 (8.6%)	330 (9.3%)	330 (9.4%)	202 (5.7%)	165 (4.7%)	475 (13.6%)	115 (3.2%)
50-59歳 (n=2,886)	平均値（標準偏差）	6.93 (2.41)	5.71 (2.07)	6.50 (2.45)	5.92 (2.13)	9.76 (3.59)	19.39 (5.10)	7.69 (2.02)	6.95 (1.80)	5.07 (1.96)	4.03 (1.12)
	ハイリスク者（%）	284 (9.8%)	120 (4.2%)	372 (13.0%)	204 (7.1%)	225 (7.9%)	276 (9.7%)	218 (7.7%)	145 (5.1%)	349 (12.4%)	57 (2.0%)
60-66歳 (n=270)	平均値（標準偏差）	8.06 (2.67)	5.32 (2.03)	5.33 (2.08)	5.34 (2.10)	8.22 (3.14)	17.32 (4.61)	7.85 (2.16)	7.05 (1.98)	4.95 (1.95)	3.55 (1.01)
	ハイリスク者（%）	13 (4.8%)	5 (1.9%)	11 (4.1%)	17 (6.4%)	11 (4.2%)	11 (4.3%)	25 (9.8%)	22 (8.5%)	31 (11.9%)	1 (0.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表18. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

地域別		活気	イライラ	疲労	不安	抑うつ	身体愁訴	上司サポート	同僚サポート	家族サポート	満足感
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60 (2.30)	6.40 (2.20)	6.40 (2.20)	5.40 (2.00)	10.0 (3.30)	19.0 (5.00)	8.00 (2.10)	6.80 (2.00)	4.60 (1.80)	4.10 (1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%	7.8%	10.1%	10.0%	7.0%	9.0%	5.7%	7.8%	7.3%	12.5%
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.87 (2.34)	5.99 (2.18)	6.79 (2.49)	5.97 (2.26)	10.03 (3.73)	19.15 (5.07)	7.58 (2.05)	6.69 (1.92)	4.95 (1.97)	4.08 (1.18)
	ハイリスク者（%）	991 (9.7%)	574 (5.6%)	1528 (15.0%)	857 (8.4%)	954 (9.4%)	909 (9.0%)	660 (6.5%)	497 (4.9%)	1211 (12.1%)	295 (2.9%)
沿岸地区 (n=1,928)	平均値（標準偏差）	6.96 (2.31)	5.87 (2.19)	6.78 (2.44)	5.98 (2.24)	10.04 (3.72)	19.07 (5.10)	7.40 (2.12)	6.62 (1.95)	4.88 (1.97)	4.09 (1.23)
	ハイリスク者（%）	173 (9.0%)	99 (5.2%)	272 (14.2%)	159 (8.3%)	180 (9.4%)	169 (8.9%)	114 (6.0%)	81 (4.2%)	230 (12.1%)	65 (3.4%)
内陸地区 (n=8,279)	平均値（標準偏差）	6.86 (2.35)	6.02 (2.18)	6.79 (2.50)	5.96 (2.27)	10.04 (3.73)	19.17 (5.06)	7.62 (2.04)	6.71 (1.92)	4.97 (1.97)	4.08 (1.17)
	ハイリスク者（%）	818 (9.9%)	475 (5.8%)	1255 (15.2%)	698 (8.5%)	774 (9.4%)	739 (9.0%)	546 (6.7%)	416 (5.1%)	980 (12.1%)	230 (2.8%)
所在地不明 (n=8)	平均値（標準偏差）	7.50 (2.39)	4.50 (1.20)	5.75 (2.38)	4.75 (1.39)	8.13 (1.96)	20.00 (3.63)	7.50 (2.39)	7.00 (2.07)	4.50 (2.00)	3.50 (0.76)
	ハイリスク者（%）	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患尾予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表17. 平成24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー女性労働者

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
全体 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.34)	5.99	(2.18)	6.79	(2.49)	5.97	(2.26)	10.03	(3.73)	19.15	(5.07)	7.58	(2.05)	6.69	(1.92)	4.95	(1.97)	4.08	(1.18)
	ハイリスク者（%）	991	(9.7%)	574	(5.6%)	1528	(15.0%)	857	(8.4%)	954	(9.4%)	909	(9.0%)	660	(6.5%)	497	(4.9%)	1211	(12.1%)	295	(2.9%)
その他 (n=308)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.16)	5.72	(2.08)	6.04	(2.35)	5.61	(2.07)	9.67	(3.45)	19.08	(4.94)	8.28	(1.90)	6.63	(1.94)	5.07	(1.93)	4.18	(1.09)
	ハイリスク者（%）	34	(11.0%)	13	(4.2%)	27	(8.8%)	14	(4.5%)	23	(7.5%)	29	(9.5%)	30	(9.8%)	14	(4.6%)	43	(14.1%)	6	(2.0%)
医療、福祉 (n=220)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.57)	6.17	(2.32)	6.54	(2.51)	5.98	(2.29)	10.20	(4.11)	19.42	(5.58)	7.53	(2.19)	6.73	(2.14)	5.21	(2.10)	4.18	(1.35)
	ハイリスク者（%）	31	(14.1%)	17	(7.8%)	25	(11.4%)	19	(8.7%)	26	(11.9%)	29	(13.2%)	17	(7.9%)	16	(7.4%)	30	(13.8%)	10	(4.6%)
卸業、小売業 (n=988)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.51)	6.15	(2.30)	6.08	(2.39)	5.56	(2.26)	9.45	(3.53)	18.46	(5.02)	8.20	(2.07)	7.03	(2.04)	4.87	(2.03)	4.17	(1.19)
	ハイリスク者（%）	109	(11.0%)	69	(7.0%)	91	(9.3%)	69	(7.0%)	73	(7.5%)	73	(7.5%)	121	(12.4%)	87	(8.9%)	118	(12.1%)	33	(3.4%)
学術研究、専門・技術サービス業 (n=123)	平均値（標準偏差）	6.89	(2.34)	5.85	(2.25)	6.70	(2.28)	5.70	(1.95)	10.16	(3.37)	18.98	(4.86)	8.05	(2.24)	6.81	(2.10)	5.06	(1.87)	3.97	(1.19)
	ハイリスク者（%）	8	(6.5%)	5	(4.1%)	13	(10.7%)	7	(5.7%)	7	(5.7%)	11	(9.0%)	18	(14.8%)	9	(7.4%)	12	(10.2%)	4	(3.3%)
教育、学習支援業 (n=5,567)	平均値（標準偏差）	7.07	(2.28)	5.93	(2.12)	7.17	(2.46)	6.10	(2.24)	10.03	(3.69)	19.24	(5.01)	7.37	(1.99)	6.51	(1.85)	4.85	(1.92)	3.96	(1.14)
	ハイリスク者（%）	412	(7.4%)	291	(5.3%)	1004	(18.1%)	489	(8.8%)	507	(9.2%)	497	(9.0%)	248	(4.5%)	187	(3.4%)	597	(10.9%)	116	(2.1%)
公務（他に分類されるものを除く） (n=1,505)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.33)	5.87	(2.15)	6.57	(2.46)	5.81	(2.21)	10.12	(3.75)	19.24	(5.09)	7.31	(2.01)	6.72	(1.90)	5.13	(1.98)	4.21	(1.20)
	ハイリスク者（%）	175	(11.6%)	74	(4.9%)	204	(13.6%)	112	(7.5%)	146	(9.7%)	130	(8.8%)	64	(4.3%)	78	(5.3%)	201	(13.6%)	60	(4.0%)
情報通信業 (n=87)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.20)	5.64	(2.00)	6.37	(2.58)	5.51	(2.16)	9.80	(3.61)	18.95	(4.52)	8.01	(1.94)	7.33	(2.05)	5.05	(2.06)	4.09	(1.12)
	ハイリスク者（%）	11	(12.6%)	2	(2.3%)	12	(13.8%)	4	(4.6%)	8	(9.2%)	6	(6.9%)	4	(4.7%)	9	(10.5%)	12	(14.0%)	2	(2.3%)
製造業 (n=251)	平均値（標準偏差）	6.26	(2.35)	6.80	(2.32)	6.79	(2.51)	5.96	(2.35)	10.59	(3.76)	20.04	(5.51)	8.82	(2.04)	7.55	(1.99)	5.15	(2.11)	4.50	(1.32)
	ハイリスク者（%）	38	(15.1%)	23	(9.2%)	35	(14.1%)	23	(9.3%)	25	(10.1%)	33	(13.4%)	48	(19.3%)	27	(10.8%)	37	(15.0%)	15	(6.0%)
電気・ガス・熱供給・水道業 (n=25)	平均値（標準偏差）	6.52	(1.94)	5.28	(2.39)	6.48	(2.02)	5.80	(2.24)	10.36	(3.98)	19.56	(4.04)	7.64	(1.93)	7.32	(1.77)	5.00	(1.98)	3.96	(1.02)
	ハイリスク者（%）	2	(8.0%)	1	(4.0%)	2	(8.0%)	1	(4.0%)	3	(12.0%)	2	(8.0%)	1	(4.0%)	3	(12.0%)	4	(16.0%)	0	(0.0%)
複合サービス事業 (n=1,141)	平均値（標準偏差）	6.59	(2.47)	6.19	(2.30)	6.13	(2.43)	6.03	(2.43)	10.40	(4.02)	19.01	(5.22)	7.83	(2.12)	6.95	(1.99)	5.13	(2.06)	4.31	(1.24)
	ハイリスク者（%）	171	(15.0%)	79	(7.0%)	115	(10.1%)	119	(10.5%)	136	(12.1%)	99	(8.9%)	109	(9.7%)	67	(6.0%)	157	(14.0%)	49	(4.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

独立行政法人労働者健康福祉機構　平成 25 年度産業保健調査研究
産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究
被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に
影響する要因の探索（受付番号　2）

平成 25 年度　分担研究報告書 7

震災前後の労働者のメンタルヘルス変化、津波被災地域と内陸との対比研究

黒澤　美枝（岩手県精神保健福祉センター）
大澤　正樹（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

研究要旨

平成21年度から平成24年度までに岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に参加した労働者件数は、男性が31,687件、女性が19,597件、総件数51,284件であった。平成22年度以降の解析対象者を検討すると、男女ともに震災後に職業性ストレス関連項目では身体的負担と仕事負担に関するハイリスク者が増加し、男性では比較的若い世代で女性では中年世代での増加が顕著であった。心理的反応・身体愁訴・周囲支援・満足度については、男女ともに震災後に疲労に関する項目でハイリスク者が有意に増加しており、男性では50歳未満の労働者で、女性では60歳未満の労働者で顕著であった。女性の中年世代では、疲労のみならず、多項目に渡ってハイリスク者が震災後に増加していた。業種別に見ると、男女ともに製造業では震災後に多くの項目でハイリスク者が震災後に増加していた。地域別の検討では、男女ともに沿岸地域で震災後にハイリスク者割合の増加の程度が大きかった。沿岸地域女性労働者では震災後に心理的反応項目に関してハイリスク者が増加していたが、周囲からの支援に関する項目では、震災前に高かったハイリスク者割合がむしろ減少していた。

今回の研究では、岩手県全域の事業所を対象にメンタルヘルス調査を多数の参加者を得て実施し、しかも震災前後で比較することで、大震災が労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えていることが判明した。若い男性労働者では、もともと仕事負担に関してのハイリスク者が基準値より高い状態であったにも関わらず、震災により更にハイリスク者が増加していた。また震災によって中年女性労働者の職業性ストレスと心理的反応に関して多数の項目で更にハイリスク者が増加していた。岩手県では特に女性労働者で家族からの支援に関して不十分と考えているハイリスク者が多数存在しており、県全体では震災前後を通して高い割合のままで推移していた。沿岸地域の女性労働者では震災後に周囲からの支援に関してのハイリスク者割合が減少したが、基準値からみるとまだまだ高いレベルであった。

今回の解析結果をわかりやすく周知活動に用いて、大震災に見舞われてメンタルヘルスに関して不良な状態に陥っている労働者がいることを広く知ってもらうことが肝要である。そして、今回の解析結果から、特にハイリスク者割合が高かった集団に対して、メンタルヘルス改善のための対策を具体的に企画実施することが望まれる。

A. 研究目的

震災前後の労働者のメンタルヘルス変化、津波被災地域と内陸との対比研究目的

平成25年度産業保健調査研究「産業保健活動を取り巻く要素の分析に関する調査研究：被災地域労働者の震災前後のストレス状況の変化と悪化に影響する要因の探索」では、自殺対策加速化プランに基づいて予算化された地域自殺対策緊急強化基金の設立を契機として平成21年から開始された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査のデータを、産業保健調査事業を根拠に平成21年度から平成24年度までの経年的なデータセットに編集して、震災前後で労働者のメンタルヘルス状況がどのように変化してきたのかを検証するとともに、震災による労働者メンタルヘルス悪影響に職種や労働者属性の違いが存在するのかを検証することを目的とする。

本研究報告書では、他の分担研究者によって各年度ごとのメンタルヘルス調査の集計結果をすでに詳細に報告してある。本稿では、平成21年度から24年度までの調査結果報告の中で、標準化得点法に基づいた集計結果に着目し、メンタルヘルスハイリスク者の有所見率を集団別に割り出して年度ごとに提示する。このことにより、平成23年に発生した東日本大震災が岩手県労働者のメンタルヘルスにどのような影響を与えたのを、年齢階級別に、業種別に、そして津波被害の甚大であった沿岸地域と内陸地域とに分けて層別化した上で男女の労働者それぞれで検証することができる。

B. 研究方法

対象者

本研究の対象者は、平成21年度から平成24年度まで岩手県内事業所を対象に実施された岩手県内労働者のメンタルヘルス状況調査に参加した労働者である。本研究では、前記参加者の中でメンタルヘルスチェックシートを使用してOCRによって得点集計作業を実施できた者のみを解析対象とした。平成21年度解析対象者は、男性637名（19-66歳、平均年齢41.1歳）、女性は274名（19-65歳、平均年齢39.4歳）、平成22年度解析対象者は、男性は4,306名（17～77歳、平均年齢425歳）、女性は2,336名（17～75歳、平均年齢425歳）、平成平成23年度解析対象者は、男性は10,975名（17～85歳、平均年齢42.9歳）、女性は6,772名（17~85歳、平均年齢41.2歳）、平成24年度解析対象者は、男性は15,769名（18～80歳、平均年齢44.5歳）、女性は10,215名（18～72歳、平均年齢43.7歳）であった。尚、同一参加者が複数年にわたって調査に参加している事例が存在しているため、本稿では、各年度ごとにハイリスク者の有所見率を算出して比較する手法をとり、敢えて重複症例の取り除きはしなかった。重複例をカウントした総解析対象件数は、51,284件であった。

メンタルヘルスチェックシート

メンタルヘルス調査は、全衛連が作成したメンタルヘルスチェックシートを使用した。詳細については坂下・阿部らの報告書に記述したとおりである。メンタルヘルスチェックシートは、下光らが開発した職業性ストレス簡易調査票（平成7年～11年度労働省委託研究事業「作業関連疾患の予防に関する研究（研究代表加藤正明）」）を基に作成され、オリジナルの57の質問項目に「最近1か月間の時間外労働」及び「心の健康問題に関する相談希望の有無」を加えた計60項目で構成されている。

統計手法

本研究事業では、下光らによる「職業性スト

レス簡易調査票」において、リッカート法によって4分類で構成された57質問項目の回答内容について標準化得点法に基づいた集計を行い、職業性ストレス関連項目・心理的反応項目・支援状況・満足度について、各項目の平均値（標準偏差）を求めるとともに、標準化得点法における5段階評価において最も不良であると評価された者を、メンタルヘルスハイリスク者と定義して、集団におけるハイリスク者の割合（有所見率）をパーセンテージで表示した。尚、集団のグループ化にあたり、性別、年齢階級別（30歳未満、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60歳以上）、所属企業による業種別（製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸業・小売業、金融業・保険業、学術研究・専門・技術サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉業、複合サービス事業、公務（他に分類されるものを除く）、その他）、地域別（内陸地域と沿岸地域、阿部報告書の図1参照）のグループ分類を採用した。比較対照として、下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）を用いた。

上記グループごとの得点平均値（標準偏差）とハイリスク者割合（有所見率）を平成21年度から平成24年度まで提示し、東日本大震災の発生した平成23年度以降と、それ以前で有所見率の違いがあるのかを検討した。尚、有意差検定に当たっては、平成21年度の参加者が非常に少なかったために、今回の検討では平成22年度の調査データを震災前のデータとして、平成23年度と24年度の有所見率とを比較した。比較に際して、平成23年度または平成24年度の各集団のメンタルヘルスハイリスク者割合が、1）基準値より明らかに高いこと、2）平成22年度データと比較して統計的に有意差を持って高いこと、の2点を同時に満たした場合に当該グループのメンタルヘルスハイリスク者割合が東日本大震災後に明らかに増加した、と結論した。有意差検定はχ^2乗検定を用いて、p値0.05未満を持って有意差ありとした。

C. 研究結果

下光らの報告書では、約6,600名の男性労働者と約1,100名の女性労働者を対象とした調査結果を示して、この集計データを基に男女別に基準値を示している（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。我々の研究報告でも下光らの報告書に則って男女別に各集団ごとの標準化得点とメンタルヘルスハイリスク者割合を提示する。

男性労働者解析結果

表1は、標準化得点法を用いた職業性ストレス関連9項目の平均値（標準偏差）と5段階評価で得点がもっとも悪いと評価された労働者（メンタルヘルスハイリスク者）の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。

メンタルヘルスハイリスク者割合が、1）基準値より明らかに高いこと、2）平成22年度データと比較して統計的に有意差を持って高いこと、の2点を同時に満たした項目は、身体的負担に関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は11.4%で平成22年度の9.4%と比較して有意に高かった（$\chi^2=12.6$, $p<0.001$）。平成24年度は身体的負担に関するハイリスク者割合はほぼ平成

22年度同様のレベルまで戻っていた。仕事コントロールに関する項目は、岩手県男性労働者では震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表2は、30歳未満の男性労働者での男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述の2点を同時に満たした項目は存在しなかった。身体的負担と仕事コントロールに関する項目は、30歳未満の岩手県男性労働者では震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表3は、30歳代の男性労働者での男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担に関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は12.6%で平成22年度の9.2%と比較して有意に高かった（χ^2=10.4, p=0.001）。平成24年度もハイリスク者割合は11.5%と高い水準のままであった（χ^2=5.42, p=0.020）。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表4は、40代男性労働者での男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表5は、50代男性労働者での男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表6は、60歳以上の男性労働者での男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表7は、卸小売業に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担と対人関係に関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は35.1%で平成22年度の17.8%と比較して有意に高かった（χ^2=15.5, p<0.001）。また平成23年度の対人関係に関するハイリスク者割合は13.7%で平成22年度の6.5%と比較して有意に高かった（χ^2=5.49, p = 0.019）。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表8は、学術研究・専門・技術サービス業に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。対人関係に関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表9は、公務に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表10は、情報通信業に従事する男性労働

者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表11は、製造業に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担、職場環境、技能活用に関する項目である。平成23年度の身体負担に関するハイリスク者割合は16.0%で平成22年度の10.1%と比較して有意に高かった（χ^2 = 7.23, p =0.007）。同項目は平成24年度においても13.5%と高いままであったが有意差はなかった（χ^2 =3.24, p =0.072）。平成23年度の職場環境に関するハイリスク者割合は12.3%、平成24年度は24.6%と平成22年度の8.7%と比較して比較して平成24年度は有意に高かった（平成23年度：$\chi 2$ =3.20 , p = 0.07；平成24年度：$\chi 2$= 56.5, p < 0.001）。平成23年度の技能活用に関するハイリスク者割合は8.2%で平成22年度の25%と比較して有意に高かった（$\chi 2$ =15.6, p <0.001）。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表12は、電気ガス熱供給水道業に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。仕事コントロールに関する項目は、震災前後で高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表13は、複合サービス業に従事する男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。仕事コントロールと仕事適正に関する項目は、震災前後で高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表14は、男性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担と仕事コントロールに関する項目である。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は13.4%で平成22年度の6.7%と比較して有意に高かった（χ^2 =15.0, p <0.001）。同項目は平成24年度には改善していた。平成23年度の仕事コントロールに関するハイリスク者割合は12.7%で平成22年度の8.5%と比較して比較して有意に高かった（χ^2 =5.77, p = 0.016）。この項目も平成24年度には改善していた。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、職場環境に関する項目である。平成23年度の職場環境に関するハイリスク者割合は9.5%で平成22年度の7.8%と比較して比較して有意に高かった（平成23年度：χ^2 =8.97, p =0.003）。この項目も平成24年度には改善していた。

表15は、心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値（標準偏差）とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、約6,600名の男性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した（労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書）。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労に関する項目である。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は9.2%、平成24年

度は9.8%でいずれも平成22年度の7.6%と比較して有意に高かった(平成23年度: χ^2= 9.53, p = 0.002;平成24年度: χ^2= 18.1, p <0.001)。不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表16は、30歳未満男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。平成22年以降に関して前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。疲労・不安・抑うつ・身体愁訴・家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表17は、30代男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労と身体愁訴に関する項目である。平成23年度と平成24年度の疲労に関するハイリスク者割合は11.7%で、いずれも平成22年度の9.1%と比較して有意に高かった(平成23年度: χ^2 = 6.37, p = 0.012;平成24年度: χ^2= 7.05, p = 0.008)。平成23年度の身体愁訴に関するハイリスク者は9.3%で平成22年の9.1%と比較して有意に高かった(χ^2 = 3.91, p = 0.048)。

表18は、40代男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。平成22年度以降で前述した2点を同時に満たした項目は、疲労に関する項目である。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は9.4%、平成24年度は11.8%で平成22年度の7.7%と比較して平成24年度は有意に高かった(平成23年度: χ^2 =3.16, p =0.075;平成24年度: χ^2= 18.8, p <0.001)。その他の項目では、震災後の明らかなハイリスク者割合の上昇は観察されなかった。

表19は、50代男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。家族からのサポートに関しては震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表20は、60歳以上男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表21は、卸小売業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、身体愁訴に関する項目である。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は19.4%、平成24年度は11.8%で平成22年度の8.1%と比較して平成23年度は有意に高かった(平成23年度: χ^2 = 11.0, p = 0.001;平成24年度: χ^2= 3.60, p = 0.058)。身体愁訴に関するハイリスク者割合は23年、24年それぞれ18.0%、12.2%で、平成22年度の7.1%、と比較して有意に高かった(平成23年度: χ^2 = 11.2, p <0.001;平成24年度: χ^2= 7.27, p = 0.007)。

表22は、学術研究、専門、技術サービス業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度

ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表23は、公務に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、家族からのサポートに関する項目である。家族からのサポートに関するハイリスク者割合は平成23年度7.8%、平成24年度8.8%で平成22年度の6.1%、と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 4.94$, $p = 0.026$；平成24年度：$\chi^2 = 12.0$, $p < 0.001$）。

表24は、情報通信業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、イライラ、疲労に関する項目である。平成23年度のイライラに関するハイリスク者割合は7.3%、平成24年度は8.6%でいずれも平成22年度の3.1%と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 4.08$, $p = 0.044$；平成24年度：$\chi^2 = 9.14$, $p = 0.003$）。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は15.2%で平成22年度の7.7%と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 6.48$, $p = 0.011$）。

表25は、製造業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目である。疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度が13.3%、平成24年度が12.8%で平成22年度の8.2%と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 6.40$, $p = 0.011$；平成24年度：$\chi^2 = 7.07$, $p = 0.008$）。抑うつに関するハイリスク者割合は、平成23年度が11.9%、平成24年度が13.2%で平成22年度の6.9%と比較して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 6.93$, $p = 0.009$；平成24年度：$\chi^2 = 13.4$, $p < 0.001$）。身体愁訴に関するハイリスク者割合は、平成23年度が125%、平成24年度が13.7%で平成22年度の8.9%と比較して平成24年度は有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 3.01$, $p = 0.083$；平成24年度：$\chi^2 = 6.97$, $p = 0.008$）。そのほかの、活気・イライラ・不安・周囲からの支援、満足に関する項目全てで、製造業に従事する男性労働者の得点は悪く、ハイリスク者割合は震災前後で一定して高かったが、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表26は、電気ガス熱供給水道業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。

表27は、複合サービス業に従事する男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。家族からのサポートに関しては震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表28は、男性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は、疲労・身体愁訴・上司サポートに関する項目である。疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度10.7%、平成24年度10.3%で平成22年度の5.3%と比較して有意に高かった（平成23年

度: $\chi^2 = 11.4$, $p < 0.001$;平成24年度: $\chi^2 = 10.1$, $p = 0.002$)。身体愁訴に関するハイリスク者割合は平成23年度8.8%、平成24年度8.5%で平成22年度の5.3%と比較して有意に高かった(平成23年度: $\chi^2 = 5.67$, $p = 0.017$; 平成24年度: $\chi^2 = 4.71$, $p = 0.030$)。平成23年度の上司サポートに関するハイリスク者割合は6.6%で平成22年度の3.1%と比較して有意に高かった($\chi 2 = 7.13$, $p = 0.008$)。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、疲労に関する項目である。平成24年の疲労に関するハイリスク者割合は9.6%で平成22年度の7.8%と比較して有意に高かった($\chi^2 = 10.6$, $p = 0.001$)。

女性労働者解析結果

表29は、女性労働者の職業性ストレス関連9項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した(労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書)。

前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担・身体的負担・仕事コントロールに関する項目であった。平成23年度の身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者割合は14.8%と8.4%で平成22年度の11.6%と6.5%と比較して有意に高かった(身体的負担: $\chi^2 = 14.5$, $p < 0.001$;仕事コントロール: $\chi^2 = 8.06$, $p = 0.005$)。これらの項目は平成24年度には改善していた。量的仕事負担に関すハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度で19.4%と高くなっており、平成22年度の11.9%と比較して有意に高かった($\chi^2 = 70.5$, $p < 0.001$)。

表30は、30歳未満の女性労働者での職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、身体的負担・仕事コントロールに関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は18.2%で平成22年度の8.0%と比較して有意に高かった($\chi^2 = 19.1$, $p < 0.001$)。平成23年度の仕事コントロールに関するハイリスク者割合は8.2%で平成22年度の4.4%と比較して有意に高かった($\chi^2 = 4.94$, $p = 0.026$)。これらの二つの項目では平成24年度には改善していた。

表31は、30歳代の女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表32は、40代女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担・質的仕事負担・身体的負担・仕事コントロールに関する項目であった。平成23年度の身体的負担に関するハイリスク者割合は14.1%、仕事コントロールに関するハイリスク者割合は9.0%でそれぞれ平成22年度の10.5%、5.6%と比較して有意に高かったが(身体的負担: $\chi^2 = 6.67$, $p = 0.023$;仕事コントロール: $\chi^2 = 8.06$, $p = 0.010$)、これら2項目のハイリスク者割合は平成24年度には改善していた。量的仕事負担と質的仕事負担に関するハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度でそれぞれ23.7%と15.8%と高くなっており、平成22年度の13.7%と11.4%と比較して有意に高かった(量的仕事負担: $\chi^2 = 31.8$, $p < 0.001$;質的仕事負担: $\chi^2 = 7.89$, $p = 0.005$)。

表33は、50代女性労働者の職業性ストレス

に関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は量的仕事負担に関する項目であった。量的仕事負担に関するハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度で20.4%と高くなっており、平成22年度の12.0%と比較して有意に高かった（$\chi^2 = 22.0$, $p < 0.001$）。

表34は、60歳以上の女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。

表35は、卸小売業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。

表36は、学術研究・専門・技術サービス業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表37は、公務に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者
の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。量的ならびに質的仕事負担に関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表38は、情報通信業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。平成21年度の参加者数が20名、平成23年度の参加者数が36名とかなり少なく、統計的有意差検定を実施するには統計的パワーが不足している。傾向としては、平成21年度参加者の得点が悪いこと、震災後のハイリスク者割合の明らかな上昇は観察されなかった。

表39は、製造業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担、質的仕事負担、身体的負担、対人関係に関する項目である。平成23年度の量的仕事負担、質的仕事負担、身体的負担のハイリスク者割合は13.2%、11.4%、16.5%で平成22年度の5.1%、1.7%、9.6%比較して有意に高かったが（量的仕事負担：$\chi^2 = 7.57$, $p = 0.006$；質的仕事負担：$\chi^2 = 13.5$, $p < 0.001$；身体的負担：$\chi^2 = 4.09$, $p = 0.043$）、平成24年度には改善していた。対人関係に関するハイリスク者割合は平成24年度が16.9%で平成22年度の8.6%と比較して有意に高かった（$\chi^2 = 5.39$, $p = 0.020$）。

表40は、電気ガス熱供給水道業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表41は、複合サービス業に従事する女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに検討した結果である。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。質的仕事負担と仕事適正に関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表42は、女性労働者の職業性ストレスに関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担に関する項目である。

量的仕事負担に関するハイリスク者割合は、平成23年度が15.9%、平成24年度が17.8%と平成22年度の8.8%と比較して比較して有意に高かった(平成23年度: $\chi^2 = 4.67$, $p = 0.030$; 平成24年度: $\chi^2 = 7.15$, $p = 0.008$)。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、量的仕事負担、質的仕事負担、身体的負担、仕事コントロールに関する項目である。量的仕事負担と質的仕事負担に関すハイリスク者割合は、平成23年度ではなく平成24年度でそれぞれ19.7%と14.0%と高くなっており、平成22年度の12.0%と10.4%と比較して有意に高かった(量的仕事負担: $\chi^2 = 68.0$, $p < 0.001$;質的仕事負担: $\chi^2 = 19.1$, $p < 0.001$)。平成23年度の身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者割合は13.4%と7.9%で平成22年度の10.5%、6.5%と比較して有意に高かったが(身体的負担: $\chi^2 = 11.1$, $p < 0.001$;仕事コントロール: $\chi^2 = 3.90$, $p = 0.048$)、平成24年度には改善していた。

表43は、女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。一番上の段には、約1,100名の女性労働者を対象として下光らが実施した調査結果によって得られた基準値を示した(労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書)。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目である。平成23年度の疲労に関するハイリスク者割合は14.9%、平成24年度は15.0%でいずれも平成22年度の10.5%と比較して有意に高かった(平成23年度: $\chi^2 = 27.1$, $p < 0.001$; 平成24年度: $\chi^2 = 30.9$, $p < 0.001$)。平成23年度の抑うつと身体愁訴に関するハイリスク者割合は12.3%と10.6%で平成22年度の9.5%と8.3%と比較して高かった。(抑うつ: $\chi^2 = 12.8$, $p < 0.001$;身体愁訴: $\chi^2 = 9.46$, $p = 0.002$)。これらの項目は平成24年度には改善していた。

表44は、30歳未満女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。抑うつ・家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表45は、30代女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、イライラ、疲労、抑うつに関する項目である。平成23年度のイライラと抑うつに関するハイリスク者割合は9.4%と12.6%で平成22年度の6.0%と8.9%と比較して高かった。(イライラ: $\chi^2 = 6.67$, $p = 0.010$; 抑うつ: $\chi^2 = 6.46$, $p = 0.011$)。これらの項目は平成24年度には改善していた。一方で疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度16.2%、平成24年度14.3%で平成22年度の10.7%と比較して2年続けて高いままであった(平成23年度: $\chi^2 = 10.5$, $p = 0.001$;平成24年度: $\chi^2 = 20.2$, $p < 0.001$)。家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表46は、40代女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、上司サポートに関する項目であ

る。平成23年度の抑うつと上司サポートに関するハイリスク者割合はそれぞれ12.7%と12.3%で平成22年度の8.9%と9.1%と比較して有意に高かった(抑うつ: $\chi^2 = 6.40$, $p = 0.011$;上司サポート: $\chi^2 = 4.47$, $p = 0.035$)、平成24年度には改善していた。一方、疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度15.9%、平成24年度17.9%と平成22年度の10.7%%と比較して高いままであった(平成23年度: $\chi^2 = 10.1$, $p = 0.002$;平成24年度: $\chi^2 = 20.0$ $p < 0.001$)。家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表47は、50代女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、活気と抑うつに関する項目である。平成23年度の活気と抑うつに関するハイリスク者割合は14.1%と10.0%で平成22年度の10.1%と5.6%と比較して有意に高かった(活気: $\chi^2 = 5.66$, $p = 0.017$;抑うつ: $\chi^2 = 9.64$, $p = 0.002$)。これらの項目は平成24年度には改善していた。

表48は、60歳以上女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目の平均値(標準偏差)とメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。家族サポートに関する項目は、震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表49は、卸小売業に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。

表50は、学術研究専門、技術サービスに従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。

表51は、公務に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。活気、抑うつ、家族サポートに関するハイリスク者割合は震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表52は、情報通信業に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。平成23年度の参加者数が36名と少なかったため、有意差検定を行うためには統計的パワーが不足していた。

表53は、製造業に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、不安に関する項目である。平成23年度の疲労と不安のハイリスク者割合は20.2%と12.0%で平成22年の12.4%と1.7%に比較して高かった(疲労: $\chi^2 = 4.40$, $p = 0.036$;不安: $\chi^2 = 14.6$, $p < 0.001$)。これらの項目では平成24年度に改善がみられた。

表54は、電気ガス熱供給水道業に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。参加者数がそれぞれ20名、23

名、25名であり、有意差検定を行うためには統計的パワーが不足していた。

表55は、複合サービス業に従事する女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関する項目のメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を年度ごとに示したものである。前述した2点を同時に満たした項目は、存在しなかった。活気、抑うつ、家族サポートに関するハイリスク者割合は震災前後で一定して高く、震災後の明らかな上昇は観察されなかった。

表56は、女性労働者の心理的反応・身体愁訴・周囲からの支援状況に関するメンタルヘルスハイリスク者の実数とその割合を地域別に年度ごとに示したものである。沿岸地域では前述した2点を同時に満たした項目は存在しなかった。しかし、疲労の項目に関しては、ハイリスク者の割合が平成23年度16.4%、平成24年度14.2%平成22年度の10.3%と比較して平成23年度は統計的有意差は得られなかったものの高い値を示していた（$\chi^2 = 3.37$, $p = 0.066$）。これは、平成23年度のハイリスク者割合がそれほど高くなかったということを意味するのではなく、平成22年度の比較対象とした集団のサンプルサイズの小さなことが影響している可能性が高い。

内陸地域で前述した2点を同時に満たした項目は、疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目である。平成23年の抑うつ、身体愁訴に関するハイリスク者割合は11.9%、10.7%で平成22年度の9.5%、7.9%と比較して有意に高かった（抑うつ：$\chi^2 = 7.95$, $p = 0.005$；身体愁訴：$\chi^2 = 11.9$, $p < 0.001$）。疲労に関するハイリスク者割合は平成23年度14.1%、平成24年度15.2%で平成22年度の10.5%と比較して2年連続して有意に高かった（平成23年度：$\chi^2 = 16.5$, $p < 0.001$；平成24年度：$\chi^2 = 30.4$, $p < 0.001$）。

D. 考察

本研究事業において、平成21-24年度岩手県内事業場におけるメンタルヘルス調査の統合的データセットの経年的調査結果をまとめると以下のとおりである。

男性労働者

1）職業性ストレス関連項目について

①男性全体で見た場合には、震災後には身体的負担に関するハイリスク者割合が有意に増加した。年齢階級で見ると震災によるハイリスク者の増加は30代で有意であった。

②業種別に見ると、卸小売業と製造業では、震災後に身体的負担のハイリスク者増加が顕著であり、製造業では多くの項目でハイリスク者割合が震災前後で一定して高く、身体負担のハイリスク者が震災によりいっそう増加していた。

③沿岸地域と内陸地域で分けて解析すると、沿岸地域では震災後に身体的負担と仕事コントロールに関するハイリスク者が増加し、内陸地域では職場環境に関する項目でハイリスク者が増加していた。

2）心理的反応・身体愁訴・周囲支援・満足度について

①男性全体で見た場合には、震災後には疲労に関するハイリスク者割合が有意に増加した。年齢階級で見ると震災による身体負担のハイリスク者の増加は50歳未満の若年から中年にかけて観察され、50歳以上では認められなかった。

②業種別に見ると卸小売業、情報通信業、製造業で震災後に疲労のハイリスク者増加が明瞭であり、これらの3業種では、疲労の他にもイライラ・抑うつ・身体愁訴などに関してのハイリスク者割合が震災後に有意に増加していた。

③沿岸地域と内陸地域で分けて解析すると、沿岸地域では震災後に疲労、身体愁訴、上司

サポートなどの幅広い項目でハイリスク者が増加していた。内陸地域では疲労に関する項目でハイリスク者が震災後に増加していた。

女性労働者

1）職業性ストレス関連項目について

①女性全体で見た場合には、震災後には量的・質的仕事負担、身体的負担、仕事コントロールに関するハイリスク者割合が有意に増加した。年齢階級で見ると40代で震災後に量的・質的仕事負担、身体的負担、仕事コントロール全般でハイリスク者が増加していた。60歳以上では震災前後を通してハイリスク者割合が全般に低かった。

②業種別に見ると、製造業で仕事負担の項目のみならず、仕事環境や対人関係などの項目でハイリスク者が増加していた。

③沿岸地域と内陸地域で分けて解析すると、沿岸地域と内陸地位ではともに量的仕事負担に関するハイリスク者が震災後に増加していた。内陸地域ではそのほか質的仕事負担、身体的負担、仕事コントロールの項目でハイリスク者が増加していた。

2）心理的反応・身体愁訴・周囲支援・満足度について

①女性全体で見た場合には、震災後には疲労・抑うつ・身体愁訴に関するハイリスク者割合が有意に増加した。若年世代では、震災前後を通してハイリスク者割合が高い状態で推移し、30代40代では震災後にイライラ・疲労・抑うつなどの項目でハイリスク者が増加していた。

②業種別に見ると、男性と同様に製造業に従事する女性労働者で震災後のハイリスク者増加が明確であった。

③沿岸地域と内陸地域で分けて解析すると、沿岸地域では疲労に関する項目で震災後にハイリスク者が増加していたが、統計的有意差は見出せなかった。内陸地域では疲労、抑うつ、身体愁訴に関する項目でハイリスク者が増加していた。

今回の検討結果をみると、平成21年度調査では参加人数自体が少なく、メンタルヘルスハイリスク者が比較的多くみられ、ばらつきが大きい集団であったが、平成22年度以降は参加者人数も比較的十分にあり、ハイリスク者の割合のばらつきも大きくはなかった。平成22年度以降の解析対象者を検討すると、男女ともに震災後に職業性ストレス関連項目では身体的負担と仕事負担に関するハイリスク者が増加し、男性では比較的若い世代で女性では中年世代での増加が顕著であった。

心理的反応・身体愁訴・周囲支援・満足度については、男女ともに震災後に疲労に関する項目でハイリスク者が有意に増加しており、男性では50歳未満の労働者で女性では60歳未満の労働者で明確であった。女性の中年世代では、疲労のみならず、多項目に渡ってハイリスク者が震災後に増加していた。業種別に見ると、男女ともに製造業では震災後に多くの項目でハイリスク者が震災後に増加していた。

地域別の検討では、男女ともに職業性ストレスに関連した仕事負担に関するハイリスク者は沿岸地域でのみ震災後に増加していた。心理的反応項目に関しては、男性では沿岸地域で疲労・身体愁訴・上司サポートの3項目でハイリスク者が増加したのに対して内陸では疲労に関するハイリスク者が震災後に増加したのみにとどまった。女性では内陸地域で疲労・抑うつ・身体愁訴に関するハイリスク者が有意に増加したのに対して、沿岸地域では統計的有意差を持ってハイリスク者増加が観察されなかった。震災前の調査に女性労働者の参加が少なかったことが、見た目の割合の増加が大きいにもかかわらず有意差が検出されなかった理由と考えられた。

今回の研究では、岩手県全域の事業所を

対象にメンタルヘルス調査を多数の参加者を得て実施し、しかも震災前後で比較することで、大震災が労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えていることが判明した。若い男性労働者では、もともと仕事負担に関してのハイリスク者が基準値より高い状態であったにも関わらず、震災により更にハイリスク者が増加していた。また震災によって中年女性労働者の職業性ストレスと心理的反応に関して多数の項目で更にハイリスク者が増加していた。岩手県では特に女性労働者で家族からの支援に関して不十分と考えているハイリスク者が多数存在しており、県全体では震災前後を通して高い割合のままで推移していた。沿岸地域の女性労働者では震災後に周囲からの支援に関してのハイリスク者割合が減少したが、基準値からみるとまだまだ高いレベルであった。

今回の解析結果をわかりやすく周知活動に用いて、大震災に見舞われてメンタルヘルスに関して不良な状態に陥っている労働者がいることを広く知ってもらうことが肝要である。そして、今回の解析結果から、特にハイリスク者割合が高かった集団に対して、メンタルヘルス改善のための対策を具体的に企画実施することが望まれる。

E. 結論

東日本大震災発生後の岩手県では、労働者のメンタルヘルス状況が悪化しており、職業性ストレス関連項目では、仕事の負担と身体的負担に関するハイリスク労働者が増加したことが示唆された。心理的反応項目では、疲労に関するハイリスク労働者が増えたことが示唆された。津波被害の大きかった沿岸地域でより影響が大きいことが判明した。今回の解析結果をわかりやすく周知活動に用いて、大震災に見舞われてメンタルヘルスに関して不良な状態に陥っている労働者がいることを広く知ってもらうことが重要である。そして、今回の解析結果から、特にハイリスク者割合が高かった集団に対して、メンタルヘルス改善のための対策を具体的に企画実施することが望まれる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1.論文発表

平成26年4月時点で投稿準備中

2.学会発表

1. 黒澤美枝、大澤正樹 “東日本大震災後の労働者のメンタルヘルス” 第 13 回日本トラウマティック・ストレス学会 平成 26 年 5 月 17 日 コラッセ福島

2. 大澤正樹、黒澤美枝、坂下史絵、小野田敏行、関向和明、阿部千恵子、青木慎一郎 “東日本大震災被災地域における男性労働者の震災前後でのメンタルヘルス状況変化” 第 84 回日本衛生学会 平成 26 年 5 月 27 日

3. (演題応募中)M. Kurosawa; M. Ohsawa; S. Sakashita; S. Aoki ″Changes in job stressors and psychological distress among workers in Iwate Prefecture after the Great East Japan Earthquake and Tsunami″ THE PACIFIC RIM COLLEGE OF PSYCHIATRISTS SCIENTIFIC MEETING (PRCP) 2014 Oct 5-7 2014 Vancouver, BC Canada

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

年齢階級		仕事負担（量）	仕事負担（質）	身体的負担	対人関係	職場環境	仕事コントロール	技能活用	仕事適正	働きがい
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30 (2.00)	6.40 (1.80)	2.90 (0.90)	8.70 (1.70)	2.70 (1.00)	7.10 (1.80)	3.00 (0.80)	2.20 (1.70)	2.32 (0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%	5.8%	9.1%	9.6%	13.8%	4.7%	4.1%	5.7%	6.5%
H21 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.44 (1.89)	6.40 (1.74)	2.78 (0.90)	8.60 (1.70)	2.89 (0.86)	7.42 (1.85)	2.87 (0.77)	2.35 (0.79)	2.32 (0.81)
	ハイリスク者（%）	57 (8.9%)	36 (5.7%)	55 (8.6%)	67 (10.7%)	47 (7.4%)	87 (13.7%)	26 (4.1%)	56 (8.8%)	55 (8.6%)
H22 (n=4,306)	平均値（標準偏差）	6.61 (1.80)	6.50 (1.81)	2.40 (0.98)	9.24 (1.78)	2.94 (0.93)	7.41 (1.91)	2.78 (0.78)	2.22 (0.80)	1.96 (0.82)
	ハイリスク者（%）	270 (6.3%)	199 (4.6%)	404 (9.4%)	317 (7.4%)	326 (7.6%)	480 (11.2%)	159 (3.7%)	303 (7.0%)	245 (5.7%)
H23 (n=10,975)	平均値（標準偏差）	6.73 (2.07)	6.60 (1.83)	2.81 (0.98)	9.07 (1.74)	2.85 (0.92)	7.19 (1.86)	2.94 (0.75)	2.18 (0.75)	2.04 (0.76)
	ハイリスク者（%）	785 (7.2%)	514 (4.7%)	1249 (11.4%)	788 (7.4%)	1011 (9.2%)	1173 (11.0%)	430 (3.9%)	594 (5.4%)	483 (4.4%)
H24 (n=15,769)	平均値（標準偏差）	6.43 (2.05)	6.46 (1.79)	2.82 (0.92)	9.18 (1.68)	2.95 (0.86)	7.15 (1.77)	3.02 (0.71)	2.15 (0.72)	1.96 (0.73)
	ハイリスク者（%）	1489 (9.4%)	862 (5.5%)	1443 (9.2%)	931 (5.9%)	1088 (6.9%)	1463 (9.3%)	443 (2.8%)	723 (4.6%)	535 (3.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表2. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　ー30歳未満男性労働者労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）	仕事負担（質）	身体的負担	対人関係	職場環境	仕事コントロール	技能活用	仕事適正	働きがい
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30 (2.00)	6.40 (1.80)	2.90 (0.90)	8.70 (1.70)	2.70 (1.00)	7.10 (1.80)	3.00 (0.80)	2.20 (1.70)	2.32 (0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%	5.8%	9.1%	9.6%	13.8%	4.7%	4.1%	5.7%	6.5%
H21 (n=50)	平均値（標準偏差）	6.46 (1.84)	6.12 (1.88)	2.46 (1.03)	8.78 (1.78)	2.94 (0.96)	7.56 (1.97)	2.76 (0.72)	2.50 (0.86)	2.18 (0.85)
	ハイリスク者（%）	4 (8.0%)	3 (6.0%)	10 (20.0%)	4 (8.0%)	5 (10.0%)	10 (20.0%)	2 (4.0%)	6 (12.0%)	5 (10.0%)
H22 (n=416)	平均値（標準偏差）	6.61 (1.89)	6.65 (1.73)	2.91 (0.95)	8.97 (1.75)	2.90 (0.90)	7.30 (1.80)	2.92 (0.73)	2.26 (0.76)	2.15 (0.80)
	ハイリスク者（%）	23 (5.5%)	19 (4.6%)	78 (18.8%)	26 (6.3%)	40 (9.6%)	56 (13.5%)	28 (6.7%)	31 (7.5%)	21 (5.0%)
H23 (n=1,587)	平均値（標準偏差）	6.57 (1.91)	6.68 (1.94)	2.40 (1.04)	9.06 (1.85)	2.80 (0.96)	7.48 (1.96)	2.79 (0.80)	2.23 (0.77)	2.03 (0.83)
	ハイリスク者（%）	88 (5.5%)	67 (4.2%)	358 (22.6%)	143 (9.4%)	174 (11.0%)	229 (15.1%)	100 (6.3%)	97 (6.1%)	95 (6.0%)
H24 (n=1,589)	平均値（標準偏差）	6.28 (1.87)	6.38 (1.83)	2.53 (0.98)	9.15 (1.76)	2.85 (0.91)	7.33 (1.76)	2.92 (0.75)	2.20 (0.75)	1.96 (0.78)
	ハイリスク者（%）	119 (7.5%)	81 (5.1%)	268 (16.9%)	125 (7.9%)	146 (9.2%)	173 (10.9%)	64 (4.0%)	92 (5.8%)	65 (4.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表3. 平成21^24年度メンタルヘルス調査―30代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
H21 (n=260)	平均値（標準偏差）	6.41	(1.89)	6.52	(1.74)	2.72	(0.89)	8.51	(1.69)	2.82	(0.88)	7.53	(1.97)	2.82	(0.73)	2.35	(0.77)	2.40	(0.82)
	ハイリスク者（%）	27	(10.4%)	14	(5.4%)	23	(8.8%)	28	(10.8%)	22	(8.5%)	42	(16.2%)	9	(3.5%)	21	(8.1%)	28	(10.8%)
H22 (n=1,391)	平均値（標準偏差）	6.70	(2.04)	6.63	(1.80)	3.02	(0.91)	9.06	(1.75)	2.94	(0.88)	7.18	(1.84)	2.95	(0.75)	2.28	(0.79)	2.16	(0.77)
	ハイリスク者（%）	93	(6.7%)	57	(4.1%)	128	(9.2%)	105	(7.6%)	110	(7.9%)	161	(11.6%)	49	(3.5%)	99	(7.1%)	94	(6.8%)
H23 (n=2,992)	平均値（標準偏差）	6.43	(1.95)	6.52	(1.79)	2.73	(0.99)	8.95	(1.79)	2.78	(0.93)	7.30	(1.86)	2.97	(0.72)	2.20	(0.75)	2.03	(0.77)
	ハイリスク者（%）	256	(8.6%)	141	(4.7%)	377	(12.6%)	256	(8.9%)	324	(10.8%)	341	(11.8%)	94	(3.1%)	164	(5.5%)	131	(4.4%)
H24 (n=3,649)	平均値（標準偏差）	6.17	(1.96)	6.39	(1.76)	2.72	(0.96)	9.04	(1.76)	2.91	(0.89)	7.30	(1.78)	3.04	(0.71)	2.16	(0.74)	1.94	(0.76)
	ハイリスク者（%）	406	(11.1%)	206	(5.6%)	421	(11.5%)	275	(7.6%)	308	(8.4%)	389	(10.7%)	101	(2.8%)	195	(5.3%)	144	(3.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表4. 平成21~24年度メンタルヘルス調査―40代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
H21 (n=229)	平均値（標準偏差）	6.28	(1.84)	6.22	(1.69)	2.84	(0.88)	8.54	(1.65)	2.93	(0.79)	7.48	(1.69)	2.85	(0.77)	2.35	(0.79)	2.35	(0.79)
	ハイリスク者（%）	22	(9.6%)	15	(6.6%)	20	(8.7%)	26	(11.5%)	11	(4.8%)	26	(11.5%)	11	(4.8%)	19	(8.3%)	17	(7.4%)
H22 (n=1,464)	平均値（標準偏差）	7.17	(2.08)	6.78	(1.92)	2.93	(0.93)	8.98	(1.70)	3.02	(0.85)	7.06	(1.93)	2.87	(0.74)	2.19	(0.77)	2.12	(0.73)
	ハイリスク者（%）	109	(7.4%)	74	(5.1%)	110	(7.5%)	105	(7.2%)	115	(7.9%)	154	(10.6%)	43	(2.9%)	113	(7.7%)	84	(5.7%)
H23 40-49歳 (n=3,072)	平均値（標準偏差）	6.53	(2.02)	6.50	(1.78)	2.91	(0.92)	9.02	(1.68)	2.82	(0.91)	7.28	(1.79)	2.95	(0.74)	2.24	(0.76)	2.08	(0.75)
	ハイリスク者（%）	257	(8.4%)	157	(5.1%)	268	(8.7%)	205	(6.8%)	281	(9.1%)	329	(11.0%)	117	(3.8%)	206	(6.7%)	140	(4.6%)
H24 (n=5,148)	平均値（標準偏差）	6.15	(1.98)	6.36	(1.76)	2.81	(0.90)	9.13	(1.68)	2.93	(0.85)	7.32	(1.73)	3.02	(0.70)	2.18	(0.71)	1.97	(0.72)
	ハイリスク者（%）	591	(11.5%)	316	(6.1%)	439	(8.5%)	316	(6.2%)	345	(6.7%)	538	(10.5%)	127	(2.5%)	248	(4.8%)	179	(3.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表5. 平成21~24年度メンタルヘルス調査―50代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
H21 (n=89)	平均値（標準偏差）	6.74	(1.88)	6.62	(1.66)	2.97	(0.82)	8.77	(1.76)	2.96	(0.94)	6.97	(1.76)	3.08	(0.87)	2.34	(0.80)	2.20	(0.76)
	ハイリスク者（%）	4	(4.5%)	4	(4.5%)	1	(1.1%)	9	(10.5%)	8	(9.0%)	9	(10.2%)	4	(4.5%)	10	(11.2%)	5	(5.6%)
H22 (n=880)	平均値（標準偏差）	8.02	(2.03)	7.00	(1.96)	2.85	(0.94)	9.49	(1.85)	3.24	(0.86)	6.58	(2.05)	3.03	(0.82)	1.86	(0.76)	1.97	(0.80)
	ハイリスク者（%）	44	(5.0%)	43	(4.9%)	75	(8.5%)	71	(8.2%)	53	(6.0%)	95	(10.9%)	32	(3.6%)	55	(6.3%)	39	(4.4%)
H23 50-59歳 (n=2,837)	平均値（標準偏差）	7.11	(2.13)	6.65	(1.81)	3.01	(0.88)	9.17	(1.67)	2.94	(0.87)	6.94	(1.82)	2.97	(0.75)	2.12	(0.72)	2.04	(0.74)
	ハイリスク者（%）	162	(5.7%)	129	(4.5%)	180	(6.3%)	167	(6.1%)	190	(6.7%)	246	(8.9%)	95	(3.3%)	116	(4.1%)	101	(3.6%)
H24 50-59歳 (n=4,854)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.11)	6.55	(1.79)	3.00	(0.85)	9.30	(1.56)	3.03	(0.81)	6.84	(1.73)	3.02	(0.71)	2.13	(0.69)	1.98	(0.71)
	ハイリスク者（%）	357	(7.4%)	245	(5.0%)	269	(5.5%)	190	(3.9%)	256	(5.3%)	318	(6.6%)	126	(2.6%)	177	(3.6%)	137	(2.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表6. 平成21~24年度メンタルヘルス調査―60歳以上男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
H21 (n=9)	平均値（標準偏差）	8.50	(2.45)	6.75	(2.92)	3.13	(1.13)	10.14	(1.46)	2.89	(1.05)	6.00	(1.69)	3.63	(0.52)	1.44	(0.53)	1.67	(0.50)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
H22 (n=155)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.00)	6.67	(1.81)	2.90	(0.95)	9.05	(1.75)	2.96	(0.89)	7.20	(1.86)	2.91	(0.75)	2.23	(0.78)	2.12	(0.78)
	ハイリスク者（%）	1	(0.6%)	6	(3.9%)	13	(8.4%)	10	(6.7%)	8	(5.2%)	14	(9.2%)	7	(4.5%)	5	(3.2%)	7	(4.5%)
H23 (n=487)	平均値（標準偏差）	8.10	(2.34)	7.21	(2.10)	2.78	(1.03)	9.52	(1.62)	3.05	(0.93)	6.53	(1.89)	2.96	(0.85)	1.92	(0.68)	1.99	(0.74)
	ハイリスク者（%）	22	(4.5%)	20	(4.1%)	66	(13.6%)	17	(3.8%)	42	(8.6%)	28	(6.1%)	24	(4.9%)	11	(2.3%)	16	(3.3%)
H24 (n=529)	平均値（標準偏差）	7.99	(2.24)	7.20	(1.95)	2.94	(0.95)	9.48	(1.67)	3.10	(0.86)	6.80	(1.89)	2.98	(0.78)	1.90	(0.68)	1.91	(0.71)
	ハイリスク者（%）	16	(3.0%)	14	(2.6%)	46	(8.7%)	25	(4.8%)	33	(6.2%)	45	(8.5%)	25	(4.7%)	11	(2.1%)	10	(1.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表7. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(職業性ストレス関連項目)ー男性労働者

業種別		仕事負担(量)		仕事負担(質)		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
卸業、小売業																			
H22 (n=359)	平均値(標準偏差)	6.14	(1.91)	6.70	(1.86)	2.42	(0.96)	9.04	(1.70)	3.12	(0.82)	7.16	(1.91)	2.94	(0.78)	2.07	(0.73)	1.96	(0.73)
	ハイリスク者（%）	36	(10.0%)	15	(4.2%)	64	(17.8%)	23	(6.5%)	18	(5.0%)	41	(11.5%)	13	(3.6%)	13	(3.6%)	10	(2.8%)
H23 (n=131)	平均値(標準偏差)	5.76	(1.82)	6.43	(2.11)	1.93	(0.84)	8.95	(2.11)	3.08	(0.91)	7.03	(1.98)	2.78	(0.83)	2.12	(0.83)	2.06	(0.85)
	ハイリスク者（%）	15	(11.5%)	10	(7.6%)	46	(35.1%)	18	(13.7%)	8	(6.1%)	16	(12.3%)	12	(9.2%)	9	(6.9%)	7	(5.3%)
H24 (n=1763)	平均値(標準偏差)	6.27	(1.87)	6.48	(1.83)	2.52	(0.97)	8.78	(1.76)	2.84	(0.92)	7.34	(1.77)	3.04	(0.71)	2.23	(0.74)	2.11	(0.76)
	ハイリスク者（%）	138	(7.8%)	94	(5.3%)	296	(16.8%)	162	(9.2%)	169	(9.6%)	198	(11.3%)	46	(2.6%)	95	(5.4%)	80	(4.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表8. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(職業性ストレス関連項目)ー男性労働者

業種別		仕事負担(量)		仕事負担(質)		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
学術研究、専門・技術サービス業																			
H22 (n=147)	平均値(標準偏差)	6.13	(2.00)	6.26	(1.59)	3.35	(0.69)	8.27	(1.89)	3.31	(0.76)	6.31	(1.81)	3.32	(0.76)	1.84	(0.73)	1.90	(0.77)
	ハイリスク者（%）	16	(10.9%)	8	(5.4%)	1	(0.7%)	24	(16.4%)	4	(2.7%)	6	(4.1%)	4	(2.7%)	4	(2.7%)	4	(2.7%)
H23 (n=169)	平均値(標準偏差)	6.24	(1.89)	6.48	(1.65)	3.36	(0.73)	8.41	(1.90)	3.33	(0.74)	6.47	(1.74)	3.22	(0.80)	1.85	(0.71)	1.85	(0.73)
	ハイリスク者（%）	19	(11.2%)	7	(4.1%)	3	(1.8%)	24	(14.3%)	6	(3.6%)	7	(4.2%)	5	(3.0%)	3	(1.8%)	4	(2.4%)
H24 (n=162)	平均値(標準偏差)	6.16	(1.94)	6.20	(1.54)	3.36	(0.75)	8.39	(1.90)	3.29	(0.73)	6.44	(1.74)	3.13	(0.82)	1.94	(0.71)	1.80	(0.64)
	ハイリスク者（%）	19	(11.7%)	7	(4.3%)	3	(1.9%)	22	(13.8%)	4	(2.5%)	8	(5.0%)	8	(4.9%)	5	(3.1%)	2	(1.2%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表9. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
公務（他に分類されるものを除く）																			
H22 (n=1660)	平均値（標準偏差）	6.95	(2.10)	6.78	(1.80)	3.13	(0.91)	9.49	(1.59)	3.05	(0.85)	7.03	(1.78)	2.95	(0.74)	2.24	(0.76)	2.06	(0.73)
	ハイリスク者（%）	105	(6.3%)	69	(4.2%)	110	(6.6%)	63	(3.8%)	88	(5.3%)	149	(9.0%)	53	(3.2%)	108	(6.5%)	72	(4.3%)
H23 (n=3,976)	平均値（標準偏差）	7.02	(2.08)	6.73	(1.74)	3.20	(0.84)	9.36	(1.56)	2.86	(0.88)	7.12	(1.74)	2.94	(0.72)	2.21	(0.73)	2.06	(0.72)
	ハイリスク者（%）	244	(6.1%)	166	(4.2%)	182	(4.6%)	146	(3.7%)	316	(7.9%)	361	(9.1%)	123	(3.1%)	217	(5.5%)	148	(3.7%)
H24 (n=4667)	平均値（標準偏差）	6.95	(2.12)	6.68	(1.76)	3.22	(0.83)	9.38	(1.56)	2.93	(0.84)	7.14	(1.77)	2.92	(0.72)	2.22	(0.72)	2.06	(0.71)
	ハイリスク者（%）	324	(6.9%)	187	(4.0%)	204	(4.4%)	176	(3.8%)	301	(6.4%)	432	(9.3%)	153	(3.3%)	243	(5.2%)	166	(3.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表10. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
情報通信業																			
H21 (n=94)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.03)	6.22	(1.86)	2.91	(0.93)	9.05	(1.61)	3.27	(0.80)	6.58	(1.83)	3.22	(0.86)	2.03	(0.73)	1.81	(0.71)
	ハイリスク者（%）	10	(10.6%)	7	(7.4%)	7	(7.4%)	5	(5.4%)	2	(2.1%)	7	(7.5%)	5	(5.3%)	2	(2.1%)	0	(0.0%)
H22 (n=526)	平均値（標準偏差）	7.08	(1.85)	6.52	(1.93)	2.76	(0.95)	8.79	(1.82)	2.59	(0.98)	7.33	(2.00)	2.88	(0.75)	2.13	(0.78)	2.05	(0.78)
	ハイリスク者（%）	20	(3.8%)	36	(6.8%)	58	(11.0%)	50	(9.7%)	87	(16.5%)	71	(13.7%)	27	(5.1%)	35	(6.7%)	24	(4.6%)
H23 (n=138)	平均値（標準偏差）	6.78	(1.73)	6.41	(1.91)	2.99	(0.88)	8.95	(1.85)	2.98	(0.86)	7.07	(2.05)	3.12	(0.71)	2.12	(0.93)	1.81	(0.75)
	ハイリスク者（%）	5	(3.6%)	8	(5.8%)	8	(5.8%)	13	(9.4%)	5	(3.6%)	18	(13.0%)	2	(1.4%)	14	(10.1%)	2	(1.4%)
H24 (n=210)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.13)	6.57	(2.14)	2.98	(1.00)	8.61	(1.90)	2.78	(0.91)	7.37	(1.94)	2.93	(0.70)	2.19	(0.71)	2.02	(0.70)
	ハイリスク者（%）	12	(5.7%)	9	(4.3%)	22	(10.5%)	29	(13.9%)	24	(11.4%)	29	(13.8%)	8	(3.8%)	9	(4.3%)	9	(4.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表11. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
製造業																			
H21 (n=416)	平均値（標準偏差）	6.47	(1.77)	6.51	(1.65)	2.78	(0.85)	8.50	(1.62)	2.78	(0.83)	7.67	(1.76)	2.77	(0.73)	2.40	(0.76)	2.48	(0.77)
	ハイリスク者（%）	30	(7.2%)	18	(4.3%)	31	(7.5%)	47	(11.5%)	33	(7.9%)	65	(15.7%)	17	(4.1%)	38	(9.1%)	42	(10.1%)
H22 (n=553)	平均値（標準偏差）	6.88	(1.67)	6.92	(1.60)	2.80	(0.91)	8.51	(1.75)	2.78	(0.86)	7.49	(1.85)	2.79	(0.70)	2.33	(0.74)	2.40	(0.83)
	ハイリスク者（%）	17	(3.1%)	10	(1.8%)	56	(10.1%)	64	(11.7%)	48	(8.7%)	75	(13.6%)	14	(2.5%)	37	(6.7%)	56	(10.1%)
H23 (n=463)	平均値（標準偏差）	6.50	(1.98)	6.52	(1.78)	2.59	(1.00)	8.77	(1.79)	2.69	(0.95)	7.70	(1.91)	2.68	(0.79)	2.30	(0.77)	2.28	(0.77)
	ハイリスク者（%）	46	(9.9%)	19	(4.1%)	74	(16.0%)	43	(9.4%)	57	(12.3%)	72	(15.7%)	38	(8.2%)	40	(8.6%)	37	(8.0%)
H24 (n=907)	平均値（標準偏差）	6.38	(1.97)	6.35	(1.82)	2.60	(0.92)	8.45	(1.70)	2.32	(0.98)	7.60	(1.76)	2.87	(0.69)	2.36	(0.75)	2.37	(0.77)
	ハイリスク者（%）	83	(9.2%)	59	(6.5%)	122	(13.5%)	110	(12.3%)	223	(24.6%)	125	(13.8%)	27	(3.0%)	67	(7.4%)	70	(7.7%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表12. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
電気・ガス・熱供給・水道業																			
H22 (n=107)	平均値（標準偏差）	7.08	(2.13)	6.57	(1.78)	3.00	(0.86)	7.86	(2.18)	3.29	(0.79)	7.98	(1.99)	2.86	(0.73)	2.29	(0.84)	2.41	(0.87)
	ハイリスク者（%）	6	(5.6%)	6	(5.6%)	5	(4.7%)	30	(28.0%)	3	(2.8%)	25	(23.4%)	2	(1.9%)	10	(9.3%)	14	(13.1%)
H23 (n=209)	平均値（標準偏差）	7.50	(2.14)	6.74	(1.92)	2.97	(0.88)	8.69	(1.78)	2.67	(0.92)	7.42	(1.78)	2.87	(0.73)	2.25	(0.80)	2.17	(0.79)
	ハイリスク者（%）	11	(5.3%)	10	(4.8%)	13	(6.2%)	24	(11.5%)	22	(10.5%)	21	(10.1%)	10	(4.8%)	17	(8.1%)	13	(6.2%)
H24 (n=203)	平均値（標準偏差）	7.07	(2.04)	6.41	(1.75)	2.92	(0.87)	9.13	(1.73)	2.76	(0.87)	7.31	(1.65)	2.98	(0.70)	2.19	(0.75)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	12	(5.9%)	8	(3.9%)	11	(5.4%)	13	(6.5%)	16	(7.9%)	20	(9.9%)	6	(3.0%)	12	(5.9%)	10	(4.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表13. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

業種別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
複合サービス事業																			
H21 (n=127)	平均値（標準偏差）	6.40	(2.15)	6.15	(1.92)	2.68	(1.01)	8.58	(1.94)	2.94	(0.92)	7.21	(1.97)	2.94	(0.77)	2.40	(0.89)	2.20	(0.83)
	ハイリスク者（%）	17	(13.4%)	11	(8.7%)	17	(13.4%)	15	(11.9%)	12	(9.4%)	15	(11.9%)	4	(3.1%)	16	(12.6%)	13	(10.2%)
H22 (n=954)	平均値（標準偏差）	6.68	(2.02)	6.47	(1.85)	2.74	(0.95)	8.98	(1.70)	2.94	(0.88)	7.31	(1.83)	2.86	(0.76)	2.34	(0.82)	2.17	(0.79)
	ハイリスク者（%）	70	(7.3%)	55	(5.8%)	110	(11.5%)	63	(6.7%)	78	(8.2%)	113	(12.0%)	46	(4.8%)	96	(10.1%)	65	(6.8%)
H23 (n=1,064)	平均値（標準偏差）	6.67	(2.02)	6.40	(1.84)	2.74	(0.95)	8.98	(1.67)	2.96	(0.85)	7.09	(1.77)	2.86	(0.75)	2.27	(0.80)	2.13	(0.78)
	ハイリスク者（%）	74	(7.0%)	67	(6.3%)	123	(11.6%)	78	(7.4%)	72	(6.8%)	97	(9.2%)	45	(4.2%)	98	(9.2%)	62	(5.8%)
H24 (n=1380)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.05)	6.34	(1.91)	2.81	(0.93)	8.97	(1.71)	2.97	(0.84)	7.16	(1.78)	2.88	(0.75)	2.27	(0.82)	2.13	(0.77)
	ハイリスク者（%）	106	(7.7%)	106	(7.7%)	135	(9.8%)	105	(7.7%)	88	(6.4%)	127	(9.2%)	58	(4.2%)	128	(9.3%)	84	(6.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表14. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー男性労働者

地域別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.30	(2.00)	6.40	(1.80)	2.90	(0.90)	8.70	(1.70)	2.70	(1.00)	7.10	(1.80)	3.00	(0.80)	2.20	(1.70)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	10.0%		5.8%		9.1%		9.6%		13.8%		4.7%		4.1%		5.7%		6.5%	
沿岸地区																			
H22 (n=433)	平均値（標準偏差）	6.75	(1.96)	6.61	(1.80)	2.94	(0.87)	9.11	(1.60)	2.98	(0.86)	7.01	(1.80)	2.96	(0.73)	2.26	(0.74)	2.11	(0.75)
	ハイリスク者（%）	24	(5.5%)	22	(5.1%)	29	(6.7%)	18	(4.2%)	28	(6.5%)	37	(8.5%)	15	(3.5%)	26	(6.0%)	21	(4.8%)
H23 (n=2,991)	平均値（標準偏差）	6.51	(2.07)	6.53	(1.88)	2.63	(0.95)	9.06	(1.77)	2.89	(0.91)	7.25	(1.91)	3.00	(0.76)	2.13	(0.72)	1.96	(0.77)
	ハイリスク者（%）	245	(8.2%)	154	(5.1%)	402	(13.4%)	230	(7.9%)	255	(8.5%)	371	(12.7%)	119	(4.0%)	126	(4.2%)	122	(4.1%)
H24 (n=3616)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.02)	6.45	(1.77)	2.83	(0.88)	9.21	(1.70)	2.92	(0.89)	7.12	(1.74)	3.01	(0.72)	2.17	(0.73)	1.96	(0.75)
	ハイリスク者（%）	344	(9.5%)	193	(5.3%)	281	(7.8%)	214	(6.0%)	295	(8.2%)	317	(8.8%)	106	(2.9%)	170	(4.7%)	127	(3.5%)
内陸地区																			
H21 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.44	(1.89)	6.40	(1.74)	2.78	(0.90)	8.60	(1.70)	2.89	(0.86)	7.42	(1.85)	2.87	(0.77)	2.35	(0.79)	2.32	(0.81)
	ハイリスク者（%）	57	(8.9%)	36	(5.7%)	55	(8.6%)	67	(10.7%)	47	(7.4%)	87	(13.7%)	26	(4.1%)	56	(8.8%)	55	(8.6%)
H22 (n=3824)	平均値（標準偏差）	6.82	(2.01)	6.68	(1.81)	2.90	(0.95)	9.03	(1.77)	2.95	(0.89)	7.22	(1.87)	2.90	(0.75)	2.23	(0.79)	2.13	(0.79)
	ハイリスク者（%）	243	(6.3%)	175	(4.6%)	362	(9.4%)	298	(7.9%)	298	(7.8%)	439	(11.5%)	143	(3.7%)	274	(7.2%)	223	(5.8%)
H23 (n=7,967)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.06)	6.62	(1.82)	2.88	(0.98)	9.07	(1.73)	2.83	(0.92)	7.17	(1.84)	2.91	(0.75)	2.20	(0.75)	2.08	(0.76)
	ハイリスク者（%）	540	(6.8%)	360	(4.5%)	846	(10.6%)	557	(7.3%)	755	(9.5%)	800	(10.4%)	310	(3.9%)	467	(5.9%)	361	(4.5%)
H24 (n=12124)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.06)	6.46	(1.80)	2.82	(0.93)	9.17	(1.67)	2.96	(0.85)	7.16	(1.77)	3.02	(0.71)	2.15	(0.72)	1.97	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1143	(9.4%)	669	(5.5%)	1160	(9.6%)	716	(5.9%)	791	(6.5%)	1146	(9.5%)	337	(2.8%)	552	(4.6%)	408	(3.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表15. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)ー男性労働者

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=637)	平均値(標準偏差)	6.15	(2.16)	6.40	(2.25)	6.35	(2.34)	6.06	(2.15)	10.2	(3.59)	18.5	(5.49)	7.65	(2.09)	6.99	(1.93)	5.43	(2.10)	4.48	(1.30)
	ハイリスク者（%）	107	(16.8%)	44	(7.0%)	62	(9.8%)	50	(7.9%)	59	(9.4%)	79	(12.7%)	44	(7.0%)	41	(6.5%)	65	(10.3%)	37	(5.8%)
H22 (n=4,306)	平均値(標準偏差)	6.93	(2.19)	6.10	(2.36)	6.62	(2.26)	6.17	(2.30)	10.3	(3.85)	17.7	(5.49)	7.22	(2.09)	6.57	(2.09)	5.20	(2.13)	4.32	(1.38)
	ハイリスク者（%）	494	(11.5%)	195	(4.6%)	325	(7.6%)	282	(6.6%)	364	(8.5%)	349	(8.2%)	256	(6.1%)	267	(6.3%)	365	(8.6%)	167	(3.9%)
H23 (n=10,975)	平均値(標準偏差)	6.74	(2.29)	5.95	(2.21)	6.20	(2.35)	5.93	(2.17)	10.04	(3.72)	17.81	(5.11)	7.40	(2.06)	6.89	(1.89)	5.33	(2.04)	4.15	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1222	(11.1%)	577	(5.3%)	1006	(9.2%)	696	(6.4%)	983	(9.0%)	925	(8.5%)	644	(6.1%)	623	(5.9%)	963	(9.2%)	379	(3.6%)
H24 (n=15,769)	平均値(標準偏差)	6.87	(2.24)	5.82	(2.20)	6.24	(2.37)	5.96	(2.18)	9.82	(3.68)	17.85	(5.09)	7.21	(2.06)	6.76	(1.90)	5.26	(2.03)	4.06	(1.24)
	ハイリスク者（%）	1489	(9.4%)	776	(4.9%)	1535	(9.8%)	1059	(6.7%)	1345	(8.6%)	1296	(8.3%)	767	(4.9%)	790	(5.0%)	1363	(8.8%)	507	(3.2%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表16. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　30歳未満男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=50)	平均値(標準偏差)	6.22	(2.19)	6.53	(2.14)	7.10	(2.48)	6.64	(2.31)	10.74	(4.11)	17.5	(5.96)	7.56	(2.35)	6.92	(2.10)	5.16	(2.07)	4.52	(1.33)
	ハイリスク者（%）	8	(16.0%)	4	(8.2%)	9	(18.0%)	5	(10.0%)	9	(18.0%)	7	(14.3%)	5	(10.0%)	3	(6.0%)	3	(6.0%)	3	(6.0%)
H22 (n=416)	平均値(標準偏差)	6.68	(2.27)	5.97	(2.20)	6.26	(2.32)	5.92	(2.18)	9.86	(3.62)	17.5	(5.00)	7.29	(2.06)	6.67	(1.93)	5.29	(2.04)	4.26	(1.28)
	ハイリスク者（%）	37	(8.9%)	23	(5.5%)	42	(10.2%)	36	(8.7%)	49	(11.8%)	41	(9.9%)	22	(5.3%)	23	(5.6%)	36	(8.7%)	25	(6.1%)
H23 (n=1,587)	平均値(標準偏差)	6.79	(2.26)	6.29	(2.38)	6.84	(2.38)	6.12	(2.33)	10.67	(3.84)	17.80	(5.43)	7.34	(2.11)	6.58	(2.02)	5.16	(2.04)	4.40	(1.28)
	ハイリスク者（%）	155	(9.8%)	131	(8.3%)	214	(13.5%)	141	(8.9%)	201	(12.7%)	142	(9.0%)	90	(6.0%)	81	(5.4%)	130	(8.7%)	85	(5.7%)
H24 (n=1,589)	平均値(標準偏差)	6.93	(2.21)	6.17	(2.29)	6.79	(2.29)	6.24	(2.26)	10.46	(3.74)	17.65	(5.13)	7.04	(2.06)	6.37	(1.99)	5.06	(1.96)	4.36	(1.32)
	ハイリスク者（%）	134	(8.4%)	110	(6.9%)	194	(12.2%)	136	(8.6%)	172	(10.8%)	119	(7.5%)	55	(3.5%)	59	(3.7%)	107	(6.8%)	87	(5.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表17. 平成21~24年度メンタルヘルス調査 30代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=260)	平均値(標準偏差)	6.33	(2.19)	6.58	(2.26)	6.63	(2.22)	5.88	(2.13)	10.14	(3.55)	18.0	(5.18)	7.68	(2.15)	6.65	(1.95)	5.35	(2.15)	4.51	(1.29)
	ハイリスク者 (%)	39	(15.0%)	19	(7.4%)	25	(9.6%)	20	(7.7%)	25	(9.7%)	26	(10.1%)	16	(6.2%)	11	(4.2%)	28	(10.9%)	14	(5.4%)
H22 (n=1,391)	平均値(標準偏差)	6.58	(2.29)	5.91	(2.18)	6.04	(2.30)	5.91	(2.16)	9.90	(3.77)	17.8	(5.01)	7.42	(2.06)	6.95	(1.86)	5.36	(2.09)	4.24	(1.26)
	ハイリスク者 (%)	171	(12.3%)	73	(5.3%)	126	(9.1%)	93	(6.7%)	111	(8.0%)	102	(7.4%)	76	(5.5%)	75	(5.4%)	118	(8.6%)	55	(4.0%)
H23 (n=2,992)	平均値(標準偏差)	6.69	(2.26)	6.23	(2.26)	6.57	(2.38)	6.04	(2.22)	10.32	(3.78)	17.91	(5.22)	7.38	(2.10)	6.71	(1.94)	5.25	(2.03)	4.23	(1.26)
	ハイリスク者 (%)	330	(11.0%)	187	(6.3%)	349	(11.7%)	210	(7.0%)	293	(9.8%)	275	(9.3%)	180	(6.3%)	145	(5.0%)	256	(8.9%)	112	(3.9%)
H24 (n=3,649)	平均値(標準偏差)	6.86	(2.28)	6.15	(2.25)	6.57	(2.39)	6.11	(2.28)	10.04	(3.74)	17.74	(5.14)	7.13	(2.08)	6.55	(1.93)	5.21	(2.07)	4.12	(1.28)
	ハイリスク者 (%)	358	(9.8%)	221	(6.1%)	428	(11.7%)	299	(8.2%)	348	(9.6%)	304	(8.4%)	175	(4.8%)	152	(4.2%)	352	(9.7%)	140	(3.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表18. 平成21~24年度メンタルヘルス調査 40代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=229)	平均値(標準偏差)	5.80	(2.17)	6.27	(2.26)	6.19	(2.34)	6.20	(2.19)	10.46	(3.74)	19.0	(5.57)	7.64	(2.07)	7.22	(1.89)	5.56	(2.08)	4.57	(1.29)
	ハイリスク者 (%)	51	(22.3%)	14	(6.2%)	20	(8.8%)	20	(8.8%)	21	(9.3%)	31	(13.8%)	19	(8.5%)	21	(9.3%)	24	(10.5%)	17	(7.4%)
H22 (n=1,464)	平均値(標準偏差)	6.80	(2.26)	5.79	(2.02)	5.54	(2.10)	5.82	(2.04)	9.53	(3.72)	17.9	(5.04)	7.65	(1.98)	7.25	(1.73)	5.33	(1.96)	4.06	(1.18)
	ハイリスク者 (%)	185	(12.6%)	64	(4.4%)	112	(7.7%)	100	(6.9%)	130	(8.9%)	121	(8.4%)	89	(6.2%)	92	(6.4%)	136	(9.5%)	65	(4.5%)
H23 (n=3,072)	平均値(標準偏差)	6.58	(2.28)	5.99	(2.15)	6.29	(2.35)	6.05	(2.21)	10.23	(3.75)	18.01	(5.06)	7.34	(2.07)	6.92	(1.85)	5.41	(2.09)	4.19	(1.23)
	ハイリスク者 (%)	396	(12.9%)	152	(5.0%)	287	(9.4%)	224	(7.3%)	284	(9.3%)	255	(8.4%)	168	(5.7%)	161	(5.4%)	302	(10.2%)	115	(3.8%)
H24 (n=5,148)	平均値(標準偏差)	6.75	(2.25)	5.91	(2.21)	6.49	(2.42)	6.07	(2.23)	10.03	(3.78)	18.09	(5.15)	7.18	(2.09)	6.73	(1.91)	5.30	(2.11)	4.09	(1.25)
	ハイリスク者 (%)	551	(10.7%)	268	(5.2%)	604	(11.8%)	404	(7.9%)	501	(9.8%)	467	(9.1%)	262	(5.1%)	262	(5.1%)	501	(9.9%)	184	(3.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表19. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　50代男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=89)	平均値（標準偏差）	6.37	(1.95)	6.25	(2.21)	5.66	(2.32)	6.03	(1.97)	9.52	(2.92)	19.4	(5.81)	7.69	(1.78)	7.45	(1.77)	5.55	(2.08)	4.28	(1.25)
	ハイリスク者（%）	9	(10.1%)	7	(8.0%)	7	(8.0%)	5	(5.8%)	4	(4.7%)	14	(16.5%)	4	(4.7%)	6	(7.1%)	10	(11.5%)	3	(3.4%)
H22 (n=880)	平均値（標準偏差）	7.83	(2.70)	5.17	(2.10)	4.95	(2.14)	5.51	(2.01)	8.54	(3.70)	16.9	(4.76)	7.50	(2.10)	7.11	(1.87)	5.20	(1.86)	3.43	(1.03)
	ハイリスク者（%）	92	(10.5%)	29	(3.3%)	41	(4.7%)	45	(5.2%)	67	(7.8%)	77	(9.0%)	55	(6.5%)	63	(7.4%)	69	(8.2%)	22	(2.5%)
H23 (n=2,837)	平均値（標準偏差）	6.78	(2.28)	5.56	(2.06)	5.55	(2.10)	5.69	(1.97)	9.47	(3.51)	17.66	(4.93)	7.54	(1.97)	7.18	(1.75)	5.42	(1.99)	4.00	(1.18)
	ハイリスク者（%）	308	(10.9%)	92	(3.3%)	139	(4.9%)	107	(3.8%)	187	(6.6%)	226	(8.1%)	185	(6.8%)	196	(7.2%)	233	(8.6%)	63	(2.3%)
H24 (n=4,854)	平均値（標準偏差）	6.89	(2.20)	5.44	(2.05)	5.69	(2.21)	5.71	(2.01)	9.38	(3.48)	17.82	(4.97)	7.35	(2.00)	7.06	(1.78)	5.29	(1.95)	3.94	(1.16)
	ハイリスク者（%）	422	(8.7%)	159	(3.3%)	294	(6.1%)	208	(4.3%)	306	(6.3%)	371	(7.7%)	243	(5.1%)	282	(5.9%)	371	(7.8%)	93	(1.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表20. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　60歳以上男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
H21 (n=9)	平均値（標準偏差）	7.56	(1.74)	5.22	(2.22)	5.22	(2.91)	4.56	(1.01)	7.44	(1.88)	18.2	(5.14)	6.71	(1.80)	6.86	(1.86)	4.75	(1.58)	3.00	(0.87)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
H22 (n=155)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.30)	5.90	(2.17)	6.03	(2.28)	5.91	(2.15)	9.81	(3.73)	17.7	(5.06)	7.40	(2.05)	6.89	(1.90)	5.31	(2.04)	4.19	(1.27)
	ハイリスク者（%）	9	(5.8%)	6	(4.0%)	4	(2.7%)	8	(5.3%)	7	(4.7%)	8	(5.3%)	14	(9.9%)	14	(9.7%)	6	(4.2%)	0	(0.0%)
H23 (n=487)	平均値（標準偏差）	7.71	(2.41)	5.16	(2.01)	5.04	(2.07)	5.17	(1.90)	8.42	(3.17)	16.89	(4.65)	7.39	(2.02)	7.13	(1.86)	5.39	(2.01)	3.63	(1.11)
	ハイリスク者（%）	33	(6.8%)	15	(3.1%)	17	(3.5%)	14	(2.9%)	18	(3.8%)	27	(5.8%)	21	(5.0%)	40	(9.3%)	42	(9.6%)	4	(0.9%)
H24 (n=529)	平均値（標準偏差）	7.60	(2.25)	5.06	(2.03)	5.01	(2.04)	5.18	(1.89)	8.46	(3.15)	16.95	(4.97)	7.48	(1.94)	7.02	(1.78)	5.35	(1.93)	3.61	(1.09)
	ハイリスク者（%）	24	(4.5%)	18	(3.4%)	15	(2.8%)	12	(2.3%)	18	(3.4%)	35	(6.7%)	32	(6.2%)	35	(6.7%)	32	(6.3%)	3	(0.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表21. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
卸業、小売業																					
H22 (n=359)	平均値（標準偏差）	7.48	(2.34)	5.92	(2.29)	5.93	(2.36)	5.96	(2.26)	9.58	(3.89)	17.48	(5.41)	7.43	(2.06)	6.88	(1.90)	5.02	(2.02)	4.12	(1.24)
	ハイリスク者（%）	20	(5.6%)	22	(6.2%)	29	(8.1%)	30	(8.4%)	32	(9.0%)	25	(7.1%)	21	(5.9%)	26	(7.3%)	21	(5.9%)	13	(3.6%)
H23 (n=131)	平均値（標準偏差）	7.11	(2.56)	6.30	(2.58)	6.78	(2.75)	6.20	(2.38)	10.24	(4.03)	19.55	(6.52)	7.28	(2.37)	6.74	(2.19)	5.12	(2.10)	4.41	(1.30)
	ハイリスク者（%）	14	(10.7%)	14	(10.8%)	25	(19.4%)	11	(8.5%)	11	(8.5%)	23	(18.0%)	10	(7.7%)	9	(6.9%)	12	(9.2%)	9	(6.9%)
H24 (n=1,763)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.27)	6.55	(2.27)	6.62	(2.37)	6.36	(2.29)	10.58	(3.86)	18.82	(5.50)	7.32	(2.10)	6.85	(1.91)	5.28	(2.03)	4.38	(1.27)
	ハイリスク者（%）	194	(11.0%)	152	(8.7%)	207	(11.8%)	171	(9.7%)	200	(11.4%)	214	(12.2%)	91	(5.2%)	101	(5.8%)	142	(8.1%)	91	(5.2%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表22. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
学術研究、専門・技術サービス業																					
H22 (n=147)	平均値（標準偏差）	6.82	(2.26)	5.60	(2.20)	6.10	(2.19)	5.68	(2.00)	9.77	(3.90)	17.03	(4.97)	7.41	(2.21)	7.10	(1.97)	4.81	(2.01)	3.86	(1.30)
	ハイリスク者（%）	15	(10.2%)	6	(4.1%)	11	(7.5%)	6	(4.1%)	13	(8.9%)	10	(6.9%)	11	(7.8%)	13	(9.0%)	6	(4.1%)	4	(2.7%)
H23 (n=169)	平均値（標準偏差）	6.85	(2.23)	5.54	(2.05)	6.16	(2.32)	5.51	(1.88)	9.33	(3.46)	17.30	(4.98)	7.64	(2.10)	7.28	(2.02)	5.08	(2.03)	3.95	(1.19)
	ハイリスク者（%）	15	(8.9%)	5	(3.0%)	14	(8.4%)	3	(1.8%)	9	(5.4%)	12	(7.2%)	16	(9.7%)	22	(13.3%)	14	(8.4%)	1	(0.6%)
H24 (n=162)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.13)	5.84	(2.22)	6.07	(2.42)	5.62	(2.16)	9.56	(3.61)	17.43	(5.11)	7.62	(1.96)	7.18	(2.04)	5.43	(2.22)	4.04	(1.20)
	ハイリスク者（%）	12	(7.4%)	11	(6.8%)	16	(9.9%)	10	(6.2%)	13	(8.0%)	14	(8.8%)	12	(7.5%)	17	(10.6%)	17	(10.7%)	4	(2.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表23. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
公務（他に分類されるものを除く）																					
H22 (n=1,660)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.27)	5.57	(2.05)	5.70	(2.27)	5.67	(2.09)	9.27	(3.48)	16.96	(4.61)	7.00	(1.92)	6.62	(1.81)	5.12	(1.91)	4.00	(1.19)
	ハイリスク者（%）	168	(10.1%)	56	(3.4%)	103	(6.2%)	81	(4.9%)	107	(6.5%)	93	(5.7%)	48	(2.9%)	65	(4.0%)	99	(6.1%)	39	(2.4%)
H23 (n=3,976)	平均値（標準偏差）	6.72	(2.21)	5.54	(2.03)	5.74	(2.23)	5.70	(2.07)	9.49	(3.51)	17.20	(4.71)	7.14	(1.90)	6.73	(1.78)	5.25	(1.96)	4.03	(1.16)
	ハイリスク者（%）	406	(10.2%)	114	(2.9%)	259	(6.5%)	185	(4.7%)	258	(6.5%)	227	(5.8%)	147	(3.7%)	162	(4.1%)	306	(7.8%)	89	(2.2%)
H24 (n=4,667)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.21)	5.43	(2.05)	5.72	(2.24)	5.68	(2.11)	9.37	(3.48)	17.27	(4.76)	7.05	(1.94)	6.71	(1.81)	5.31	(2.00)	4.05	(1.19)
	ハイリスク者（%）	503	(10.8%)	140	(3.0%)	300	(6.4%)	244	(5.2%)	312	(6.7%)	290	(6.3%)	167	(3.6%)	206	(4.4%)	407	(8.8%)	114	(2.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表24. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
情報通信業																					
H21 (n=94)	平均値（標準偏差）	6.83	(2.32)	6.29	(2.11)	6.16	(2.55)	5.90	(1.88)	9.21	(3.21)	18.62	(5.88)	7.00	(1.92)	6.74	(1.91)	4.96	(1.89)	3.81	(1.20)
	ハイリスク者（%）	9	(9.6%)	4	(4.3%)	11	(11.7%)	4	(4.3%)	6	(6.5%)	16	(17.0%)	3	(3.3%)	4	(4.3%)	5	(5.3%)	1	(1.1%)
H22 (n=526)	平均値（標準偏差）	6.50	(2.20)	5.90	(2.11)	6.12	(2.19)	5.95	(2.11)	9.83	(3.67)	18.64	(5.21)	7.73	(2.06)	7.11	(1.96)	5.41	(2.12)	4.21	(1.25)
	ハイリスク者（%）	67	(12.7%)	16	(3.1%)	40	(7.7%)	35	(6.7%)	47	(9.0%)	67	(13.0%)	40	(7.8%)	43	(8.4%)	54	(10.5%)	17	(3.3%)
H23 (n=138)	平均値（標準偏差）	6.30	(2.21)	6.34	(2.34)	6.56	(2.64)	6.37	(2.34)	10.43	(3.84)	18.90	(5.60)	7.39	(2.16)	7.02	(1.95)	5.12	(1.94)	3.99	(1.33)
	ハイリスク者（%）	19	(13.8%)	10	(7.3%)	21	(15.2%)	14	(10.2%)	15	(10.9%)	15	(11.0%)	8	(5.8%)	10	(7.2%)	8	(6.0%)	6	(4.3%)
H24 (n=210)	平均値（標準偏差）	6.34	(2.04)	6.11	(2.36)	6.32	(2.36)	5.79	(2.10)	10.07	(3.55)	18.22	(4.83)	7.86	(2.23)	7.27	(2.05)	5.37	(2.11)	4.06	(1.17)
	ハイリスク者（%）	25	(11.9%)	18	(8.6%)	17	(8.1%)	9	(4.3%)	19	(9.1%)	16	(7.7%)	26	(12.5%)	24	(11.5%)	23	(11.1%)	5	(2.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表25. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
製造業																					
H21 (n=416)	平均値（標準偏差）	5.93	(2.08)	6.39	(2.26)	6.39	(2.21)	5.96	(2.06)	10.32	(3.50)	18.66	(5.27)	7.84	(2.01)	7.12	(1.90)	5.52	(2.13)	4.67	(1.25)
	ハイリスク者（%）	80	(19.2%)	27	(6.6%)	34	(8.2%)	26	(6.3%)	33	(8.0%)	46	(11.3%)	30	(7.3%)	29	(7.0%)	47	(11.4%)	29	(7.0%)
H22 (n=553)	平均値（標準偏差）	6.28	(2.26)	6.40	(2.19)	6.32	(2.19)	5.85	(2.04)	10.10	(3.50)	18.23	(5.12)	7.82	(2.04)	7.15	(1.94)	5.52	(2.13)	4.57	(1.33)
	ハイリスク者（%）	90	(16.3%)	39	(7.1%)	45	(8.2%)	33	(6.0%)	38	(6.9%)	49	(8.9%)	51	(9.3%)	48	(8.8%)	64	(11.7%)	40	(7.3%)
H23 (n=463)	平均値（標準偏差）	6.19	(2.25)	6.36	(2.38)	6.78	(2.36)	5.98	(2.17)	10.79	(3.98)	18.74	(5.40)	8.23	(1.94)	7.41	(1.76)	5.72	(2.22)	4.50	(1.27)
	ハイリスク者（%）	77	(16.6%)	37	(8.1%)	61	(13.3%)	29	(6.3%)	55	(11.9%)	57	(12.5%)	50	(10.9%)	38	(8.2%)	59	(12.9%)	37	(8.0%)
H24 (n=907)	平均値（標準偏差）	6.24	(2.15)	6.65	(2.27)	6.90	(2.30)	6.24	(2.20)	10.98	(3.77)	19.16	(5.52)	8.03	(1.99)	7.28	(1.89)	5.68	(2.14)	4.67	(1.29)
	ハイリスク者（%）	128	(14.1%)	82	(9.1%)	116	(12.8%)	65	(7.2%)	119	(13.2%)	123	(13.7%)	81	(9.0%)	77	(8.5%)	114	(12.6%)	67	(7.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表26. 平成22~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
電気・ガス・熱供給・水道業																					
H22 (n=107)	平均値（標準偏差）	5.94	(2.54)	6.08	(2.23)	6.55	(2.35)	6.28	(2.17)	10.73	(3.86)	18.34	(5.23)	8.90	(2.06)	7.30	(1.99)	5.24	(2.21)	4.37	(1.29)
	ハイリスク者（%）	24	(22.4%)	5	(4.7%)	13	(12.4%)	9	(8.6%)	14	(13.1%)	12	(11.4%)	22	(21.2%)	10	(9.5%)	9	(8.7%)	5	(4.7%)
H23 (n=209)	平均値（標準偏差）	6.31	(2.34)	5.69	(2.15)	5.73	(2.24)	5.91	(2.31)	10.05	(4.06)	18.09	(5.45)	7.42	(2.18)	6.89	(1.96)	5.50	(2.12)	4.08	(1.26)
	ハイリスク者（%）	33	(15.8%)	6	(2.9%)	14	(6.8%)	17	(8.2%)	23	(11.1%)	20	(9.8%)	13	(6.4%)	9	(4.4%)	21	(10.3%)	6	(2.9%)
H24 (n=203)	平均値（標準偏差）	6.50	(2.22)	5.49	(2.26)	5.92	(2.40)	5.62	(1.96)	9.76	(3.40)	18.00	(5.66)	7.25	(2.25)	6.59	(2.03)	5.35	(2.19)	4.04	(1.17)
	ハイリスク者（%）	27	(13.3%)	10	(4.9%)	17	(8.4%)	9	(4.5%)	12	(6.0%)	25	(12.4%)	13	(6.5%)	9	(4.5%)	23	(11.5%)	5	(2.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表27. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

業種別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
複合サービス事業																					
H21 (n=127)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.19)	6.52	(2.31)	6.37	(2.59)	6.49	(2.55)	10.45	(4.06)	17.94	(5.91)	7.47	(2.34)	6.72	(2.02)	5.48	(2.11)	4.37	(1.32)
	ハイリスク者（%）	18	(14.2%)	13	(10.3%)	17	(13.5%)	20	(16.1%)	20	(16.1%)	17	(13.9%)	11	(9.0%)	8	(6.6%)	13	(10.6%)	7	(5.6%)
H22 (n=954)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.27)	6.20	(2.26)	6.33	(2.32)	6.32	(2.25)	10.55	(4.05)	18.24	(5.35)	7.51	(2.08)	7.02	(1.89)	5.67	(2.09)	4.35	(1.30)
	ハイリスク者（%）	110	(11.5%)	51	(5.4%)	84	(8.9%)	88	(9.3%)	113	(12.0%)	93	(10.0%)	63	(6.8%)	62	(6.7%)	112	(12.1%)	49	(5.2%)
H23 (n=1,064)	平均値（標準偏差）	6.83	(2.27)	6.07	(2.25)	6.26	(2.27)	6.18	(2.19)	10.46	(3.93)	18.25	(5.19)	7.39	(2.09)	6.94	(1.88)	5.70	(2.12)	4.30	(1.26)
	ハイリスク者（%）	113	(10.6%)	63	(5.9%)	89	(8.4%)	84	(7.9%)	127	(12.0%)	101	(9.7%)	61	(5.8%)	55	(5.3%)	135	(12.9%)	51	(4.8%)
H24 (n=1,380)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.22)	6.15	(2.29)	6.15	(2.29)	6.27	(2.28)	10.38	(3.93)	18.40	(5.46)	7.40	(2.13)	6.93	(1.96)	5.62	(2.10)	4.36	(1.26)
	ハイリスク者（%）	146	(10.6%)	83	(6.0%)	111	(8.1%)	118	(8.6%)	158	(11.5%)	137	(10.0%)	86	(6.3%)	74	(5.4%)	175	(12.9%)	69	(5.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表28. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　男性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）ー男性労働者

地域別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.20)	6.30	(2.10)	6.20	(2.30)	5.90	(2.00)	10.0	(3.40)	17.5	(4.70)	7.40	(2.00)	6.90	(1.80)	5.00	(1.90)	4.20	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.1%		6.6%		8.8%		5.3%		7.2%		7.6%		5.8%		5.2%		6.4%		3.9%	
沿岸地区																					
H22 (n=433)	平均値（標準偏差）	6.74	(2.28)	5.97	(2.10)	5.98	(2.17)	6.05	(2.04)	9.99	(3.59)	17.17	(4.72)	7.06	(1.96)	6.74	(1.86)	5.36	(2.01)	4.18	(1.21)
	ハイリスク者（%）	48	(11.1%)	17	(3.9%)	23	(5.3%)	24	(5.5%)	33	(7.6%)	23	(5.3%)	13	(3.1%)	16	(3.8%)	36	(8.5%)	11	(2.5%)
H23 (n=2,991)	平均値（標準偏差）	6.89	(2.31)	6.07	(2.21)	6.40	(2.37)	6.04	(2.20)	10.32	(3.82)	17.95	(5.17)	7.38	(2.09)	6.85	(1.90)	5.20	(2.01)	4.12	(1.26)
	ハイリスク者（%）	302	(10.1%)	173	(5.8%)	319	(10.7%)	212	(7.1%)	306	(10.3%)	261	(8.8%)	188	(6.6%)	167	(5.8%)	231	(8.1%)	100	(3.5%)
H24 (n=3,616)	平均値（標準偏差）	6.88	(2.29)	5.85	(2.21)	6.29	(2.36)	5.96	(2.17)	9.94	(3.72)	17.83	(5.13)	7.21	(2.07)	6.74	(1.92)	5.23	(2.05)	4.11	(1.28)
	ハイリスク者（%）	346	(9.6%)	187	(5.2%)	372	(10.3%)	238	(6.6%)	330	(9.2%)	304	(8.5%)	169	(4.7%)	186	(5.2%)	327	(9.1%)	127	(3.5%)
内陸地区																					
H21 (n=637)	平均値（標準偏差）	6.15	(2.16)	6.40	(2.25)	6.35	(2.34)	6.06	(2.15)	10.2	(3.59)	18.5	(5.49)	7.65	(2.09)	6.99	(1.93)	5.43	(2.10)	4.48	(1.30)
	ハイリスク者（%）	107	(16.8%)	44	(7.0%)	62	(9.8%)	50	(7.9%)	59	(9.4%)	79	(12.7%)	44	(7.0%)	41	(6.5%)	65	(10.3%)	37	(5.8%)
H22 (n=3,824)	平均値（標準偏差）	6.73	(2.30)	5.89	(2.18)	6.03	(2.30)	5.89	(2.16)	9.79	(3.75)	17.74	(5.09)	7.44	(2.06)	6.91	(1.90)	5.31	(2.04)	4.20	(1.27)
	ハイリスク者（%）	443	(11.6%)	177	(4.7%)	298	(7.8%)	254	(6.7%)	327	(8.6%)	321	(8.5%)	240	(6.4%)	250	(6.7%)	325	(8.7%)	155	(4.1%)
H23 (n=7,967)	平均値（標準偏差）	6.69	(2.28)	5.91	(2.21)	6.12	(2.33)	5.88	(2.16)	9.94	(3.68)	17.76	(5.09)	7.41	(2.04)	6.90	(1.88)	5.38	(2.05)	4.17	(1.24)
	ハイリスク者（%）	920	(11.5%)	404	(5.1%)	687	(8.7%)	484	(6.1%)	677	(8.5%)	661	(8.4%)	454	(6.0%)	456	(6.0%)	729	(9.6%)	279	(3.6%)
H24 (n=12,124)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.23)	5.81	(2.19)	6.23	(2.38)	5.96	(2.19)	9.79	(3.67)	17.85	(5.08)	7.22	(2.05)	6.77	(1.89)	5.26	(2.03)	4.05	(1.23)
	ハイリスク者（%）	1142	(9.4%)	589	(4.9%)	1162	(9.6%)	820	(6.8%)	1014	(8.4%)	991	(8.2%)	598	(5.0%)	602	(5.0%)	1033	(8.6%)	380	(3.1%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表29. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
H21 (n=274)	平均値（標準偏差）	7.05	(2.16)	6.76	(1.95)	2.93	(0.97)	9.07	(1.72)	2.78	(0.93)	7.52	(1.88)	2.75	(0.76)	2.23	(0.81)	2.19	(0.78)
	ハイリスク者（%）	31	(11.3%)	32	(11.7%)	27	(9.9%)	18	(6.9%)	30	(10.9%)	19	(7.1%)	16	(5.8%)	19	(6.9%)	16	(5.8%)
H22 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.15)	6.91	(2.00)	2.87	(1.00)	9.24	(1.76)	2.89	(0.91)	7.48	(1.87)	2.84	(0.75)	2.16	(0.77)	2.10	(0.77)
	ハイリスク者（%）	279	(11.9%)	258	(11.0%)	271	(11.6%)	163	(7.2%)	197	(8.4%)	149	(6.5%)	94	(4.0%)	145	(6.2%)	118	(5.1%)
H23 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.12)	6.79	(1.99)	2.67	(1.01)	9.14	(1.85)	2.85	(0.93)	7.52	(1.97)	2.86	(0.79)	2.15	(0.75)	2.03	(0.79)
	ハイリスク者（%）	906	(13.4%)	803	(11.9%)	1002	(14.8%)	525	(8.3%)	619	(9.1%)	534	(8.4%)	348	(5.1%)	375	(5.5%)	320	(4.7%)
H24 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.37	(2.08)	6.51	(1.86)	2.70	(0.93)	9.33	(1.73)	2.94	(0.88)	7.27	(1.76)	3.06	(0.72)	2.12	(0.71)	1.89	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1978	(19.4%)	1421	(13.9%)	1080	(10.6%)	589	(5.8%)	726	(7.1%)	481	(4.7%)	275	(2.7%)	414	(4.1%)	307	(3.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表30. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　30未満女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
H21 (n=49)	平均値（標準偏差）	6.85	(2.02)	6.49	(2.06)	2.98	(0.92)	8.98	(1.64)	2.85	(0.87)	7.52	(1.62)	2.81	(0.64)	2.42	(0.77)	2.19	(0.76)
	ハイリスク者（%）	6	(12.2%)	8	(16.3%)	3	(6.1%)	3	(6.3%)	4	(8.2%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	4	(8.2%)	2	(4.1%)
H22 (n=323)	平均値（標準偏差）	7.30	(2.01)	7.16	(2.01)	3.04	(0.97)	9.27	(1.69)	3.07	(0.81)	7.49	(1.75)	2.78	(0.77)	2.28	(0.78)	2.14	(0.79)
	ハイリスク者（%）	26	(8.0%)	28	(8.7%)	26	(8.0%)	18	(5.6%)	15	(4.6%)	14	(4.4%)	14	(4.3%)	24	(7.4%)	24	(7.4%)
H23 (n=1,316)	平均値（標準偏差）	6.90	(2.00)	7.00	(2.05)	2.63	(1.07)	9.18	(1.83)	2.98	(0.91)	7.69	(1.92)	2.74	(0.79)	2.23	(0.76)	2.04	(0.80)
	ハイリスク者（%）	139	(10.6%)	138	(10.5%)	240	(18.2%)	106	(8.5%)	101	(7.7%)	103	(8.2%)	77	(5.9%)	88	(6.7%)	69	(5.2%)
H24 (n=1,180)	平均値（標準偏差）	6.79	(1.98)	6.78	(1.85)	2.86	(1.00)	9.41	(1.84)	3.09	(0.84)	7.35	(1.74)	2.91	(0.75)	2.21	(0.76)	1.93	(0.80)
	ハイリスク者（%）	143	(12.1%)	121	(10.3%)	124	(10.5%)	79	(6.7%)	58	(4.9%)	61	(5.2%)	47	(4.0%)	72	(6.1%)	53	(4.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表31. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　30代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
H21 (n=101)	平均値（標準偏差）	6.86	(2.07)	6.72	(2.01)	2.97	(0.99)	9.09	(1.82)	2.80	(0.88)	7.37	(1.97)	2.64	(0.84)	2.30	(0.87)	2.15	(0.79)
	ハイリスク者（%）	13	(12.9%)	14	(13.9%)	10	(9.9%)	9	(9.2%)	8	(7.9%)	8	(7.9%)	11	(10.9%)	10	(9.9%)	7	(6.9%)
H22 (n=664)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.18)	6.93	(1.98)	3.04	(0.96)	9.07	(1.82)	2.83	(0.92)	7.49	(1.86)	2.80	(0.75)	2.29	(0.79)	2.16	(0.79)
	ハイリスク者（%）	91	(13.7%)	76	(11.4%)	70	(10.5%)	61	(9.5%)	65	(9.8%)	37	(5.6%)	18	(2.7%)	37	(5.6%)	28	(4.2%)
H23 (n=1,822)	平均値（標準偏差）	6.79	(2.18)	6.88	(1.98)	2.80	(1.02)	9.01	(1.87)	2.85	(0.92)	7.50	(1.91)	2.88	(0.77)	2.21	(0.76)	2.08	(0.80)
	ハイリスク者（%）	267	(14.7%)	212	(11.6%)	236	(13.0%)	170	(9.7%)	156	(8.6%)	132	(7.5%)	88	(4.8%)	124	(6.8%)	109	(6.0%)
H24 (n=2,319)	平均値（標準偏差）	6.63	(2.12)	6.77	(1.92)	2.85	(0.96)	9.33	(1.73)	2.98	(0.89)	7.26	(1.76)	3.04	(0.72)	2.17	(0.73)	1.92	(0.76)
	ハイリスク者（%）	368	(15.9%)	266	(11.5%)	208	(9.0%)	132	(5.7%)	157	(6.8%)	99	(4.3%)	61	(2.6%)	123	(5.3%)	87	(3.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表32. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　40代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
H21 (n=80)	平均値（標準偏差）	7.18	(2.26)	6.83	(1.90)	2.79	(0.96)	8.89	(1.74)	2.52	(0.97)	7.69	(1.87)	2.73	(0.82)	2.17	(0.75)	2.25	(0.78)
	ハイリスク者（%）	8	(10.0%)	8	(10.0%)	9	(11.3%)	6	(8.0%)	15	(18.8%)	7	(9.1%)	5	(6.3%)	4	(5.0%)	5	(6.3%)
H22 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.96	(2.13)	6.87	(2.00)	2.87	(0.99)	9.02	(1.76)	2.80	(0.91)	7.49	(1.77)	2.85	(0.69)	2.21	(0.73)	2.16	(0.73)
	ハイリスク者（%）	91	(13.7%)	76	(11.4%)	70	(10.5%)	61	(9.5%)	65	(9.8%)	37	(5.6%)	18	(2.7%)	37	(5.6%)	28	(4.2%)
H23 (n=1,864)	平均値（標準偏差）	6.56	(2.07)	6.57	(1.91)	2.65	(0.98)	9.13	(1.87)	2.78	(0.92)	7.56	(1.94)	2.91	(0.78)	2.18	(0.75)	2.01	(0.78)
	ハイリスク者（%）	285	(15.3%)	234	(12.6%)	263	(14.1%)	147	(8.4%)	173	(9.3%)	158	(9.0%)	90	(4.8%)	102	(5.5%)	78	(4.2%)
H24 (n=3,560)	平均値（標準偏差）	6.04	(2.02)	6.32	(1.79)	2.60	(0.90)	9.27	(1.73)	2.86	(0.87)	7.34	(1.70)	3.12	(0.68)	2.13	(0.68)	1.87	(0.71)
	ハイリスク者（%）	843	(23.7%)	562	(15.8%)	398	(11.2%)	224	(6.3%)	287	(8.1%)	171	(4.8%)	65	(1.8%)	119	(3.3%)	93	(2.6%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表33. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　50代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
H21 (n=40)	平均値（標準偏差）	7.26	(2.27)	6.97	(1.87)	3.05	(0.99)	9.38	(1.53)	3.18	(0.91)	7.64	(1.95)	2.95	(0.56)	2.05	(0.79)	2.21	(0.80)
	ハイリスク者（%）	4	(10.0%)	2	(5.0%)	4	(10.0%)	0	(0.0%)	3	(7.5%)	3	(7.7%)	0	(0.0%)	1	(2.5%)	2	(5.0%)
H22 (n=584)	平均値（標準偏差）	7.03	(2.14)	6.71	(1.98)	2.65	(1.02)	9.58	(1.67)	2.94	(0.92)	7.45	(1.97)	2.89	(0.77)	1.98	(0.75)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	70	(12.0%)	74	(12.7%)	95	(16.3%)	21	(3.8%)	44	(7.5%)	40	(7.0%)	23	(3.9%)	24	(4.1%)	22	(3.8%)
H23 (n=1,501)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.14)	6.69	(1.97)	2.61	(0.97)	9.19	(1.79)	2.82	(0.95)	7.39	(2.03)	2.91	(0.79)	2.05	(0.74)	2.01	(0.76)
	ハイリスク者（%）	195	(13.0%)	193	(12.9%)	210	(14.0%)	92	(6.7%)	160	(10.7%)	115	(8.3%)	69	(4.6%)	55	(3.7%)	55	(3.7%)
H24 (n=2,886)	平均値（標準偏差）	6.28	(2.06)	6.38	(1.81)	2.65	(0.90)	9.33	(1.67)	2.93	(0.88)	7.16	(1.79)	3.07	(0.74)	2.05	(0.69)	1.87	(0.70)
	ハイリスク者（%）	590	(20.4%)	442	(15.3%)	306	(10.6%)	143	(5.0%)	204	(7.1%)	129	(4.5%)	84	(2.9%)	92	(3.2%)	66	(2.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表34. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　60代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

調査年度		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
H21 (n=4)	平均値（標準偏差）	10.33	(0.58)	7.67	(0.58)	2.75	(1.26)	10.67	(0.58)	2.33	(0.58)	7.00	(3.00)	3.00	(0.00)	1.50	(0.58)	1.75	(0.96)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
H22 (n=101)	平均値（標準偏差）	7.86	(2.29)	7.51	(2.07)	2.51	(1.05)	9.80	(1.69)	3.05	(1.02)	7.51	(2.28)	2.97	(0.86)	1.73	(0.68)	1.77	(0.70)
	ハイリスク者（%）	8	(7.9%)	6	(5.9%)	19	(18.8%)	2	(2.1%)	10	(9.9%)	12	(12.6%)	5	(5.0%)	2	(2.0%)	1	(1.0%)
H23 (n=269)	平均値（標準偏差）	7.35	(2.28)	7.19	(2.16)	2.35	(0.98)	9.84	(1.75)	2.98	(1.04)	7.35	(2.39)	2.84	(0.96)	1.75	(0.70)	1.85	(0.79)
	ハイリスク者（%）	20	(7.4%)	26	(9.7%)	53	(19.7%)	10	(4.5%)	29	(10.8%)	26	(11.3%)	24	(8.9%)	6	(2.2%)	9	(3.3%)
H24 (n=270)	平均値（標準偏差）	7.42	(2.33)	7.10	(2.09)	2.48	(0.96)	9.73	(1.70)	3.08	(0.92)	7.15	(2.13)	2.97	(0.87)	1.74	(0.72)	1.80	(0.76)
	ハイリスク者（%）	34	(12.6%)	30	(11.1%)	44	(16.3%)	11	(4.2%)	20	(7.4%)	21	(7.9%)	18	(6.7%)	8	(3.0%)	8	(3.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表35. 平成22~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
卸業、小売業																			
H22 (n=662)	平均値（標準偏差）	6.96	(1.96)	7.09	(1.90)	2.38	(0.94)	9.46	(1.69)	2.86	(0.91)	7.76	(1.89)	2.73	(0.75)	1.99	(0.71)	2.01	(0.74)
	ハイリスク者（%）	83	(12.5%)	55	(8.3%)	126	(19.0%)	33	(5.2%)	56	(8.5%)	53	(8.2%)	32	(4.8%)	26	(3.9%)	26	(3.9%)
H23 (n=213)	平均値（標準偏差）	6.44	(1.85)	6.58	(1.88)	2.23	(0.92)	9.29	(1.99)	3.06	(0.94)	7.57	(2.04)	2.71	(0.76)	2.03	(0.76)	1.97	(0.73)
	ハイリスク者（%）	31	(14.6%)	26	(12.2%)	50	(23.5%)	21	(10.0%)	17	(8.0%)	18	(8.5%)	11	(5.2%)	7	(3.3%)	7	(3.3%)
H24 (n=988)	平均値（標準偏差）	7.17	(2.01)	7.48	(1.88)	2.73	(0.99)	9.18	(1.85)	2.81	(0.95)	7.68	(1.90)	2.76	(0.76)	2.07	(0.72)	2.18	(0.78)
	ハイリスク者（%）	90	(9.1%)	49	(5.0%)	116	(11.7%)	70	(7.2%)	104	(10.5%)	86	(8.8%)	58	(5.9%)	36	(3.6%)	57	(5.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表36. 平成22~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
学術研究、専門・技術サービス業																			
H22 (n=97)	平均値（標準偏差）	6.25	(2.08)	6.57	(1.69)	3.31	(0.70)	8.46	(1.86)	3.29	(0.69)	7.22	(1.70)	3.08	(0.69)	2.14	(0.71)	1.88	(0.67)
	ハイリスク者（%）	19	(19.6%)	8	(8.2%)	2	(2.1%)	12	(12.8%)	1	(1.0%)	4	(4.1%)	1	(1.0%)	2	(2.1%)	1	(1.0%)
H23 (n=117)	平均値（標準偏差）	6.36	(1.97)	6.61	(1.69)	3.33	(0.66)	8.76	(1.83)	3.28	(0.73)	6.91	(1.68)	3.05	(0.65)	2.03	(0.70)	1.89	(0.67)
	ハイリスク者（%）	22	(18.8%)	9	(7.7%)	1	(0.9%)	12	(10.4%)	2	(1.7%)	4	(3.4%)	0	(0.0%)	2	(1.7%)	2	(1.7%)
H24 (n=123)	平均値（標準偏差）	6.55	(2.03)	6.63	(1.78)	3.46	(0.67)	8.52	(1.97)	3.37	(0.69)	6.77	(1.51)	3.08	(0.71)	2.07	(0.66)	1.86	(0.61)
	ハイリスク者（%）	18	(14.6%)	15	(12.2%)	1	(0.8%)	20	(16.3%)	1	(0.8%)	1	(0.8%)	1	(0.8%)	3	(2.4%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表37. 平成22~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
公務（他に分類されるものを除く）																			
H22 (n=519)	平均値（標準偏差）	6.70	(2.17)	6.69	(1.92)	3.02	(1.02)	9.29	(1.75)	2.80	(0.94)	7.27	(1.85)	2.89	(0.79)	2.28	(0.77)	2.14	(0.78)
	ハイリスク者（%）	84	(16.2%)	61	(11.8%)	60	(11.6%)	36	(7.1%)	51	(9.8%)	31	(6.0%)	27	(5.2%)	39	(7.5%)	29	(5.6%)
H23 (n=1,047)	平均値（標準偏差）	6.69	(2.12)	6.66	(1.89)	3.12	(0.93)	9.30	(1.71)	2.73	(0.89)	7.28	(1.80)	2.89	(0.77)	2.32	(0.75)	2.15	(0.75)
	ハイリスク者（%）	158	(15.1%)	140	(13.4%)	75	(7.2%)	64	(6.2%)	101	(9.6%)	59	(5.7%)	53	(5.1%)	89	(8.5%)	59	(5.6%)
H24 (n=1,505)	平均値（標準偏差）	6.78	(2.12)	6.73	(1.85)	3.02	(1.00)	9.53	(1.63)	2.87	(0.90)	7.27	(1.78)	2.95	(0.74)	2.28	(0.74)	2.05	(0.72)
	ハイリスク者（%）	230	(15.3%)	176	(11.7%)	159	(10.6%)	54	(3.6%)	132	(8.8%)	76	(5.1%)	48	(3.2%)	102	(6.8%)	57	(3.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表38. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
情報通信業																			
H21 (n=20)	平均値（標準偏差）	6.15	(2.37)	5.65	(1.90)	3.00	(0.92)	9.80	(1.51)	3.25	(0.91)	7.60	(1.96)	3.05	(0.89)	1.90	(0.79)	1.75	(0.79)
	ハイリスク者（%）	4	(20.0%)	6	(30.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	3	(15.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
H22 (n=138)	平均値（標準偏差）	7.81	(2.15)	7.41	(2.03)	3.32	(0.87)	9.22	(1.66)	2.78	(0.92)	7.13	(2.04)	2.79	(0.76)	2.16	(0.79)	2.17	(0.78)
	ハイリスク者（%）	8	(5.8%)	9	(6.5%)	7	(5.1%)	5	(3.7%)	14	(10.1%)	8	(5.9%)	9	(6.5%)	8	(5.8%)	9	(6.5%)
H23 (n=36)	平均値（標準偏差）	7.26	(2.41)	7.29	(2.42)	3.09	(0.98)	9.26	(1.62)	2.83	(0.86)	7.60	(2.17)	2.80	(0.93)	2.00	(0.84)	1.91	(0.92)
	ハイリスク者（%）	1	(2.8%)	4	(11.1%)	2	(5.6%)	1	(2.9%)	1	(2.8%)	4	(11.4%)	3	(8.3%)	3	(8.3%)	3	(8.3%)
H24 (n=87)	平均値（標準偏差）	7.86	(2.30)	7.20	(2.11)	3.26	(0.87)	9.14	(1.85)	2.91	(0.82)	7.79	(2.05)	2.78	(0.82)	2.20	(0.85)	2.16	(0.92)
	ハイリスク者（%）	8	(9.2%)	7	(8.0%)	4	(4.6%)	8	(9.3%)	5	(5.7%)	9	(10.5%)	7	(8.0%)	8	(9.2%)	10	(11.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表39. 平成22~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
製造業																			
H22 (n=177)	平均値（標準偏差）	7.60	(1.82)	7.58	(1.67)	2.98	(0.98)	9.01	(1.70)	2.71	(0.92)	7.49	(1.87)	2.68	(0.71)	2.13	(0.72)	2.27	(0.78)
	ハイリスク者（%）	9	(5.1%)	3	(1.7%)	17	(9.6%)	15	(8.6%)	20	(11.3%)	14	(7.9%)	8	(4.5%)	10	(5.6%)	10	(5.6%)
H23 (n=370)	平均値（標準偏差）	6.63	(1.94)	6.56	(1.89)	2.56	(0.97)	8.92	(1.96)	2.73	(0.97)	7.93	(2.01)	2.59	(0.80)	2.14	(0.77)	2.16	(0.74)
	ハイリスク者（%）	49	(13.2%)	42	(11.4%)	61	(16.5%)	41	(11.2%)	49	(13.2%)	44	(12.1%)	31	(8.4%)	23	(6.2%)	18	(4.9%)
H24 (n=251)	平均値（標準偏差）	7.41	(2.05)	7.11	(1.89)	3.13	(0.84)	8.36	(2.05)	2.44	(1.02)	7.69	(1.74)	2.77	(0.80)	2.28	(0.78)	2.44	(0.84)
	ハイリスク者（%）	17	(6.8%)	19	(7.6%)	9	(3.6%)	42	(16.9%)	54	(21.5%)	13	(5.2%)	14	(5.6%)	17	(6.8%)	31	(12.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表40. 平成22~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
電気・ガス・熱供給・水道業																			
H22 (n=20)	平均値（標準偏差）	8.75	(2.00)	9.00	(1.72)	3.70	(0.47)	9.50	(1.79)	3.15	(0.93)	7.05	(1.47)	2.70	(0.73)	2.00	(0.73)	2.35	(0.88)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)
H23 (n=23)	平均値（標準偏差）	9.00	(1.73)	8.65	(1.50)	3.91	(0.29)	10.13	(1.71)	2.61	(0.99)	6.96	(1.49)	2.61	(0.72)	2.17	(0.72)	2.17	(0.58)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(13.0%)	0	(0.0%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)
H24 (n=25)	平均値（標準偏差）	9.00	(2.29)	8.40	(2.40)	3.76	(0.60)	10.08	(1.71)	2.48	(1.05)	7.08	(1.78)	2.40	(0.91)	2.00	(0.82)	2.20	(0.76)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	2	(8.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(20.0%)	1	(4.0%)	4	(16.0%)	1	(4.0%)	1	(4.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表41. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		-		6.4%		-		6.6%		10.1%	
複合サービス事業																			
H21 (n=129)	平均値（標準偏差）	6.90	(2.31)	6.52	(2.07)	3.10	(0.88)	8.92	(1.84)	2.91	(0.89)	7.62	(1.84)	2.74	(0.73)	2.32	(0.86)	2.21	(0.80)
	ハイリスク者（%）	23	(17.8%)	22	(17.1%)	7	(5.4%)	12	(9.8%)	11	(8.5%)	7	(5.6%)	6	(4.7%)	13	(10.1%)	10	(7.8%)
H22 (n=723)	平均値（標準偏差）	7.33	(2.26)	6.64	(2.15)	3.02	(0.95)	9.16	(1.82)	2.99	(0.89)	7.50	(1.83)	2.93	(0.71)	2.25	(0.81)	2.13	(0.78)
	ハイリスク者（%）	76	(10.5%)	122	(16.9%)	59	(8.2%)	62	(8.9%)	54	(7.5%)	39	(5.5%)	16	(2.2%)	59	(8.2%)	41	(5.7%)
H23 (n=757)	平均値（標準偏差）	7.21	(2.23)	6.77	(2.13)	3.06	(0.88)	9.08	(1.85)	2.93	(0.88)	7.40	(1.84)	2.86	(0.71)	2.30	(0.84)	2.17	(0.80)
	ハイリスク者（%）	85	(11.2%)	121	(16.0%)	48	(6.3%)	64	(8.6%)	57	(7.5%)	47	(6.3%)	28	(3.7%)	78	(10.3%)	56	(7.4%)
H24 (n=1,141)	平均値（標準偏差）	7.40	(2.24)	6.77	(2.12)	3.00	(0.95)	9.12	(1.84)	2.98	(0.86)	7.45	(1.85)	2.86	(0.72)	2.26	(0.85)	2.16	(0.77)
	ハイリスク者（%）	112	(9.8%)	168	(14.7%)	93	(8.2%)	98	(8.7%)	74	(6.5%)	77	(6.8%)	44	(3.9%)	109	(9.6%)	69	(6.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表42. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果ー地域別

標準化得点法による評価（職業性ストレス関連項目）ー女性労働者

年度別		仕事負担（量）		仕事負担（質）		身体的負担		対人関係		職場環境		仕事コントロール		技能活用		仕事適正		働きがい	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	7.60	(2.20)	7.50	(2.00)	3.00	(1.00)	9.00	(1.90)	2.60	(1.00)	7.10	(2.10)	2.80	(0.80)	2.20	(0.80)	2.40	(0.80)
	ハイリスク者（%）	9.2%		7.2%		10.0%		10.3%		−		6.4%		−		6.6%		10.1%	
沿岸地区																			
H22 (n=147)	平均値（標準偏差）	7.33	(2.24)	6.60	(2.11)	2.86	(1.01)	9.23	(1.76)	2.92	(0.93)	7.29	(1.96)	2.93	(0.81)	2.19	(0.82)	2.02	(0.74)
	ハイリスク者（%）	13	(8.8%)	27	(18.4%)	19	(12.9%)	10	(6.9%)	13	(8.8%)	9	(6.2%)	9	(6.1%)	13	(8.8%)	6	(4.1%)
H23 (n=2,268)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.01)	6.56	(1.89)	2.45	(0.97)	9.22	(1.85)	2.88	(0.93)	7.52	(2.02)	2.97	(0.80)	2.08	(0.70)	1.87	(0.74)
	ハイリスク者（%）	360	(15.9%)	297	(13.1%)	398	(17.6%)	168	(7.9%)	189	(8.3%)	198	(9.2%)	97	(4.3%)	83	(3.7%)	63	(2.8%)
H24 (n=1,928)	平均値（標準偏差）	6.38	(2.00)	6.50	(1.77)	2.76	(0.89)	9.44	(1.72)	2.96	(0.89)	7.15	(1.69)	3.09	(0.70)	2.10	(0.69)	1.84	(0.73)
	ハイリスク者（%）	344	(17.8%)	258	(13.4%)	154	(8.0%)	99	(5.2%)	147	(7.6%)	66	(3.4%)	41	(2.1%)	72	(3.7%)	57	(3.0%)
内陸地区																			
H21 (n=274)	平均値（標準偏差）	7.05	(2.16)	6.76	(1.95)	2.93	(0.97)	9.07	(1.72)	2.78	(0.93)	7.52	(1.88)	2.75	(0.76)	2.23	(0.81)	2.19	(0.78)
	ハイリスク者（%）	31	(11.3%)	32	(11.7%)	27	(9.9%)	18	(6.9%)	30	(10.9%)	19	(7.1%)	16	(5.8%)	19	(6.9%)	16	(5.8%)
H22 (n=2,108)	平均値（標準偏差）	7.10	(2.14)	6.94	(1.99)	2.91	(0.99)	9.23	(1.77)	2.89	(0.91)	7.50	(1.86)	2.84	(0.74)	2.17	(0.77)	2.12	(0.77)
	ハイリスク者（%）	252	(12.0%)	219	(10.4%)	221	(10.5%)	149	(7.3%)	181	(8.6%)	135	(6.5%)	83	(3.9%)	130	(6.2%)	111	(5.3%)
H23 (n=4,498)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.15)	6.91	(2.02)	2.77	(1.02)	9.10	(1.84)	2.84	(0.94)	7.53	(1.94)	2.81	(0.79)	2.19	(0.78)	2.11	(0.80)
	ハイリスク者（%）	546	(12.1%)	506	(11.3%)	604	(13.4%)	357	(8.5%)	430	(9.6%)	336	(7.9%)	251	(5.6%)	292	(6.5%)	257	(5.7%)
H24 (n=8,279)	平均値（標準偏差）	6.36	(2.10)	6.52	(1.88)	2.68	(0.94)	9.30	(1.73)	2.93	(0.88)	7.30	(1.77)	3.05	(0.73)	2.12	(0.71)	1.90	(0.73)
	ハイリスク者（%）	1634	(19.7%)	1162	(14.0%)	925	(11.2%)	490	(6.0%)	579	(7.0%)	415	(5.0%)	234	(2.8%)	342	(4.1%)	250	(3.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表43. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=274)	平均値（標準偏差）	6.44	(2.31)	6.52	(2.29)	6.64	(2.45)	5.81	(2.39)	10.33	(3.95)	19.50	(5.28)	8.08	(1.92)	7.00	(1.94)	4.96	(1.86)	4.34	(1.23)
	ハイリスク者（%）	34	(12.4%)	23	(8.5%)	31	(11.4%)	25	(9.3%)	28	(10.3%)	23	(8.6%)	23	(8.5%)	16	(5.9%)	30	(11.0%)	12	(4.4%)
H22 (n=2,336)	平均値（標準偏差）	6.81	(2.50)	6.04	(2.23)	6.24	(2.41)	5.75	(2.29)	9.86	(3.81)	18.96	(5.24)	7.98	(2.06)	6.93	(2.00)	4.93	(2.00)	4.17	(1.22)
	ハイリスク者（%）	304	(13.0%)	145	(6.3%)	243	(10.5%)	172	(7.5%)	218	(9.5%)	190	(8.3%)	222	(9.9%)	165	(7.3%)	284	(12.5%)	81	(3.5%)
H23 (n=6,772)	平均値（標準偏差）	6.60	(2.40)	6.31	(2.27)	6.77	(2.47)	6.05	(2.36)	10.57	(3.92)	19.39	(5.33)	7.95	(2.14)	6.86	(2.03)	4.97	(1.98)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者（%）	922	(13.6%)	509	(7.6%)	1001	(14.9%)	639	(9.5%)	825	(12.3%)	705	(10.6%)	684	(10.9%)	432	(6.9%)	772	(12.3%)	257	(4.0%)
H24 (n=10,215)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.34)	5.99	(2.18)	6.79	(2.49)	5.97	(2.26)	10.03	(3.73)	19.15	(5.07)	7.58	(2.05)	6.69	(1.92)	4.95	(1.97)	4.08	(1.18)
	ハイリスク者（%）	991	(9.7%)	574	(5.6%)	1528	(15.0%)	857	(8.4%)	954	(9.4%)	909	(9.0%)	660	(6.5%)	497	(4.9%)	1211	(12.1%)	295	(2.9%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表44. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　30歳未満女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=49)	平均値（標準偏差）	6.00	(1.80)	6.86	(2.40)	7.02	(2.18)	6.45	(2.37)	11.57	(3.98)	19.04	(4.49)	7.94	(2.09)	6.78	(2.17)	4.69	(1.61)	4.31	(1.08)
	ハイリスク者（%）	4	(8.2%)	5	(10.2%)	7	(14.3%)	4	(8.2%)	8	(16.3%)	4	(8.3%)	4	(8.2%)	2	(4.1%)	3	(6.1%)	1	(2.0%)
H22 (n=323)	平均値（標準偏差）	6.61	(2.22)	6.36	(2.39)	7.06	(2.44)	6.32	(2.38)	11.18	(4.09)	20.13	(5.11)	7.72	(2.23)	6.79	(2.16)	4.76	(2.06)	4.39	(1.19)
	ハイリスク者（%）	37	(11.5%)	32	(10.0%)	51	(15.8%)	34	(10.6%)	49	(15.3%)	32	(10.0%)	33	(10.3%)	28	(8.8%)	36	(11.4%)	11	(3.4%)
H23 (n=1,316)	平均値（標準偏差）	6.57	(2.20)	6.47	(2.39)	7.17	(2.42)	6.33	(2.44)	11.15	(4.03)	19.86	(5.40)	7.83	(2.14)	6.58	(2.11)	4.69	(1.83)	4.40	(1.26)
	ハイリスク者（%）	154	(11.7%)	112	(8.5%)	238	(18.1%)	153	(11.7%)	196	(15.0%)	153	(11.7%)	121	(9.7%)	75	(6.0%)	109	(8.8%)	69	(5.5%)
H24 (n=1,180)	平均値（標準偏差）	6.80	(2.28)	6.14	(2.30)	6.89	(2.44)	6.29	(2.37)	10.73	(3.93)	18.97	(5.03)	7.38	(2.10)	6.50	(2.01)	4.68	(1.86)	4.21	(1.21)
	ハイリスク者（%）	110	(9.3%)	79	(6.7%)	178	(15.1%)	131	(11.1%)	156	(13.3%)	98	(8.4%)	66	(5.6%)	51	(4.3%)	108	(9.2%)	40	(3.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表45. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　30代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=101)	平均値（標準偏差）	6.65	(2.37)	6.48	(2.27)	6.63	(2.57)	5.49	(2.24)	9.78	(3.69)	19.30	(5.43)	7.99	(1.91)	6.59	(1.92)	4.66	(1.89)	4.33	(1.25)
	ハイリスク者（%）	12	(11.9%)	9	(8.9%)	12	(11.9%)	7	(7.0%)	8	(7.9%)	9	(9.0%)	8	(8.0%)	4	(4.0%)	9	(8.9%)	5	(5.0%)
H22 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.59	(2.38)	6.28	(2.26)	6.51	(2.43)	5.76	(2.35)	10.20	(4.01)	19.04	(5.19)	7.79	(2.02)	6.80	(2.01)	4.93	(1.99)	4.24	(1.29)
	ハイリスク者（%）	105	(15.8%)	39	(6.0%)	70	(10.7%)	43	(6.6%)	58	(8.9%)	56	(8.6%)	58	(9.1%)	47	(7.3%)	81	(12.5%)	20	(3.0%)
H23 (n=1,822)	平均値（標準偏差）	6.48	(2.30)	6.52	(2.30)	6.96	(2.51)	6.05	(2.38)	10.61	(3.90)	19.31	(5.30)	7.84	(2.12)	6.74	(2.00)	4.92	(1.97)	4.28	(1.22)
	ハイリスク者（%）	250	(13.7%)	169	(9.4%)	294	(16.2%)	179	(9.9%)	228	(12.6%)	184	(10.2%)	160	(9.2%)	99	(5.7%)	214	(12.3%)	72	(4.1%)
H24 (n=2,319)	平均値（標準偏差）	6.87	(2.32)	6.11	(2.18)	6.80	(2.47)	5.89	(2.29)	10.08	(3.82)	18.91	(5.11)	7.47	(2.13)	6.55	(1.99)	4.82	(1.94)	4.09	(1.22)
	ハイリスク者（%）	233	(10.0%)	132	(5.7%)	332	(14.3%)	200	(8.7%)	232	(10.0%)	194	(8.4%)	149	(6.5%)	114	(4.9%)	248	(10.8%)	82	(3.5%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表46. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　40代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=80)	平均値（標準偏差）	6.21	(2.06)	6.68	(2.24)	6.68	(2.47)	5.76	(2.55)	10.68	(4.05)	20.17	(5.10)	8.32	(1.93)	7.39	(1.93)	5.24	(1.80)	4.50	(1.24)
	ハイリスク者（%）	11	(13.8%)	5	(6.3%)	9	(11.5%)	10	(12.8%)	9	(11.4%)	6	(7.7%)	8	(10.1%)	8	(10.1%)	11	(13.8%)	4	(5.1%)
H22 (n=664)	平均値（標準偏差）	6.52	(2.42)	6.16	(2.19)	6.32	(2.38)	5.71	(2.26)	9.94	(3.68)	19.12	(5.34)	8.04	(2.00)	6.94	(1.96)	5.02	(1.97)	4.29	(1.16)
	ハイリスク者（%）	105	(15.8%)	39	(6.0%)	70	(10.7%)	43	(6.6%)	58	(8.9%)	56	(8.6%)	58	(9.1%)	47	(7.3%)	81	(12.5%)	20	(3.0%)
H23 (n=1,864)	平均値（標準偏差）	6.45	(2.40)	6.30	(2.24)	6.89	(2.50)	6.04	(2.37)	10.68	(3.92)	19.52	(5.31)	7.98	(2.16)	6.81	(2.00)	5.01	(1.99)	4.26	(1.23)
	ハイリスク者（%）	284	(15.2%)	143	(7.7%)	296	(15.9%)	177	(9.5%)	236	(12.7%)	200	(10.9%)	213	(12.3%)	112	(6.4%)	222	(12.9%)	71	(4.0%)
H24 (n=3,560)	平均値（標準偏差）	6.77	(2.28)	6.14	(2.20)	7.09	(2.51)	5.99	(2.31)	10.13	(3.69)	19.32	(5.02)	7.60	(2.00)	6.61	(1.92)	5.04	(2.03)	4.12	(1.19)
	ハイリスク者（%）	351	(9.9%)	238	(6.7%)	635	(17.9%)	305	(8.6%)	330	(9.3%)	330	(9.4%)	202	(5.7%)	165	(4.7%)	475	(13.6%)	115	(3.2%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表47. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　50代女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=40)	平均値（標準偏差）	6.90	(3.07)	6.08	(2.27)	6.30	(2.45)	6.03	(2.43)	9.74	(4.06)	19.51	(6.26)	8.03	(1.73)	7.43	(1.53)	5.45	(1.97)	4.20	(1.29)
	ハイリスク者（%）	7	(17.5%)	4	(10.0%)	3	(7.5%)	4	(10.5%)	3	(7.7%)	4	(10.8%)	3	(7.5%)	2	(5.0%)	6	(15.0%)	2	(5.0%)
H22 (n=584)	平均値（標準偏差）	7.32	(2.67)	5.61	(2.04)	5.61	(2.23)	5.57	(2.16)	8.92	(3.32)	18.43	(5.17)	8.24	(2.06)	7.10	(1.93)	4.86	(2.00)	3.93	(1.17)
	ハイリスク者（%）	59	(10.1%)	21	(3.7%)	42	(7.3%)	37	(6.5%)	32	(5.6%)	42	(7.5%)	75	(13.7%)	42	(7.6%)	73	(13.2%)	14	(2.4%)
H23 (n=1,501)	平均値（標準偏差）	6.71	(2.52)	6.05	(2.14)	6.30	(2.34)	5.95	(2.23)	10.19	(3.78)	19.24	(5.26)	8.17	(2.10)	7.29	(1.95)	5.24	(2.07)	4.15	(1.16)
	ハイリスク者（%）	212	(14.1%)	78	(5.2%)	158	(10.6%)	116	(7.8%)	148	(10.0%)	149	(10.2%)	170	(12.8%)	122	(9.1%)	201	(15.1%)	40	(2.9%)
H24 (n=2,886)	平均値（標準偏差）	6.93	(2.41)	5.71	(2.07)	6.50	(2.45)	5.92	(2.13)	9.76	(3.59)	19.39	(5.10)	7.69	(2.02)	6.95	(1.80)	5.07	(1.96)	4.03	(1.12)
	ハイリスク者（%）	284	(9.8%)	120	(4.2%)	372	(13.0%)	204	(7.1%)	225	(7.9%)	276	(9.7%)	218	(7.7%)	145	(5.1%)	349	(12.4%)	57	(2.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表48. 平成21~24年度メンタルヘルス調査　60歳以上女性労働者調査結果

標準化得点法による評価（心理的反応項目・支援状況・満足度）

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値（標準偏差）	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
H21 (n=4)	平均値（標準偏差）	6.67	(1.15)	4.33	(1.53)	4.33	(1.53)	4.67	(1.53)	6.67	(1.15)	16.00	(3.00)	7.67	(1.53)	8.00	(1.00)	5.33	(3.21)	3.25	(1.50)
	ハイリスク者（%）	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)
H22 (n=101)	平均値（標準偏差）	8.09	(2.94)	5.04	(2.17)	4.75	(1.79)	5.16	(2.10)	8.19	(3.24)	16.53	(4.65)	8.22	(1.91)	7.16	(2.10)	5.25	(2.07)	3.60	(1.17)
	ハイリスク者（%）	8	(7.9%)	3	(3.1%)	1	(1.0%)	5	(5.0%)	3	(3.0%)	5	(5.3%)	6	(6.5%)	12	(12.6%)	16	(16.5%)	2	(2.0%)
H23 (n=269)	平均値（標準偏差）	7.98	(2.87)	5.52	(2.07)	5.30	(2.16)	5.40	(2.23)	8.87	(3.67)	17.53	(5.25)	7.98	(2.18)	7.21	(2.04)	5.00	(2.01)	3.62	(1.13)
	ハイリスク者（%）	22	(8.2%)	7	(2.7%)	15	(5.7%)	14	(5.3%)	17	(6.5%)	19	(7.6%)	20	(9.3%)	24	(11.0%)	26	(11.9%)	5	(2.1%)
H24 (n=270)	平均値（標準偏差）	8.06	(2.67)	5.32	(2.03)	5.33	(2.08)	5.34	(2.10)	8.22	(3.14)	17.32	(4.61)	7.85	(2.16)	7.05	(1.98)	4.95	(1.95)	3.55	(1.01)
	ハイリスク者（%）	13	(4.8%)	5	(1.9%)	11	(4.1%)	17	(6.4%)	11	(4.2%)	11	(4.3%)	25	(9.8%)	22	(8.5%)	31	(11.9%)	1	(0.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表49. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
卸業、小売業																					
H22 (n=662)	平均値(標準偏差)	7.48	(2.54)	5.89	(2.19)	5.80	(2.27)	5.48	(2.25)	8.79	(3.48)	17.76	(4.97)	8.30	(2.03)	6.81	(2.05)	4.56	(1.86)	3.94	(1.19)
	ハイリスク者 (%)	48	(7.3%)	36	(5.6%)	50	(7.7%)	44	(6.8%)	37	(5.7%)	43	(6.7%)	80	(12.7%)	42	(6.6%)	59	(9.2%)	14	(2.1%)
H23 (n=213)	平均値(標準偏差)	7.00	(2.36)	6.11	(2.34)	6.35	(2.42)	5.97	(2.36)	10.07	(3.67)	18.92	(5.68)	8.07	(2.26)	6.96	(2.23)	4.76	(1.98)	4.18	(1.36)
	ハイリスク者 (%)	18	(8.5%)	18	(8.6%)	23	(10.8%)	17	(8.0%)	17	(8.1%)	22	(10.6%)	30	(14.4%)	22	(10.5%)	24	(11.5%)	15	(7.1%)
H24 (n=988)	平均値(標準偏差)	6.81	(2.51)	6.15	(2.30)	6.08	(2.39)	5.56	(2.26)	9.45	(3.53)	18.46	(5.02)	8.20	(2.07)	7.03	(2.04)	4.87	(2.03)	4.17	(1.19)
	ハイリスク者 (%)	109	(11.0%)	69	(7.0%)	91	(9.3%)	69	(7.0%)	73	(7.5%)	73	(7.5%)	121	(12.4%)	87	(8.9%)	118	(12.1%)	33	(3.4%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表50. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
学術研究、専門・技術サービス業																					
H22 (n=97)	平均値(標準偏差)	6.79	(2.25)	6.45	(2.16)	7.21	(2.37)	6.07	(1.98)	11.18	(3.72)	19.47	(4.61)	7.88	(2.21)	7.03	(2.02)	5.14	(2.11)	4.10	(1.29)
	ハイリスク者 (%)	9	(9.3%)	10	(10.3%)	14	(14.6%)	8	(8.2%)	14	(14.7%)	6	(6.2%)	9	(9.3%)	8	(8.2%)	15	(15.6%)	3	(3.1%)
H23 (n=117)	平均値(標準偏差)	6.56	(2.36)	6.01	(2.12)	7.01	(2.56)	6.05	(2.19)	10.75	(3.92)	19.09	(5.46)	7.72	(2.14)	6.59	(2.12)	4.75	(1.89)	4.14	(1.24)
	ハイリスク者 (%)	15	(12.8%)	8	(6.9%)	22	(18.8%)	8	(6.8%)	14	(12.0%)	13	(11.1%)	8	(6.9%)	6	(5.2%)	9	(7.8%)	3	(2.6%)
H24 (n=123)	平均値(標準偏差)	6.89	(2.34)	5.85	(2.25)	6.70	(2.28)	5.70	(1.95)	10.16	(3.37)	18.98	(4.86)	8.05	(2.24)	6.81	(2.10)	5.06	(1.87)	3.97	(1.19)
	ハイリスク者 (%)	8	(6.5%)	5	(4.1%)	13	(10.7%)	7	(5.7%)	7	(5.7%)	11	(9.0%)	18	(14.8%)	9	(7.4%)	12	(10.2%)	4	(3.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表51. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
公務(他に分類されるものを除く)																					
H22 (n=519)	平均値(標準偏差)	6.42	(2.39)	6.04	(2.15)	6.50	(2.42)	5.93	(2.36)	10.24	(3.84)	19.86	(5.28)	7.68	(1.92)	6.81	(1.93)	5.15	(1.94)	4.32	(1.17)
	ハイリスク者 (%)	82	(15.8%)	27	(5.2%)	64	(12.4%)	42	(8.1%)	56	(10.8%)	52	(10.1%)	34	(6.7%)	34	(6.6%)	64	(12.5%)	22	(4.3%)
H23 (n=1,047)	平均値(標準偏差)	6.38	(2.28)	6.08	(2.17)	6.68	(2.44)	6.01	(2.35)	10.50	(3.87)	19.54	(5.12)	7.57	(1.98)	6.81	(1.89)	5.07	(1.92)	4.26	(1.12)
	ハイリスク者 (%)	157	(15.0%)	62	(5.9%)	151	(14.5%)	102	(9.8%)	120	(11.5%)	112	(10.8%)	59	(5.7%)	61	(5.9%)	115	(11.2%)	28	(2.7%)
H24 (n=1,505)	平均値(標準偏差)	6.63	(2.33)	5.87	(2.15)	6.57	(2.46)	5.81	(2.21)	10.12	(3.75)	19.24	(5.09)	7.31	(2.01)	6.72	(1.90)	5.13	(1.98)	4.21	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	175	(11.6%)	74	(4.9%)	204	(13.6%)	112	(7.5%)	146	(9.7%)	130	(8.8%)	64	(4.3%)	78	(5.3%)	201	(13.6%)	60	(4.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表52. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
情報通信業																					
H21 (n=20)	平均値(標準偏差)	7.15	(2.56)	6.10	(2.15)	7.00	(2.71)	6.15	(2.54)	9.70	(3.03)	19.90	(4.69)	7.35	(2.11)	7.16	(1.86)	4.60	(1.70)	4.10	(1.02)
	ハイリスク者 (%)	2	(10.0%)	1	(5.0%)	4	(20.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	1	(5.3%)	2	(10.0%)	0	(0.0%)
H22 (n=138)	平均値(標準偏差)	6.47	(2.11)	5.62	(2.02)	6.19	(2.58)	5.51	(2.19)	9.57	(3.29)	18.90	(4.98)	7.79	(2.03)	7.10	(1.98)	4.74	(1.92)	4.08	(1.23)
	ハイリスク者 (%)	17	(12.3%)	3	(2.2%)	18	(13.1%)	9	(6.6%)	8	(5.9%)	11	(8.1%)	12	(9.2%)	9	(6.8%)	15	(11.4%)	4	(3.0%)
H23 (n=36)	平均値(標準偏差)	7.14	(2.61)	6.06	(2.10)	6.19	(2.53)	5.83	(2.46)	9.78	(3.91)	18.78	(5.06)	7.89	(2.16)	7.25	(2.30)	4.46	(1.75)	4.03	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	4	(11.1%)	2	(5.6%)	4	(11.1%)	3	(8.6%)	4	(11.1%)	2	(5.6%)	4	(11.1%)	4	(11.1%)	4	(11.4%)	1	(2.9%)
H24 (n=87)	平均値(標準偏差)	6.44	(2.20)	5.64	(2.00)	6.37	(2.58)	5.51	(2.16)	9.80	(3.61)	18.95	(4.52)	8.01	(1.94)	7.33	(2.05)	5.05	(2.06)	4.09	(1.12)
	ハイリスク者 (%)	11	(12.6%)	2	(2.3%)	12	(13.8%)	4	(4.6%)	8	(9.2%)	6	(6.9%)	4	(4.7%)	9	(10.5%)	12	(14.0%)	2	(2.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表53. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
製造業																					
H21 (n=125)	平均値(標準偏差)	6.48	(2.26)	6.42	(2.23)	6.78	(2.43)	5.43	(2.29)	10.18	(4.00)	20.05	(5.30)	8.15	(1.75)	6.98	(2.02)	5.05	(1.99)	4.49	(1.27)
	ハイリスク者 (%)	15	(12.0%)	9	(7.2%)	14	(11.3%)	11	(8.9%)	13	(10.4%)	9	(7.4%)	6	(4.8%)	7	(5.6%)	17	(13.6%)	8	(6.5%)
H22 (n=177)	平均値(標準偏差)	6.58	(2.31)	6.50	(2.26)	6.71	(2.37)	5.35	(1.93)	10.02	(3.70)	20.11	(5.38)	8.42	(1.95)	7.22	(1.96)	5.16	(2.20)	4.44	(1.27)
	ハイリスク者 (%)	22	(12.4%)	16	(9.0%)	22	(12.4%)	3	(1.7%)	19	(10.8%)	15	(8.7%)	22	(12.8%)	13	(7.5%)	31	(17.9%)	10	(5.7%)
H23 (n=370)	平均値(標準偏差)	6.38	(2.44)	6.42	(2.36)	7.01	(2.59)	6.36	(2.48)	10.76	(4.00)	20.90	(5.50)	8.52	(2.08)	7.21	(2.03)	5.17	(2.07)	4.24	(1.23)
	ハイリスク者 (%)	62	(16.8%)	32	(8.7%)	74	(20.2%)	44	(12.0%)	52	(14.2%)	52	(14.5%)	61	(16.6%)	35	(9.5%)	66	(18.0%)	15	(4.1%)
H24 (n=251)	平均値(標準偏差)	6.26	(2.35)	6.80	(2.32)	6.79	(2.51)	5.96	(2.35)	10.59	(3.76)	20.04	(5.51)	8.82	(2.04)	7.55	(1.99)	5.15	(2.11)	4.50	(1.32)
	ハイリスク者 (%)	38	(15.1%)	23	(9.2%)	35	(14.1%)	23	(9.3%)	25	(10.1%)	33	(13.4%)	48	(19.3%)	27	(10.8%)	37	(15.0%)	15	(6.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表54. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果一業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
電気・ガス・熱供給・水道業																					
H22 (n=20)	平均値(標準偏差)	6.70	(2.49)	4.95	(1.85)	4.95	(1.50)	4.45	(1.85)	8.40	(3.05)	18.50	(4.77)	7.80	(1.88)	6.90	(1.59)	5.15	(1.90)	4.00	(1.17)
	ハイリスク者 (%)	4	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)	1	(5.0%)	4	(20.0%)	1	(5.0%)
H23 (n=23)	平均値(標準偏差)	7.17	(1.99)	5.74	(2.80)	5.52	(2.19)	5.65	(2.52)	9.39	(3.16)	18.83	(4.94)	6.83	(1.53)	6.48	(1.97)	5.13	(2.03)	4.00	(1.13)
	ハイリスク者 (%)	0	(0.0%)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	2	(8.7%)	2	(8.7%)	2	(8.7%)	1	(4.3%)	1	(4.3%)	3	(13.0%)	1	(4.3%)
H24 (n=25)	平均値(標準偏差)	6.52	(1.94)	5.28	(2.39)	6.48	(2.02)	5.80	(2.24)	10.36	(3.98)	19.56	(4.04)	7.64	(1.93)	7.32	(1.77)	5.00	(1.98)	3.96	(1.02)
	ハイリスク者 (%)	2	(8.0%)	1	(4.0%)	2	(8.0%)	1	(4.0%)	3	(12.0%)	2	(8.0%)	1	(4.0%)	3	(12.0%)	4	(16.0%)	0	(0.0%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表55. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果ー業種別

標準化得点法による評価(心理的反応項目・支援状況・満足度)

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者 (%)	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
複合サービス事業																					
H21 (n=129)	平均値(標準偏差)	6.28	(2.31)	6.69	(2.37)	6.45	(2.44)	6.14	(2.43)	10.57	(4.03)	18.90	(5.32)	8.13	(2.03)	6.98	(1.89)	4.93	(1.75)	4.23	(1.21)
	ハイリスク者 (%)	17	(13.2%)	13	(10.2%)	13	(10.2%)	13	(10.5%)	14	(11.1%)	13	(10.4%)	16	(12.6%)	8	(6.3%)	11	(8.6%)	4	(3.1%)
H22 (n=723)	平均値(標準偏差)	6.63	(2.59)	6.11	(2.34)	6.24	(2.43)	6.02	(2.36)	10.43	(4.01)	19.08	(5.37)	7.85	(2.14)	7.00	(2.04)	5.05	(2.07)	4.24	(1.22)
	ハイリスク者 (%)	122	(16.9%)	53	(7.5%)	75	(10.5%)	66	(9.3%)	83	(11.7%)	62	(8.8%)	63	(9.1%)	58	(8.4%)	96	(13.8%)	27	(3.8%)
H23 (n=757)	平均値(標準偏差)	6.47	(2.36)	6.31	(2.34)	6.39	(2.39)	6.04	(2.31)	10.59	(4.05)	19.37	(5.28)	7.86	(2.15)	7.13	(1.97)	5.26	(2.11)	4.35	(1.16)
	ハイリスク者 (%)	114	(15.1%)	65	(8.6%)	84	(11.1%)	66	(8.8%)	99	(13.2%)	81	(10.9%)	79	(10.6%)	60	(8.0%)	123	(16.6%)	26	(3.5%)
H24 (n=1,141)	平均値(標準偏差)	6.59	(2.47)	6.19	(2.30)	6.13	(2.43)	6.03	(2.43)	10.40	(4.02)	19.01	(5.22)	7.83	(2.12)	6.95	(1.99)	5.13	(2.06)	4.31	(1.24)
	ハイリスク者 (%)	171	(15.0%)	79	(7.0%)	115	(10.1%)	119	(10.5%)	136	(12.1%)	99	(8.9%)	109	(9.7%)	67	(6.0%)	157	(14.0%)	49	(4.3%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より

表56. 平成21~24年度メンタルヘルス調査女性労働者調査結果ー地域別

年度別		活気		イライラ		疲労		不安		抑うつ		身体愁訴		上司サポート		同僚サポート		家族サポート		満足感	
全国標準値*	平均値(標準偏差)	6.60	(2.30)	6.40	(2.20)	6.40	(2.20)	5.40	(2.00)	10.0	(3.30)	19.0	(5.00)	8.00	(2.10)	6.80	(2.00)	4.60	(1.80)	4.10	(1.20)
	ハイリスク者（%）	10.4%		7.8%		10.1%		10.0%		7.0%		9.0%		5.7%		7.8%		7.3%		12.5%	
沿岸地区																					
H22 (n=147)	平均値(標準偏差)	6.64	(2.64)	6.00	(2.23)	6.21	(2.47)	5.77	(2.24)	9.88	(4.00)	19.09	(5.55)	7.75	(2.36)	7.40	(2.18)	5.19	(2.21)	4.10	(1.21)
	ハイリスク者（%）	27	(18.4%)	9	(6.2%)	15	(10.3%)	11	(7.5%)	15	(10.4%)	18	(12.4%)	20	(13.9%)	19	(13.2%)	26	(17.9%)	4	(2.7%)
H23 (n=2,268)	平均値(標準偏差)	6.70	(2.37)	6.33	(2.26)	6.97	(2.49)	6.22	(2.35)	10.80	(3.93)	19.35	(5.36)	7.92	(2.15)	6.79	(2.01)	4.83	(1.93)	4.17	(1.23)
	ハイリスク者（%）	272	(12.0%)	182	(8.1%)	369	(16.4%)	237	(10.5%)	294	(13.1%)	232	(10.4%)	233	(11.1%)	143	(6.7%)	217	(10.3%)	90	(4.2%)
H24 (n=1,928)	平均値(標準偏差)	6.96	(2.31)	5.87	(2.19)	6.78	(2.44)	5.98	(2.24)	10.04	(3.72)	19.07	(5.10)	7.40	(2.12)	6.62	(1.95)	4.88	(1.97)	4.09	(1.23)
	ハイリスク者（%）	173	(9.0%)	99	(5.2%)	272	(14.2%)	159	(8.3%)	180	(9.4%)	169	(8.9%)	114	(6.0%)	81	(4.2%)	230	(12.1%)	65	(3.4%)
内陸地区																					
H21 (n=274)	平均値(標準偏差)	6.44	(2.31)	6.52	(2.29)	6.64	(2.45)	5.81	(2.39)	10.33	(3.95)	19.50	(5.28)	8.08	(1.92)	7.00	(1.94)	4.96	(1.86)	4.34	(1.23)
	ハイリスク者（%）	34	(12.4%)	23	(8.5%)	31	(11.4%)	25	(9.3%)	28	(10.3%)	23	(8.6%)	23	(8.5%)	16	(5.9%)	30	(11.0%)	12	(4.4%)
H22 (n=2108)	平均値(標準偏差)	6.79	(2.50)	6.04	(2.22)	6.21	(2.40)	5.74	(2.28)	9.86	(3.80)	18.92	(5.23)	7.99	(2.04)	6.90	(1.99)	4.91	(1.98)	4.18	(1.22)
	ハイリスク者（%）	272	(12.9%)	127	(6.1%)	218	(10.5%)	151	(7.3%)	197	(9.5%)	163	(7.9%)	197	(9.7%)	143	(7.0%)	247	(12.1%)	75	(3.6%)
H23 (n=4,498)	平均値(標準偏差)	6.54	(2.41)	6.29	(2.27)	6.67	(2.46)	5.97	(2.36)	10.46	(3.91)	19.42	(5.31)	7.98	(2.13)	6.89	(2.04)	5.04	(2.00)	4.29	(1.21)
	ハイリスク者（%）	650	(14.5%)	327	(7.3%)	632	(14.1%)	402	(9.0%)	531	(11.9%)	473	(10.7%)	451	(10.9%)	288	(6.9%)	554	(13.4%)	167	(4.0%)
H24 (n=8,279)	平均値(標準偏差)	6.86	(2.35)	6.02	(2.18)	6.79	(2.50)	5.96	(2.27)	10.04	(3.73)	19.17	(5.06)	7.62	(2.04)	6.71	(1.92)	4.97	(1.97)	4.08	(1.17)
	ハイリスク者（%）	818	(9.9%)	475	(5.8%)	1255	(15.2%)	698	(8.5%)	774	(9.4%)	739	(9.0%)	546	(6.7%)	416	(5.1%)	980	(12.1%)	230	(2.8%)

*労働省平成11年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書より